



平成 28 年度 東京医科歯科大学全学共通科目

東京医科歯科大学教養部

目次

哲学Ⅰ	6
哲学Ⅱ	8
倫理学Ⅰ	10
倫理学Ⅱ	12
心理学Ⅰ	14
心理学Ⅱ	16
宗教学Ⅰ	18
宗教学Ⅱ	20
芸術Ⅰ	22
芸術Ⅱ	24
歴史学AⅠ	26
歴史学AⅡ	28
歴史学BⅠ	30
歴史学BⅡ	32
科学史Ⅰ	34
科学史Ⅱ	36
文学AⅠ	38
文学AⅡ	41
文学BⅠ	43
文学BⅡ	45
法学Ⅰ	47
法学Ⅰ（憲法）	49
法学Ⅱ	51
政治学Ⅰ	53
政治学Ⅱ	55
経済学Ⅰ	57
経済学Ⅱ	59
社会学AⅠ	61
社会学AⅡ	63
社会思想史Ⅰ	65
社会思想史Ⅱ	67
文化人類学Ⅰ	69
文化人類学Ⅱ	71
社会科学特論Ⅰ	73
社会科学特論Ⅱ	75
Japanese Culture and SocietyⅡ	77
グローバル教養科目・Introduction to Language and Linguistics	79
グローバル教養科目・Japanese as a Foreign Language	81
物理学入門	83
生物学入門	85
化学入門	87
数学（微積分）M	89
数学（微積分）D	91
数学（線形代数）（ α ）	93
数学（線形代数）（ β ）	95

数学基礎.....	97
統計学 O・K.....	99
統計学 N.....	101
統計学 T.....	103
物理学（力学） M.....	105
物理学（力学） DT.....	107
物理学（電磁気学） M.....	109
物理学（電磁気学） DT.....	111
化学（一般化学） M.....	113
化学（一般化学） D.....	116
化学（一般化学） T.....	119
化学基礎(α).....	122
化学基礎(β).....	126
生物学（細胞・遺伝子） M.....	129
生物学（細胞・遺伝子） DT.....	131
生物学（構造・機能） M.....	133
生物学（構造・機能） DT.....	135
細胞生物学基礎.....	137
人体の生物学基礎.....	139
英語.....	141
英語 a.....	142
英語 a.....	144
英語 a.....	146
英語 a.....	148
英語 a.....	150
英語 a.....	152
英語 a.....	154
英語 a.....	156
英語 a.....	158
英語 a.....	160
英語 a.....	162
英語 a.....	164
英語 a.....	166
英語 b.....	168
英語 b.....	170
英語 b.....	172
英語 b.....	174
英語 b.....	176
英語 b.....	178
英語 b.....	180
英語 b.....	182
英語 b.....	184
英語 b.....	186
英語 b.....	188
英語 c.....	190
英語 c.....	192
英語 c.....	194
英語 c.....	196
英語 c.....	198

英語 c.....	200
英語 c.....	202
英語 c.....	204
英語 c.....	206
英語 c.....	208
英語 c.....	210
英語 c.....	212
英語 c.....	214
英語 d.....	216
英語 d.....	218
英語 d.....	220
英語 d.....	222
英語 d.....	224
英語 d.....	226
英語 d.....	228
英語 d.....	230
英語 d.....	232
英語 d.....	234
英語 d.....	236
日本語 a.....	238
日本語 b.....	240
日本語 c.....	242
日本語 d.....	244
ドイツ語 a.....	246
ドイツ語 a.....	248
ドイツ語 a.....	250
ドイツ語 a.....	252
ドイツ語 a.....	254
ドイツ語 a.....	256
ドイツ語 b.....	258
ドイツ語 b.....	260
ドイツ語 b.....	262
ドイツ語 b.....	264
ドイツ語 b.....	266
ドイツ語 b.....	268
ドイツ語 c.....	270
ドイツ語 c.....	272
ドイツ語 c.....	274
ドイツ語 c.....	276
ドイツ語 c.....	278
ドイツ語 c.....	280
ドイツ語 d.....	282
ドイツ語 d.....	284
ドイツ語 d.....	286
ドイツ語 d.....	288
ドイツ語 d.....	290
ドイツ語 d.....	292
フランス語 a.....	294
フランス語 a.....	297

フランス語 b	300
フランス語 b	303
フランス語 c	306
フランス語 c	309
フランス語 d	312
フランス語 d	315
フランス語 d	318
フランス語 d	321
中国語 a	323
中国語 a	325
中国語 b	327
中国語 b	329
中国語 c	331
中国語 c	333
中国語 d	335
中国語 d	337
スペイン語 a	339
スペイン語 b	341
スペイン語 c	343
スペイン語 d	345
物理学実験	347
化学実験	351
生物学実験	355
科学基礎実験 T	359
科学基礎実験 N・O・K	361
科学基礎演習	364
情報科学 N	366
情報科学 T	369
情報科学 O・K	372
情報処理(α)	375
情報処理(β)	378
スポーツ・健康科学	381
スポーツ・健康科学	383
フィットネスマネージメント	385
フィットネスマネージメント	388
フィットネスマネージメント	391
フィットネスマネージメント	395
S・フランスとヨーロッパの現代	399
S・英文史料を読む/ヨーロッパのナショナリズム	401
S・漢文講読	403
S・英語文献講読	405
S・基礎力学	407
S・メンタルトレーニング	409
S・離散構造講義	411
R・講義と実習によるバイオサイエンス 1	413
S・計算機による数学	415
S・物理実験学入門	417
S・分子の構造とプレゼンテーション	419
R・整数論	421

S・水の科学.....	423
S・Topics in the News	425
S・ Mathematics for Natural Scientists	427
S・国際文化論.....	429
S・分子分光光学演習：基礎編.....	431
S・現代パフォーミングアーツ入門.....	432
S・ウニの発生と海産生物の観察実習.....	434
S・イギリス小説講読.....	436
S・Marine Biology in English.....	438
S・Biotechnology in Medical Sciences	440
S・フィットネスキャンプ	444
S・フランス語でニュースを読む.....	446
S・日本の古典.....	449
S・ロシア語入門.....	451
R・離散構造 (β)	453
S・数学解析.....	456
S・実用統計学 (α)	458
S・糖の科学.....	460
R・講義と実習によるバイオサイエンス 2	462
S・表象文化論.....	464
R・離散構造 (α)	466
R・グリム童話を読む	468
S・数理生物学.....	471
S・彫刻 (塑造)	473
S・Essentials of Medical Language	475
S・実用統計学 (β)	479
S・生体分子分光光学演習.....	481
S・Discussions on Human Behavior.....	482
S・一般化学演習.....	484
R・符号理論.....	486
S・Basic Concepts in Physics	488
S・現代中国論.....	490
S・情報.....	492
S・アメリカ文学を読む.....	494
S・BASIC 言語.....	496
S・英語による解析力学.....	498
S・野外運動実習.....	499
教養総合講座.....	501
医療人間学概論(倫理学)	505
医療人間学概論 (法学)	507
医療人間学セミナー I (法学)	509
医療人間学セミナー I (倫理学)	511
医療人間学セミナー II (法学)	513
医療人間学セミナー II (倫理学)	515

時間割番号	000001				
科目名	哲学Ⅰ				
担当教員	田中 智彦				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
◇ 曜日・時間: 月曜 1 限					
◇ 対象学科: 全学科					
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)					
別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する					
別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る					
別表 1-7) 人間の心への理解を深める					
授業の目的、概要等					
私たちは徹頭徹尾、世界と関係している。だからこそ私たちがそのことに気づく唯一の方法は、そのように世界と関係する運動を中止することなのである。〔中略〕それは常識や自然的態度のもっている諸確信を放棄することではない(それどころか逆に、そうした諸確信こそ哲学の恒常的なテーマなのだ)。そうではなく、むしろそれらの確信がまさにあらゆる思惟の前提として「自明のもの」になっており、しかしそうとは気づかれないで通用しているからこそ、そうするのである。メルロ＝ポンティ『知覚の現象学』					
この授業では上の言葉を導きの糸にして、「わたし」あるいは「自己」というものの成り立ちについて考察します。それはいいかえれば、「わたし」が「わたし」としてあること、ありうることの根拠を、あらためて問う試みです。そしてそこからは、「わたし」と「他者」との間には、また「世界」との間には、どのような関係性があるのか、ありうるのかという問いへと、さらに議論は展開していくことになるでしょう。					
なお、授業は講義形式で行います。また受講に際しては、哲学に関する知識の多寡は問われません。「自明のもの」をあらためて「思考すること、そのことへの興味があれば、さしあたりは十分です。					
授業の到達目標(SB0s)					
(1) 上記の試みをつづじて、私たちの生とそれが営まれるこの世界とについて理解を深めること。					
(2) 「わたし」「他者」およびそれらに関連する哲学のテーマについて基本的な理解を得ること。					
(3) 「世界の解像度を上げる」ことの面白さと大切さを知り、自分でも取り組めるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/11	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
2	4/18	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
3	4/25	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
4	5/2	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
5	5/9	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
6	5/16	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
7	5/23	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
8	5/30	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
9	6/6	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
10	6/13	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
11	6/20	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
12	6/27	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
13	7/4	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
14	7/11	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
15	7/25	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
授業方法					
授業は講義形式で行う予定です。ただし、受講者が少ない場合には、セミナー形式に変更することもあります(その場合は初回の授業時にあらためて授業方法等を説明します)。					
教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。					
授業内容					

この授業では順次、以下の論点を取り上げていきます。 第1回-5回:「わたし」あるいは「自己」の成り立ちについて 第6回-10回:「わたし」あるいは「自己」と「他者」との関係性について 第11回-15回:それらをふまえたときに見えてくる「世界」のありようについて
成績評価の方法 ◇評価:期末試験もしくは期末レポート 80% その他 20%(出席状況、コメントシートへの回答など) ◇再評価:有(試験もしくはレポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。
試験の受験資格 ◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則3分の2以上の出席
教科書 教科書はありません。毎回レジュメを配布します。
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介します。
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。
連絡先 田中 智彦tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 田中 智彦:毎週月曜日 12:30~13:30 管理研究棟2階 哲学研究室

時間割番号	000002				
科目名	哲学Ⅱ				
担当教員	田中 智彦				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
◇ 曜日・時間: 月曜 1 限					
◇ 対象学科: 全学科					
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)					
別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する					
別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る					
別表 1-7) 人間の心への理解を深める					
授業の目的、概要等					
身体性は存在と所有の境界ゾーンである。あらゆる所有はある仕方、私の身体に関連して定義される。私の身体は、絶対的な所有であるということによって、いかなる意味でも所有であることをやめるものである。所有することとは、所有物を自由にすることができるということ、所有物に対して力を所有することである。この自由にすること、あるいはこの力ということには、必ず有機体の介在が含まれている。ところが、この有機体そのものは、まさにそのことによって、私がそれを自由にできるとは言えなくなるのである。					
マルセル『存在と所有』					
この授業では上の言葉を導きの糸にして、私たちの「生命」と「身体」について考察します。またそれらと深く関係する他の論点についても——たとえば「健康」「正常」といった概念や、「病む」「老いる」といった経験についても——あわせて考察してゆきます。そしてそのことは、私たち人間にとって「生」とは、「死」とは何かということ、あらためて問うことにもつながるでしょう。					
なお、授業は講義形式で行います。また受講に際しては、哲学に関する知識の多寡は問われません。「自明のもの」をあらためて「思考すること、そのことへの興味があれば、さしあたりは十分です。					
授業の到達目標(SB0s)					
(1) 上記の試みをつづじて、私たちの生命・身体とそれらが住まうこの世界とについて理解を深めること。					
(2) 「生命」「身体」およびそれらに関連する哲学のテーマについて基本的な理解を得ること。					
(3) 「世界の解像度を上げる」ことの面白さと大切さを知り、自分でも取り組めるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/26	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
2	10/3	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
3	10/17	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
4	10/24	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
5	10/31	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
6	11/7	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
7	11/14	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
8	11/21	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
9	11/28	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
10	12/5	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
11	12/12	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
12	12/19	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
13	1/16	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
14	1/23	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
15	1/30	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	
授業方法					
授業は講義形式で行う予定です。ただし、受講者が少ない場合には、セミナー形式に変更することもあります(その場合は初回の授業時にあらためて授業方法等を説明します)。					
教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。					

授業内容 この授業では順次、以下の論点を取り上げていきます。 第1回-5回:「身体」と「世界」との関係性について 第6回-10回:「健康」「正常」「病」といった概念について 第11回-15回:「生命」をめぐる思考の歴史と現在について
成績評価の方法 ◇評価: 期末試験もしくは期末レポート 80% その他 20%(出席状況、コメントシートへの回答など) ◇再評価: 有(試験もしくはレポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。
試験の受験資格 ◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格: 原則 3 分の 2 以上の出席
教科書 教科書はありません。毎回レジュメを配布します。
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介します。
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる記録とを併用します。
連絡先 田中 智彦: tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 田中 智彦: 毎週月曜日 12:30～13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室

時間割番号	000003				
科目名	倫理学 I				
担当教員	田中 智彦				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
◇ 曜日・時間: 金曜 2 限 ◇ 対象学科: 全学科 ◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-9) 市民としての倫理観を養う 別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる					
授業の目的、概要等					
人間の思考のなかで重要なのは、彼らが考えたことよりも、むしろ彼らによって考えられなかったことのほうなのである。このノン・パンセは、初めから人間のもろもろの思考を体系化し、それ以降はこれを際限なく言語であげつらいうるものとなし、さらにこれについて考える、という任務にむかって限りなく開かれたものにするのである。 フーコ 『臨床医学の誕生』 この授業では上の言葉を導きの糸にして、「生命倫理(学)」について考察してゆきます。もっともそれは、生命倫理について概説することでもなければ、学説史をたどることでもありません。生命倫理において「思考されずにあること」「語られずにあること」を問うことによって、すなわち、生命倫理の「ノン・パンセ」を問うことによって、今日の生と死をめぐる倫理のありようを批判的に検討する試みです。そしてそのことは、いわゆる「医の倫理」はもとより、生と死をめぐる「倫理」が具えるべき視点を、いわば裏側から照らし出すことになるでしょう。					
授業の到達目標(SB0s)					
(1) 上記の試みをつづじて、「倫理的であるとはどういうことか」について理解を深めること。 (2) 現代の生と死のありようと医学・医療の特質が提起する倫理の問いについて基本的な理解を得ること。 (3) 「世界を別の視点から見る」ことの面白さと大切さを知り、自分でも取り組めるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/15	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
2	4/22	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
3	5/6	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
4	5/13	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
5	5/20	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
6	5/27	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
7	6/3	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
8	6/10	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
9	6/17	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
10	6/24	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
11	7/1	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
12	7/8	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
13	7/15	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
14	7/22	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
15	7/29	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
授業方法					
授業は講義形式で行う予定です。ただし、受講者が少ない場合には、セミナー形式に変更することもあります(その場合は初回の授業時にあらためて授業方法等を説明します)。 教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。					
授業内容					
この授業では次のような論点を取り上げていきます。					

第1回-5回:生と死をめぐる法、政治、経済の問題と、倫理のありようについて 第6回-10回:生命倫理の来歴と特質およびそれらに具わる倫理的な問題について 第11回-15回:医学・医療の特質とそこから要請される倫理の問いについて
成績評価の方法 ◇評価:期末試験もしくは期末レポート 80% その他 20%(出席状況、コメントシートへの回答など) ◇再評価:有(試験もしくはレポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。
試験の受験資格 ◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則3分の2以上の出席
教科書 教科書はありません。毎回レジュメを配布します。
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介します。
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。
連絡先 田中 智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 田中 智彦:毎週月曜日 12:30~13:30 管理研究棟2階 哲学研究室

時間割番号	000004				
科目名	倫理学Ⅱ				
担当教員	田中 智彦				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
◇ 曜日・時間: 金曜 2 限 ◇ 対象学科: 全学科 ◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-7) 人間の心への理解を深める 別表 1-9) 市民としての倫理観を養う					
授業の目的、概要等					
創造的な注意とは存在しないものに現実に向けられることである。道端に転がっている生気のない無名の肉体には人間性は存在しない。それでも立ち止まって見つめるサマリア人は、この不在の人間性に注意を向けているのであり、そしてその後続く行いは、そこで問われているのが真の注意であることを証し立てているのである。 ヴェイユ『著作集Ⅳ』〔一部改訳〕					
ヴェイユは『ルカによる福音書』に登場する「善きサマリア人」のたとえ話にこのような注釈をつけました。この授業ではこうしたヴェイユの視点を導きの糸にして、「人間の尊厳」「いのちの尊厳」について考察してゆきます。 「人間の尊厳」も「いのちの尊厳」も、すでに語り尽くされている感があるかもしれません。あるいはその大切さは承知していても、どこか「机上の空論」でしかないような印象が否めないかもしれません。またそれゆえに、「人間の尊厳」や「いのちの尊厳」の名の下に「死」が語られ、「死を与える」ことまでもが正当化されても、私たちはさして違和感を覚えなくなっているのかもしれません。しかし、果たして「尊厳」とは、本当にそのようなものでしかないのでしょうか。 この授業ではあらためてそうした問いを立て、「人間の尊厳」「いのちの尊厳」という概念の意義と問題点を検討するとともに、一般にそう思われているのとは異なる解釈の可能性を探ります。その試みは、これらの概念とは不可分の「人権」について、さらには私たち「人間」の生と死について、再考することにもつながるでしょう。					
授業の到達目標(SBOs)					
(1) 上記の試みをつづじて、「倫理的であるとはどういうことか」について理解を深めること。 (2) 「人間の尊厳」「いのちの尊厳」およびそれらに関連する論点について基本的な理解を得ること。 (3) 「世界を別の視点から見る」ことの面白さと大切さを知り、自分でも取り組めるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/30	10:50-12:20	9 番教室	田中 智彦	
2	10/7	10:50-12:20	9 番教室	田中 智彦	
3	10/14	10:50-12:20	9 番教室	田中 智彦	
4	10/21	10:50-12:20	9 番教室	田中 智彦	
5	10/28	10:50-12:20	9 番教室	田中 智彦	
6	11/4	10:50-12:20	9 番教室	田中 智彦	
7	11/11	10:50-12:20	9 番教室	田中 智彦	
8	11/18	10:50-12:20	9 番教室	田中 智彦	
9	11/25	10:50-12:20	9 番教室	田中 智彦	
10	12/2	10:50-12:20	9 番教室	田中 智彦	
11	12/9	10:50-12:20	9 番教室	田中 智彦	
12	12/16	10:50-12:20	9 番教室	田中 智彦	
13	1/13	10:50-12:20	9 番教室	田中 智彦	
14	1/20	10:50-12:20	9 番教室	田中 智彦	
15	1/27	10:50-12:20	9 番教室	田中 智彦	
授業方法					
授業は講義形式で行う予定です。ただし、受講者が少ない場合には、セミナー形式に変更することもあります(その場合は初回の					

授業時にあらためて授業方法等を説明します)。 教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。
授業内容 この授業では次のような論点を取り上げていきます。 第1回-5回:「倫理」とは何か、とりわけ「法」との区別および混同について 第6回-10回:「倫理」の現在、とりわけ生命倫理の諸問題を手がかりに 第11回-15回:「人間の尊厳」「いのちの尊厳」を再考する
成績評価の方法 ◇評価: 期末試験もしくは期末レポート 80% その他 20%(出席状況、コメントシートへの回答など) ◇再評価: 有(試験もしくはレポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。
試験の受験資格 ◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格: 原則3分の2以上の出席
教科書 教科書はありません。毎回レジュメを配布します。
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介します。
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。
連絡先 田中 智彦: tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 田中 智彦: 毎週月曜日 12:30~13:30 管理研究棟2階 哲学研究室

時間割番号	000005				
科目名	心理学Ⅰ				
担当教員	近藤 育代				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 月曜2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-7)「他者と自己を知る」: 人間の心への理解を深める					
授業の目的、概要等					
心理学は、人の行動とその背後にある心理過程を理解することを目指す学問です。その研究領域は幅広く、日々の心の動きや日常的な行動そのものが研究対象となります。「心理学Ⅰ」ではその中でも基礎心理学の分野を中心に、感覚と知覚の体験、思考活動、記憶の仕組み、学習のプロセス、感情や動機づけの理論、ストレスと健康、といった領域を取り上げます。それらを通して、「心」に対する客観的な視点や科学的な手法を理解し、また、人間理解につながる視点をもてるようになることを目的とします。					
授業の到達目標(SBOs)					
各研究領域の基礎的なトピックについて概説し、現在の心理学における「心」に対するアプローチを学びます。各回のテーマの中で様々な実験・調査を紹介し、また心理検査の体験などを通して、「心」を理解するための様々な視点を養うことを目標とします。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/11	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
2	4/18	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
3	4/25	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
4	5/2	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
5	5/9	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
6	5/16	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
7	5/23	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
8	5/30	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
9	6/6	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
10	6/13	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
11	6/20	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
12	6/27	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
13	7/4	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
14	7/11	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
15	7/25	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
授業方法					
講義形式					
授業内容					
1. ガイダンス: 授業の説明、心理学の研究方法					
2. 感覚と知覚: 感覚や知覚の働き、知覚と心の関係					
3. 思考: 知識の構造、問題解決を促進・妨害する要因					
4. 記憶: 記憶の種類と仕組み、忘却のプロセス					
5. 学習1: 条件反射の仕組み、古典的条件づけ					
6. 学習2: 報酬や罰による行動の制御、道具的条件づけ					
7. 学習3: 観察による学習					
8. 感情1: 感情の獲得、感情表出の特徴、測定方法					
9. 感情2: 感情体験や感情認識のメカニズム					
10. 動機づけと欲求1: 動機づけのタイプ、欲求不満と心の対処方略					
11. 動機づけと欲求2: 「やる気」を促進・妨害する要因					
12. ストレスと健康1: 様々なストレスとストレス反応					
13. ストレスと健康2: ストレスモデルとストレス対処のタイプ					
14. ストレスと健康3: リラクゼーション法					

15. まとめと理解度の確認	
成績評価の方法	
評価：試験 80 % ・ レポート 0 % ・ その他(授業中の小レポート) 20 %	
再評価：有(レポート提出)	
成績評価の基準	
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による	
準備学習などについての具体的な指示	
各回の講義を復習し、内容の理解に努めてください。不明点があれば授業終了時に質問してください。	
教科書	
特に指定しません。必要な資料は授業中に配布します。	
参考書	
・山内弘継・橋本幸(監修)(2006)「心理学概論」ナカニシヤ出版 ・鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃(編著)(2015)「心理学 第5版」東京大学出版会 ・西本武彦・大藪泰・福沢一吉・越川房子(編著)(2009)「テキスト 現代心理学入門」川島書店	
履修上の注意事項	
・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。 ・出欠は、毎回授業中に教員が配布する出席カードへの提出を優先します。	

時間割番号	000006				
科目名	心理学Ⅱ				
担当教員	近藤 育代				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間:月曜2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-7)「他者と自己を知る」:人間の心への理解を深める					
授業の目的、概要等					
心理学は、人の行動とその背後にある心理過程を理解することを目指す学問です。その研究領域は幅広く、日々の心の動きや日常的な行動そのものが研究対象となります。「心理学Ⅱ」ではその中でも応用心理学の分野を中心に、性格や知能の捉え方と測定法、心の発達のプロセス、社会的状況における心理、心理療法といった領域を取り上げます。それらを通して、「心」に対する客観的な視点や科学的な手法を理解し、また、人間理解につながる視点をもてるようになることを目的とします。					
授業の到達目標(SB0s)					
各研究領域の基礎的なトピックについて概説し、現在の心理学における「心」に対するアプローチを学びます。各回のテーマの中で様々な実験・調査を紹介し、また心理検査の体験などを通して、「心」を理解するための様々な視点を養うことを目標とします。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/26	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
2	10/3	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
3	10/17	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
4	10/24	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
5	10/31	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
6	11/7	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
7	11/14	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
8	11/21	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
9	11/28	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
10	12/5	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
11	12/12	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
12	12/19	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
13	1/16	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
14	1/23	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
15	1/30	10:50-12:20	1 番教室	近藤 育代	
授業方法					
講義形式					
授業内容					
1. ガイダンス:授業の説明、心についてのアプローチ					
2. 性格1:性格の捉え方、パーソナリティ理論					
3. 性格2:性格検査の体験					
4. 性格3:パーソナリティ理解の方法					
5. 知能:知能の捉え方、知能検査の体験					
6. 発達1:発達に影響する要因、初期経験の重要性					
7. 発達2:出生時から青年期までの心身の発達					
8. 発達3:認知発達のプロセス、心理社会的発達段階					
9. 社会1:「自己」とは、自己意識と自尊感情のメカニズム					
10. 社会2:対人認知や対人魅力の要因					
11. 社会3:社会的状況における心理					
12. 臨床1:精神分析					
13. 臨床2:クライアント中心療法					
14. 臨床3:認知行動療法					

15. まとめと理解度の確認
成績評価の方法 評価：試験 80 % ・ レポート 0 % ・ その他(授業中の小レポート) 20 % 再評価： 有(レポート提出)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 各回の講義を復習し、内容の理解に努めてください。不明点があれば授業終了時に質問してください。
教科書 特に指定しません。必要な資料は授業中に配布します。
参考書 ・山内弘継・橋本幸(監修)(2006)「心理学概論」ナカニシヤ出版 ・鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃(編著)(2015)「心理学 第5版」東京大学出版会 ・西本武彦・大藪泰・福沢一吉・越川房子(編著)(2009)「テキスト 現代心理学入門」川島書店
履修上の注意事項 ・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。 ・出欠は、毎回授業中に教員が配布する出席カードへの提出を優先します。

時間割番号	000007				
科目名	宗教学Ⅰ				
担当教員	宮田 義矢				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－3)、1－4)、1－5)、1－7)					
授業の目的、概要等					
目的: 諸宗教を題材に、異なる社会・異なる立場の人間の信念や思考のあり方を理解し、その中で自らの思考の位置を捉えなおすことを目指します。無宗教者人口が7～8割といわれる日本社会では、無宗教であることが「常識」です。しかし、一旦国外で、あるいは国内で宗教を信仰する人間と出会った時、その常識とはまた別の「常識」が力強く存在していることに驚くでしょう。諸宗教の教義や歴史について理解を深めていくことで、我々の常識がどのような立場にあるのか、あるいはどのように形成されてきたのかを考えていきましょう。概要: 授業では宗教学の様々なアプローチ、宗教の関わる事件、日本や世界の諸宗教などを取り上げます。					
授業の到達目標(SB0s)					
宗教学的な考え方にに基づき、宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/15	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
2	4/22	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
3	5/6	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
4	5/13	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
5	5/20	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
6	5/27	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
7	6/3	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
8	6/10	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
9	6/17	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
10	6/24	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
11	7/1	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
12	7/8	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
13	7/15	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
14	7/22	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
15	7/29	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
授業方法					
パワーポイントを用い、講義形式で行いますが、到達目標で掲げた「宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること」を達成するため、講義内容に即したテーマについて、適宜リアクションペーパーを提出して頂きます。授業内で提起される問題について、考える姿勢で臨んでください。					
授業内容					
第1回 ガイダンス: 授業内容の紹介、成績評価の方法。					
第2回 「無宗教」の日本人: 「無宗教」意識の来源。					
第3回 日本の宗教伝統: 日本宗教史の概観。					
第4回 メディアと宗教: 宗教事件の報道。					
第5回 「カルト」問題: どこからが「カルト」なのか。					
第6回 日本仏教の位置: 日本仏教の特徴。					
第7回 シャーマニズム: 憑依から預言まで。					
第8回 宗教心理学: 心理現象としての宗教理解。					
第9回 死生観: 現代的な死生観の構築。					
第10回 死後生信仰: 死後生信仰の展開。					
第11回 一神教①: 神の登場。					
第12回 一神教②: 神の変質(ユダヤ教・キリスト教・イスラーム教)。					

第 13 回 聖典:現代の宗教問題と聖典の関わり。 第 14 回 聖地と巡礼:「宗教」を通じて見ることの意義。 第 15 回 授業内試験:試験と授業のまとめ
成績評価の方法 評価 : 試験 50% ・ その他(リアクションペーパー、小レポート)50% 再評価: 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 各回の講義をテーマにしたがって要約し、宗教学的視点を養うようにしてください。
教科書 教科書は指定しません。毎回レジュメを配布します。
参考書 近年の宗教学入門書として、次の2冊をあげておきます。島藺進[ほか]編『宗教学キーワード』有斐閣、2006 年。岡田典夫[ほか]著『はじめて学ぶ宗教:自分で考えたい人のため』有斐閣、2011 年。そのほか、適宜授業時に紹介します。
履修上の注意事項 リアクション・ペーパーの配分が大きいため、授業への出席状況が、成績評価に反映します。欠席・遅刻のないよう、心がけてください。出欠は、教員がとる出欠(リアクション・ペーパー、出席カード)を優先します。期末試験を受験するには、原則として、授業回数の2/3の出席が必要です。

時間割番号	000008				
科目名	宗教学Ⅱ				
担当教員	宮田 義矢				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－3)、1－4)、1－5)、1－7)					
授業の目的、概要等					
目的: 諸宗教を題材に、異なる社会・異なる立場の人間の信念や思考のあり方を理解し、その中で自らの思考の位置を捉えなおすことを目指します。無宗教者人口が7～8割といわれる日本社会では、無宗教であることが「常識」です。しかし、一旦国外で、あるいは国内で宗教を信仰する人間と出会った時、その常識とはまた別の「常識」が力強く存在していることに驚くでしょう。諸宗教の教義や歴史について理解を深めていくことで、我々の常識がどのような立場にあるのか、あるいはどのように形成されてきたのかを考えていきましょう。概要: 授業では宗教学の様々なアプローチ、宗教の関わる事件、日本や世界の諸宗教などを取り上げます。					
授業の到達目標(SB0s)					
宗教学的な考え方にに基づき、宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/30	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
2	10/7	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
3	10/14	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
4	10/21	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
5	10/28	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
6	11/4	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
7	11/11	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
8	11/18	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
9	11/25	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
10	12/2	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
11	12/9	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
12	12/16	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
13	1/13	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
14	1/20	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
15	1/27	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
授業方法					
パワーポイントを用い、講義形式で行いますが、到達目標で掲げた「宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること」を達成するため、講義内容に即したテーマについて、適宜リアクションペーパーを提出して頂きます。授業内で提起される問題について、考える姿勢で臨んでください。					
授業内容					
第1回 ガイダンス: 授業内容の紹介、成績評価の方法。					
第2回 「無宗教」の日本人: 「無宗教」意識の来源。					
第3回 シャーマニズム: 世界的に流行した「こつくりさん」。					
第4回 スピリチュアル: 日本人の「宗教」意識の一展開。					
第5回 契約と宗教: アブラハムの宗教。					
第6回 苦難と宗教: イエスとキリスト教の教義。					
第7回 宗教の好不況: 近現代における宗教の衰退・復興。					
第8回 修行と宗教: 初期仏教から大乘仏教へ。					
第9回 日本の死生観: 死生観と仏教。					
第10回 共同体としての宗教: イスラームの成立。					
第11回 「異文化理解」の問題: ジハードを例に。					
第12回 「宗教」という概念: 儒教は「宗教」か否か。					

第 13 回 宗教と健康:道教と現代中国の気功ブーム。 第 14 回 聖地を巡る争い:「宗教」を通じて見ることの意義。 第 15 回 授業内試験:試験と授業のまとめ
成績評価の方法 評価 : 試験 50% ・ その他(リアクションペーパー、小レポート)50% 再評価: 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 各回の講義をテーマにしたがって要約し、宗教学的視点を養うようにしてください。
教科書 教科書は指定しません。毎回レジュメを配布します。
参考書 近年の宗教学入門書として、次の2冊をあげておきます。島藺進[ほか]編『宗教学キーワード』有斐閣、2006 年。岡田典夫[ほか]著『はじめて学ぶ宗教:自分で考えたい人のため』有斐閣、2011 年。そのほか、適宜授業時に紹介します。
履修上の注意事項 リアクション・ペーパーの配分が大きいため、授業への出席状況が、成績評価に反映します。欠席・遅刻のないよう、心がけてください。出欠は、教員がとる出欠(リアクション・ペーパー、出席カード)を優先します。期末試験を受験するには、原則として、授業回数の2/3 の出席が必要です。

時間割番号	000009																																																																																																				
科目名	芸術 I																																																																																																				
担当教員	木津 文哉, 豊福 誠, 林 武史, 齋藤 典彦, 青木 宏希																																																																																																				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2																																																																																																
曜日・時間: 金曜日 2 限 対象学科: 医学科、歯学科 募集人数: 20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): I－6																																																																																																					
主な講義場所 座学: 10 番教室 実技: 13 番教室																																																																																																					
授業の目的、概要等 この科目は、彫刻、絵画、工芸、デザイン、映像メディア等の芸術における様々な分野の表現について講義と実習を通して学ぶ。芸術の視点から、人間、社会、歴史、分野、表現等について幅広く捉え、特に人間と美術の関わりについて探求する。																																																																																																					
授業の到達目標(SBOs) 人間活動としての芸術とその歴史、表現について理解する。人間と美術の関わりについて理解する。特定分野の表現を実習で実現できる。																																																																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>担当教員</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/15</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>第 1 回</td><td>青木 宏希</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/22</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>第 2 回</td><td>青木 宏希 林 武史</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/13</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>第 3 回</td><td>林 武史</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/20</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>第 4 回</td><td>木津 文哉</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/27</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>第 5 回</td><td>木津 文哉</td></tr> <tr><td>6</td><td>6/3</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>第 6 回</td><td>齋藤 典彦</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/10</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>第 7 回</td><td>齋藤 典彦</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/17</td><td>10:50-12:20</td><td>13 番教室</td><td>第 8 回</td><td>青木 宏希</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/24</td><td>10:50-12:20</td><td>13 番教室</td><td>第 9 回</td><td>青木 宏希</td></tr> <tr><td>10</td><td>7/1</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>第 10 回</td><td>豊福 誠</td></tr> <tr><td>11</td><td>7/8</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>第 11 回</td><td>豊福 誠</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/15</td><td>10:50-12:20</td><td>13 番教室</td><td>第 12 回</td><td>青木 宏希</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/22</td><td>10:50-12:20</td><td>13 番教室</td><td>第 13 回</td><td>青木 宏希</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/29</td><td>10:50-12:20</td><td>13 番教室</td><td>第 14 回</td><td>青木 宏希</td></tr> <tr><td>15</td><td>9/1</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>第 15 回</td><td>青木 宏希</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	4/15	10:50-12:20	10 番教室	第 1 回	青木 宏希	2	4/22	10:50-12:20	10 番教室	第 2 回	青木 宏希 林 武史	3	5/13	10:50-12:20	10 番教室	第 3 回	林 武史	4	5/20	10:50-12:20	10 番教室	第 4 回	木津 文哉	5	5/27	10:50-12:20	10 番教室	第 5 回	木津 文哉	6	6/3	10:50-12:20	10 番教室	第 6 回	齋藤 典彦	7	6/10	10:50-12:20	10 番教室	第 7 回	齋藤 典彦	8	6/17	10:50-12:20	13 番教室	第 8 回	青木 宏希	9	6/24	10:50-12:20	13 番教室	第 9 回	青木 宏希	10	7/1	10:50-12:20	10 番教室	第 10 回	豊福 誠	11	7/8	10:50-12:20	10 番教室	第 11 回	豊福 誠	12	7/15	10:50-12:20	13 番教室	第 12 回	青木 宏希	13	7/22	10:50-12:20	13 番教室	第 13 回	青木 宏希	14	7/29	10:50-12:20	13 番教室	第 14 回	青木 宏希	15	9/1	10:50-12:20		第 15 回	青木 宏希
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																																																
1	4/15	10:50-12:20	10 番教室	第 1 回	青木 宏希																																																																																																
2	4/22	10:50-12:20	10 番教室	第 2 回	青木 宏希 林 武史																																																																																																
3	5/13	10:50-12:20	10 番教室	第 3 回	林 武史																																																																																																
4	5/20	10:50-12:20	10 番教室	第 4 回	木津 文哉																																																																																																
5	5/27	10:50-12:20	10 番教室	第 5 回	木津 文哉																																																																																																
6	6/3	10:50-12:20	10 番教室	第 6 回	齋藤 典彦																																																																																																
7	6/10	10:50-12:20	10 番教室	第 7 回	齋藤 典彦																																																																																																
8	6/17	10:50-12:20	13 番教室	第 8 回	青木 宏希																																																																																																
9	6/24	10:50-12:20	13 番教室	第 9 回	青木 宏希																																																																																																
10	7/1	10:50-12:20	10 番教室	第 10 回	豊福 誠																																																																																																
11	7/8	10:50-12:20	10 番教室	第 11 回	豊福 誠																																																																																																
12	7/15	10:50-12:20	13 番教室	第 12 回	青木 宏希																																																																																																
13	7/22	10:50-12:20	13 番教室	第 13 回	青木 宏希																																																																																																
14	7/29	10:50-12:20	13 番教室	第 14 回	青木 宏希																																																																																																
15	9/1	10:50-12:20		第 15 回	青木 宏希																																																																																																

授業方法 授業は初回にガイダンスを行う。全 15 回の授業の 1～7、10、11 回を各専門領域の講師による講義。8、9、12～15 回をデッサン実習とする。
授業内容 授業内容 第 1 回 芸術 I ガイダンス デザイン論 第 2・3 回 彫刻論 第 4・5 回 映像メディア論 第 6・7 回 絵画論 第 8・9 回 デッサン実習 第 10・11 回 工芸論 第 12～15 回 デッサン実習
成績評価の方法 評価：レポート66% ・デッサン実習44% ※レポート出席点実習作品などで総合的に評価する。 再評価：無 レポート提出には 3 分の 2 以上の出席が必要
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 各回美術の専門分野をもった教員による講義となる。自主的に美術館や博物館等で自分の興味のある美術・工芸に関わる作品を幅広く鑑賞しておく事が望ましい。
連絡先 教養教務・支援係までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 教養教務・支援係までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000040				
科目名	芸術Ⅱ				
担当教員	室田 尚子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間:金曜2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-6)					
授業の目的、概要等					
〈社会における芸術音楽と大衆音楽〉西洋音楽は、大きく「芸術音楽」と「大衆音楽」という2つのジャンルに分けることができる。だが、歴史的に見て、この2つのジャンルが互いに影響を及ぼし合う中で生まれた音楽は少なくない。また、どちらのジャンルに属するのか、すぐには判断できない作品もある。そもそも、「芸術音楽」と「大衆音楽」というジャンル概念そのものが、常に固定したものではなく、歴史的・文化的・地理的なコンテクストによって変化していることにも注意が必要だ。本講義では、特に社会状況との密接な関連から生まれた音楽を紹介しながら、ジャンルの考え方や、社会における音楽のあり方について考えていく。					
授業の到達目標(SB0s)					
①音楽を社会における文化活動の1つとしてとらえ、その多様なあり方を知ること。					
②音楽における「ジャンル」について問題意識を持つこと。					
③「音楽とは何か」について自分なりの考えを育み、それを言語化すること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/30	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
2	10/7	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
3	10/14	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
4	10/21	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
5	10/28	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
6	11/4	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
7	11/11	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
8	11/18	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
9	11/25	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
10	12/2	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
11	12/9	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
12	12/16	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
13	1/13	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
14	1/20	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
15	1/27	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
授業方法					
CD や DVD を鑑賞しながらの講義形式。					
授業内容					
1. 授業内容についてのガイダンス					
2. 「芸術音楽」と「大衆音楽」～現代社会におけるジャンルの問題					
3. 西洋音楽の崩壊と再生～ワーグナーの楽劇					
4. オペラの革新～ドビュッシーの『ペレアスとメリザンド』					
5. ジャズの影響圏					
6. 芸術キャバレーとその音楽					
7. オペラの解体～ヴァイルの『三文オペラ』					
8. 映画の音楽					
9. 社会が音楽を生み出す～映画『カストラート』					
10. ジェンダーと音楽～オペラ『蝶々夫人』をめぐる諸問題					
11. 商業音楽としてのクラシック					
12. ネットと音楽～ボーカロイドの可能性					

13. 特撮と音楽～仮面ライダーというジャンル 14. ヴィジュアル系の地平 15. 学期末試験
成績評価の方法 評価：試験 70% ・ レポート % ・ その他(出席) 30% 再評価： 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習は特に必要なし。復習については、授業で鑑賞した作品を自分でもう一度鑑賞し直し、授業内容についてノートにまとめておくことが望ましい。
教科書 特に指定しない。
参考書 特になし。
履修上の注意事項 ・出欠は教員が調査票によって取るものを優先させる。 ・鑑賞が中心の授業なので、きちんと出席し授業を受けることが何よりも重要である。 ・原則として授業開始 30 分を過ぎてからの遅刻は認めない。 ・授業はパワーポイントによって行うが、その内容を配布することはしないので各自ノートをとること。 ・授業中パワーポイントの画面を撮影することは禁止する。
備考 キーワード: 音楽、クラシック、オペラ、ポピュラー音楽、ジャズ、シャンソン、ロック、映画、ジェンダー、ボーカロイド、ヴィジュアル系

時間割番号	000012				
科目名	歴史学A I				
担当教員	高尾 千津子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜 2 限					
募集人数: 40 人					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3					
授業の目的、概要等					
＜ヨーロッパ近現代史＞ 20 世紀はロシア革命によって幕が開き、ソ連崩壊によって終焉を迎えた。二つの大戦を経験し、冷戦によって分断されたヨーロッパの経験はヨーロッパにとどまらず現代世界を理解する上で重要な視座を与えてくれる。講義では、冷戦終結とソ連崩壊によって大きく変わるまでのヨーロッパの近代史を、ヨーロッパ東西の歴史的、文化的な断層に着目しながら考えていきたい。					
授業の到達目標(SB0s)					
ヨーロッパ近代史のダイナミズムを知り、現代世界の成り立ちを理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/15	10:50-12:20	6 番教室	高尾 千津子	
2	4/22	10:50-12:20	6 番教室	高尾 千津子	
3	5/6	10:50-12:20	6 番教室	高尾 千津子	
4	5/13	10:50-12:20	6 番教室	高尾 千津子	
5	5/20	10:50-12:20	6 番教室	高尾 千津子	
6	5/27	10:50-12:20	6 番教室	高尾 千津子	
7	6/3	10:50-12:20	6 番教室	高尾 千津子	
8	6/10	10:50-12:20	6 番教室	高尾 千津子	
9	6/17	10:50-12:20	6 番教室	高尾 千津子	
10	6/24	10:50-12:20	6 番教室	高尾 千津子	
11	7/1	10:50-12:20	6 番教室	高尾 千津子	
12	7/8	10:50-12:20	6 番教室	高尾 千津子	
13	7/15	10:50-12:20	6 番教室	高尾 千津子	
14	7/22	10:50-12:20	6 番教室	高尾 千津子	
15	7/29	10:50-12:20	6 番教室	高尾 千津子	
授業方法					
講義形式					
授業内容					
1 ガイダンス					
2 ヨーロッパの東と西 1					
3 ウクライナ ヨーロッパの断層					
4 19 世紀のヨーロッパ					
5 ナショナリズムとはなにか					
6 社会主義と共産主義					
7 第一次世界大戦の起源					
8 ロシア革命とソ連の形成					
9 東欧の成立と少数民族問題					
10 全体主義の時代					
11 スターリン体制とはなにか					
12 第二次世界大戦					
13 戦後のヨーロッパと冷戦					
14 ソ連の崩壊とヨーロッパ統合					

15 まとめ
成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 40% ・ その他(授業への参加とコメント・ペーパー、課題図書感想) 60% 再評価： 有(再評価方法 レポート) レポート提出には3分の2以上の出席が必要である
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 各回ごとに参考文献を指示する。またパワーポイントファイルと資料を授業ごとに配布するので、必ず復習しておくこと。
教科書 授業で資料を配付する
参考書 ヨーロッパ史の時間と空間／オスカー・ハレツキ：慶応大学出版会、2002 共産党宣言／マルクス、エンゲルス [著]、大内兵衛、向坂逸郎 訳：岩波書店、2007 民族とネイション：ナショナリズムという難問／塩川伸明 著、岩波書店、2008 ブラッドランド：ヒトラーとスターリン大虐殺の真実／ティモシー・スナイダー 著、布施由紀子 訳：筑摩書房、2015
履修上の注意事項 5回以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。
連絡先 takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 12:30～13:30

時間割番号	000013				
科目名	歴史学AⅡ				
担当教員	高尾 千津子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜 2 限					
募集人数: 40 人					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3					
授業の目的、概要等					
<20 世紀の日本> 明治以来ヨーロッパ・モデルを導入し、近代化に努めた日本は、同時に植民地帝国の道を歩んだ。日本の 20 世紀前半は日露戦争から第一次世界大戦、シベリア出兵、満洲事変、日中戦争、太平洋戦争へと連なる「戦争の半世紀」でもあった。講義では大正から昭和前期の日本と日本人の生き方を、内外からの視点と当時の資料を通して検討していく。					
授業の到達目標(SB0s)					
近代日本を取り巻く国際情勢、戦前日本の思想と行動を理解し、現代への指針を得る。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/30	10:50-12:20	9 番教室	高尾 千津子	
2	10/7	10:50-12:20	9 番教室	高尾 千津子	
3	10/14	10:50-12:20	9 番教室	高尾 千津子	
4	10/21	10:50-12:20	9 番教室	高尾 千津子	
5	10/28	10:50-12:20	9 番教室	高尾 千津子	
6	11/4	10:50-12:20	9 番教室	高尾 千津子	
7	11/11	10:50-12:20	9 番教室	高尾 千津子	
8	11/18	10:50-12:20	9 番教室	高尾 千津子	
9	11/25	10:50-12:20	9 番教室	高尾 千津子	
10	12/2	10:50-12:20	9 番教室	高尾 千津子	
11	12/9	10:50-12:20	9 番教室	高尾 千津子	
12	12/16	10:50-12:20	9 番教室	高尾 千津子	
13	1/13	10:50-12:20	9 番教室	高尾 千津子	
14	1/20	10:50-12:20	9 番教室	高尾 千津子	
15	1/27	10:50-12:20	9 番教室	高尾 千津子	
授業方法					
講義形式					
授業内容					
1 ガイダンス					
2 近代日本と世界					
3 日露戦争					
4 第一次世界大戦と日本					
5 ロシア革命とシベリア出兵					
6 昭和不況					
7 日系移民と「排日移民法」					
8 満洲事変と「満洲国」					
9 満洲統治の実態と「五族協和」					
10 日中戦争					
11 日本をとりまく国際関係					
12 日米開戦					
13 戦時下の国民					
14 敗戦と戦後の日本					
15 まとめ					

成績評価の方法 評価：試験 0% ・ 最終レポート 40% ・ その他(授業への参加とコメント・ペーパー、課題図書感想文) 60 % 再評価： 有(再評価方法 レポート) レポート提出資格には3分の2以上の出席を必要とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で配布するプリントを復習すること。また各回ごとに提示する参考文献を読んでおく。
教科書 授業でプリント、資料を配付する。
参考書 模索する 1930 年代：日米関係と陸軍中堅層／加藤陽子 著、山川出版社, 2012 敗北を抱きしめて：第二次大戦後の日本人／ジョン・ダワー [著]、三浦陽一、高杉忠明 訳、岩波書店, 2004 単一民族神話の起源：〈日本人〉の自画像の系譜／小熊英二 著、新曜社, 1995 カメラ：満洲国の肖像／山室 信一 著、中央公論新社 生きて帰ってきた男／小熊英二、岩波新書, 2015 ライシャワーの日本史／エドウィン・O.ライシャワー [著]、國弘正雄 訳、講談社, 2001
履修上の注意事項 5 回以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。
連絡先 takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 12:30～13:30

時間割番号	000010				
科目名	歴史学B I				
担当教員	高尾 千津子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 月曜 1 限 募集人数: 40 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3					
授業の目的、概要等					
＜ヨーロッパ社会とユダヤ教徒の歴史＞ ユダヤ教はキリスト教の母胎であり、イスラーム教にも影響を与えた。神殿破壊後各地に離散したユダヤ人は、宗教的少数派としていかに生き残ったのだろうか。講義では中世から近現代にいたるまでのヨーロッパにおけるユダヤ教徒の内部社会と文化、キリスト教世界のユダヤ観、反ユダヤ主義等の問題を通して、ヨーロッパの文化と歴史を新たな角度から考えたい。					
授業の到達目標(SB0s)					
キリスト教世界のなかで少数派として存続したユダヤ人の歴史を通して、ヨーロッパの深層を理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/11	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
2	4/18	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
3	4/25	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
4	5/2	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
5	5/9	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
6	5/16	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
7	5/23	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
8	5/30	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
9	6/6	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
10	6/13	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
11	6/20	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
12	6/27	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
13	7/4	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
14	7/11	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
15	7/25	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
授業方法					
講義形式					
授業内容					
1 ガイダンス					
2 古代ユダヤ教とその成り立ち					
3 ディアスポラとガレート					
4 キリスト教とユダヤ教の関係					
5 ゲットーと内部社会					
6 中世ヨーロッパのユダヤ教徒					
7 フランス革命と解放					
8 ドレフュス事件と反ユダヤ主義					
9 ロシア帝国のユダヤ人					
10 ポグロムとはなにか					
11 シオニズム運動の始まりと発展					
12 アメリカのユダヤ人					
13 ナチスドイツと反ユダヤ主義					
14 ホロコースト					

15 まとめ
成績評価の方法 評価：試験 0%・レポート 60%・その他(授業への参加とコメントペーパー) 40 % 再評価：有(再評価方法 レポート) レポート提出には3分の2以上の出席を必要とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 毎回ごとに指示した参考文献やプリントを読んでおく。
教科書 授業で資料を配付する。
参考書 ロシアとユダヤ人：苦悩の歴史と現在／高尾千津子 [著]: 東洋書店, 2014 ユダヤ教の歴史／市川裕 著.: 山川出版社, 2009 ユダヤ系アメリカ人／本間長世: PHP 新書, 1998 封印されたホロコースト：ローズヴェルト、チャーチルはどこまで知っていたか／リチャード・ブライتمان 著, 川上洸 訳: 大月書店, 2000
履修上の注意事項 5 回以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。
連絡先 takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 12:30～13:30

時間割番号	000011				
科目名	歴史学BⅡ				
担当教員	高尾 千津子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間:月曜1限 募集人数:40人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-3					
授業の目的、概要等 ＜西洋近代と「パレスチナ・イスラエル紛争」＞ 「パレスチナ・イスラエル紛争」は決して数千年の長きにわたるものではなく、またイスラームとユダヤ教の対立から始まったのでもない。ヨーロッパ近代における「ユダヤ人問題」と反ユダヤ主義、帝国主義と戦争、冷戦などの要因がどのようにこの問題を生み出し、複雑化させていったかを考えていく。					
授業の到達目標(SB0s) 中東問題の歴史的根源を知り、国際社会がいかに中東問題、パレスチナ問題に関わってきたのかについて理解を深める。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/26	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
2	10/3	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
3	10/17	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
4	10/24	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
5	10/31	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
6	11/7	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
7	11/14	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
8	11/21	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
9	11/28	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
10	12/5	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
11	12/12	09:10-10:40	6 番教室	高尾 千津子	
12	12/19	09:10-10:40	1 番教室	高尾 千津子	
13	1/16	09:10-10:40	1 番教室	高尾 千津子	
14	1/23	09:10-10:40	1 番教室	高尾 千津子	
15	1/30	09:10-10:40	1 番教室	高尾 千津子	
授業方法 講義が中心であるが、履修者の理解をより深めるために、グループ討論を適宜行う。					
授業内容 1 ガイダンス 2 パレスチナ問題とは何か 3 パレスチナとナクバ 4 発端としての第一次世界大戦 5 イギリス委任統治がもたらしたもの 6 ホロコースト、反ユダヤ主義とユダヤ難民 7 国連とパレスチナ分割決議 8 近現代史の総括とグループ討論 9 パレスチナ難民問題 10 冷戦と中東戦争の歴史 11 インティファダとはなにか 12 中東和平の進展と挫折 13 現代イスラエルの多様性 14 アメリカとイスラエル					

15 総括とグループ討論
成績評価の方法 評価：試験 0% ・ 最終レポート 40% ・ その他(討論への参加、コメントペーパー、課題図書) 60% 再評価：有(再評価方法 レポート) レポート提出には3分の2以上の出席を必要とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で配布したプリントと資料を必ず復習しておくこと。提示した参考文献を下調べしておくこと。
教科書 授業でプリントを配付する。
参考書 イスラエルを知るための60章／立山良司 編著、明石書店、2012 アラブとイスラエル：パレスチナ問題の構図／高橋和夫 著、講談社、1992 〈中東〉の考え方／酒井啓子 著、東京都品川区立品川図書館、2012 平和を破滅させた和平：中東問題の始まり「1914-1922」／デイヴィッド・フロムキン 著、平野勇夫、棕田直子、畑長年 訳、紀伊國屋書店、2004 世界史の中のパレスチナ問題／臼杵陽 著、講談社、2013 ホロコースト後のユダヤ人／野村真理、世界思想社、2012
履修上の注意事項 5回以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。
連絡先 takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 12:30～13:30

時間割番号	000014				
科目名	科学史 I				
担当教員	田中 丹史				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－3					
授業の目的、概要等					
現代社会において科学技術が重要な役割を担っているのは言うまでもない。本講義では、歴史学のアプローチから科学や技術が過去にどのような意義を持っていたのかを分析する。その上で現代社会における科学技術の特徴や科学技術と市民社会との関係を考察することを目指す。					
授業の到達目標(SBOs)					
1. 科学史・技術史の基礎を理解する。					
2. 現代社会における科学技術の意義を考察できる。					
3. 医療の概史を知ることができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/15	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
2	4/22	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
3	5/6	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
4	5/13	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
5	5/20	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
6	5/27	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
7	6/3	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
8	6/10	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
9	6/17	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
10	6/24	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
11	7/1	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
12	7/8	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
13	7/15	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
14	7/22	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
15	7/29	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
授業方法					
講義形式をとる					
授業内容					
第1回:ガイダンス(本講義の目的)					
第2回:古代ギリシャ・ローマと科学・技術					
第3回:古代ギリシャ・ローマ医学史:ヒポクラテスとガレノス					
第4回:病院と医学史					
第5回:中世の産業革命と12世紀ルネサンス					
第6回:疾病史:ペストとコレラ					
第7回:ルネサンスと科学・技術					
第8回:科学革命					
第9回:産業革命と科学・技術、19世紀以降のエンジニア					
第10回:科学の職業化と専門化					
第11回:20世紀以降の科学技術政策					
第12回:医療政策の展開					
第13回:日本の公害:水俣病とイタイイタイ病					
第14回:日本の科学技術の歴史					

第 15 回:まとめ
成績評価の方法 評価：試験　％・レポート100　％・その他(　)　％ 再評価：有(再評価方法 レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業中に指示した文献等を使い、各自で予習・復習してください。
教科書 なし
参考書 橋本毅彦『〈科学の発想〉をたずねて:自然哲学から現代科学まで』左右社, 2010. 中島秀人『社会の中の科学』放送大学教育振興会, 2008.
履修上の注意事項 特になし
参照ホームページ なし

時間割番号	000015				
科目名	科学史Ⅱ				
担当教員	田中 丹史				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－3					
授業の目的、概要等					
本講義では現代社会における先端科学技術をめぐる議論の中でもとくに重要な対象となっている環境問題をテーマとして取り上げる。分析視角としては社会的な決定手続きや倫理の観点を重視しつつ、豊富な事例分析に基づき議論を進めていく予定である。					
授業の到達目標(SBOs)					
1. 現代の環境問題の基礎を理解する。					
2. 環境問題に関する社会的手続きについて理解する。					
3. 環境倫理の基礎を理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/30	09:10-10:40	6 番教室	田中 丹史	
2	10/7	09:10-10:40	6 番教室	田中 丹史	
3	10/14	09:10-10:40	6 番教室	田中 丹史	
4	10/21	09:10-10:40	6 番教室	田中 丹史	
5	10/28	09:10-10:40	6 番教室	田中 丹史	
6	11/4	09:10-10:40	6 番教室	田中 丹史	
7	11/11	09:10-10:40	6 番教室	田中 丹史	
8	11/18	09:10-10:40	6 番教室	田中 丹史	
9	11/25	09:10-10:40	6 番教室	田中 丹史	
10	12/2	09:10-10:40	6 番教室	田中 丹史	
11	12/9	09:10-10:40	6 番教室	田中 丹史	
12	12/16	09:10-10:40	6 番教室	田中 丹史	
13	1/13	09:10-10:40	6 番教室	田中 丹史	
14	1/20	09:10-10:40	6 番教室	田中 丹史	
15	1/27	09:10-10:40	6 番教室	田中 丹史	
授業方法					
講義形式をとる					
授業内容					
第1回:ガイダンス(本講義の目的)					
第2回:水俣病の歴史的考察					
第3回:水俣病の歴史的考察(2)					
第4回:水俣病とイタイイタイ病の比較検討					
第5回: 地球温暖化論とコミュニケーション					
第6回:地球温暖化論と科学諮問・国際関係					
第7回:環境リスクマネジメントの概論					
第8回:生物多様性の基礎					
第9回:遺伝資源へのアクセスと利益配分					
第10回:生物多様性と希少種の保全・保護					
第11回:アメリカの自然の権利訴訟					
第12回:日本の自然の権利訴訟					
第13回:動物の権利論の概説					
第14回:動物の権利論と生命操作					
第15回:理解度の確認 本講義のまとめ					

成績評価の方法 評価：試験　％・レポート　100％・その他（　）　％ 再評価：有(再評価方法 レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業中に指示した文献等を使い、各自で予習・復習してください。
教科書 なし
参考書 授業中に指示します。
履修上の注意事項 特になし
参照ホームページ なし

時間割番号	000016																																																																					
科目名	文学A I																																																																					
担当教員	土佐 朋子																																																																					
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2																																																																	
・時間・曜日: 月曜 1 限 ・募集人数: 40 名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテシー): 別表1－1) 言語を通した人間の創造的営みを理解する 別表1－7) 人間の心への理解を深める																																																																						
授業の目的、概要等 〈「死」から「詩」への昇華 〉 本授業では、高村光太郎『智恵子抄』を題材として、生々しい現実を美しい観念の世界へと昇華させる「言葉」の働きについて考察する。 『智恵子抄』は、統合失調症を患ったまま亡くなる妻・智恵子に関する詩を取捨選択して編集された詩集である。二人の出会いから始まり、結婚、そして智恵子の発症と死に至るまでが、光太郎の詩によって紡がれていく。 そこには、一点のほころびもない美しい「純愛」の世界が構築されている。従来、この「純愛」の美は、二人の実体としての関係性と精神性とともに宿るものとして理解され、「珠玉の純愛詩集」としてもてはやされてきた。しかし、本当にそうなのか。本授業では、詩集に繰り広げられる「純愛」の美を、戦時下を背景として、光太郎が、言葉によって創り上げた観念の世界としてとらえることを試みる。そのことを通して、実体とは異なる、もう一つの「真実」を創り上げる「言葉」の機能を考えてゆく。																																																																						
授業の到達目標(SBOs) ①人の死がどのように言語化されるのかということに対する理解を深める。 ②文学作品を精読する力を身につけること。 ③作品世界を適切に理解して、そこから自分なりの問題意識を持てるようになること。																																																																						
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/11</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>2</td><td>4/18</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>3</td><td>4/25</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>4</td><td>5/2</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>5</td><td>5/9</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>6</td><td>5/16</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>7</td><td>5/23</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>8</td><td>5/30</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>9</td><td>6/6</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>10</td><td>6/13</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>11</td><td>6/20</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>12</td><td>6/27</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/11	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子	2	4/18	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子	3	4/25	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子	4	5/2	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子	5	5/9	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子	6	5/16	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子	7	5/23	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子	8	5/30	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子	9	6/6	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子	10	6/13	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子	11	6/20	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子	12	6/27	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																		
1	4/11	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子																																																																		
2	4/18	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子																																																																		
3	4/25	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子																																																																		
4	5/2	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子																																																																		
5	5/9	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子																																																																		
6	5/16	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子																																																																		
7	5/23	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子																																																																		
8	5/30	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子																																																																		
9	6/6	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子																																																																		
10	6/13	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子																																																																		
11	6/20	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子																																																																		
12	6/27	09:10-10:40	10 番教室	土佐 朋子																																																																		

			室		
13	7/4	09:10-10:40	10 番教 室	土佐 朋子	
14	7/11	09:10-10:40	10 番教 室	土佐 朋子	
15	7/25	09:10-10:40	10 番教 室	土佐 朋子	
授業方法 講義形式の予定。受講生の意見を聞くことがある。					
授業内容 第1回 本授業の目的-なぜ「文学」を学ぶのか- 第2回 「言葉」と「真実」-「読む」とはどういう営みか- 第3回 『智恵子抄』の編纂と享受-光太郎の戦争詩集と『智恵子抄』- 第4回 明治期のエリート青年画家の青春-西洋文化に対するコンプレックスと憧憬- 第5回 『智恵子抄』第1期作品-結婚は「敗北」- 第6回 『智恵子抄』第1期作品-反俗の男と女- 第7回 『智恵子抄』第1期作品-永遠の少女- 第8回 『智恵子抄』の中の「智恵子」-智恵子は「少女」か- 第9回 『智恵子抄』第2期作品-仙境の発見- 第10回 『智恵子抄』第2期作品-清貧への志向- 第11回 『智恵子抄』第3期作品-妻の「狂気」を詠む夫- 第12回 『智恵子抄』第3期作品-妻の「死」を詠む夫- 第13回 光太郎による戦争詩の創作 第14回 戦争詩集刊行と『智恵子抄』刊行-時局が求める理想の夫婦愛- 第15回 まとめ					
成績評価の方法 評価:試験 0%・レポート 50% その他 50%(授業中小レポート・授業への取り組み等) 再評価:有(再評価の方法 再レポート) ただし、次のような場合、該当学生に対しては、再評価は原則として行わない。 ①レポートにおいて、剽窃、無断引用などが確認された場合。 ②出欠において、代筆や代返などの行為が確認された場合。 ③出欠状況において、基準を満たさない、遅刻が多いなど、良好でないと担当者が判断した場合。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習などについての具体的な指示 授業中に作品にしっかりと向き合う。講義をふまえながら、自分なりの作品に対する「意味づけ」を行う。					
試験の受験資格 レポート提出:3分の2以上の出席を原則とする。					
教科書 『校本 智恵子抄』(角川文庫)／高村光太郎 [著],中村稔 編:角川書店, 1999 他の文庫でも『智恵子抄』は出ていますが、内容が違いますので、間違って購入しないように気をつけてください。					
参考書 『高村光太郎』／吉本隆明 [著]:講談社, 1991 『智恵子抄の光と影』／上杉省和 著:大修館書店, 1999 『詩人の妻 高村智恵子ノート』／郷原宏:未来社, 1983 『女の首 逆光の「智恵子抄」』／黒澤亜里子:ドメス出版社, 1985 『智恵子抄の新見と実証』／大島龍彦 著:新典社, 2008					

『高村光太郎：智恵子と遊ぶ夢幻の生』／湯原かの子 著、ミネルヴァ書房、2003

『高村光太郎のフェミニズム』／駒尺喜美 著、朝日新聞社、1992

『『智恵子抄』の世界』／大島龍彦、大島裕子 編著、新典社、2004

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員のとる出欠を優先させる。 出欠管理システムに打刻されていても、授業の最後に提出する小レポートがない場合には、欠席扱いになる。

連絡先

土佐 朋子:tosalas@tmd.ac.jp

オフィスアワー

土佐 朋子:毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50

管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000017																																																																																				
科目名	文学AⅡ																																																																																				
担当教員	土佐 朋子																																																																																				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
・時間・曜日:月曜1限 ・募集人数:40名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテシー): 別表1－1)言語を通した人間の創造的営みを理解する 別表1－7)人間の心への理解を深める																																																																																					
授業の目的、概要等 〈 近・現代文学における死や病の表象 〉 本授業は、近代以降の文学作品を読むことを通して、西洋諸国から近代的学問・技術・思想が流入してきた明治期以降の文学における人の死や病がどのように描かれてきたのかを考察する。 文学における病気の描写は、実態そのものではない。文学は、社会で共有されるイメージを描き出し、また創り出す。人はなぜ実態とは異なるイメージで病を語り続けるのであろうか。 このような問題意識のもとで、主に徳富蘆花『不如帰』、堀辰雄『風立ちぬ』を題材として、肺結核の表象と、「書く」という営みを書くことの意味について考察する。 『風立ちぬ』の考察には、宮崎駿監督の映画『風立ちぬ』にも言及していきたいと思っている。																																																																																					
授業の到達目標(SBOs) ①人間と言葉や語りに対する関心を高め、問題意識を持てるようになること。 ②日本文学・文化に対する理解を深めること。 ③文学作品を精読する力を身につけること。 ④作品世界を適切に理解して、そこから自分なりの問題意識を持てるようになること。																																																																																					
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/26</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>2</td><td>10/3</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>3</td><td>10/17</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>4</td><td>10/24</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>5</td><td>10/31</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>6</td><td>11/7</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>7</td><td>11/14</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>8</td><td>11/21</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>9</td><td>11/28</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>10</td><td>12/5</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>11</td><td>12/12</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>12</td><td>12/19</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>13</td><td>1/16</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>14</td><td>1/23</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>15</td><td>1/30</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/26	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子	2	10/3	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子	3	10/17	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子	4	10/24	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子	5	10/31	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子	6	11/7	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子	7	11/14	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子	8	11/21	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子	9	11/28	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子	10	12/5	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子	11	12/12	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子	12	12/19	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子	13	1/16	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子	14	1/23	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子	15	1/30	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	9/26	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子																																																																																	
2	10/3	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子																																																																																	
3	10/17	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子																																																																																	
4	10/24	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子																																																																																	
5	10/31	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子																																																																																	
6	11/7	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子																																																																																	
7	11/14	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子																																																																																	
8	11/21	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子																																																																																	
9	11/28	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子																																																																																	
10	12/5	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子																																																																																	
11	12/12	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子																																																																																	
12	12/19	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子																																																																																	
13	1/16	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子																																																																																	
14	1/23	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子																																																																																	
15	1/30	09:10-10:40	1 番教室	土佐 朋子																																																																																	
授業方法 受講者の人数にもよるが、原則として講義形式の予定。																																																																																					
授業内容 第1回 人間と語り／授業の方針 第2・3回 宮崎駿監督作品映画『風立ちぬ』視聴 第4・5回 宮崎駿監督作品映画『風立ちぬ』に関する考察 ※時代背景・堀辰雄と堀越次郎『会議は踊る』との関連性などを資料をもとに考察する。 第6回 堀辰雄『風立ちぬ』-永遠回帰の場-																																																																																					

第7回 堀辰雄『風立ちぬ』-春-という季節、俗世からの脱出、魔の山へ- 第8回 堀辰雄『風立ちぬ』-結核と花- 第9回 堀辰雄『風立ちぬ』-「風」が「立つ」ことの意味- 第10回 堀辰雄『風立ちぬ』-「父」という現象- 第11回 堀辰雄『風立ちぬ』-書けない「私」を書く「私」- 第12回 堀辰雄『風立ちぬ』-未完の美しさ- 第13回 堀辰雄『風立ちぬ』-生と死、「私」の再生- 第14回 徳富蘆花『不如帰』から堀辰雄『風立ちぬ』へ-肺結核の表象- 第15回 まとめ ※以上の内容は、授業の進度などによって、変更する可能性もある。
成績評価の方法 評価:試験 0%・レポート 50% その他 50% (授業中の小レポートおよび授業中の取り組み等) 再評価:有(再評価方法 再レポート) ただし、次のような場合、該当学生に対しては、再評価は原則として行わない。 ①レポートにおいて、剽窃、無断引用などが確認された場合。 ②出欠において、代筆や代返などの行為が確認された場合。 ③出欠状況において、基準を満たさない、遅刻が多いなど、良好でないと担当者が判断した場合。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 作品を事前に読んでおくこと。
試験の受験資格 レポート提出:3分の2以上の出席を原則とする。
教科書 風立ちぬ・美しい村／堀 辰雄／著:新潮社, 1971 :新潮社, 2011 この他にプリントを配布する。
参考書 『対象喪失：悲しむということ』／小此木 啓吾／著:中央公論新社, 1979 『隠喩としての病い』／スーザン・ソントグ [著]; 富山太佳夫 訳スーザン・ソントグ [著]; 富山太佳夫 訳:みすず書房, 2006 『結核の文化史：近代日本における病のイメージ』／福田真人 著:名古屋大学出版会, 1995 『結核という文化：病の比較文化史』／福田真人 著:中央公論新社, 2001 『病気の日本近代史：幕末から平成まで』／秦郁彦 著:文藝春秋, 2011 『明治医事往来』／立川昭二 [著]:講談社, 2013 「風立ちぬ」を語る：宮崎駿とスタジオジブリ、その軌跡と未来／岡田斗司夫 著,FREEex 著:光文社, 2013
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。 出欠管理システムに打刻されていても、授業の最後に提出する小レポートがない場合には、欠席扱いになります。
連絡先 土佐 朋子:tosa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 土佐 朋子:毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50 管理研究棟2階文学研究室

時間割番号	000018																																																																																				
科目名	文学B I																																																																																				
担当教員	土佐 朋子																																																																																				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
・曜日・時間: 金曜1限 ・対象学科: 全学科 ・募集人数: 40名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテシー) 別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－7) 人間の心への理解を深める																																																																																					
授業の目的、概要等 〈日本の神話〉 本授業では、日本の神話を題材として、その特質や、現代の小説やアニメなどにも継承される「語りの型」について考察する。 日本という国家が成立した 7～8 世紀、文学は、まず、神を語ることから始められ、次いで権力者、日本でいえば天皇を語った。そして、市井一般のプライベートを語るようになっていった。このような文学の発生と変遷は、『古事記』『万葉集』『風土記』に記された「神話」や「伝説」に見ることができる。 これらの文学作品を実際に読み、「神話」化および「伝説」化という文学的営為や、日本神話の特質と構造などに対する理解を深める。ジブリ作品などに引き継がれる神話的世界についてもとり上げる予定である。 文学は常に時代や歴史によって産み出されるものであり、だからこそ普遍性を持ち得る。日本文学の始原における「語り」の世界について、理解を深めていきたい。																																																																																					
授業の到達目標(SBOs) ①日本文化に対する理解を深め、自ら主体的に考えを深めることができるようになること。 ②日本の「神話」「伝説」に関する基本的な知識を身につけ、自分なりの解釈を持つこと。 ③日本の古典文学に対する理解を深め、相対的に現代における日本の文化や文学に対する理解も深めること。																																																																																					
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/15</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>2</td><td>4/22</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>3</td><td>5/6</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>4</td><td>5/13</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>5</td><td>5/20</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>6</td><td>5/27</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>7</td><td>6/3</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>8</td><td>6/10</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>9</td><td>6/17</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>10</td><td>6/24</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>11</td><td>7/1</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>12</td><td>7/8</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>13</td><td>7/15</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>14</td><td>7/22</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>15</td><td>7/29</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/15	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	2	4/22	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	3	5/6	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	4	5/13	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	5	5/20	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	6	5/27	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	7	6/3	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	8	6/10	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	9	6/17	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	10	6/24	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	11	7/1	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	12	7/8	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	13	7/15	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	14	7/22	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	15	7/29	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/15	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子																																																																																	
2	4/22	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子																																																																																	
3	5/6	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子																																																																																	
4	5/13	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子																																																																																	
5	5/20	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子																																																																																	
6	5/27	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子																																																																																	
7	6/3	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子																																																																																	
8	6/10	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子																																																																																	
9	6/17	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子																																																																																	
10	6/24	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子																																																																																	
11	7/1	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子																																																																																	
12	7/8	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子																																																																																	
13	7/15	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子																																																																																	
14	7/22	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子																																																																																	
15	7/29	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子																																																																																	
授業方法 講義形式。																																																																																					
授業内容 1. 授業の目的-なぜ日本の神話・伝説を読むのか- 2. 「日本」の誕生と『古事記』『日本書紀』 3. 黄泉の国神話-神の誕生と死- 4. 天岩屋戸神話-秩序と破壊-																																																																																					

5. スサノヲと大国主-成長する神- 6. 国譲り-争う神- 7. 神の世から人の世へ-天孫降臨- 8. 海の世界と人の世界-海幸山幸神話、異境訪問譚- 9. 父と子-ヤマトタケルの物語、悲劇の誕生- 10. 崇る神-大物主神、夜刀神、『もののけ姫』『千と千尋の物語』- 11. 恋愛と反乱-軽太子と軽太郎女、なぜ悲恋は語られるのか- 12. 仁徳天皇の物語-歴史の闇、人々の興味、物語の原動力- 13~14. 雄略天皇の物語-秩序の反転、虚構という装置- 15. まとめ ※以上の内容は、授業の進度によって変更する可能性があります。
成績評価の方法 評価:筆記試験0%・レポート 50% その他 50%(授業の最後に提出する小レポートおよび授業中の取り組み等) 再評価:有(再評価方法 原則として再レポート) ただし、次のような場合、該当学生に対しては、再評価は原則として行わない。 ①レポートにおいて、剽窃、無断引用などが確認された場合。 ②出欠において、代筆や代返などの行為が確認された場合。 ③出欠状況において、基準を満たさない、遅刻が多いなど、良好でないと担当者が判断した場合。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 授業中にしっかりとメモを取りながら講義を聴く。それを土台として、自分自身で作品世界を意味づけられるよう、作品の言葉と向き合う。 また、授業では日本の神話をとりあげるが、世界の神話や現代文化との比較対照など、独自の角度から考察するとよい。
試験の受験資格 レポート提出:原則として3分の2以上の出席。
教科書 古事記:現代語訳付き/中村啓信 訳注:角川学芸出版, 2009 プリントを使用。
参考書 本居宣長『古事記伝』(岩波文庫)、西郷信綱『古事記の世界』(岩波新書)、『新編日本文学全集 古事記』(小学館)、『古典文学大系 古事記』(岩波書店)、『日本古典集成 古事記』(新潮社)、『新編日本古典文学全集 日本書紀』(小学館)、『新編日本古典文学全集 風土記』(小学館)など。 訳文が必要な場合は『新編日本文学全集 古事記』(小学館)が使いやすい。ただし、読み取り方は講義と異なることが多々あるので、それを念頭において利用すること。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。 出欠管理システムに打刻されていても、教員による出欠確認において出席が認められない場合は欠席扱いになります。
連絡先 土佐 朋子:tosalas@tmd.ac.jp
オフィスアワー 土佐 朋子:毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50 管理研究棟2階文学研究室

時間割番号	000019				
科目名	文学BⅡ				
担当教員	土佐 朋子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間:金曜1限					
・対象学科:全学科					
・募集人数:40名					
・科目を履修して得られる能力(コンピテシー)					
別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する					
別表1－7)人間の心への理解を深める					
授業の目的、概要等					
〈 日本文学の始原 〉					
『万葉集』は、日本文学の最初期に編纂された、日本でほとんど初めての文学作品の一つである。					
この8世紀という時代は、日本文化にとって一大ルネッサンス期であり、言語観、死生観などあらゆる認識が大きな転換を遂げることとなった。					
そのような時代を背景として、「文学」も大きく変容しながら豊かな表現性を獲得してゆく。常に最先端の斬新な表現を開拓しようとしていた「古代」の文学は、極めて都会的で革新的なものだと言えよう。					
その「語り」の可能性を追求した「文学」の挑戦について、作品にもとづいて具体的に考察する。					
授業の到達目標(SBOs)					
日本文学がどのように始まったのか、その始原と変容とを理解し、「ことばと人間」の関係性について主体的に思考する力を身につける。					
①日本の文化・文学の特質を理解する。					
②『万葉集』を中心とした日本の古典文学に対する理解を深める。					
③言葉によって語るということの意味を、主体的に考えられるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/30	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	
2	10/7	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	
3	10/14	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	
4	10/21	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	
5	10/28	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	
6	11/4	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	
7	11/11	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	
8	11/18	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	
9	11/25	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	
10	12/2	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	
11	12/9	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	
12	12/16	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	
13	1/13	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	
14	1/20	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	
15	1/27	09:10-10:40	9 番教室	土佐 朋子	
授業方法					
講義形式。					
授業内容					
1. 『万葉集』の宣言－少女にふられる雄略天皇－					
2. 舒明天皇国見歌と額田王三輪山歌―「見えないものが見える」と「見えないものは見えない」、呪術から抒情へ―					
3. 額田王蒲生野遊獵歌―宴席夫婦漫才か三角関係か。7 世紀における文学創作の場をめぐる問題―					
4. 大津皇子謀反事件をめぐる物語1―『日本書紀』『懷風藻』『万葉集』、どうしてこんなに違うのか。歴史的事実と物語的事実―					

5. 大津皇子謀反事件をめぐる物語2—謀反と恋愛— 6. 柿本人麻呂・日並皇子挽歌—神話が再生産される8世紀— 7. 柿本人麻呂・安騎野遊獵歌—「時間」という演出方法の発明— 8. 柿本人麻呂・泣血哀慟歌—二つの「妻を喪失した男」の物語— 9. 高橋虫麻呂・市川真間手児奈物語—純潔の完成— 10. 高橋虫麻呂・浦島子物語—永遠の生命の否定— 11. 浦島太郎物語の変遷 12. 高橋虫麻呂・二人の男と一人の女—文学の永遠のテーマ、三角関係— 13. 山上憶良「貧窮問答歌」—古代のルポルタージュ— 14. 山上憶良「沈痾自哀文」—初めての闘病記— 15. まとめ ※上の内容は、授業の進度などによって変更する場合があります。
成績評価の方法 評価:筆記試験0%・レポート50% その他50%(授業の最後に提出する小レポートおよび授業中の取り組み等) 再評価:有(再評価方法 原則として再レポート) ただし、次のような場合、該当学生に対しては、再評価は原則として行わない。 ①レポートにおいて、剽窃、無断引用などが確認された場合。 ②出欠において、代筆や代返などの行為が確認された場合。 ③出欠状況において、基準を満たさない、遅刻が多いなど、良好でないと担当者が判断した場合。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学科共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業中にしっかりと作品に向き合ってください。授業中にしっかりとメモを取りながら講義を聴いて下さい。
試験の受験資格 レポート提出:原則として3分の2以上出席
教科書 プリントを使用。
参考書 山本健吉・池田弥三郎『万葉百歌』(中公新書1963)、斎藤茂吉『万葉秀歌 上・下』(岩波新書1938)、中西進『万葉の秀歌 上・下』(講談社現代新書1984)、土橋寛『万葉開眼 上・下』(日本放送出版協会1978)、谷馨『額田姫王』(紀伊国屋書店1967)、三浦佑之『浦島太郎の文学史 恋愛小説の発生』(五柳書院1989)、渡辺護『万葉挽歌の世界 未完の魂』(世界思想社1993)、松尾光編『万葉集101の謎』(新人物往来社2000)、桜井満監修『万葉集を知る事典』(東京堂出版2000)など。 なお、『新編日本古典文学全集 万葉集1～4』(小学館)、『日本古典文学集成 万葉集』(新潮社)は訳が見やすいが、授業の説明と同じとは限らないので注意すること。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。 出欠管理システムに打刻されていても、授業の最後に提出する小レポートがない場合には、欠席扱いとなります。
連絡先 土佐 朋子:tosa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 土佐 朋子:毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50 管理研究棟2階文学研究室

時間割番号	000020				
科目名	法学Ⅰ				
担当教員	飛田 綾子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜2時限					
対象学科: 医学部医学科・医学部保健衛生学科検査技術専攻・歯学部歯学科・歯学部口腔保健学科口腔保健学専攻学科					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-2)人間の営みを知る。(社会制度や仕組みについての基本を理解する。) 1-9) 社会への責任を自覚する。(市民としての倫理観を養う。)					
授業の目的、概要等					
社会に生きる限り、人は法と無関係ではいられません。よって法に関する正しい知識を身につけることは結局、自分自身のためになります。この授業では「法とは何か」という話から始め、日本国憲法の保障する人権は具体的にどのようなものなのか、そしてそうした人権は民法、刑法、行政法といった法といかなる関係にあるのか、といった論点を具体例を挙げながら説明します。「法学Ⅰ」のみの受講も歓迎しますが、できれば後期に開講される「法学Ⅱ」も併せて履修すると理解が深まると思います。					
授業の到達目標(SB0s)					
(1)日本国憲法の基本的原則を踏まえた上で、その保障している人権を理解する。(2)日本の人権保障のあり方を全体像を認識したうえで、望ましい法のあり方について考察することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/15	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
2	4/22	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
3	5/6	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
4	5/13	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
5	5/20	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
6	5/27	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
7	6/3	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
8	6/10	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
9	6/17	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
10	6/24	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
11	7/1	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
12	7/8	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
13	7/15	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
14	7/22	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
15	7/29	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
授業方法					
教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。					
授業内容					
第1回 ガイダンス 授業の目的・進め方 参考文献等の紹介					
第2回 法とは何か／法と道徳の違い／権利と義務等／日本国憲法の原理					
第3回 人身の自由(刑事被告人の権利など)					
第4回 国務請求権(国家賠償請求権・裁判を受ける権利など)					
第5回 参政権(選挙権の原則・一票の格差など)					
第6回 財産権(職業選択の自由など)					
第7回 社会権(生存権、教育を受ける権利、労働権)					
第8回 思想・良心の自由(日の丸・君が代問題など)／学問の自由(科学技術の発展と生命倫理の関係)					
第9回 信教の自由(公式参拝問題など)					
第10回 表現の自由(報道の自由、名誉毀損、性表現の規制の是非など)					
第11回 包括的権利(プライバシーの権利など)					
第12回 法の下での平等(再婚禁止期間・夫婦別姓問題など)					

第 13 回 基本的人権のまとめ①(外国人の人権など)

第 14 回 基本的人権のまとめ②(公共の福祉の解釈の変遷、私人間効力など)

第 15 回 まとめ(個人の尊重とは何か)と理解度の確認

成績評価の方法

評価 : 試験 % ・ レポート 70% (ただし試験に変更する場合もあるので、その場合は授業内で連絡します。) ・ その他(授業中に行う確認小テスト) 30 %

再評価: 有(再評価方法レポート)

試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習・復習として、日頃からあらゆるニュースに関心を払うようにすること。憲法や裁判に関するニュースだけでなく、政治・社会問題も含めたニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える癖を身につけること。

教科書

特に指定しません。

参考書

初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門(第 4 版)』有斐閣、2010 年。芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法(第 6 版)』岩波書店、2015 年。渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法 1 人権(第 5 版)』有斐閣、2013 年。君塚正臣編『比較憲法』ミネルヴァ書房、2012 年。久塚純一・長沼建一郎・森田慎二郎編『医療・福祉を学ぶ人のための法学入門』法律文化社、2012 年。

履修上の注意事項

①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。②教員の出欠調査は、確認小テストで行います。(小テストは適宜行います。授業内容の簡単な確認問題です。テストを実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの 2 つが揃って出席と認めます。)③原則として出席回数が 3 分の 2 以上を満たさないと、テストの受験資格を得られません。

時間割番号	000026				
科目名	法学Ⅰ（憲法）				
担当教員	飛田 綾子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間:水曜3限					
対象学科:医学部保健衛生学科看護学専攻・歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-2)人間の営みを知る。(社会制度や仕組みについての基本を理解する。)					
1-9)社会への責任を自覚する。(市民としての倫理観を養う。)					
授業の目的、概要等					
社会問題に関心を持ちその知識を得ることは、結局自分自身のためになります。日常のニュースのほとんどは憲法と何かしら関わりを持っています。したがって、憲法の重要な論点の一つである生存権の保障や平和主義など、聞いたことはあるが詳しくはわからない、といった言葉を理解することは大いに意義があります。授業では有名な裁判例を多く取り上げながら、歴史、現代政治の知識を確認しつつ、日本国憲法の全体像を示したいと考えています。					
授業の到達目標(SB0s)					
(1)日本国憲法はどのような人権を保障しているのか、内閣、国会、裁判所の統治機構はそのために、いかなるルールの下で各々の役割を担うべきなのか。また現状に問題はないのか。こうした問題について説明できるようになる。					
(2)表現の自由の規制のあり方、成年後見人制度の問題点、日本の国際貢献の在り方、裁判員制度などのテーマを、憲法の基礎知識を踏まえて考察できるようにする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/13	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
2	4/20	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
3	4/27	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
4	5/11	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
5	5/18	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
6	5/25	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
7	6/1	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
8	6/8	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
9	6/15	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
10	6/22	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
11	6/29	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
12	7/6	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
13	7/13	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
14	7/20	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
15	7/27	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
授業方法					
教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。					
授業内容					
第1回 ガイダンス 授業の目的、進め方、参考文献の紹介／憲法の実在意義／人身の自由					
第2回 国務請求権(裁判を受ける権利など)／参政権(一票の格差など)					
第3回 財産権(職業選択の自由など)／社会権(生存権・教育を受ける権利・労働基本権)					
第4回 思想・良心の自由(日の丸・君が代問題など)／学問の自由					
第5回 信教の自由(公式参拝問題など)					
第6回 表現の自由(報道の自由、名誉毀損的表現など)					
第7回 包括的権利(プライバシーの権利など)／法の下での平等(夫婦別姓・再婚禁止期間など)					
第8回 基本的人権のまとめ(外国人の人権、成年後見人制度など)					
第9回 日本憲法史／天皇制					
第10回 平和主義(憲法9条の解釈・平和安全法制の概要など)					

第 11 回 統治機構 権力分立／国会（衆参両院の役割分担など） 第 12 回 内閣（首相公選制の是非など） 第 13 回 裁判所（裁判員制度・司法の独立など） 第 14 回 財政／地方自治（道州制の是非など） 第 15 回 まとめと理解度の確認
成績評価の方法 評価：試験 65%（ただし、試験に変更する場合もあるので、その場合は授業内に連絡します。）・その他（授業中に行う確認小テスト） 35% 再評価：有（再評価方法レポート） 試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習・復習として、日頃からあらゆるニュースに関心を払うようにすること。憲法や裁判に関するニュースだけでなく、政治・社会問題も含めたニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える癖を身につけること。
教科書 特に指定しません。
参考書 初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門（第 4 版補訂版）』有斐閣、2014 年。渋谷秀樹『憲法への招待（新版）』岩波新書、2014 年。芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法（第 6 版）』岩波書店、2015 年。渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法 1 人権（第 5 版）』有斐閣、2013 年。同『憲法 2 統治（第 5 版）』有斐閣、2013 年。
履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。②教員の出欠調査は、確認小テストで行います。（小テストは適宜行います。授業内容の簡単な確認問題です。テストを実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの 2 つが揃って出席と認めます。）③原則として出席回数が 3 分の 2 以上を満たさないと、テストの受験資格を得られません。

時間割番号	000021				
科目名	法学Ⅱ				
担当教員	飛田 綾子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜2時限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-2)人間の営みを知る。(社会制度や仕組みについての基本を理解する。)1-9)社会への責任を自覚する。(市民としての倫理観を養う。)					
授業の目的、概要等					
近年、憲法を改正すべきだという議論が声高に叫ばれています。議論の高揚している背景を理解し、その上で改正の必要はあるのか、を考えるためには、憲法に関する基礎知識が必要です。憲法は人権保障と並んで国会、内閣、裁判所といった統治機構についても規定しています。こうした機関がどのような権限を持っているのか、また地方自治や天皇制、平和主義についての有名な裁判や他国との比較的观点を盛り込みながら説明します。「法学Ⅱ」のみの履修も歓迎しますが、前期の「法学Ⅰ」と併せて履修するとより理解が深まると思います。また将来、医療に携わる人間として持っておくべき必要最小限の法学全般の知識についても適宜触れます。					
授業の到達目標(SB0s)					
(1)日本国憲法の統治機構分野に関する基本的知識を、他国との比較的观点を盛り込みつつ、身につける。(2)現在議論されている憲法改正や自衛隊の問題などについて、憲法学の基本的知識を踏まえた上で自らの考えを持つ。(3)世界各国の憲法と日本国憲法を比較し、共通点や相違点を把握する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/30	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
2	10/7	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
3	10/14	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
4	10/21	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
5	10/28	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
6	11/4	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
7	11/11	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
8	11/18	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
9	11/25	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
10	12/2	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
11	12/9	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
12	12/16	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
13	1/13	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
14	1/20	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
15	1/27	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
授業方法					
教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。					
授業内容					
第 1 回 ガイダンス 授業の目的・概要／立憲主義とは何か					
第 2 回 憲法とは何か(憲法の種類・区別の仕方等)／権力分立(各国との相違)					
第 3 回 国会①国会の地位と組織					
第 4 回 国会②国会・議院・国会議員の権能					
第 5 回 内閣(議院内閣制・内閣の組織と権能)					
第 6 回 裁判所①司法権の範囲と限界					
第 7 回 裁判所②司法権の独立 (裁判所の権限、司法行政など)					
第 8 回 日本憲法史(ドイツ、イタリアとの比較)					
第 9 回 天皇制(天皇は君主か元首か、天皇制の果たす役割)					
第 10 回 平和主義①(自衛隊の合憲性、集団的自衛権の解釈変更の影響など)					
第 11 回 平和主義②(判例・平和安全法制の概要など)					

第 12 回 財政(政教分離との関連など) 第 13 回 地方自治(道州制の可否など) 第 14 回 憲法正条項と改正の限界 第 15 回 全体のまとめ・理解度の確認
成績評価の方法 評価：試験 70 % ・ レポート % ・ その他(授業中に行う確認小テスト) 30 % 再評価： 有(再評価方法レポート) 試験の受験資格には 3 分の 2 以上の出席が必要。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習・復習として、日頃からあらゆるニュースに関心を払うようにすること。憲法や裁判に関するニュースだけでなく、政治・社会問題も含めたニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える癖を身につけること。
教科書 特に指定しません。
参考書 初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門(第 4 版)』有斐閣、2010 年。芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法(第 6 版)』岩波書店、2015 年。渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法 2 統治(第 5 版)』有斐閣、2013 年。辻村みよ子『比較憲法(新版)』岩波書店、2011 年。君塚正臣編『比較憲法』ミネルヴァ書房、2012 年。久塚純一・長沼建一郎・森田慎二郎編『医療・福祉を学ぶ人のための法学入門』法律文化社、2012 年
履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。②教員の出欠調査は、確認小テストで行います。(小テストは適宜行います。授業内容の簡単な確認問題です。テストを実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの 2 つが揃って出席と認めます。)③原則として出席回数が 3 分の 2 以上を満たさないと、テストの受験資格を得られません。

時間割番号	000022				
科目名	政治学Ⅰ				
担当教員	面 一也				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 月曜・2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2), 1-5), 1-9), 3-5)					
授業の目的、概要等					
政治理論は危機の時代に生まれる、と言われる。危機に立ち向かいその解決を目指す点で、政治学は古来より医学に喩えられてもきた。本授業では、二度の世界大戦、大衆社会化に伴う人間の画一化の進行、マイノリティの排除や差別、テロとの戦い…等々の危機に対峙してきた、現代の代表的な政治理論を概観しながら、今日の政治がなお抱えている諸課題に関して、批判的考察を行なう。とくに問うべきは、それらの政治理論がはたして問題を解決できているのかどうか、もしできていないとしたら、それは何を意味しているのか、である。					
授業の到達目標(SB0s)					
1 現代の政治理論の主要な争点を理解する。					
2 今日の政治的諸課題について理解する。					
3 現在および将来の政治的諸課題に対する批判的考察力を身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/11	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
2	4/18	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
3	4/25	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
4	5/2	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
5	5/9	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
6	5/16	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
7	5/23	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
8	5/30	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
9	6/6	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
10	6/13	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
11	6/20	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
12	6/27	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
13	7/4	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
14	7/11	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
15	7/25	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
授業方法					
講義形式					
授業内容					
1 授業全体のイントロダクション					
2 カール・シュミット① 政治的なものの概念: 友と敵の区別; 臨戦体制または戦争国家へ					
3 シュミット② リベラル・デモクラシー批判: 議会のお喋り; 娯楽社会化と人間のサル化					
4 シュミット③ 近代社会批判: 精神的ニヒリズムの不可避的到来					
5 シュミット④ 権威国家の擁護: 独裁と両立する“真のデモクラシー”					
6 シュミット⑤ ナチズムへの加担					
7 ハンナ・アーレント① 活動、自由、公的空間: 人はいかに共に生きるべきか					
8 アーレント② 全体主義への批判: 人間の本性の破壊に抗して					
9 アーレント③ 人間の条件: 活動>仕事>労働のヒエラルヒー、その近代における転倒					
10 アーレント④ 公的空間の再興: いかにして、またそもそも、それは可能なのか					
11 ジョン・ロールズ① 正義論の構想: ベトナム戦争や人種差別への反対; 功利主義の克服					
12 ロールズ② 正義の二原理: リベラル・デモクラシーと社会福祉国家の擁護					

13 ロールズ③ 正義論をめぐる論争:新自由主義による批判を中心に
14 ロールズ④ 正義論の国際社会への適用:永遠平和のための正しい戦争;人道的介入と核武装
15 期末試験の予定
成績評価の方法 評価 : 筆記試験 80% ・ レポート % ・ その他(リアクションペーパー) 20% 再評価: 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 復習に力点を置くことを勧める。ノートと引用資料をよく読み返し、自らの考察を簡単に書き留めておくとい。初回授業時に詳しく説明するが、成績評価に際しても考察を重視する。
教科書 授業時に配布する引用資料を主に用いる。
参考書 藤原保信、飯島昇蔵『西洋政治思想史Ⅱ』新評論、1995 年。
履修上の注意事項 出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先させる。

時間割番号	000023				
科目名	政治学Ⅱ				
担当教員	面 一也				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 月曜・2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):: 1-2), 1-5), 1-9), 3-5)					
授業の目的、概要等					
本授業では、政治学専攻でない学生向けに書かれた入門書を手がかりとしながら、現代政治の理論を踏まえつつ、政治の具体的現実を全般的に概観する。政治は生きものなので、教科書には載っていない現在進行形のアクチュアルな諸問題も、可能なかぎり積極的に取り扱う。授業全体を通じて、現在の政治が直面している課題と、望ましい未来の政治のあり方について、考察を進めたい。					
授業の到達目標(SBOs)					
1 現代の政治理論と現実政治の動向を理解する。					
2 アクチュアルな政治問題の争点を把握する。					
3 現在の政治と未来の政治に関する考察力を身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/26	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
2	10/3	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
3	10/17	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
4	10/24	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
5	10/31	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
6	11/7	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
7	11/14	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
8	11/21	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
9	11/28	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
10	12/5	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
11	12/12	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
12	12/19	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
13	1/16	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
14	1/23	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
15	1/30	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
授業方法					
講義形式					
授業内容					
1 授業全体のイントロダクション					
2 政治をどう捉えるか					
3 国家は何のためにあるか					
4 政治体制:リベラル・デモクラシーの特徴					
5 選挙と投票:選挙権拡大と戦争動員の連関					
6 政党:追求するのは一般利益か特殊利益か					
7 政権とアカウンタビリティ:説明責任と大衆迎合主義(ポピュリズム)					
8 執政・立法・司法:三権分立の多様なあり方					
9 政策過程:政・官・財の関係					
10 連邦制と地方分権:地方は創生されるか					
11 安全保障と平和:主権国家体制から核抑止による恐怖支配へ					
12 国際政治経済:グローバル化の光と影					
13 国際社会と集団・個人:国家主権は基本的人権よりも優先されるべきか					
14 グローバル・イシュー:テロ戦争を中心に					

15 期末試験の予定
成績評価の方法 評価：筆記試験 80% ・ レポート % ・ その他(リアクションペーパー) 20% 再評価：有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 復習に力点を置くことを勧める。ノートと引用資料をよく読み返し、自らの考察を簡単に書き留めておくとい。初回授業時に詳しく説明するが、成績評価に際しても考察を重視する。
教科書 砂原庸介、稗田健志、多湖淳『政治学の第一歩』有斐閣、2015 年。
履修上の注意事項 出欠管理システムより教員自身が取ると欠を優先させる。

時間割番号	000024				
科目名	経済学 I				
担当教員	宮本 拓郎				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 月曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)					
授業の目的、概要等					
目的					
受講者がミクロ経済学の基礎的な概念や考え方を理解することを目的とします					
概要					
経済学 I ではミクロ経済学の基礎を学びます。ミクロ経済学は、モノやサービスの取引制度としての市場がうまく機能するのはどのようなときなのか、市場がうまく機能しない原因は何なのか？ どのような対応をすればうまく機能するのかを考える学問です。そして、市場が機能するかどうかを考える際に、取引に参加する消費者(買い手)や企業(売り手)の行動についても分析します。本講義では、これらの点について、経済学ではどのように考えるのかについて説明します。また、医療や福祉と関連の強い再分配政策についても説明します。					
授業の到達目標(SB0s)					
社会経済の問題・現象や人々の意思決定の経済学的な捉え方を理解すること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/11	10:50-12:20	7 番教室	宮本 拓郎	
2	4/18	10:50-12:20	7 番教室	宮本 拓郎	
3	4/25	10:50-12:20	7 番教室	宮本 拓郎	
4	5/2	10:50-12:20	7 番教室	宮本 拓郎	
5	5/9	10:50-12:20	7 番教室	宮本 拓郎	
6	5/16	10:50-12:20	7 番教室	宮本 拓郎	
7	5/23	10:50-12:20	7 番教室	宮本 拓郎	
8	5/30	10:50-12:20	7 番教室	宮本 拓郎	
9	6/6	10:50-12:20	7 番教室	宮本 拓郎	
10	6/13	10:50-12:20	7 番教室	宮本 拓郎	
11	6/20	10:50-12:20	7 番教室	宮本 拓郎	
12	6/27	10:50-12:20	7 番教室	宮本 拓郎	
13	7/4	10:50-12:20	7 番教室	宮本 拓郎	
14	7/11	10:50-12:20	7 番教室	宮本 拓郎	
15	7/25	10:50-12:20	7 番教室	宮本 拓郎	
授業方法					
講義形式。授業中の積極的な発言については成績評価時に加点する。					
授業内容					
1.ミクロ経済学とは？					
2.個人の選択を考える					
3.需要曲線と供給曲線					
4.市場均衡と効率性					
5.完全競争市場への政府介入と死荷重の発生					
6.小テスト+市場の失敗と政府の役割					
7.独占					
8.外部性					
9.公共財					
10.情報の非対称と取引費用					
11.小テスト+ゲーム理論と制度設計					

12.格差と再分配政策 13.税の仕組みと効果 14.年金制度と財政問題 15.まとめ
成績評価の方法 評価：試験 100% ・ レポート % ・ その他() % 再評価: 有(再評価方法:レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習は特に必要ないです。予習よりも復習に力を入れて下さい。
教科書 特になし。ただし、基本的には参考書に基づいて講義をすすめる。具体的には、授業内容の 1～11 は参考書 1 を 12～14 は参考書 2 に基づく。
参考書 1. 安藤至大(2013)「ミクロ経済学の第一歩」、有斐閣ストウディア 2. 寺井公子、肥前洋一(2015)「私たちと公共経済」、有斐閣ストウディア
履修上の注意事項 試験の受験資格者は 10 回以上出席者とする。遅刻 2 回で 1 回の欠席とみなす。 出欠管理システム 受付開始時間 10:45 遅刻基準時間 11:00 遅刻受付終了時間 11:30

時間割番号	000025				
科目名	経済学Ⅱ				
担当教員	田場 弓子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 月曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)					
授業の目的、概要等					
目的: 国際経済の中で起こっている様々な現象を経済学理論に即して理解できるようになることを目的とします。					
概要: 国際経済学は、大まかに国際金融、国際貿易、国際マクロ経済学に分かれますが、本講義では、ミクロ経済学を基礎とした国際貿易について学びます。日本を含め、世界各国は国際的な経済取引を行っています。そして、これらの取引は、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。貿易はなぜ起こるのか、各国が実施している貿易政策は一国全体にどのような効果を与えるのかといったことについて解説します。					
授業の到達目標(SB0s)					
国際貿易の成り立ち、貿易政策の手段及びその効果を経済学的に理解し、短絡的な議論に惑わされることなく自分なりの意見を持つようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/26	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
2	10/3	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
3	10/17	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
4	10/24	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
5	10/31	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
6	11/7	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
7	11/14	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
8	11/21	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
9	11/28	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
10	12/5	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
11	12/12	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
12	12/19	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
13	1/16	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
14	1/23	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
15	1/30	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
授業方法					
講義形式で行います。概ね授業内容通りに進める予定ですが、理解度によって適宜調整します。教科書は指定しません。					
授業内容					
第1回 ガイダンス: 日本を取り巻く国際的な経済取引					
第2回 貿易の基本モデル: 部分均衡分析					
第3回 貿易の基本モデル: 一般均衡分析					
第4回 比較優位と絶対優位					
第5回 リカードモデル: 技術格差と貿易パターン					
第6回 ヘクシャーオリーンモデル1: 生産要素賦存量と貿易パターン					
第7回 ヘクシャーオリーンモデル2: リブチンスキー定理とストルパー=サミュエルソン定理					
第8回 中間試験					
第9回 貿易政策1: 輸出入関税・補助金政策					
第10回 貿易政策2: 輸出入割当政策					

第11回 貿易政策3:国内産業保護政策 第12回 貿易政策4: 不完全競争下の関税政策 第13回 国際要素移動1:海外直接投資 第14回 国際要素移動2:国際労働移動 第15回 貿易協定
成績評価の方法 評価 : 試験 80%(中間試験40%+期末試験40%、定期試験はほぼ選択問題) ・ レポート % ・ その他(授業中の小レポートもしくはテスト)20% 再評価: 有(再評価方法:記述式筆記試験のみ)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 特になし
参考書 石川城太・菊池徹・椋寛 著 『国際経済学をつかむ』有斐閣 大川昌幸 著 『コア・テキスト 国際経済学』第2版 新世社 阿部顕三・遠藤正寛 著 『国際経済学』有斐閣アルマ 中西訓嗣 著 『国際経済学 国際貿易編』ミネルヴァ書房 P.R.クルーグマン・M.オブズフェルド 著 『クルーグマンの国際経済学 理論と政策 上 貿易編』丸善出版
履修上の注意事項 出欠は、出欠管理システムの記録による。 定期試験、再試験の受験資格:3分の2以上の出席

時間割番号	000027				
科目名	社会学AⅠ				
担当教員	小暮 修三				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間:金曜1限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2)					
授業の目的、概要等					
社会学とは、私たちが「今あるように存在している」のはなぜか、「今行動しているように行動している」のはなぜか、このような「当たり前のこと」について、今生きている社会との関連について考察する学問である。このことは、私たちが「当たり前」だと考えている事柄が、異なるものになる／変えられることを、私たちに教えてくれる。本講義では、このような社会学の理論・方法論と具体的事例研究（階級・ジェンダー・エスニシティ）の理解を通して、以下の論点を中心に、私たちの生きる営みについて考察してゆく。					
・私たちの生きる社会は、どのように構築されているのか？					
・私たちの生きる社会によって、私たちの主体はどのように形成されているのか？					
このような社会学的視座の獲得は、私たちの生きる社会の構築過程に潜む権力関係及び私たち自らの内面化した権力性を分析するポリティカルな試みの一環でもある。					
授業の到達目標(SB0s)					
・ 社会学的な幅広いモノの見方や考え方を学ぶ					
・ 社会及び自ら自身を構築する特定の価値観について、政治的・経済的・文化的意味を意識化する					
・ 社会事象及び自ら自身に対する批判的な主体性を獲得する					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/15	09:10-10:40	8 番教室	小暮 修三	
2	4/22	09:10-10:40	8 番教室	小暮 修三	
3	5/6	09:10-10:40	8 番教室	小暮 修三	
4	5/13	09:10-10:40	8 番教室	小暮 修三	
5	5/20	09:10-10:40	8 番教室	小暮 修三	
6	5/27	09:10-10:40	8 番教室	小暮 修三	
7	6/3	09:10-10:40	8 番教室	小暮 修三	
8	6/10	09:10-10:40	8 番教室	小暮 修三	
9	6/17	09:10-10:40	8 番教室	小暮 修三	
10	6/24	09:10-10:40	8 番教室	小暮 修三	
11	7/1	09:10-10:40	8 番教室	小暮 修三	
12	7/8	09:10-10:40	8 番教室	小暮 修三	
13	7/15	09:10-10:40	8 番教室	小暮 修三	
14	7/22	09:10-10:40	8 番教室	小暮 修三	
15	7/29	09:10-10:40	8 番教室	小暮 修三	
授業方法					
授業は講義形式で行うが、学生の積極的な参加を求める。					
授業内容					
1. 序論: 社会とは何か？					
2-5. 社会学の理論と方法論					
1) 社会学的想像力					
2) 理論的視座					
3) 社会的相互行為					
4) 量的・質的調査方法					

6-14. 具体的事例研究

1) 階級(社会成層)論

- ・階級(社会成層)
- ・社会的排除／貧困／福祉

2) ジェンダー論

- ・セックス／ジェンダー／セクシュアリティ
- ・家族／親密な関係性

3) 人種・民族(エスニシティ)論

- ・人種・民族(エスニシティ)／先住民族
- ・グローバル下における移民

4) 教育(再生産)論

- ・学校教育と不平等
- ・社会化・ライフコース

15. 結論:再び、社会とは何か？

成績評価の方法

評価：試験 50% ・ レポート 70% ・ その他(授業参加・貢献度) 30%

再評価：有(再評価方法)

なお、ここでの「授業参加・貢献度」とは、欠席、遅刻、授業中の発言などを対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習:授業毎に配布する文献を事前に読み(または課題を行い)、次回の授業に臨むこと。

復習:授業毎に配布する書き込みプリントの理解を深めること。

教科書

授業毎にプリントを配布する。また、授業内容に関する文献等は、必要に応じて、授業中に紹介する。

履修上の注意事項

授業毎に出席を取る。なお、特別な理由なく授業開始時刻を15分遅れた者は欠席とする。

時間割番号	000029				
科目名	社会学AⅡ				
担当教員	小暮 修三				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜1限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2), 1-5)					
授業の目的、概要等					
社会学とは、私たちが「今あるように存在している」のはなぜか、「今行動しているように行動している」のはなぜか、このような「当たり前のこと」について、今生きている社会との関連について考察する学問である。このことは、私たちが「当たり前」だと考えている事柄が、異なるものになる／変えられることを、私たちに教えてくれる。本講義では、このような社会学の理論の中でも特に「再生産論」及び具体的事例研究の理解を通して、以下の論点を中心に、私たちの生きる営みについて考察してゆく。 ・私たちの生きる社会は、どのように構築されているのか？ ・私たちの生きる社会によって、私たちの主体はどのように形成されているのか？ このような社会学的視座の獲得は、私たちの生きる社会の構築過程に潜む権力関係及び私たち自らの内面化した権力性を分析するポリティカルな試みの一環でもある。なお、本講義は、前期「社会学 AⅠ」を履修した上(社会学の概論的理解を経た上)での受講が望ましい。					
授業の到達目標(SB0s)					
・経済的・文化的再生産論から見た社会の構築過程についての理解を深める ・社会及び自ら自身を構築する特定の価値観について、政治的・経済的・文化的意味を意識化する ・社会事象及び自ら自身に対する批判的な主体性を獲得する					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/30	09:10-10:40	10 番教 室	小暮 修三	
2	10/7	09:10-10:40	10 番教 室	小暮 修三	
3	10/14	09:10-10:40	10 番教 室	小暮 修三	
4	10/21	09:10-10:40	10 番教 室	小暮 修三	
5	10/28	09:10-10:40	10 番教 室	小暮 修三	
6	11/4	09:10-10:40	10 番教 室	小暮 修三	
7	11/11	09:10-10:40	10 番教 室	小暮 修三	
8	11/18	09:10-10:40	10 番教 室	小暮 修三	
9	11/25	09:10-10:40	10 番教 室	小暮 修三	
10	12/2	09:10-10:40	10 番教 室	小暮 修三	
11	12/9	09:10-10:40	10 番教 室	小暮 修三	
12	12/16	09:10-10:40	10 番教	小暮 修三	

			室		
13	1/13	09:10-10:40	10 番教 室	小暮 修三	
14	1/20	09:10-10:40	10 番教 室	小暮 修三	
15	1/27	09:10-10:40	10 番教 室	小暮 修三	
授業方法 授業はディスカッション形式で行うので、学生の積極的な参加を求める。					
授業内容 1. 序論:「私」とは何か？ 2. 再生産論とは何か？—主体 3. 個人史:社会の中の「私」 4-12. 再生産論の理論的視座 1) ボールズとギンティスの対応理論 具体的事例研究(経済) 2) バーンステインのコード理論 具体的事例研究(言語) 3) ブルデューの文化的再生産論 具体的事例研究(文化) 4) ウィリスの再生産論 具体的事例研究(抵抗) 5) 再生産論の理論的視座(まとめ) 13-14. 再生産論の課題と展望 15. 結論:再び、「私」とは何か？					
成績評価の方法 評価：試験　％・レポート 70％・その他(授業参加・貢献度) 30％ 再評価：有(再評価方法) なお、ここでの「授業参加・貢献度」とは、欠席、遅刻、授業中の発言などを対象とする。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 予習:授業毎に配布する文献を事前に読み(または課題を行い)、次回の授業に臨むこと。 復習:授業毎に配布する書き込みプリントの理解を深めること。					
教科書 授業毎にプリントを配布する。また、授業内容に関する文献等は、必要に応じて、授業中に紹介する。					
履修上の注意事項 授業毎に出席を取る。なお、特別な理由なく授業開始時刻を 15 分遅れた者は欠席とする。					

時間割番号	000030				
科目名	社会思想史 I				
担当教員	山岡 龍一				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜 1限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－2)、1－3)、1－5)、1－9)					
授業の目的、概要等					
前近代期の社会思想への理解を得ることによって学生が、「社会」に関して自分が今抱いている意見や見解を、自分自身で批判的に反省できるようになることが目的。この反省によって、「社会の中で自分が生きる」ということに関して学生が、自分自身の力で考えていくことのできるようになることが、目指される。 授業では、「社会」とは何であるのか、「社会の中で生きる」ことについてどのように考えることができるのか、といった問いを、思想史の方法を使って吟味するやり方を示し、その材料(主として古典的テキストの紹介)を与える。題材としては西洋の、古代ギリシアから中世にわたる社会思想をとりあげ、「社会」というものに関する、さまざまな考え方を紹介する。さまざまな「社会」観を紹介するだけでなく、「社会」をとらえる知的方法として、どのようなものがあったのか、そして、方法の採用が、対象の理解の内容に、どのような影響を与えるのか、という「哲学的な問題」も考える。					
授業の到達目標(SB0s)					
講義のあいだに、学生に対して質問をするので、そのときに学生が自分自身の言葉で答えることができるようになること。 学生が自分の問題意識を涵養するために、自分の力で文献を選択し、自分の力で文献を読むことができるようになること。 エッセイ形式のテストにおいて、講義の内容に関する適切な理解を示し、講義の内容に則った仕方での自分の考えを簡潔に論じることができるようになること(そのためには、いくつかの基本的で、重要な語彙を、講義を通じて自分のものとする必要がある)。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/15	09:10-10:40	4 番教室	山岡 龍一	
2	4/22	09:10-10:40	4 番教室	山岡 龍一	
3	5/6	09:10-10:40	4 番教室	山岡 龍一	
4	5/13	09:10-10:40	4 番教室	山岡 龍一	
5	5/20	09:10-10:40	4 番教室	山岡 龍一	
6	5/27	09:10-10:40	4 番教室	山岡 龍一	
7	6/3	09:10-10:40	4 番教室	山岡 龍一	
8	6/10	09:10-10:40	4 番教室	山岡 龍一	
9	6/17	09:10-10:40	4 番教室	山岡 龍一	
10	6/24	09:10-10:40	4 番教室	山岡 龍一	
11	7/1	09:10-10:40	4 番教室	山岡 龍一	
12	7/8	09:10-10:40	4 番教室	山岡 龍一	
13	7/15	09:10-10:40	4 番教室	山岡 龍一	
14	7/22	09:10-10:40	4 番教室	山岡 龍一	
15	7/29	09:10-10:40	4 番教室	山岡 龍一	
授業方法					
授業は、質疑応答を交えた講義形式で行う。					
授業内容					
1. イントロダクション					
2. オイコスとポリス					
3. ソクラテスの生と思想					
4. プラトンとアテナイ					
5. プラトンの正義論					
6. プラトンのイデア論と社会観					
7. アリストテレスのプラトン批判					
8. アリストテレスのコイノーニアー観					

9. アリストテレスの正義論 10. キケロとローマ共和政 11. キケロの自然法論 12. キリスト教における人間と社会 13. アウグスティヌスの政治社会論 14. アウグスティヌス主義とアリストテレス主義 15. トマス・アキナスの政治社会論
成績評価の方法 評価 : 試験 100% 再評価: 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 毎回の講義を、必ず一回は復習してほしい。講義中に作成するノートは、不完全なものでよく、むしろ講義の内容を理解することに努めた方がよい。講義後、できるだけ早く復習し、講義ノートをより完全なものに書き換えるなら、効果的な学習となる。 講義でとりあげるテキストを、自分自身で読むことが、最も効果的な復習となるであろう。
教科書 特になし
参考書 山岡龍一『西洋政治理論の伝統』放送大学教育振興会、2009 年 水田洋『新稿 社会思想小史』ミネルヴァ書房、2006 年 木崎喜代治、筒井清忠、阪上孝『社会思想史』有斐閣、1987 年

時間割番号	000031				
科目名	社会思想史Ⅱ				
担当教員	山岡 龍一				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜 1限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－2)、1－3)、1－5)、1－9)					
授業の目的、概要等					
近・現代期の社会思想の理解を得ることによって学生が、「社会」に関して自分が今抱いている意見や見解を、自分自身で批判的に反省できるようになることが目的。その反省によって、「社会の中で自分が生きる」という主題に関して学生が、自分自身の力で考えていくことができるようになることが、目指される。 授業では、「社会」とは何であるのか、「社会の中で生きる」ことについてどのように考えることができるのか、といった問いを、思想史の方法を使って吟味するやり方を示し、その材料(主として古典的テキストの紹介)を与える。題材としては西洋の、ルネサンス期から現代にわたる社会思想をとりあげ、「社会」というものに関する、さまざまな考え方を吟味する。さまざまな「社会」観を紹介するだけでなく、「社会」をとらえる知的方法として、どのようなものがあったのか、そして、方法の採用が、対象の理解の内容に、どのような影響を与えるのか、という「哲学的な問題」も考える。 「社会」を記述的のみならず、規範的にも理解する方法を考察する。この点に関して、特に「自由」と「正義」の問題に光を当てて、「より善き社会」というテーマをめぐる、さまざまな思想を紹介し、検討する。					
授業の到達目標(SB0s)					
講義のあいだに、学生に対して質問をするので、そのときに学生が自分自身の言葉で答えることができるようになること。 学生が自分の問題意識を涵養するために、自分の力で文献を選択し、自分の力で文献を読むことができるようになること。 エッセイ形式のテストにおいて、講義の内容に関する適切な理解を示し、講義の内容に則った仕方での自分の考えを簡潔に論じることができるようになること(そのためには、いくつかの基本的で、重要な語彙を、講義を通じて自分のものとする必要がある)。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/30	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
2	10/7	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
3	10/14	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
4	10/21	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
5	10/28	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
6	11/4	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
7	11/11	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
8	11/18	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
9	11/25	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
10	12/2	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
11	12/9	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
12	12/16	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
13	1/13	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
14	1/20	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
15	1/27	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
授業方法					
授業は、質疑応答を交えた講義形式で行う。					
授業内容					
1. マキアヴェッリの人間観					
2. マキアヴェッリと近代共和主義の伝統					
3. 近代知のパラダイム: デカルトとベーコン					
4. ホブズの人間観					
5. ホブズの政治社会論					
6. ロックの人間観					

7. ロックの政治社会論 8. ヒュームの人倫論 9. ヒュームとスミスの社会論 10. ルソーの近代社会批判 11. ルソーの政治社会論 12. ヘーゲルの人倫論 13. マルクスと近代社会 14. 功利主義思想 15. 社会正義論の現在
成績評価の方法 評価：試験 100% 再評価：有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 毎回の講義を、必ず一回は復習してほしい。講義中に作成するノートは、不完全なものでよく、むしろ講義の内容を理解することに努めた方がよい。講義後、できるだけ早く復習し、講義ノートをより完全なものに書き換えるなら、効果的な学習となる。 講義でとりあげるテキストを、自分自身で読むことが、最も効果的な復習となるであろう。
教科書 特になし
参考書 山岡龍一『西洋政治理論の伝統』放送大学教育振興会、2009 年 水田洋『新稿 社会思想小史』ミネルヴァ書房、2006 年 木崎喜代治、筒井清忠、阪上孝『社会思想史』有斐閣、1987 年 坂本達哉『社会思想の歴史』名古屋大学出版会、2014 年

時間割番号	000032				
科目名	文化人類学Ⅰ				
担当教員	三谷 純子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間： 月曜2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する。1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 1-7)人間の心への理解を深める 1-9)市民としての倫理観を養う 3-4)外国文化を理解する 3-5)国際情勢を理解する					
授業の目的、概要等					
未来を担う子どもの主体性や尊厳を尊重し、彼らの参加を含む子どもの権利の促進を図りながら持続可能な開発を目指す基盤となる子どもの権利条約や制度を先ず知ります。具体的な例を通じて、文化を含め様々な状況により、一律的な唯一絶対に正しい即座の解決法がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える態度を養うことを目的とします。					
授業の到達目標(SBOs)					
目標1. 子どもの権利条約の概要、子ども支援に関する国際社会の枠組み、国際社会の開発目標のSDGについて説明できる。目標2. 子どもを含む当事者の参加の重要性と、参加の階段について具体例をあげて説明できる。目標3. 文化と開発の複雑な関係について具体例をあげて説明できる。目標4. 自分の意見を明確に主張し、他人の意見をよく聞いて、議論した結果をわかりやすく発表できる。(具体例としては感染症対策を用いる予定ですが、医学や看護の専門領域ではなく、政策決定に関するアドボカシー、行動を変えるための広報、社会動員、メディアや各種団体との協働、資金調達等について取り上げます。)					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/11	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
2	4/18	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
3	4/25	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
4	5/2	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
5	5/9	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
6	5/16	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
7	5/23	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
8	5/30	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
9	6/6	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
10	6/13	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
11	6/20	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
12	6/27	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
13	7/4	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
14	7/11	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
15	7/25	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
授業方法					
講義、ビデオ視聴、資料解説、グループワークによる発表等。					
授業内容					
1. イントロダクション(シラバスの説明・質疑応答)					
2. 子どもの権利条約と3つの選択議定書制定の背景					
3. 子どもの権利の相互関係性					
4. 子どもの権利促進の協力のしくみ (国際レベル)					
5. 持続可能な開発目標SDG					
6. 子どもの権利促進の協力のしくみ(国レベル)					
7. 参加型開発					
8. 子どもの死亡の現状と主要な要因					
9. 感染症対策 ポリオ					
10. 感染症対策 ポリオ					

11. 感染症対策 HIV/AIDS 12. 感染症対策 HIV/AIDS 13. 感染症対策 緊急支援 14. レポートの書き方 15. まとめ
成績評価の方法 評価：レポート60 % その他、出席と授業への参加 40 % 再評価：有(再評価方法) レポートの提出
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習復習は特に必要ではありませんが、子どもの権利や様々な文化に関して、授業中に紹介する文献や、映画、報道、講演会等で積極的に情報を得る努力を自分でして教養を高めてください。
教科書 授業中に適宜プリントや資料を配布するので、A4のフォルダーを用意してください。
参考書 www.unicef.or.jp/library で『ユニセフ世界子ども白書』日本語版過去10年分と先進国の子どもに関する日本語報告のダウンロード可。 その他報告書や最新データは www.unicef.org や www.childinfo.org/mics.html や、WHO、CDC、WB、Save the Children! 等のHPで。ピーター・ピオット「ノータイム・トゥー・ルーズ：エボラとエイズと国際政治」慶応義塾大学出版会2015年。
履修上の注意事項 将来国際協力に関与する意欲のある学生の受講を望みます。遅刻・欠席するとグループワークに支障が出るのでしないように注意してください。授業の最後に提出するフィードバックシートによる出欠記録を優先します。授業中の積極的な参加が求められます。
備考 受講状況等によりシラバスを変更することがあります。

時間割番号	000035				
科目名	文化人類学Ⅱ				
担当教員	三谷 純子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 月曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する。1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 1-7)人間の心への理解を深める 1-9)市民としての倫理観を養う 3-4)外国文化を理解する 3-5)国際情勢を理解する					
授業の目的、概要等					
戦争や紛争、不安定な治安、深刻な差別や迫害、極度の貧困、国家間の法律の違い等は、子どもの守られる権利や育つ権利に大きく影響します。日本も国際社会で一層の役割を果たすことが期待されています。またグローバル化に伴い、日本で暮らす外国にルーツを持つ子どもも増えており、将来、皆さんの医療関係の仕事や地域社会の生活でも、相互理解を深めることが重要になると考えられます。この授業では、半分が子どもである難民や、移民、無国籍・無戸籍の子どもを含む人々を取り上げ、文化や経済、治安を含め様々な状況により、一律的な唯一絶対正しい即座の解決法がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える態度を養うことを目的とします。					
授業の到達目標(SB0s)					
目標1. 子どもの保護の中でも難民・移民・無国籍に関する現状及び関係する国際法や国際社会の対応の枠組み、課題について説明できる。目標2. 上記の問題に関し、日本と関わりがあることを理解し、日本の取り組みや課題について説明できる。目標3. 自分の意見を明確に主張し、他人の意見をよく聞いて、議論した結果をわかりやすく発表できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/26	10:50-12:20	6 番教室	三谷 純子	
2	10/3	10:50-12:20	6 番教室	三谷 純子	
3	10/17	10:50-12:20	6 番教室	三谷 純子	
4	10/24	10:50-12:20	6 番教室	三谷 純子	
5	10/31	10:50-12:20	6 番教室	三谷 純子	
6	11/7	10:50-12:20	6 番教室	三谷 純子	
7	11/14	10:50-12:20	6 番教室	三谷 純子	
8	11/21	10:50-12:20	6 番教室	三谷 純子	
9	11/28	10:50-12:20	6 番教室	三谷 純子	
10	12/5	10:50-12:20	6 番教室	三谷 純子	
11	12/12	10:50-12:20	6 番教室	三谷 純子	
12	12/19	10:50-12:20	6 番教室	三谷 純子	
13	1/16	10:50-12:20	6 番教室	三谷 純子	
14	1/23	10:50-12:20	6 番教室	三谷 純子	
15	1/30	10:50-12:20	6 番教室	三谷 純子	
授業方法					
講義、ビデオ視聴、資料解説、グループワークによる発表等。					
授業内容					
1. イントロダクション(シラバスの説明・質疑応答)					
2. 各自の名の由来・日本と世界の名を巡る多様な文化					
3. 世界の出生登録					
4. 国籍					
5. 難民の地位に関する条約と定義、難民概念の拡大					
6. 難民認定制度					
7. 三つの恒久的解決法の限界と難民の移民化					
8. 保護者に伴われない子ども庇護申請者					
9. 日本と難民と移民の子ども					

10. 世界の無国籍の現状と要因 11. 無国籍予防と削減の枠組み 12. 日本と無国籍・無戸籍 13. 外国にルーツを持つ子ども 14. 国籍とアイデンティティ 15. テスト・まとめ
成績評価の方法 評価：試験 60 % ・ 出席・授業への参加 40 % 再評価： 有（再評価方法 レポートの提出）
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習復習は特に必要ではありませんが、子どもの権利や様々な文化に関して、授業中に紹介する文献や、映画、報道、講演会等で積極的に情報を得る努力を自分でして教養を高めてください。
教科書 授業中に適宜プリントや資料を配布するので、A4のフォルダーを用意してください。
参考書 難民レジームの歴史は、UNHCR『世界難民白書2000 人道行動の50年史』日本語版、時事通信社、2001 年。人の移動の概説は、S. カースルズ他『国際移民の時代』第4版、名古屋大学出版会、2011 年。他に UNICEF, UNOCHA, UNHCR, UN, IOM, ILO, 世界銀行等のHP。世界の無国籍は www.institutesi.org 、日本の難民や無国籍は www.refugee.or.jp や www.stateless-network.com 等。
履修上の注意事項 前期よりは講義部分が多くなります。遅刻・欠席するとグループワークに支障が出るのでしないように注意してください。授業の最後に提出するフィードバックシートによる出欠記録を優先します。授業中の積極的な参加が求められます。
備考 受講状況等によりシラバスを変更することがあります。

時間割番号	000036				
科目名	社会科学特論Ⅰ				
担当教員	飯田 卓				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)、1-3)、1-5)					
授業の目的、概要等					
この授業では、個別社会諸科学の総論を目指すとともに、従来の人間理性を中心に据えたヨーロッパの社会思想(理性の啓蒙)に取って代わらんとする N.ルーマンの社会システム理論の観点から、近・現代社会の在り方について総体的に考察します。ヨーロッパの社会史は、社会が機能分化を遂げてゆく歴史、したがって複雑性の度合いを増してゆく歴史と捉えることができます。現代のヨーロッパ社会は、古代ギリシャや近代初期のように政治が中心となる社会でも、19 世紀半ばから後半にかけてのように経済が中心となる社会でもなく、経済、政治、法、科学、教育、家族、医療、宗教等、それぞれ独自の観点に基づく多数の領域に分化し、これら諸領域のあいだに何らの序列や中心も存在しないまま、各領域が他の領域に対して環境となって相互に共鳴し合っている社会です。 ルーマンは近・現代社会の特徴をこの分化しているという事態そのものに求めることによって、社会を総体として捉えようと試みます。それゆえにルーマンから見れば、社会の秩序あるまとまり(統合)は、何らかの価値・規範やメカニズム(一定の手続きによるコンセンサスの達成等)によってもたらされるのではなく、分化しているという事実そのもののうちにあるのです。ここではまず、社会システム理論のうち、とくに伝統的な社会科学を支配していた「部分／全体システム」モデルの社会観とその問題点を確認します。つぎに、それと対比させる形で、「自己言及的閉鎖システム」モデルとしての社会システム理論の観点から、近・現代社会の機能分化の在り方とその行く末について考察します。					
授業の到達目標(SB0s)					
社会システム理論の冷徹な視点、とくに H.R.マツウラーナと F.J.ヴァレラが生命有機体の理論として提唱し、N.ルーマンが社会理論として発展させた「オートポイエーシス論」、及びそれに基づく「機能分化論」の習得。人間とコミュニケーションを区別し、社会をコミュニケーションから成るシステムとして捉えたうえで、機能分化した社会における人間のあり方やアイデンティティの問題について考察できるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/15	10:50-12:20	3 番教室	飯田 卓	
2	4/22	10:50-12:20	3 番教室	飯田 卓	
3	5/6	10:50-12:20	3 番教室	飯田 卓	
4	5/13	10:50-12:20	3 番教室	飯田 卓	
5	5/20	10:50-12:20	3 番教室	飯田 卓	
6	5/27	10:50-12:20	3 番教室	飯田 卓	
7	6/3	10:50-12:20	3 番教室	飯田 卓	
8	6/10	10:50-12:20	3 番教室	飯田 卓	
9	6/17	10:50-12:20	3 番教室	飯田 卓	
10	6/24	10:50-12:20	3 番教室	飯田 卓	
11	7/1	10:50-12:20	3 番教室	飯田 卓	
12	7/8	10:50-12:20	3 番教室	飯田 卓	
13	7/15	10:50-12:20	3 番教室	飯田 卓	
14	7/22	10:50-12:20	3 番教室	飯田 卓	
15	7/29	10:50-12:20	3 番教室	飯田 卓	
授業方法					
講義形式					
授業内容					
第 1 回:オリエンテーション					
第 2 回:社会システム理論の概要——システムと環境					
第 3 回:「部分／全体システム」モデルの社会観(1)					
第 4 回:「部分／全体システム」モデルの社会観(2)					

第5回:「部分／全体システム」モデルの問題点(1) 第6回:「部分／全体システム」モデルの問題点(2) 第7回:「自己言及的閉鎖システム」モデルの基本(1) 第8回:「自己言及的閉鎖システム」モデルの基本(2) 第9回:近代社会と機能分化——オートポイエティック・システムと機能分化(1) 第10回:近代社会と機能分化——オートポイエティック・システムと機能分化(2) 第11回:現代社会と機能分化——グローバリゼーションと機能分化の変容(1) 第12回:現代社会と機能分化——グローバリゼーションと機能分化の変容(2) 第13回:機能分化とアイデンティティの問題 第14回:近・現代社会と医療システム 第15回:総括(理解度の確認)
成績評価の方法 評価：試験 70 % ・ レポート % ・ その他(出席等) 30 % 再評価：有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 配布された資料は、次回までに目を通しておいください。
教科書 レジュメと資料を配布します。
参考書 教場にて適宜指示しますが、さしあたり以下の文献を挙げておきます。ゲオルク・クニール／アルミン・ナセヒ『ルーマン社会システム理論』(1995年、新泉社)
履修上の注意事項 毎回出席票を配布し、出欠をとります。

時間割番号	000037				
科目名	社会科学特論Ⅱ				
担当教員	中島 貴子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜 1 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－10、2－3、2－4					
授業の目的、概要等					
戦後日本で起きた公害事件や重大事故例、および現在進行形の「トランスサイエンス問題」を社会科学的な観点から分析し、これからの科学技術ガバナンスに求められる要件を考察します。					
授業の到達目標(SB0s)					
科学技術の価値や意義、およびそのリスクへの対応の在り方を、歴史的、社会的文脈の中で考察すること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/30	09:10-10:40	11 番教室	中島 貴子	
2	10/7	09:10-10:40	11 番教室	中島 貴子	
3	10/14	09:10-10:40	11 番教室	中島 貴子	
4	10/21	09:10-10:40	11 番教室	中島 貴子	
5	10/28	09:10-10:40	11 番教室	中島 貴子	
6	11/4	09:10-10:40	11 番教室	中島 貴子	
7	11/11	09:10-10:40	11 番教室	中島 貴子	
8	11/18	09:10-10:40	11 番教室	中島 貴子	
9	11/25	09:10-10:40	11 番教室	中島 貴子	
10	12/2	09:10-10:40	11 番教室	中島 貴子	
11	12/9	09:10-10:40	11 番教室	中島 貴子	
12	12/16	09:10-10:40	11 番教室	中島 貴子	
13	1/13	09:10-10:40	11 番教室	中島 貴子	
14	1/20	09:10-10:40	11 番教室	中島 貴子	
15	1/27	09:10-10:40	11 番教室	中島 貴子	
授業方法					
講義とゼミの混合形式です。講義は毎回、レジュメを配布し、適宜、映像を使います。演習(ショートスピーチ、チームディベートなど)は受講生の人数に応じたスタイルをとります。					
授業内容					
①イントロダクション					

②戦後日本の高度経済成長と公害 ③水俣病 ④森永ヒ素ミルク中毒事件 ⑤カネミ油症事件 ⑥遺伝子組換え作物問題 ⑦中間まとめ ⑧～⑫演習 ⑬～⑮科学技術ガバナンスの課題(科学技術の不定性と社会的意思決定の観点から)
成績評価の方法 評価： レポート50% ・ その他(授業への参加度)50% 再評価： 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 新聞などから科学技術ガバナンスに関する問題例をピックアップし、それがどのような意味で科学技術ガバナンスの問題かについて考察する。
教科書 レジュメとして配布します。
参考書 教員が毎回、出欠を確認し、その記録を優先します。
履修上の注意事項 教員が毎回、出欠を確認し、その記録を優先します。

時間割番号	000846				
科目名	Japanese Culture and Society II				
担当教員	Carlson Rebecca Lynn				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
授業の目的、概要等					
What does it mean to be Japanese? The answer to this question may seem obvious to you. If asked, you might quickly describe Japan as an isolated island nation made-up of a homogeneous race and culture. However, have you ever stopped to think about this answer? Where does it come from? How do you know these things to be true? The purpose of this class is to give you a foundation in critical thinking skills so that you may examine yourself and the world you know around you through an analytical lens (分析レンズ). Broadening your mind-set and learning to question what you assume to be common sense is an essential ability in today's globalized world. This course will also give you a foundation in the study of people and their societies, a critical perspective for any future health practitioner.					
授業の到達目標(SB0s)					
At the end of the course, students will be able to:					
1. Think critically about modern Japanese society					
2. Understand and discuss basic social science topics in the context of Japan such as: social norms/社会規範 (accepted normal behavior), socialization/社会化 (the process of learning those norms and their meaning) and social constructivism/社会構築主義 (the naturalization of accepted norms and values)					
3. Work effectively in peer groups through discussion, brainstorming and presentations					
4. Improve communication in English, both orally and in writing					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/26	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
2	10/3	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
3	10/17	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
4	10/24	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
5	10/31	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
6	11/7	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
7	11/14	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
8	11/21	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
9	11/28	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
10	12/5	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
11	12/12	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Re	

			室	becca Lynn
12	12/19	10:50-12:20	12 番教 室	Carlson Re becca Lynn
13	1/16	10:50-12:20	12 番教 室	Carlson Re becca Lynn
14	1/23	10:50-12:20	12 番教 室	Carlson Re becca Lynn
15	1/30	10:50-12:20	12 番教 室	Carlson Re becca Lynn
授業方法 Discussion and debate Brainstorming and group projects Reading comprehension and research Presentations Other in class activities				
授業内容 Week 1: Introductions and orientation to course Week 2: What does it mean to be Japanese? Week 3: The interpretation of everyday objects Week 4: How we learn about the world Week 5: The social construction of gender Week 6: Gender and education Week 7: Work and social norms Week 8: The everyday life of a workaholic Week 9: A history of work and leisure Week 10: Standardizing the family Week 11: The modern family and change Week 12: Homelessness and Net cafe Refugees Week 13: What is national identity? Week 14: The foreigner Week 15: Final presentations/assessment				
成績評価の方法 評価: Attendance and in class participation: 60% Homework and other assignments: 30% Presentations: 10% 再評価: 無				
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation during in class activities and discussions are essential.				
試験の受験資格 There is no official final examination for this course.				

時間割番号	000857				
科目名	グローバル教養科目・Introduction to Language and Linguistics				
担当教員	今村 圭介				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
・曜日・時間: 月曜 2 限 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-4)異なる空間の文化を理解する 別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る 別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表 3-4)外国文化を理解する					
主な講義場所					
12 番教室					
授業の目的、概要等					
“In the beginning was the Word, and the Word was with God, and the Word was God.”					
Language is a very unique feature that defines human beings. It serves as a means to express our intricate thoughts, pass on knowledge, build or destroy people, etc.					
In this course, you will learn structure, function and the uniqueness of language.					
This course is open to any students interested in the subject matter.					
授業の到達目標(SBOs)					
Course objectives are:					
1.To understand the basic principles of linguistics					
2.To deepen our understanding of everyday languages and the cultures behind them.					
3.To understand the universality and individual differences in various languages.					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/11	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	
2	4/18	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	
3	4/25	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	
4	5/2	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	
5	5/9	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	
6	5/16	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	
7	5/23	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	
8	5/30	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	
9	6/6	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	
10	6/13	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	

11	6/20	09:10-10:40	12 番教 室	今村 圭介
12	6/27	09:10-10:40	12 番教 室	今村 圭介
13	7/4	09:10-10:40	12 番教 室	今村 圭介
14	7/11	09:10-10:40	12 番教 室	今村 圭介
15	7/25	09:10-10:40	12 番教 室	今村 圭介

授業方法

Lectures
Discussion
Presentation

授業内容

1 Introduction
2 The Origins
3 Typology
4 Sounds
5 Lexicon
6 Grammar
7 Pragmatics
8 Language and Culture
9 Power of Words
10 Language Variation
11 Language Contact and Change
12 Language Death and Birth
13 Language Acquisition
14 Language Teaching
15 Review

* This schedule may change based on the number of students and students' interest.

成績評価の方法

attendance/participation 40% weekly assignments 30% final essay 30%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and active participation are both essential for this course.
Students must also submit weekly assignments.

試験の受験資格

There is no official final examination for this course.

参考書

Yule, G (2014) The Study of Language 5th edition, Cambridge University Press

連絡先

今村 圭介Imamura.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

今村 圭介毎週水曜日 AM.10:00-PM.1:00

時間割番号	000858				
科目名	グローバル教養科目・Japanese as a Foreign Language				
担当教員	今村 圭介				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-4)異なる空間の文化を理解する 別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る					
主な講義場所 12 番教室					
授業の目的、概要等 As native Japanese speakers we have an intrinsic understanding of the language. Having naturally acquired the language by growing up in Japan, we take for granted the complexity of the language structure. If you look at Japanese through the eyes of non-native speaker, you may find yourself unable to explain some of the basic rules of the Japanese language. For example, if your foreign friend were to ask you the following questions, how would you explain the answer? What is the difference between “気持ちが悪い” and “気分が悪い”? What is the difference between “は” and “が” In this course, we will learn to understand Japanese from a new perspective.					
授業の到達目標(SB0s) Course objectives are: 1.To understand Japanese language from the perspective of foreign learners 2.To understand the basic concepts of Japanese language teaching to foreigners 3.To deepen our understandings of everyday language					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/26	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	
2	10/3	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	
3	10/17	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	
4	10/24	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	
5	10/31	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	
6	11/7	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	
7	11/14	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	
8	11/21	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	
9	11/28	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	
10	12/5	09:10-10:40	12 番教室	今村 圭介	

11	12/12	09:10-10:40	12 番教 室	今村 圭介
12	12/19	09:10-10:40	12 番教 室	今村 圭介
13	1/16	09:10-10:40	12 番教 室	今村 圭介
14	1/23	09:10-10:40	12 番教 室	今村 圭介
15	1/30	09:10-10:40	12 番教 室	今村 圭介

授業方法

Lecture, discussion, presentation

授業内容

1 Introduction, Greeting
2 Accent
3 Characters
4 Nouns, Reference
5 Demonstrative
6 Case
7 Verbs, Adjectives
8 Tense
9 Aspect
10 Modality
11 Voice
12 Honorifics
13 Discourse
14 Presentation
15 Review

* This schedule may change based on the number of students and students' interest.

成績評価の方法

attendance/participation 30%, weekly assignments 30%, Presentation 20%, final essay 20%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and active participation are both essential for this course.
Students must also submit weekly assignments.

試験の受験資格

Lectures are given in English and students are also encouraged to express their opinion in English.
If you are not confident in listening/speaking in English, please consult the lecturer at the start of the first lecture.

参考書

A Dictionary of Basic Japanese Grammar／by Seiichi Makino, by Michio Tsutsui,: Japan Times, 1994

連絡先

今村 圭介Imamura.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

今村 圭介毎週水曜日 AM.10:00-PM.1:00

時間割番号	000044				
科目名	物理学入門				
担当教員	檜枝 光憲				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
対象学科: 医学科・歯学科・検査技術学専攻 受講資格: 入試で化学・生物を選択した人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表4－1)					
授業の目的、概要等					
物理学は自然科学の中でもっとも基礎的な学問のひとつです。物理学の基礎知識および物理学的なものの見方は、高度なテクノロジーを基づく理工系や医療分野には必須の概念です。本講義は、入試で物理を選択しなかった人(高校で物理を選択しなかった人や物理は履修したが理解が不十分な人)向けに「力学」と「電磁気」を中心とした物理学入門講義を行います。					
授業の到達目標(SB0s)					
1. 位置、速度、加速度の概念を理解する 2. 物体が受ける力を見つけ、運動方程式を立式できるようになる。 3. 仕事、力学的エネルギー、運動量の概念を理解する。 4. 電気と磁気の基本を理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/19	09:10-10:40	9 番教室	檜枝 光憲	
2	4/19	10:50-12:20	9 番教室	檜枝 光憲	
3	4/19	13:10-14:40	9 番教室	檜枝 光憲	
4	4/26	09:10-10:40	9 番教室	檜枝 光憲	
5	4/26	10:50-12:20	9 番教室	檜枝 光憲	
6	4/26	13:10-14:40	9 番教室	檜枝 光憲	
7	5/10	09:10-10:40	9 番教室	檜枝 光憲	
8	5/10	10:50-12:20	9 番教室	檜枝 光憲	
9	5/10	13:10-14:40	9 番教室	檜枝 光憲	
10	5/17	09:10-10:40	9 番教室	檜枝 光憲	
11	5/17	10:50-12:20	9 番教室	檜枝 光憲	
12	5/31	10:50-12:20	9 番教室	檜枝 光憲	
授業方法					
講義					
授業内容					
第1回-3回 力のつりあい、物体の運動 第4回-6回 力と運動、等速円運動 第7回-9回 単振動、仕事とエネルギー 第10-11回 電気と磁気 第12回 試験					
成績評価の方法					
評価 : 試験 60%、その他 : 小テスト 40% 再評価: 有					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
毎週実施する小テストに備えて授業の予習と復習を十分に行うこと。					
教科書					
これだけはおさえたい物理／金原粲 編著, 曾江久美, 筑紫格, 馬場茂, 藤井恵子 著: 実教出版, 2009					

参考書

もういちど読む 数研の高校物理 第1巻:数研出版, 2012

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる。

連絡先

hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜 11:00～13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000041				
科目名	生物学入門				
担当教員	中野 真樹, 永野 昌俊				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
火曜日 1～3 時限(4/19・4/26・5/10)、1～2 時限(5/17)、2 時限(5/31)					
対象学科: 医学科・歯学科・検査技術学専攻					
受講資格: 入学試験で生物学を選択しなかった者					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4-1					
授業の目的、概要等					
この授業では、入学試験で生物学を選択しなかった学生を対象とする。					
生物の形および機能の単位である「細胞」に関する基本的な知識を習得することと、代謝と遺伝の基本的な仕組みを理解することを目的とする。					
授業の到達目標(SB0s)					
1. 細胞の基本構造と細胞内小器官の機能を説明することができる。					
2. 生物を構成する物質の種類と機能を説明することができる。					
3. 代謝と遺伝の仕組みを説明することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/19	09:10-10:40	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦	
2	4/19	10:50-12:20	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦	
3	4/19	13:10-14:40	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦	
4	4/26	09:10-10:40	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦	
5	4/26	10:50-12:20	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦	
6	4/26	13:10-14:40	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦	
7	5/10	09:10-10:40	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦	
8	5/10	10:50-12:20	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦	
9	5/10	13:10-14:40	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦	
10	5/17	09:10-10:40	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊, 服部 淳彦	

11	5/17	10:50-12:20	1 番教室 7 番教室	中野 真樹 永野 昌俊 服部 淳彦	
12	5/31	10:50-12:20	1 番教室 7 番教室	中野 真樹 永野 昌俊 服部 淳彦	
授業方法 講義形式					
授業内容 第 1 回 個体の階層構造、細胞膜 第 2 回 核と細胞内小器官、細胞骨格 第 3 回 生体の構成元素、タンパク質 第 4 回 核酸、糖質、脂質 第 5 回 酵素反応 第 6 回 筋収縮 第 7 回 糖代謝 第 8 回 染色体、メンデルの法則 第 9 回 細胞周期、体細胞分裂 第 10 回 DNA の複製 第 11 回 DNA から RNA への転写 第 12 回 RNA からタンパク質への翻訳					
成績評価の方法 評価：試験 80% ・ レポート % ・ その他(小テスト) 20% 再評価：有(再試験)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習などについての具体的な指示 小テストや期末テストに備えて授業の予習と復習をしっかりとすること。					
教科書 「改訂第 2 版 はじめの一步のイラスト生化学・分子生物学」 前野正夫・磯川桂太郎 著 羊土社 2008					
参考書 「Essential 細胞生物学 第 3 版」 Bruce Alberts 他 著 中村桂子 他 訳 南江堂 2012					
履修上の注意事項 期末試験の受験資格は「東京医科歯科大学試験規則」による。					
連絡先 中野 真樹教養教務・支援係までお問い合わせ下さい。					
オフィスアワー 中野 真樹教養教務・支援係までお問い合わせ下さい。					

時間割番号	000043																																																																					
科目名	化学入門																																																																					
担当教員	奈良 雅之, 勝又 敏行																																																																					
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1																																																																	
・曜日・時間: 火曜日 1～4 限(前期分割 A) ・対象学科: 医学科・歯学科・保健衛生学科検査技術学専攻 ・受験資格: 入学試験で化学を選択しなかった者 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表4-1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる																																																																						
授業の目的、概要等 入試で化学を選択しなかったものに対し、高校卒業レベルの化学の知識を身につけるために開講する。高校レベルの化学を理解していないと、学部レベルはもちろん、大学教養レベルの化学(一般化学、化学実験など)すらついていけなくなるであろう。この授業では物理化学の基礎の他に、無機化学、有機化学の基礎も扱う。																																																																						
授業の到達目標(SB0s) 高校卒業レベルの化学の知識を身につけ、大学での講義に対応できるようになることを目標とする。																																																																						
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/19</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>4/19</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>4/19</td><td>13:10-14:40</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>4/19</td><td>14:50-16:20</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>4/26</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>4/26</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>7</td><td>4/26</td><td>13:10-14:40</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>8</td><td>4/26</td><td>14:50-16:20</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>9</td><td>5/10</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>10</td><td>5/10</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>11</td><td>5/10</td><td>13:10-14:40</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>12</td><td>5/10</td><td>14:50-16:20</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/19	09:10-10:40	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之	2	4/19	10:50-12:20	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之	3	4/19	13:10-14:40	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之	4	4/19	14:50-16:20	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之	5	4/26	09:10-10:40	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之	6	4/26	10:50-12:20	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之	7	4/26	13:10-14:40	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之	8	4/26	14:50-16:20	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之	9	5/10	09:10-10:40	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之	10	5/10	10:50-12:20	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之	11	5/10	13:10-14:40	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之	12	5/10	14:50-16:20	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																		
1	4/19	09:10-10:40	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																																		
2	4/19	10:50-12:20	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																																		
3	4/19	13:10-14:40	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																																		
4	4/19	14:50-16:20	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																																		
5	4/26	09:10-10:40	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																																		
6	4/26	10:50-12:20	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																																		
7	4/26	13:10-14:40	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																																		
8	4/26	14:50-16:20	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																																		
9	5/10	09:10-10:40	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																																		
10	5/10	10:50-12:20	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																																		
11	5/10	13:10-14:40	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																																		
12	5/10	14:50-16:20	2 番教室	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																																		
授業方法 講義による																																																																						
授業内容 1. 物質の構造 物質の構成要素: 元素・単体・化合物、原子と分子 化学結合、化学量論: 原子量・分子量・式量、化学反応式 2. 物質の状態 物質の状態変化と粒子の運動: 物質の三態・蒸発熱・融解熱と沸点・融点、 気体: 気体定数と状態方程式・理想気体と実在気体、																																																																						

溶液: 溶液の濃度と溶解度・希薄溶液の性質、コロイド 3. 物質の変化 化学反応と熱: 熱化学方程式・結合エネルギー、 酸と塩基の反応: 水素イオン濃度とpH・中和反応と中和滴定、 酸化還元反応、化学反応の速さと化学平衡 4. 単体と無機化合物 周期表と元素の分類、典型元素、遷移元素 5. 有機化合物 有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物 6. 高分子化合物 高分子化合物の特徴と分類、天然物高分子化合物、合成高分子化合物
成績評価の方法 評価: 試験 100%・レポート 0% 再評価: 有(再評価方法: 再試験)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 テキストを事前に読んで、解り難かったところを把握しておいてください。
試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席
教科書 大学生のための例題で学ぶ化学入門／大野公一, 村田滋, 錦織紳一 著.: 共立出版, 2005
参考書 化学／岡崎三代, 奈良雅之, 永井裕, 中澤泰男 著.: 医歯薬出版, 2005 化学入門／下井守, 村田滋 著.: 東京化学同人, 2013 化学入門／大野公一 [ほか] 著.: 共立出版, 1997 一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著, 一國雅巳 訳.: オーム社, 1995
連絡先 奈良 雅之 nara.las@tmd.ac.jp 勝又 敏行 katsumata.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之: 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 勝又 敏行: 毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階 化学実験準備室

時間割番号	000269			
科目名	数学(微積分)M			
担当教員	清田 正夫			
開講時期	前期	対象年次	1	
曜日・時限: 月曜日3時限 対象学科: 医学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 4-2)				
授業の目的、概要等				
高校ですでに学んだ微積分を改めて、極限操作に基づく数学の体系の基礎としての微分積分学を学び、科学の基礎としての数学の重要性を認識する。多変数の微積分まで範囲を広げ、物理学、化学、経済学など諸分野における応用を含めて学ぶ。				
授業の到達目標(SBOs)				
1変数および多変数の微積分における基本的な公式を理解し、的確に運用することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	13:10-14:40	1 番教室	清田 正夫
2	4/18	13:10-14:40	1 番教室	清田 正夫
3	4/25	13:10-14:40	1 番教室	清田 正夫
4	5/2	13:10-14:40	1 番教室	清田 正夫
5	5/9	13:10-14:40	1 番教室	清田 正夫
6	5/16	13:10-14:40	1 番教室	清田 正夫
7	5/23	13:10-14:40	1 番教室	清田 正夫
8	5/30	13:10-14:40	1 番教室	清田 正夫
9	6/6	13:10-14:40	1 番教室	清田 正夫
10	6/13	13:10-14:40	1 番教室	清田 正夫
11	6/20	13:10-14:40	1 番教室	清田 正夫
12	6/27	13:10-14:40	1 番教室	清田 正夫
13	7/4	13:10-14:40	1 番教室	清田 正夫
14	7/11	13:10-14:40	1 番教室	清田 正夫
15	7/25	13:10-14:40	1 番教室	清田 正夫
授業方法				
板書による講義と演習を交えながら授業を進め、数回に1回の割合で演習のみを行う時間を設ける。 毎回の授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行なう。				
授業内容				
第1回—第2回 極限と連続、初等関数 第3回—第4回 微分の定義と諸公式 第5回—第6回 微分法の応用 第7回—第8回 2変数関数の偏微分 第9回—第10回 積分の諸公式と計算 第11回—第12回 積分法の応用 第13回—第15回 2変数関数の重積分				
成績評価の方法				
評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 20% 再評価: 有(筆記試験) 試験は期末に筆記試験によって行う。				
通年科目の「数学」としての単位は、後期開講の「数学(線形代数)」と合わせて評価される。微積分と線形代数それぞれについて「試験の受験資格」を満たし、かつ両方の試験を受験したもののみを、「数学」の評価の対象とする。				

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示
高校数学の内容をよく復習しておくこと。 予習より復習に重点をおき、授業後に教科書の演習問題を自分で解くこと。 返却されたクイズの正解を確認すること。
試験の受験資格
授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出。
教科書
微積分の基礎／浦川肇 著、:朝倉書店, 2006
参考書
初歩から学べる微積分学／佐藤恒雄 [[ほか]共著、:培風館, 1999 定本解析概論／高木貞治 著、:岩波書店, 2010 現代の古典解析：微積分基礎課程／森毅 著、:筑摩書房, 2006
履修上の注意事項
出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。
連絡先
清田 正夫kiyota.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
清田 正夫:毎週月曜日、木曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階数学研究室(清田)

時間割番号	000270				
科目名	数学(微積分)D				
担当教員	中口 悦史				
開講時期	前期	対象年次	1		
曜日・時限:水曜日1時限 対象学科:歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2-1), 4-2)					
授業の目的、概要等 高校ですでに学んだ微積分を改めて、極限操作に基づく数学の体系の基礎としての微分積分学を学び、科学の基礎としての数学の重要性を認識する。多変数の微積分まで範囲を広げ、物理学、化学、経済学など諸分野における応用を含めて学ぶ。					
授業の到達目標(SBOs) 1変数および多変数の微積分における基本的な公式を理解し、的確に運用することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	4/13	09:10-10:40	7 番教室	実数と連続性・多変数関数(1)	中口 悦史
2	4/20	09:10-10:40	7 番教室	実数と連続性・多変数関数(2)	中口 悦史
3	4/27	09:10-10:40	7 番教室	実数と連続性・多変数関数(3)	中口 悦史
4	5/11	09:10-10:40	7 番教室	実数と連続性・多変数関数(4)	中口 悦史
5	5/18	09:10-10:40	7 番教室	実数と連続性・多変数関数(5)	中口 悦史
6	5/25	09:10-10:40	7 番教室	微分と偏微分(1)	中口 悦史
7	6/1	09:10-10:40	7 番教室	微分と偏微分(2)	中口 悦史
8	6/8	09:10-10:40	7 番教室	微分と偏微分(3)	中口 悦史
9	6/15	09:10-10:40	7 番教室	微分と偏微分(4)	中口 悦史
10	6/22	09:10-10:40	7 番教室	微分と偏微分(5)	中口 悦史
11	6/29	09:10-10:40	7 番教室	積分と重積分(1)	中口 悦史
12	7/6	09:10-10:40	7 番教室	積分と重積分(2)	中口 悦史
13	7/13	09:10-10:40	7 番教室	積分と重積分(3)	中口 悦史
14	7/20	09:10-10:40	7 番教室	積分と重積分(4)	中口 悦史
15	7/27	09:10-10:40	7 番教室	積分と重積分(5)	中口 悦史
授業方法 主に板書による講義によって進め、毎回1題の演習問題の時間を設ける。					
授業内容 第 1～ 5回 実数と連続性・多変数関数 第 6～10回 微分と偏微分 第11～15回 積分と重積分					
成績評価の方法 評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 20% 再評価: 有(筆記試験) 試験は期末に筆記試験によって行う。 通年科目の「数学」としての単位は、後期開講の「数学(線形代数)」と合わせて評価される。微積分と線形代数それぞれについて「試験の受験資格」を満たし、かつ両方の試験を受験したもののみを、「数学」の評価の対象とする。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による					
準備学習などについての具体的な指示 高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回の演習問題も復習することが望ましい。					

必要に応じて下記演習書『演習 微分積分』により各自演習すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席, ならびに, 出席回の演習カードの提出。
教科書 微分積分学／難波誠 著, 裳華房, 1996 演習微分積分／寺田 文行／[ほか]共著, サイエンス社, 1985
参考書 定本解析概論／高木貞治 著, 岩波書店, 2010 初歩から学べる微積分学／佐藤恒雄 [ほか]共著, 培風館, 1999 基礎課程 解析学／水野克彦 編, 学術図書, 1966 解析教程 上 新装版／E.ハイラー・G.ワナー 著, 蟹江幸博 訳, 丸善出版, 2012 解析教程 下 新装版／E.ハイラー・G.ワナー 著, 蟹江幸博 訳, 丸善出版, 2012 いかんにして問題をとくか／G. ポリア 著, 柿内 賢信 訳, 丸善株式会社出版事業部
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと, 各回の演習カード提出を併用する。
連絡先 中口 悦史nakagutilas@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中口 悦史水・金 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する／ 電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000271			
科目名	数学(線形代数)(a)			
担当教員	清田 正夫			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時限: 木曜日1時限 対象学科: 医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 4-2)				
授業の目的、概要等 諸科学の基本的な数学的方法である線形代数学の考え方と計算法、及びその応用を学ぶ。 具体的な計算を通して、連立1次方程式の解法、行列式、一次独立性、固有値等の基礎概念を理解していく。 最後に理論体系としての線形空間と線形写像を学ぶ。				
授業の到達目標(SBOs) 基本的な線形演算を理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/29	09:10-10:40	1 番教室	清田 正夫
2	10/6	09:10-10:40	1 番教室	清田 正夫
3	10/13	09:10-10:40	1 番教室	清田 正夫
4	10/20	09:10-10:40	1 番教室	清田 正夫
5	10/27	09:10-10:40	1 番教室	清田 正夫
6	11/10	09:10-10:40	1 番教室	清田 正夫
7	11/17	09:10-10:40	1 番教室	清田 正夫
8	11/24	09:10-10:40	1 番教室	清田 正夫
9	12/1	09:10-10:40	1 番教室	清田 正夫
10	12/8	09:10-10:40	1 番教室	清田 正夫
11	12/15	09:10-10:40	1 番教室	清田 正夫
12	12/22	09:10-10:40	1 番教室	清田 正夫
13	1/12	09:10-10:40	1 番教室	清田 正夫
14	1/19	09:10-10:40	1 番教室	清田 正夫
15	1/26	09:10-10:40	1 番教室	清田 正夫
授業方法 板書による講義と演習を交えながら授業を進め、数回に1回の割合で演習のみを行う時間を設ける。 毎回の授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行なう。				
授業内容 第1回～第2回: 行列の定義と演算 第3回～第4回: 連立1次方程式 第5回～第6回: 逆行列の計算、同次連立1次方程式 第7回～第8回: 行列式の定義と性質 第9回～第10回: 行列式の計算、クラメルの公式 第11回～第12回: 線形空間、ベクトルの1次独立性 第13回～第14回: 線形写像と固有値 第15回: まとめ				
成績評価の方法 評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 20% 再評価: 有(筆記試験) 試験は期末に筆記試験によって行う。				
通年科目の「数学」としての単位は、前期開講の「数学(微積分)」と合わせて評価される。微積分と線形代数それぞれについて「試験の				

受験資格を満たし、かつ両方の試験を受験したもののみを、「数学」の評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習より復習に重点をおき、授業後に教科書の演習問題を自分で解くこと。 返却されたクイズの正解を確認すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出。
教科書 教養の線形代数／村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 共著, : 培風館, 2008
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。
連絡先 清田 正夫kiyota.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 清田 正夫毎週月曜日、木曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階数学研究室(清田)

時間割番号	000272																																																																																		
科目名	数学(線形代数) (B)																																																																																		
担当教員	清田 正夫																																																																																		
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																
曜日・時限: 木曜日2時限 対象学科: 医学科、歯学科 受講資格: 募集人数: 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 4-2)																																																																																			
授業の目的、概要等 諸科学の基本的な数学的方法である線形代数学の考え方と計算法、及びその応用を学ぶ。 具体的な計算を通して、連立1次方程式の解法、行列式、一次独立性、固有値等の基礎概念を理解していく。 最後に理論体系としての線形空間と線形写像を学ぶ。																																																																																			
授業の到達目標(SB0s) 基本的な線形演算を理解する。																																																																																			
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>9/29</td><td>10:50-12:20</td><td>1 番教室</td><td>清田 正夫</td></tr><tr><td>2</td><td>10/6</td><td>10:50-12:20</td><td>1 番教室</td><td>清田 正夫</td></tr><tr><td>3</td><td>10/13</td><td>10:50-12:20</td><td>1 番教室</td><td>清田 正夫</td></tr><tr><td>4</td><td>10/20</td><td>10:50-12:20</td><td>1 番教室</td><td>清田 正夫</td></tr><tr><td>5</td><td>10/27</td><td>10:50-12:20</td><td>1 番教室</td><td>清田 正夫</td></tr><tr><td>6</td><td>11/10</td><td>10:50-12:20</td><td>1 番教室</td><td>清田 正夫</td></tr><tr><td>7</td><td>11/17</td><td>10:50-12:20</td><td>1 番教室</td><td>清田 正夫</td></tr><tr><td>8</td><td>11/24</td><td>10:50-12:20</td><td>1 番教室</td><td>清田 正夫</td></tr><tr><td>9</td><td>12/1</td><td>10:50-12:20</td><td>1 番教室</td><td>清田 正夫</td></tr><tr><td>10</td><td>12/8</td><td>10:50-12:20</td><td>1 番教室</td><td>清田 正夫</td></tr><tr><td>11</td><td>12/15</td><td>10:50-12:20</td><td>1 番教室</td><td>清田 正夫</td></tr><tr><td>12</td><td>12/22</td><td>10:50-12:20</td><td>1 番教室</td><td>清田 正夫</td></tr><tr><td>13</td><td>1/12</td><td>10:50-12:20</td><td>1 番教室</td><td>清田 正夫</td></tr><tr><td>14</td><td>1/19</td><td>10:50-12:20</td><td>1 番教室</td><td>清田 正夫</td></tr><tr><td>15</td><td>1/26</td><td>10:50-12:20</td><td>1 番教室</td><td>清田 正夫</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/29	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫	2	10/6	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫	3	10/13	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫	4	10/20	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫	5	10/27	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫	6	11/10	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫	7	11/17	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫	8	11/24	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫	9	12/1	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫	10	12/8	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫	11	12/15	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫	12	12/22	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫	13	1/12	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫	14	1/19	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫	15	1/26	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	9/29	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫																																																																															
2	10/6	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫																																																																															
3	10/13	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫																																																																															
4	10/20	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫																																																																															
5	10/27	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫																																																																															
6	11/10	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫																																																																															
7	11/17	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫																																																																															
8	11/24	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫																																																																															
9	12/1	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫																																																																															
10	12/8	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫																																																																															
11	12/15	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫																																																																															
12	12/22	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫																																																																															
13	1/12	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫																																																																															
14	1/19	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫																																																																															
15	1/26	10:50-12:20	1 番教室	清田 正夫																																																																															
授業方法 板書による講義と演習を交えながら授業を進め、数回に1回の割合で演習のみを行う時間を設ける。 毎回の授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行なう。																																																																																			
授業内容 第1回～第2回: 行列の定義と演算 第3回～第4回: 連立1次方程式 第5回～第6回: 逆行列の計算、同次連立1次方程式 第7回～第8回: 行列式の定義と性質 第9回～第10回: 行列式の計算、クラメルの公式 第11回～第12回: 線形空間、ベクトルの1次独立性 第13回～第14回: 線形写像と固有値 第15回: まとめ																																																																																			
成績評価の方法 評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 20% 再評価: 有(筆記試験) 試験は期末に筆記試験によって行う。																																																																																			

通年科目の「数学」としての単位は、前期開講の「数学(微積分)」と合わせて評価される。微積分と線形代数それぞれについて「試験の受験資格」を満たし、かつ両方の試験を受験したもののみを、「数学」の評価の対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習より復習に重点をおき、授業後に教科書の演習問題を自分で解くこと。

返却されたクイズの正解を確認すること。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出。

教科書

教養の線形代数／村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 共著, : 培風館, 2008

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。

連絡先

清田 正夫 kiyota.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

清田 正夫 毎週月曜日、木曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階数学研究室(清田)

時間割番号	000046				
科目名	数学基礎				
担当教員	清田 正夫				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時限: 木曜日3時限 対象学科: 検査技術学専攻 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 4-2)					
授業の目的、概要等					
高校ですでに学んだ微積分を改めて、極限操作に基づく数学の体系の基礎としての微分積分学を学び、科学の基礎としての数学の重要性を認識する。多変数の微積分まで範囲を広げ、物理学、化学、経済学など諸分野における応用を含めて学ぶ。					
授業の到達目標(SB0s)					
1変数および多変数の微積分における基本的な公式を理解し、的確に運用することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/14	13:10-14:40	6 番教室	清田 正夫	
2	4/21	13:10-14:40	6 番教室	清田 正夫	
3	4/28	13:10-14:40	6 番教室	清田 正夫	
4	5/12	13:10-14:40	6 番教室	清田 正夫	
5	5/19	13:10-14:40	6 番教室	清田 正夫	
6	5/26	13:10-14:40	6 番教室	清田 正夫	
7	6/2	13:10-14:40	6 番教室	清田 正夫	
8	6/9	13:10-14:40	6 番教室	清田 正夫	
9	6/16	13:10-14:40	6 番教室	清田 正夫	
10	6/23	13:10-14:40	6 番教室	清田 正夫	
11	6/30	13:10-14:40	6 番教室	清田 正夫	
12	7/7	13:10-14:40	6 番教室	清田 正夫	
13	7/14	13:10-14:40	6 番教室	清田 正夫	
14	7/21	13:10-14:40	6 番教室	清田 正夫	
15	7/28	13:10-14:40	6 番教室	清田 正夫	
授業方法					
板書による講義と演習を交えながら授業を進め、数回に1回の割合で演習のみを行う時間を設ける。 毎回の授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行なう。					
授業内容					
第1回—第2回 極限と連続、初等関数 第3回—第4回 微分の定義と諸公式 第5回—第6回 微分法の応用 第7回—第8回 2変数関数の偏微分 第9回—第10回 積分の諸公式と計算 第11回—第12回 積分法の応用 第13回—第15回 2変数関数の重積分					
成績評価の方法					
評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 20% 再評価: 有(筆記試験) 試験は期末に筆記試験によって行う。 「試験の受験資格」を満たし、かつ期末試験を受験したもののみを、評価の対象とする。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による					

準備学習などについての具体的な指示

高校数学の内容をよく復習しておくこと。

予習より復習に重点をおき、授業後に教科書の演習問題を自分で解くこと。

返却されたクイズの正解を確認すること。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出。

教科書

初歩から学べる微積分学／佐藤恒雄 [ほか]共著, : 培風館, 1999

参考書

微積分の基礎／浦川肇 著, : 朝倉書店, 2006

定本解析概論／高木貞治 著, : 岩波書店, 2010

現代の古典解析：微積分基礎課程／森毅 著, : 筑摩書房, 2006

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。

連絡先

清田 正夫kiyota.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

清田 正夫毎週月曜日、木曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階数学研究室(清田)

時間割番号	000047				
科目名	統計学 O・K				
担当教員	清田 正夫				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時限: 月曜日5時限 対象学科: 口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2－1), 2－3), 4－4)					
授業の目的、概要等 科学の言語とも言われる統計学の基礎と、その理解に必要な確率論の初歩を学び、統計学に対する理解を深める。高校で学んだ確率・統計から発展して、統計的検定法までを学ぶ。					
授業の到達目標(SBOs) 基本的な確率計算と、平均および比率の推定と検定を行なうことができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/26	16:30-18:00	6 番教室	清田 正夫	
2	10/3	16:30-18:00	6 番教室	清田 正夫	
3	10/17	16:30-18:00	6 番教室	清田 正夫	
4	10/24	16:30-18:00	6 番教室	清田 正夫	
5	10/31	16:30-18:00	6 番教室	清田 正夫	
6	11/7	16:30-18:00	6 番教室	清田 正夫	
7	11/14	16:30-18:00	6 番教室	清田 正夫	
8	11/21	16:30-18:00	6 番教室	清田 正夫	
9	11/28	16:30-18:00	6 番教室	清田 正夫	
10	12/5	16:30-18:00	6 番教室	清田 正夫	
11	12/12	16:30-18:00	6 番教室	清田 正夫	
12	12/19	16:30-18:00	6 番教室	清田 正夫	
13	1/16	16:30-18:00	6 番教室	清田 正夫	
14	1/23	16:30-18:00	6 番教室	清田 正夫	
15	1/30	16:30-18:00	6 番教室	清田 正夫	
授業方法 主として、板書による講義を行なう。 毎回の授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行なう。 中間試験と定期試験を行なう。					
授業内容 第 1回 標本データの記述 第 2回 確率と標本空間 第 3回 ベイズの定理と確率分布 第 4回 2項分布と正規分布 第 5回 正規近似と中心極限定理 第 6回 母集団と標本抽出 第 7回 中間試験 第 8回 平均値の推定 第 9回 比率の推定 第10回 推定とt分布 第11回 平均値の検定 第12回 比率の検定 第13回 検定とt分布 第14回 総合演習1					

第15回 総合演習2
成績評価の方法 評価：中間試験 30% ・ 定期試験 60% ・ その他(授業中の演習)10% 再評価：有(筆記試験) ・ 中間試験と定期試験はいずれも筆記試験によって行う。 ・ 前出の「試験の受験資格」を満たし、かつ、中間試験と定期試験の両方を受験したもののみを、評価の対象とする。評価対象者が不合格となった場合は、再評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 高校数学の内容をよく復習しておくこと。 予習より復習に重点をおき、授業後に教科書の演習問題を自分で解くこと。 返却されたクイズの正解を確認すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出(下記「授業方法」参照)。
教科書 数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山館周恒, 熊坂一成 著.: 医歯薬出版, 2005
参考書 初等統計学／P. G. ホーエル 著, 浅井 晃 共訳, 村上 正康 共訳: 培風館, 1985 統計学入門／東京大学教養学部統計学教室／編: 東京大学出版会, 1991
履修上の注意事項 ・ 電卓必携。平方根計算ができるものであること。試験では関数電卓やスマホ等の利用は不可。 ・ 出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。
備考 中間試験、定期試験の成績により、レポート課題を課すこともある。
連絡先 清田 正夫 kiyota.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 清田 正夫: 毎週月曜日、木曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階数学研究室(清田)

時間割番号	000048																																																																																																				
科目名	統計学 N																																																																																																				
担当教員	中口 悦史																																																																																																				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																																
曜日・時限: 月曜日5時限 対象学科: 保健衛生学科看護学専攻 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 2-3), 4-4)																																																																																																					
授業の目的、概要等 科学の言語とも言われる統計学の基礎と、その理解に必要な確率論の初歩を学び、統計学に対する理解を深める。高校で学んだ確率・統計から発展して、統計的検定法までを学ぶ。																																																																																																					
授業の到達目標(SBOs) 基本的な確率計算と、平均および比率の推定と検定を行なうことができる。																																																																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9/26</td><td>16:30-18:00</td><td>10 番教室</td><td>母集団と標本(1)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/3</td><td>16:30-18:00</td><td>10 番教室</td><td>母集団と標本(2)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>16:30-18:00</td><td>10 番教室</td><td>確率と確率分布(1)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>16:30-18:00</td><td>10 番教室</td><td>確率と確率分布(2)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>16:30-18:00</td><td>10 番教室</td><td>確率と確率分布(3)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>16:30-18:00</td><td>10 番教室</td><td>確率と確率分布(4)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>16:30-18:00</td><td>10 番教室</td><td>総合演習1</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>16:30-18:00</td><td>10 番教室</td><td>統計的推定(1)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>16:30-18:00</td><td>10 番教室</td><td>統計的推定(2)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>16:30-18:00</td><td>10 番教室</td><td>統計的推定(3)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>16:30-18:00</td><td>10 番教室</td><td>統計的仮説検定(1)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>16:30-18:00</td><td>10 番教室</td><td>統計的仮説検定(2)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>16:30-18:00</td><td>10 番教室</td><td>統計的仮説検定(3)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>16:30-18:00</td><td>10 番教室</td><td>統計的仮説検定(4)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>16:30-18:00</td><td>10 番教室</td><td>総合演習2</td><td>中口 悦史</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	1	9/26	16:30-18:00	10 番教室	母集団と標本(1)	中口 悦史	2	10/3	16:30-18:00	10 番教室	母集団と標本(2)	中口 悦史	3	10/17	16:30-18:00	10 番教室	確率と確率分布(1)	中口 悦史	4	10/24	16:30-18:00	10 番教室	確率と確率分布(2)	中口 悦史	5	10/31	16:30-18:00	10 番教室	確率と確率分布(3)	中口 悦史	6	11/7	16:30-18:00	10 番教室	確率と確率分布(4)	中口 悦史	7	11/14	16:30-18:00	10 番教室	総合演習1	中口 悦史	8	11/21	16:30-18:00	10 番教室	統計的推定(1)	中口 悦史	9	11/28	16:30-18:00	10 番教室	統計的推定(2)	中口 悦史	10	12/5	16:30-18:00	10 番教室	統計的推定(3)	中口 悦史	11	12/12	16:30-18:00	10 番教室	統計的仮説検定(1)	中口 悦史	12	12/19	16:30-18:00	10 番教室	統計的仮説検定(2)	中口 悦史	13	1/16	16:30-18:00	10 番教室	統計的仮説検定(3)	中口 悦史	14	1/23	16:30-18:00	10 番教室	統計的仮説検定(4)	中口 悦史	15	1/30	16:30-18:00	10 番教室	総合演習2	中口 悦史
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員																																																																																																
1	9/26	16:30-18:00	10 番教室	母集団と標本(1)	中口 悦史																																																																																																
2	10/3	16:30-18:00	10 番教室	母集団と標本(2)	中口 悦史																																																																																																
3	10/17	16:30-18:00	10 番教室	確率と確率分布(1)	中口 悦史																																																																																																
4	10/24	16:30-18:00	10 番教室	確率と確率分布(2)	中口 悦史																																																																																																
5	10/31	16:30-18:00	10 番教室	確率と確率分布(3)	中口 悦史																																																																																																
6	11/7	16:30-18:00	10 番教室	確率と確率分布(4)	中口 悦史																																																																																																
7	11/14	16:30-18:00	10 番教室	総合演習1	中口 悦史																																																																																																
8	11/21	16:30-18:00	10 番教室	統計的推定(1)	中口 悦史																																																																																																
9	11/28	16:30-18:00	10 番教室	統計的推定(2)	中口 悦史																																																																																																
10	12/5	16:30-18:00	10 番教室	統計的推定(3)	中口 悦史																																																																																																
11	12/12	16:30-18:00	10 番教室	統計的仮説検定(1)	中口 悦史																																																																																																
12	12/19	16:30-18:00	10 番教室	統計的仮説検定(2)	中口 悦史																																																																																																
13	1/16	16:30-18:00	10 番教室	統計的仮説検定(3)	中口 悦史																																																																																																
14	1/23	16:30-18:00	10 番教室	統計的仮説検定(4)	中口 悦史																																																																																																
15	1/30	16:30-18:00	10 番教室	総合演習2	中口 悦史																																																																																																
授業方法 主に板書による講義によって進め、毎回1題の演習問題の時間を設ける。																																																																																																					
授業内容 第 1～ 2回 母集団と標本																																																																																																					

第 3～ 6回 確率と確率分布 第 7回 総合演習1 第 8～10回 統計的推定 第11～14回 統計的仮説検定 第15回 総合演習2
成績評価の方法 評価：試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 30% 再評価：有(筆記試験) ・ 試験は中間考査と期末考査の2回に分けていずれも筆記試験によって行う。 ・ 前出の「試験の受験資格」を満たし、かつ、中間考査と期末考査の両方を受験したもののみを、評価の対象とし、それ以外は履修放棄と見なす。評価対象者が不合格となった場合は、再評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示 高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回の演習問題も復習することが望ましい。 必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに、出席回の演習カードの提出。
教科書 数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山館周恒, 熊坂一成 著, 医歯薬出版, 2005 統計学演習／村上正康, 安田正実 共著, 培風館, 1989
参考書 バイオサイエンスの統計学：正しく活用するための実践理論／市原清志 著, 南江堂, 1990 保健統計学テキスト：医療技術・健康科学・看護系のための／遠藤和男 著, 考古堂書店, 2010 やさしい保健統計学 = Health Statistics Made Simple／縣俊彦 著, 南江堂, 2013 初等統計学／P. G. ホーエル 著, 浅井 晃 共訳, 村上 正康 共訳, 培風館, 1985 統計学入門／東京大学教養学部統計学教室編, 東京大学出版会, 1991-07 人文・社会科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編, 東京大学出版会, 1994 自然科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室／編, 東京大学出版会, 1992
履修上の注意事項 ・ 電卓必携。平方根計算ができるものであること。試験では関数電卓やスマホ等の利用は不可。 ・ 出欠確認は出欠管理システムと、各回の演習カード提出を併用する。
連絡先 中口 悦史nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中口 悦史水・金 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000049																																																																																																										
科目名	統計学Ⅰ																																																																																																										
担当教員	中口 悦史																																																																																																										
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																																						
曜日・時限: 曜日・時限: 木曜日(第1～8週のみ) 2・3時限 対象学科: 保健衛生学科検査技術学専攻 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 2-3), 4-4)																																																																																																											
授業の目的、概要等 科学の言語とも言われる統計学の基礎と、その理解に必要な確率論の初歩を学び、統計学に対する理解を深める。高校で学んだ確率・統計から発展して、統計的検定法までを学ぶ。																																																																																																											
授業の到達目標(SBOs) 基本的な確率計算と、平均および比率の推定と検定を行なうことができる。																																																																																																											
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9/29</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>母集団と標本(1)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>2</td><td>9/29</td><td>13:10-14:40</td><td>8 番教室</td><td>母集団と標本(2)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/6</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>確率と確率分布(1)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/6</td><td>13:10-14:40</td><td>8 番教室</td><td>確率と確率分布(2)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/13</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>確率と確率分布(3)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>6</td><td>10/13</td><td>13:10-14:40</td><td>8 番教室</td><td>確率と確率分布(4)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>7</td><td>10/20</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>総合演習1</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>8</td><td>10/20</td><td>13:10-14:40</td><td>8 番教室</td><td>統計的推定(1)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>9</td><td>10/27</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>統計的推定(2)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>10</td><td>10/27</td><td>13:10-14:40</td><td>8 番教室</td><td>統計的推定(3)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>11</td><td>11/10</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>統計的仮説検定(1)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>12</td><td>11/10</td><td>13:10-14:40</td><td>8 番教室</td><td>統計的仮説検定(2)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>13</td><td>11/17</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>統計的仮説検定(3)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>14</td><td>11/17</td><td>13:10-14:40</td><td>8 番教室</td><td>統計的仮説検定(4)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>15</td><td>11/24</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>総合演習2</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>16</td><td>11/24</td><td>13:10-14:40</td><td>8 番教室</td><td>総合演習2</td><td>中口 悦史</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	1	9/29	10:50-12:20	8 番教室	母集団と標本(1)	中口 悦史	2	9/29	13:10-14:40	8 番教室	母集団と標本(2)	中口 悦史	3	10/6	10:50-12:20	8 番教室	確率と確率分布(1)	中口 悦史	4	10/6	13:10-14:40	8 番教室	確率と確率分布(2)	中口 悦史	5	10/13	10:50-12:20	8 番教室	確率と確率分布(3)	中口 悦史	6	10/13	13:10-14:40	8 番教室	確率と確率分布(4)	中口 悦史	7	10/20	10:50-12:20	8 番教室	総合演習1	中口 悦史	8	10/20	13:10-14:40	8 番教室	統計的推定(1)	中口 悦史	9	10/27	10:50-12:20	8 番教室	統計的推定(2)	中口 悦史	10	10/27	13:10-14:40	8 番教室	統計的推定(3)	中口 悦史	11	11/10	10:50-12:20	8 番教室	統計的仮説検定(1)	中口 悦史	12	11/10	13:10-14:40	8 番教室	統計的仮説検定(2)	中口 悦史	13	11/17	10:50-12:20	8 番教室	統計的仮説検定(3)	中口 悦史	14	11/17	13:10-14:40	8 番教室	統計的仮説検定(4)	中口 悦史	15	11/24	10:50-12:20	8 番教室	総合演習2	中口 悦史	16	11/24	13:10-14:40	8 番教室	総合演習2	中口 悦史
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員																																																																																																						
1	9/29	10:50-12:20	8 番教室	母集団と標本(1)	中口 悦史																																																																																																						
2	9/29	13:10-14:40	8 番教室	母集団と標本(2)	中口 悦史																																																																																																						
3	10/6	10:50-12:20	8 番教室	確率と確率分布(1)	中口 悦史																																																																																																						
4	10/6	13:10-14:40	8 番教室	確率と確率分布(2)	中口 悦史																																																																																																						
5	10/13	10:50-12:20	8 番教室	確率と確率分布(3)	中口 悦史																																																																																																						
6	10/13	13:10-14:40	8 番教室	確率と確率分布(4)	中口 悦史																																																																																																						
7	10/20	10:50-12:20	8 番教室	総合演習1	中口 悦史																																																																																																						
8	10/20	13:10-14:40	8 番教室	統計的推定(1)	中口 悦史																																																																																																						
9	10/27	10:50-12:20	8 番教室	統計的推定(2)	中口 悦史																																																																																																						
10	10/27	13:10-14:40	8 番教室	統計的推定(3)	中口 悦史																																																																																																						
11	11/10	10:50-12:20	8 番教室	統計的仮説検定(1)	中口 悦史																																																																																																						
12	11/10	13:10-14:40	8 番教室	統計的仮説検定(2)	中口 悦史																																																																																																						
13	11/17	10:50-12:20	8 番教室	統計的仮説検定(3)	中口 悦史																																																																																																						
14	11/17	13:10-14:40	8 番教室	統計的仮説検定(4)	中口 悦史																																																																																																						
15	11/24	10:50-12:20	8 番教室	総合演習2	中口 悦史																																																																																																						
16	11/24	13:10-14:40	8 番教室	総合演習2	中口 悦史																																																																																																						
授業方法 主に板書による講義によって進め、毎回1題の演習問題の時間を設ける。																																																																																																											
授業内容 第 1～ 2回 母集団と標本 第 3～ 6回 確率と確率分布 第 7回 総合演習1 第 8～10回 統計的推定 第11～14回 統計的仮説検定 第15～16回 総合演習2																																																																																																											
成績評価の方法 評価 : 試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 30% 再評価: 有(筆記試験) ・ 試験は中間考査と期末考査の2回に分けていずれも筆記試験によって行う。 ・ 前出の「試験の受験資格」を満たし、かつ、中間考査と期末考査の両方を受験したもののみを、評価の対象とし、それ以外は履修放棄と見なす。評価対象者が不合格となった場合は、再評価の対象とする。																																																																																																											
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による																																																																																																											

準備学習などについての具体的な指示 高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回の演習問題も復習することが望ましい。 必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席, ならびに, 出席回の演習カードの提出。
教科書 数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山館周恒, 熊坂一成 著, 医歯薬出版, 2005 統計学演習／村上正康, 安田正実 共著, 培風館, 1989
参考書 バイオサイエンスの統計学：正しく活用するための実践理論／市原清志 著, 南江堂, 1990 保健統計学テキスト：医療技術・健康科学・看護系のための／遠藤和男 著, 考古堂書店, 2010 やさしい保健統計学 = Health Statistics Made Simple.／縣俊彦 著, 南江堂, 2013 初等統計学／P. G. ホーエル 著, 浅井 晃 共訳, 村上 正康 共訳, 培風館, 1985 統計学入門／東京大学教養学部統計学教室編, 東京大学出版会, 1991-07 人文・社会科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編, 東京大学出版会, 1994 自然科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室／編, 東京大学出版会, 1992
履修上の注意事項 ・ 電卓必携。平方根計算ができるものであること。試験では関数電卓やスマホ等の利用は不可。 ・ 出欠確認は出欠管理システムと, 各回の演習カード提出を併用する。 ・ 2～3限の連続の授業となるが, 昼休みを挟むため, 2限3限それぞれ出欠管理システムのカードリーダーにタッチして出席登録すること。
連絡先 中口 悦史nakagutilas@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中口 悦史水・金 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000257			
科目名	物理学(力学)M			
担当教員	檜枝 光憲			
開講時期	前期	対象年次	1	
曜日・時間: 月曜5限 対象学科: 医学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2－1)、別表4－2)				
授業の目的、概要等				
力学は電磁気学と並んで物理学の基礎をなす重要な分野です。物体の落下運動など目で見える力学現象は皆さんの身の回りで起こることであり馴染みがあるでしょう。すでに高校物理でも力学を学び、様々な物体の運動(投げたボールの軌跡、人工衛星の軌道、バネの振動など)の未来の状況(たとえば位置と速度)がわかってしまうことに感動した諸君も多いかもしれません。本講義では微積分を使って大学レベルに発展させ、様々な物体の運動の解析に応用できるようにしていきます。				
授業の到達目標(SB0s)				
物体の運動が微分方程式で書けることを理解する。 様々な保存則が導出できることを理解する。 ニュートンの運動方程式(微分方程式)と様々な保存則を使い、いろいろな力学系の運動を解析できるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
2	4/18	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
3	4/25	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
4	5/2	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
5	5/9	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
6	5/16	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
7	5/23	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
8	5/30	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
9	6/6	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
10	6/13	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
11	6/20	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
12	6/27	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
13	7/4	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
14	7/11	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
15	7/25	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
授業方法				
講義				
授業内容				
授業内容				
・運動の表し方(座標と変位)				
・速度と加速度				
・運動の法則				
・単振動				
・束縛運動				
・エネルギーと仕事(エネルギー保存則)				
・非慣性系での運動				
・衝突と2体問題(運動量保存則)				
・惑星の運動(万有引力と角運動量保存則)				
・剛体の力学の基礎				
・剛体の平面運動				

・自由空間の剛体系
成績評価の方法 評価：試験 100%（平常点を加味する場合もある） 再評価：有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習は特に要求しないが、授業後はきちんと復習すること。
教科書 力学／川村清 著：裳華房, 1998
履修上の注意事項 後期の物理学(電磁気学)Mとあわせて通年科目「物理学M」として評価する。
連絡先 hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜 11:00～13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000258			
科目名	物理学(力学)DT			
担当教員	越野 和樹			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜5限 ・対象学科: 歯学科、保健衛生学科検査技術学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2－1) 別表4－2)				
授業の目的、概要等				
ポールの運動から太陽のまわりを回る惑星の運動にいたるまで、我々の身の回りで見られる殆どの運動は、17世紀にニュートンによりまとめられた「ニュートン力学」によって定量的に説明できます。ニュートン力学によれば、運動方程式や万有引力の法則などの数個の基本法則に基づいて、あらゆる物理現象を統一的かつ定量的に説明することができます。また、基本法則を発展させることによって、エネルギー保存のような新しい概念を導出することができます。力学を学ぶことによって、物体の運動の基本法則を知ると同時に、基本法則に基づいて物理現象を理解しようとする考え方や、基本法則をどのように具体的事象に適用してゆくかを学びます。具体的には、(i)物体の運動が微分方程式という言葉で表現されること、(ii)基本方程式から様々な保存則が導かれること、(iii)それらを適用して実際の物体の運動を予言すること、を学びます。 物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることににより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に数多くの演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。				
授業の到達目標(SB0s)				
ニュートン力学の提供する世界観を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には、 － 物体の運動が微分方程式という言葉で表現されることを理解する。 － 基本方程式から様々な保存則を導出する。 － 運動方程式や保存則を適用して実際の物体の運動を予言できるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
2	4/18	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
3	4/25	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
4	5/2	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
5	5/9	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
6	5/16	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
7	5/23	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
8	5/30	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
9	6/6	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
10	6/13	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
11	6/20	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
12	6/27	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
13	7/4	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
14	7/11	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
15	7/25	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
授業方法				
講義による				
授業内容				
運動と力／さまざまな力／エネルギー保存則・運動量保存則／さまざまな運動				
成績評価の方法				

評価:試験(期末考査)90%・その他10% 再評価:有(再評価方法:再試験)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 講義資料をあらかじめダウンロードし(URLは別途指示)印刷しておくことを前提とする。
教科書 :裳華房
他科目との関連 後期の電磁気学DTとあわせて「物理学」として評価する。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。
連絡先 ikuzak.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000259			
科目名	物理学(電磁気学)M			
担当教員	檜枝 光憲			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間: 月曜5限 対象学科: 医学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2－1)、別表4－2)				
授業の目的、概要等				
電磁気学は力学と並んで物理学の基礎をなす重要な分野です。リニアモーターカーやハイブリッド車用モーターなどほとんどの電気・電子技術がこれと関係しています。また、医療技術や人体においても電流、磁気、電磁波など電磁気学は重要な要素であると言って良いでしょう。しかしながら、電磁気学は力学と比較すると難しいという印象を持つでしょう。その理由は、私たちは物体を動かしたり力をかけたりなど日常的に力学現象を経験しているのに対して、電磁気学については日常の中で経験している実感が皆無であるためと思われます(例えば電場や磁場というのは電荷や電流によって空間に生じる変化であり目に見えない)。本講義では電磁気学に関する基本的事項やそれに関わる現象・実験事実を丁寧に説明し、電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出していきます。				
授業の到達目標(SB0s)				
電磁気学に関する基本的事項やそれに関わる現象・実験事実を学び、電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出できるようになる。また学んだ知識を応用し、いろいろな電磁気学現象を解析できるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
2	10/3	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
3	10/17	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
4	10/24	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
5	10/31	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
6	11/7	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
7	11/14	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
8	11/21	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
9	11/28	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
10	12/5	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
11	12/12	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
12	12/19	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
13	1/16	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
14	1/23	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
15	1/30	16:30-18:00	1 番教室	檜枝 光憲
授業方法				
講義				
授業内容				
・電磁気学とは ・近接作用と静電場 ・定常電流 ・静磁場 ・電流にはたらく磁場の力 ・時間的に変動する電場と磁場 ・電磁気学の基本法則 ・電磁波 ・電磁波の放射				
成績評価の方法				
評価 : 試験 100% (平常点を加味する場合もある)				

再評価: 有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習は特に要求しないが、授業後はきちんと復習すること。
教科書 電磁気学の考え方／砂川 重信／著.: 岩波書店, 1993
履修上の注意事項 前期の物理学(力学)Mとあわせて「物理学M」として通年で評価する。
連絡先 hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜 11:00～13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000260			
科目名	物理学(電磁気学)DT			
担当教員	越野 和樹			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜5限 ・対象学科: 歯学科、保健衛生学科検査技術学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2－1) 別表4－2)				
授業の目的、概要等				
電界の基本概念、時間的に変化しない(定常的な)電荷分布とそれが作る電界との定量的な関係、自由電荷を有する導体を作る電界および導体を組み合わせたコンデンサー、電荷分布によるエネルギー、についての基本を学ぶ。さらに、磁束密度の基本概念、電流に作用する力と磁束密度との定量的な関係、定常的な電流分布とそれが作る磁束密度との定量的な関係、についての基本を学ぶ。 物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみるにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に数多くの演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。				
授業の到達目標(SBOs)				
マックスウェル方程式(積分形)による電磁気学の体系を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には、「単純な電荷分布が作る電界」「電位と電界との関係」「コンデンサー」「磁束密度が電流に及ぼす力」「電流分布が作る磁束密度」といった項目について、基本的な考え方を理解し、これらに関しての応用問題を解決できるようになること。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
2	10/3	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
3	10/3	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
4	10/17	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
5	10/24	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
6	10/31	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
7	11/7	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
8	11/14	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
9	11/21	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
10	11/28	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
11	12/5	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
12	12/12	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
13	12/19	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
14	1/16	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
15	1/23	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
16	1/30	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹
授業方法				
講義による				
授業内容				
静電気／コンデンサー／電流／磁界と電磁誘導／交流と電磁波				
成績評価の方法				
評価:試験(期末考査)90%・その他10%				
再評価: 有(再評価方法:再試験)				
成績評価の基準				

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 講義資料をあらかじめダウンロードし(URLは別途指示)印刷しておくことを前提とする.
参考書 高校の物理をイチからおさらいする本／鈴木誠治 著,：中経出版, 2006
他科目との関連 前期の力学DTとあわせて「物理学」として評価する.
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる.
連絡先 ikuzak.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000056			
科目名	化学(一般化学)M			
担当教員	奈良 雅之、渡邊 総一郎			
開講時期	通年	対象年次	1	
・曜日・時間:水曜1限 ・対象学科:医学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る 別表 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける				
授業の目的、概要等 分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。医学の分野においても病気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。医学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎をしっかりと身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、医学の先端的な研究からも取り残されてしまうことになるでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(物理化学&有機化学)」を学習します。				
授業の到達目標(SB0s) 授業で扱った範囲に関連した「マグロウヒル大学演習 一般化学」「ハート 基礎有機化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
2	4/20	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
3	4/27	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
4	5/11	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
5	5/18	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
6	5/25	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
7	6/1	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
8	6/8	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
9	6/15	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
10	6/22	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
11	6/29	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
12	7/6	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
13	7/13	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
14	7/20	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
15	7/27	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
16	9/28	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
17	10/5	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
18	10/19	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
19	10/26	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
20	11/2	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎
21	11/9	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
22	11/16	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎
23	11/30	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎
24	12/7	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎
25	12/14	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎
26	12/21	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎
27	1/11	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎
28	1/18	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎

29	1/25	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎	
30	2/1	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎	
授業方法					
講義形式による					
授業内容					
通年で 30 コマの授業を3つのパートに分けて、Part 1 では化学実験の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」を取り上げ、続いて原子・分子の構造論を取り上げることにより、ミクロ系のものの見方を学びます。Part 2 では「化学熱力学(熱力学の原理と応用)」を取り上げることにより、マクロ系のものの見方を学びます。Part 3 は「有機化学」を取り上げます。					
第1回 序論 単位SIと非 SI 第2回 酸塩基平衡の取扱い方(1) 第3回 酸塩基平衡の取扱い方(2) 第4回 酸塩基平衡の取扱い方(3) 第5回 酸塩基平衡の取扱い方(4) 第6回 原子構造と周期律(1) 第7回 原子構造と周期律(2) 第8回 化学結合と分子構造(1) 第9回 化学結合と分子構造(2) 第10回 Part 1 の筆記試験 第11回 熱力学の原理(1) 第12回 熱力学の原理(2) 第13回 熱力学の原理(3) 第14回 熱力学の原理(4) 第15回 熱力学の原理(5) 第16回 熱力学の原理(6) 第17回 相平衡 第18回 化学平衡 第19回 電気化学 第20回 Part 2 の筆記試験 第21回 アルカンとシクロアルカン 第22回 アルケンとアルキン 第23回 芳香族化合物 第24回 立体異性 第25回 有機ハロゲン化合物 第26回 アルコール、フェノール、チオール 第27回 エーテルとエポキシド 第28回 アルデヒドとケトン 第29回 カルボン酸誘導体、アミン 第30回 Part 3 の筆記試験					
成績評価の方法					
評価:試験 100% ・レポート 0% その他(出席シートの小テスト、コメント等を評価に加味することがある。) 再評価:有(Part1～Part3 をまとめて再試験を行う。再試験と学力認定試験:化学の両方の成績に基づいて、再評価を行う。)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
予習:指定された教科書で該当する箇所に目を通しておく。 復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。					
試験の受験資格					
考查:Part1, Part2, Part3 それぞれ3分の2以上出席					
教科書					
一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一國雅巳 訳:オーム社, 1995 ハート基礎有機化学(三訂版)／Hハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳:培風館, 2002					
参考書					
フレッシュマンのための化学結合論／M.J.Winter 著,西本吉助 訳:化学同人, 1996 化学熱力学(修正版)／原田義也 著,裳華房, 2002 ボルハルト・ショアー現代有機化学(第 6 版)[上]／K. P. C. Vollhardt [著],N. E. Schore [著],古賀憲司 監訳野依良治 監訳村橋俊一 監訳大嶋幸一郎 訳小田嶋和徳 訳小松満男 訳戸部義人 訳:化学同人, 2011 ボルハルト・ショアー現代有機化学(第 6 版)[下]／K. P. C. Vollhardt [著],N. E. Schore [著],古賀憲司 監訳野依良治 監訳村橋俊一 監訳大嶋幸一郎 訳小田嶋和徳 訳小松満男 訳戸部義人 訳:化学同人, 2011 ウォーレン有機化学(上)／Clayden [ほか著],野依良治 [ほか]監訳石橋正己 [ほか]訳:東京化学同人, 2003 参考材料:HGS 分子模型					
他科目との関連					

part1 では「化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。
履修上の注意事項 各パートで、それぞれ出席3分の2以上を満たさないと、パート毎の考査の受験資格がなくなります。
備考 キーワード: 分析化学、原子・分子の構造、化学熱力学、有機化学 第1回～第5回は検査技術学専攻との合同授業になります。
連絡先 奈良 雅之 nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000057			
科目名	化学(一般化学)D			
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子			
開講時期	通年	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 2-1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る 別表 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける				
授業の目的、概要等 分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。歯学の分野においても病気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。歯学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎をしっかりと身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、歯学の先端的な研究からも取り残されてしまうことになるでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(物理化学&有機化学)」を学習します。				
授業の到達目標(SB0s) 授業で扱った範囲に関連した「マグロウヒル大学演習 一般化学」「ハート基礎有機化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
2	4/18	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
3	4/25	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
4	5/2	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
5	5/9	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
6	5/16	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
7	5/23	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
8	5/30	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
9	6/6	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
10	6/13	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
11	6/20	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
12	6/27	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
13	7/4	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
14	7/11	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
15	7/25	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
16	9/26	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
17	10/3	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
18	10/17	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
19	10/24	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
20	10/31	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
21	11/7	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子
22	11/14	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子
23	11/21	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子
24	11/28	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子
25	12/5	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子
26	12/12	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子
27	12/19	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子
28	1/16	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子

29	1/23	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子	
30	1/30	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子	
授業方法					
講義形式による					
授業内容					
通年で 30 コマの授業を3つのパートに分けて、まず Part 1 では化学実験の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」を取り上げ、続いて原子・分子の構造論を取り上げることにより、ミクロ系のものの見方を学びます。Part 2 では「化学熱力学(熱力学の原理と応用)」を取り上げることにより、マクロ系のものの見方を学びます。Part 3 では複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために「有機化学」を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。 第1回 序論 単位:SI と非 SI 第2回 序論 溶液の濃度、気体の性質 第3回 酸塩基平衡の取扱い方(1) 第4回 酸塩基平衡の取扱い方(2) 第5回 酸塩基平衡の取扱い方(3) 第6回 原子構造と周期律(1) 第7回 原子構造と周期律(2) 第8回 化学結合と分子構造(1) 第9回 化学結合と分子構造(2) 第10回 Part 1 の筆記試験 第11回 熱力学第一法則(1) 第12回 熱力学第一法則(2) 第13回 熱力学第一法則(3) 第14回 熱力学第二法則(1) 第15回 熱力学第二法則(2) 第16回 熱力学第二法則(3) 第17回 ギブスエネルギー 第18回 熱力学的関係式 第19回 化学ポテンシャル 第20回 Part 3 の筆記試験 第21回 有機化学と電子の軌道 第22回 アルカンとシクロアルカン 第23回 アルケン 第24回 共役ジエンとアルキン 第25回 立体化学 第26回 芳香族化合物 第27回 有機ハロゲン化合物 第28回 酸素を含む有機化合物 第29回 窒素を含む有機化合物 第30回 Part 2 の筆記試験					
成績評価の方法					
評価:試験100%・レポート0% その他(出席状況、授業時の小テストなどが考慮される) 再評価:有(Part1～Part3 をまとめて再試験を行う。再試験と学力認定試験:化学の両方の成績に基づいて、再評価を行う。履修上の注意事項も参照すること。)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
予習:指定された教科書で該当する箇所に目を通しておく。 復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。					
試験の受験資格					
考査:Part1, Part2, Part3 それぞれ3分の2以上出席					
教科書					
一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一國雅巳 訳:オーム社, 1995 エントロピーから化学ポテンシャルまで／渡辺啓 著,:裳華房, 1997 ハート基礎有機化学(三訂版)／H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳:培風館, 2002					
参考書					
フレッシュマンのための化学結合論／M.J.Winter 著,西本吉助 訳:化学同人, 1996 マクマリー有機化学／JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明, 荻野敏夫, 深澤義正, 通元夫 訳:東京化学同人, 2013 マクマリー有機化学／JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明 訳者代表.: 東京化学同人, 2013 有機化学／モリソン, ボイド 著,中西香爾 [[ほか]訳:東京化学同人, 1994 有機化学／モリソン, ボイド [著],中西香爾 [[ほか]訳:東京化学同人, 1994 ウォーレン有機化学／Clayden [[ほか]著],野依良治 [[ほか]監訳]石橋正己 [[ほか]訳:東京化学同人, 2003 ウォーレン有機化学／Clayden [[ほか]著],野依良治 [[ほか]監訳]石橋正己 [[ほか]訳:東京化学同人, 2003					

ボルハルト・ショアー現代有機化学／K. P. C. Vollhardt [著], N. E. Schore [著], 古賀憲司 監訳, 野依良治 監訳, 村橋俊一 監訳, 大島幸一郎 訳, 小田嶋和徳 訳, 小松満男 訳, 戸部義人 訳: 化学同人, 2011
 ボルハルト・ショアー現代有機化学／K. P. C. Vollhardt [著], N. E. Schore [著], 古賀憲司 監訳, 野依良治 監訳, 村橋俊一 監訳, 大島幸一郎 訳, 小田嶋和徳 訳, 小松満男 訳, 戸部義人 訳: 化学同人, 2011
 基礎有機化学／大島幸一郎 著: 東京化学同人, 2010

他科目との関連

part1 では「化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。

履修上の注意事項

各パートで、それぞれ出席3分の2以上を満たさないと、パート毎の考査の受験資格がなくなります。また、Part1、Part2、Part3 のいずれか1つでも考査を受けなかった場合は、履修放棄とみなし、再評価の対象者にしません。

備考

キーワード: 分析化学、原子・分子の構造、化学熱力学、有機化学

連絡先

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000058			
科目名	化学(一般化学)Ⅰ			
担当教員	奈良 雅之、大塚 淳、渡邊 総一郎、森井 尚之			
開講時期	通年	対象年次	1	
・曜日・時間: 前期 水曜日1時限、後期 月曜日4時限				
・対象学科: 保健衛生学科検査技術学専攻				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
2ー1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る				
4ー2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける				
授業の目的、概要等				
分子生物学、生物化学の発展により、生命現象が化学的な考え方、方法で理解されるようになってきました。医療系の分野も分子レベルで捉えることにより、その知識が膨大になりつつあります。医療系の道を選んだ皆さんは、化学の基礎をしっかり身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりでなく、医療系の先端的な研究から取り残されてしまうことになるでしょう。特に、検査技術学専攻の皆さんは、全学生の中で最も化学の専門技術と関わるはずで、本科目では大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(有機化学&物理化学)」を学習します。				
授業の到達目標(SBOs)				
授業で扱った範囲に関連した「マグロウヒル大学演習 一般化学」、「ハート基礎有機化学」、「臨床検査学講座 化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
2	4/20	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
3	4/27	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
4	5/11	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
5	5/18	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
6	5/25	09:10-10:40	6 番教室	大塚 淳
7	6/1	09:10-10:40	6 番教室	大塚 淳
8	6/8	09:10-10:40	6 番教室	大塚 淳
9	6/15	09:10-10:40	6 番教室	大塚 淳
10	6/22	09:10-10:40	6 番教室	渡邊 総一郎
11	6/29	09:10-10:40	6 番教室	渡邊 総一郎
12	7/6	09:10-10:40	6 番教室	渡邊 総一郎
13	7/13	09:10-10:40	6 番教室	渡邊 総一郎
14	7/20	09:10-10:40	6 番教室	渡邊 総一郎
15	7/27	09:10-10:40	6 番教室	大塚 淳
16	9/26	14:50-16:20	6 番教室	奈良 雅之
17	10/3	14:50-16:20	6 番教室	奈良 雅之
18	10/17	14:50-16:20	6 番教室	奈良 雅之
19	10/24	14:50-16:20	6 番教室	奈良 雅之
20	10/31	14:50-16:20	6 番教室	奈良 雅之
21	11/7	14:50-16:20	6 番教室	森井 尚之
22	11/14	14:50-16:20	6 番教室	森井 尚之
23	11/21	14:50-16:20	6 番教室	森井 尚之
24	11/28	14:50-16:20	6 番教室	森井 尚之
25	12/5	14:50-16:20	6 番教室	森井 尚之
26	12/12	14:50-16:20	6 番教室	奈良 雅之
27	12/19	14:50-16:20	6 番教室	奈良 雅之

28	1/16	14:50-16:20	6 番教室	奈良 雅之
29	1/23	14:50-16:20	6 番教室	奈良 雅之
30	1/30	14:50-16:20	6 番教室	奈良 雅之
授業方法				
講義による				
授業内容				
前期の 15 回は、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために必要な基礎物理化学、有機化学を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。後期の 15 回は、生化学や生理学の基礎となる化学熱力学、生体高分子論、反応速度論の分野を取り上げます。				
第1回 序論、単位SIと非 SI 第2回 酸塩基平衡の取り扱い方(1) 第3回 酸塩基平衡の取り扱い方(2) 第4回 酸塩基平衡の取り扱い方(3) 第5回 酸塩基平衡の取り扱い方(4) 第6回 原子の構造(1) 第7回 原子の構造(2) 第8回 気体・液体・固体 第9回 溶液 第10回 有機化学と電子の軌道 第11回 アルカンとシクロアルカン 第12回 アルケンとアルキン 第13回 芳香族化合物 第14回 立体異性 第15回 筆記試験 第16回 化学熱力学の序論 第17回 熱力学第一法則(1) 第18回 熱力学第一法則(2) 第19回 熱力学第一法則(3) 第20回 熱力学第二法則(1) 第21回 生体高分子(1) 第22回 生体高分子(2) 第23回 生体高分子(3) 第24回 生体高分子(4) 第25回 生体高分子(5) 第26回 熱力学第二法則(2) 第27回 熱力学第二法則(3) 第28回 化学反応速度(1) 第29回 生体高分子(1) 第30回 筆記試験				
成績評価の方法				
評価 : 試験(期末考査) 100% ・ レポート 0% ・ その他(出席状況・授業時の小テストなどを成績に考慮することがある) 再評価: 有(再評価方法 前期と後期の内容を合わせた学年末再試験)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
予習: 指定された教科書で該当する箇所を目を通しておく。 復習: 講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。				
試験の受験資格				
期末考査・再試験の受験資格: 3分の2以上出席				
教科書				
化学／岡崎三代, 奈良雅之, 永井裕, 中澤泰男 著, 医歯薬出版, 2005 ハート基礎有機化学(三訂版)／H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著, 秋葉欣哉, 奥彬 訳, 培風館, 2002 一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著, 一國雅巳 訳, オーム社, 1995				
参考書				
マクマリー一般化学(上)／JOHN McMURRY, ROBERT C.FAY 著, 荻野博, 山本学, 大野公一 訳, 東京化学同人, 2010 有機化学(上)／モリソン, ボイド 著, 中西香爾 [ほか]訳, 東京化学同人, 1994 有機化学(中)／モリソン, ボイド [著], 中西香爾 [ほか]訳, 東京化学同人, 1994 マクマリー有機化学(上)／JOHN McMURRY 著, 伊東[ショウ], 児玉三明, 荻野敏夫, 深澤義正, 通元夫 訳, 東京化学同人, 2013 マクマリー有機化学(中)／JOHN McMURRY 著, 伊東[ショウ], 児玉三明 訳者代表, 東京化学同人, 2013 ウォーレン有機化学(上)／Clayden [ほか著], 野依良治 [ほか]監訳, 石橋正己 [ほか]訳, 東京化学同人, 2003 ウォーレン有機化学(下)／Clayden [ほか著], 野依良治 [ほか]監訳, 石橋正己 [ほか]訳, 東京化学同人, 2003				

ボルハルト・ショアー現代有機化学(上)／K. P. C. Vollhardt [著], N. E. Schore [著], 古賀憲司 監訳野依良治 監訳村橋俊一 監訳大嶋幸一郎 訳小田嶋和徳 訳小松満男 訳戸部義人 訳: 化学同人, 2011
 ボルハルト・ショアー現代有機化学(下)／K. P. C. Vollhardt [著], N. E. Schore [著], 古賀憲司 監訳野依良治 監訳村橋俊一 監訳大嶋幸一郎 訳小田嶋和徳 訳小松満男 訳戸部義人 訳: 化学同人, 2011
 エントロピーから化学ポテンシャルまで／渡辺啓 著.: 裳華房, 1997

他科目との関連

後期に「科学基礎実験Ⅰ」の基礎となる理論を取り扱います。

履修上の注意事項

前期、後期で、それぞれ出席3分の2以上を満たさないと、期末考査の受験資格がなくなります。

備考

第1回～第5回は医学科との合同授業になります。

連絡先

奈良 雅之 nara.las@tmd.ac.jp

大塚 淳 ohtsuka.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之: 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

大塚 淳: 毎週金曜日 PM.12:00-PM.1:00 ヒポクラテスホール4階

時間割番号	000835				
科目名	化学基礎(Ⅱ)				
担当教員	大塚 淳				
開講時期	前期	対象年次	1		
・曜日・時間: 火曜 2 時限(初回のみ 1・2 時限) ・対象学科: 保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 別表4－1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる 別表4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける					
主な講義場所					
第 1,2 回(4 月 12 日)～第 5 回(5 月 10 日): 湯島 キャンパス OH 第 3 講義室、歯学科演習室 1・2					
第 6 回(5 月 17 日)～第 15 回(7 月 26 日): 国府台 キャンパス 10 番教室、11 番教室					
授業の目的、概要等					
主にセンター試験で化学を選択しなかった学生に対して、看護学や口腔保健学に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学の基礎知識や考え方を講義することを基本とする。					
授業の到達目標(SBOs)					
授業で扱った内容および演習問題を理解し、将来看護や口腔保健の専門の基礎となる化学を身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/12	08:50-10:20	歯学部演習室 歯学部演習室 口腔保健学科 第3講義室		大塚 淳
2	4/12	10:30-12:00	歯学部演習室 歯学部演習室 口腔保健学科 第3講義室		大塚 淳
3	4/19	08:50-10:20	歯学部演習室 歯学部演習室 口腔保健学科 第3講義室	補習	大塚 淳
4	4/19	10:30-12:00	歯学部演習室 歯学部演習室 口腔保健学科 第3講義室		大塚 淳

5	4/26	08:50-10:20	歯学部演習室 歯学部演習室 口腔保健学科第3講義室	補習	大塚 淳
6	4/26	10:30-12:00	歯学部演習室 歯学部演習室 口腔保健学科第3講義室		大塚 淳
7	5/10	08:50-10:20	歯学部演習室 歯学部演習室 口腔保健学科第3講義室	補習	大塚 淳
8	5/10	10:30-12:00	歯学部演習室 歯学部演習室 口腔保健学科第3講義室		大塚 淳
9	5/17	09:10-10:40	10 番教室 11 番教室	補習	大塚 淳
10	5/17	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室		大塚 淳
11	5/31	09:10-10:40	10 番教室 11 番教室	補習	大塚 淳
12	5/31	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室		大塚 淳
13	6/7	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室		大塚 淳
14	6/14	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室		大塚 淳
15	6/21	10:50-12:20	10 番教室 11 番		大塚 淳

			教室		
16	6/28	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室		大塚 淳
17	7/5	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室		大塚 淳
18	7/12	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室		大塚 淳
19	7/19	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室		大塚 淳
20	7/26	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室		大塚 淳
授業方法					
講義による					
授業内容					
1. 生命と化学の関わり 2. 原子の構造、イオン 3. 元素の周期律 4. 化学結合と分子の構造: 金属結合、イオン結合、共有結合、配位結合、水素結合、ファンデルワールス力 5. 物質と濃度 6. 酸と塩基、pH、中和反応 7. 酸化と還元 8. 有機化合物					
成績評価の方法					
評価 : 試験 85% ・ 出席状況 15% ・ その他(平常点が考慮される) 再評価: 有(再評価方法 再試験) なお、再評価における成績の上限は 75 点(GPA 換算で 3.0)とし、評価における不合格者及び希望者が再試を受けられるものとする。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
予習: 参考書等で該当する箇所に通しておく。 復習: 講義の内容および演習問題・小テストを復習する。 その他、教員からの指示を参考に学習する。					
試験の受験資格					
試験・再試験の受験資格: 3分の2以上出席					
参考書					
高校化学再入門: 大学の化学でつまづいた人へ／小玉信武 著,: 化学同人, 2005 化学の基礎: 元素記号からおさらいする化学の基本／中川徹夫 著,: 化学同人, 2010 高校の「化学基礎」および「化学」の教科書					
他科目との関連					
化学基礎 α / β のクラス分けは、入学時に実施するプレースメントテストおよび高等学校での化学の履修状況を考慮して行う。また、火曜1時限(第2週～第6週)に「化学基礎(補習)」を開講する。受講を勧められた者および受講を希望する者は併せて受講すること。					
連絡先					
大塚 淳: ohtsuka.las@tmd.ac.jp					

オフィスアワー

大塚 淳:毎週金曜日 PM.12:00-PM.1:00 ヒポクラテスホール4階

時間割番号	000836			
科目名	化学基礎(β)			
担当教員	奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 火曜2限 (初回のみ 1・2限) ・対象学科: 保健衛生学科看護学専攻・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2ー1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る 4ー2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける				
主な講義場所				
第1週(4/12)～第4週(5/10):湯島キャンパス OH 第3 講義室、歯学科演習室 1・2				
第5週(5/17)以降: 国府台キャンパス				
授業の目的、概要等				
高校で化学基礎を履修したことを前提にして、看護学や口腔保健学に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学的な基礎知識や考え方を習得する。				
授業の到達目標(SB0s)				
教科書、参考資料に出ている例題、演習問題を理解できる。				
生体で起こっている事象をどのようにして化学的に捉えるかを理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	08:50-10:20	歯学部演習室 歯学部演習室 口腔保健学科 第3講義室	宮園 健一
2	4/12	10:30-12:00	歯学部演習室 歯学部演習室 口腔保健学科 第3講義室	宮園 健一
3	4/19	10:30-12:00	歯学部演習室 歯学部演習室 口腔保健学科 第3講義室	宮園 健一
4	4/26	10:30-12:00	歯学部演習室 歯学部演習室 口腔保健学科 第3講義室	宮園 健一

5	5/10	10:30-12:00	歯学部演習室 歯学部演習室 口腔保健学科 第3講義室	宮園 健一
6	5/17	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室	勝又 敏行
7	5/31	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室	勝又 敏行
8	6/7	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室	勝又 敏行
9	6/14	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室	勝又 敏行
10	6/21	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室	勝又 敏行
11	6/28	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室	勝又 敏行
12	7/5	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室	奈良 雅之
13	7/12	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室	奈良 雅之
14	7/19	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室	奈良 雅之
15	7/26	10:50-12:20	10 番教室 11 番教室	奈良 雅之 勝又 敏行

授業方法

授業は講義形式を基本とする

授業内容

- 序論 単位について
- 物質の構造 物質の構成要素: 元素・単体・化合物、原子と分子
化学結合、化学量論: 原子量・分子量・式量、化学反応式
- 物質の状態 物質の状態変化と粒子の運動: 物質の三態・蒸発熱・融解熱と沸点・融点、
気体: 気体定数と状態方程式・理想気体と実在気体、
溶液: 溶液の濃度と溶解度・希薄溶液の性質、コロイド
- 有機化合物 有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物
- 高分子化合物 高分子化合物の特徴と分類、天然物高分子化合物、合成高分子化合物

6. 物質の変化 化学反応と熱・熱化学方程式・結合エネルギー、 酸と塩基の反応:水素イオン濃度とpH・中和反応と中和滴定、 酸化還元反応、化学反応の速さと化学平衡 7. 単体と無機化合物 周期表と元素の分類、典型元素、遷移元素
成績評価の方法 評価: 定期試験 100%・レポート 0% その他(授業中の出席カードの回答状況などを考慮する) 再評価: 有(再評価の方法 再試験)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習: 指定された教科書で該当する箇所に目を通しておく。 復習: 講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。
試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席
教科書 大学生のための例題で学ぶ化学入門／大野公一, 村田滋, 錦織紳一 著.: 共立出版, 2005
参考書 化学／岡崎三代, 奈良雅之 著.: 医歯薬出版, 2005
連絡先 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之:毎週水曜日 PM0:00-PM2:00, 毎週金曜日 PM0:00-PM1:00 ヒポクラテス 4 階 勝又 敏行:毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000264			
科目名	生物学(細胞・遺伝子)M			
担当教員	伊藤 正則			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 火曜日2・3限 ・対象学科・専攻: 医学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。 4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。				
授業の目的、概要等 細胞の構造、遺伝、代謝に関する基本的知識を理解し、専門教育へスムーズにつなげることと、生物の進化に関する仮説とその根拠を理解することを目標とする。				
授業の到達目標(SB0s) 1)細胞を構成する細胞小器官と細胞膜の構造と機能を説明することができる。 2)遺伝、遺伝子および遺伝の法則とは何か、説明することができる。 3)遺伝子発現機構と転写調節機構を分子レベルで説明することができる。 4)基本的な遺伝子操作技術を説明することができる。 5)代謝とは何か、説明することができる。 6)生物の進化に関する仮説とその根拠を説明することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/7	10:50-12:20	1 番教室	伊藤 正則
2	6/7	13:10-14:40	1 番教室	伊藤 正則
3	6/14	10:50-12:20	1 番教室	伊藤 正則
4	6/14	13:10-14:40	1 番教室	伊藤 正則
5	6/21	10:50-12:20	1 番教室	伊藤 正則
6	6/21	13:10-14:40	1 番教室	伊藤 正則
7	6/28	10:50-12:20	1 番教室	伊藤 正則
8	6/28	13:10-14:40	1 番教室	伊藤 正則
9	7/5	10:50-12:20	1 番教室	伊藤 正則
10	7/5	13:10-14:40	1 番教室	伊藤 正則
11	7/12	10:50-12:20	1 番教室	伊藤 正則
12	7/12	13:10-14:40	1 番教室	伊藤 正則
13	7/19	10:50-12:20	1 番教室	伊藤 正則
14	7/19	13:10-14:40	1 番教室	伊藤 正則
15	7/26	10:50-12:20	1 番教室	伊藤 正則
16	7/26	13:10-14:40	1 番教室	伊藤 正則
授業方法 講義形式で行う。				
授業内容 生命の構造・機能上の単位である細胞について概説した後、遺伝と代謝の基本的知識について説明する。また、生物の進化に関する仮説とその根拠を説明する。				
成績評価の方法 評価:試験 80%・レポート 0% その他(授業期間内での試験 20%) 再評価:有(再評価での成績は 60 点を上限とする)				

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 復習を行うこと。知識が体系的になるようにノートを整理すること。
教科書 改定第2版 はじめの一步のイラスト生化学・分子生物学／前野正夫, 磯川桂太郎 著, :羊土社, 2010 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 Molecular Biology of the Cell, sixth edition／Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著, 中村桂子, 松原謙一 監訳, :Garland Science, 2015 Essential Cell Biology, fourth edition／Bruce Alberts :Garland Science, 2011 Human Biology, thirteenth edition／Sylvia S. Marder :McGRAW-HILL, 2014 ヒューマンバイオロジー : 人体と生命／シルビア・S.メイダー 著, 坂井建雄, 岡田隆夫 監訳, 坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳, :医学書院, 2005
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先 itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000266																																																																																							
科目名	生物学(細胞・遺伝子)DT																																																																																							
担当教員	服部 淳彦																																																																																							
開講時期	前期	対象年次	1																																																																																					
・曜日・時間: 火曜日2・3限 ・対象学科・専攻: 歯学科・検査学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2ー1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。 4ー2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。																																																																																								
授業の目的、概要等 生物学(細胞・遺伝子)では、「生命のしくみ」に重点を置き、ますます情報量が増え難解になってきた分子生物学や分子遺伝学の基礎をわかりやすく解説するとともに、生命現象やそのしくみの不思議さ・面白さ、さらにはその展開としての医療面への応用やヒトの進化についても触れていく。 時間の制約もありこの科目では、生命の基本単位である「DNAと遺伝子」、「細胞の構造と機能」に関しては、すでに生物学入門等で学習したものとして講義を進める。																																																																																								
授業の到達目標(SBOs) 分子生物学や分子遺伝学の基礎を理解し、「生命のしくみ」の基本について説明できる。																																																																																								
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>6/7</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>2</td><td>6/7</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>3</td><td>6/14</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>4</td><td>6/14</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>5</td><td>6/21</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>6</td><td>6/21</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>7</td><td>6/28</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>8</td><td>6/28</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>9</td><td>7/5</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>10</td><td>7/5</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>11</td><td>7/12</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>12</td><td>7/12</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>13</td><td>7/19</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>14</td><td>7/19</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>15</td><td>7/26</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>16</td><td>7/26</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/7	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦	2	6/7	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦	3	6/14	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦	4	6/14	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦	5	6/21	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦	6	6/21	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦	7	6/28	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦	8	6/28	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦	9	7/5	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦	10	7/5	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦	11	7/12	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦	12	7/12	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦	13	7/19	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦	14	7/19	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦	15	7/26	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦	16	7/26	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																				
1	6/7	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																				
2	6/7	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																																				
3	6/14	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																				
4	6/14	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																																				
5	6/21	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																				
6	6/21	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																																				
7	6/28	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																				
8	6/28	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																																				
9	7/5	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																				
10	7/5	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																																				
11	7/12	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																				
12	7/12	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																																				
13	7/19	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																				
14	7/19	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																																				
15	7/26	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																				
16	7/26	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																																				
授業方法 講義による。																																																																																								
授業内容 生命を支配する遺伝子 1. 分子遺伝学とは 2. 生物の世界:ゲノム, 遺伝子, DNA 3. 真核生物の遺伝子の構造 4. 遺伝子の発現と制御 5. 染色体と細胞周期 6. 細胞分裂 - 体細胞分裂・減数分裂 7. 遺伝性疾患と遺伝様式Ⅰ 8. 遺伝性疾患と遺伝様式Ⅱ																																																																																								

9. 遺伝子診断とDNA型鑑定 10. 遺伝子治療の現状と問題点 生物の多様性と分子進化 11. 生物の多様性と進化 12. 分子進化と分子系統樹 13. 中立説と自然淘汰説 14. 遺伝子の進化と種の分化 15. ヒトの起源と未来
成績評価の方法 評価:試験 90%・レポート 0% その他 10%(授業内での回答状況等) 再評価:有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 日々、教科書をもとに予習をし、また、板書したノートをもとに復習をすること。
教科書 はじめの一步のイラスト生化学・分子生物学／前野正夫, 磯川桂太郎:羊土社, 2008 ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版／SS Mader:医学書院, 2011 授業の内容に合わせて、適宜プリントも配布する。
参考書 Essential 細胞生物学／Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著,中村桂子, 松原謙一 監訳:南江堂, 2011
連絡先 ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000265			
科目名	生物学(構造・機能)M			
担当教員	服部 淳彦			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜日3限 ・対象学科・専攻: 医学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2ー1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。 4ー2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。				
授業の目的、概要等				
1年の前期の講義では、生命の基本単位である細胞やその情報源である遺伝子やDNAに関して学習した。後期は、個々の細胞が集まって構築されている個体が、どのようにして全体として調和のとれた活動ができるのかを学習する。そこでこの科目は、特に「生体の構造と機能」を『調節機構』を切り口にして、鳥瞰図的に捕らえた講義を行う。また、それぞれの項目に関しては、系統発生的・進化学的な視点からも解説する。				
授業の到達目標(SBOs)				
生体の各組織や器官について、その構造と機能の概要を理解し、それらを全体として制御しているシステム系について説明できる。また、ヒトを進化化学的な側面から捉えられる視点を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
2	10/3	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
3	10/17	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
4	10/24	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
5	10/31	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
6	11/7	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
7	11/14	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
8	11/21	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
9	11/28	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
10	12/5	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
11	12/12	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
12	12/19	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
13	1/16	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
14	1/23	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
15	1/30	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
授業方法				
講義による。				
授業内容				
1. 細胞から個体へ 2. 生体における情報伝達系 3. 成長 4. 骨と軟骨 5. ホメオスタシス 6. カルシウムの調節 7. 排泄と泌尿器系 8. 血圧と循環器系 9. 栄養と消化器系 10. 血糖値の調節				

11. 刺激と感覚・神経系 12. 炎症とアレルギー 13. 免疫系 14. 子孫の維持と生殖系 15. 加齢と加齢性障害
成績評価の方法 評価:試験 90%・レポート 0% その他 10%(授業内での回答状況等) 再評価:有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 日々、教科書をもとに予習をし、また、板書したノートをもとに復習をすること。
教科書 ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版／S. S. Mader: 医学書院, 2011 授業の内容に合わせて、適宜プリントを配布する。
参考書 からだの構造と機能／A. Schaffler, S. Schmidt: 西村書店
連絡先 ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000267																																																																																		
科目名	生物学(構造・機能)DT																																																																																		
担当教員	伊藤 正則																																																																																		
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																
・曜日・時間:水曜日1限 ・対象学科・専攻:歯学科・検査学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2ー1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。 4ー2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。																																																																																			
授業の目的、概要等 生体の構造を個体から分子レベルで理解する。特に、生体の構造と関連させて機能を理解する。また、生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割を考える。																																																																																			
授業の到達目標(SB0s) 1)生体の基本構造を説明することができる。 2)生体の構造と関連させて、機能を具体的に説明することができる。 3)生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割について考え、その考えを論理的に説明することができる。																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/28</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>2</td><td>10/5</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>3</td><td>10/19</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>4</td><td>10/26</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>5</td><td>11/2</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>6</td><td>11/9</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>7</td><td>11/16</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>8</td><td>11/30</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>9</td><td>12/7</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>10</td><td>12/14</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>11</td><td>12/21</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>12</td><td>1/11</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>13</td><td>1/18</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>14</td><td>1/25</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>15</td><td>2/1</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>伊藤 正則</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/28	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則	2	10/5	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則	3	10/19	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則	4	10/26	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則	5	11/2	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則	6	11/9	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則	7	11/16	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則	8	11/30	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則	9	12/7	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則	10	12/14	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則	11	12/21	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則	12	1/11	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則	13	1/18	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則	14	1/25	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則	15	2/1	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	9/28	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則																																																																															
2	10/5	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則																																																																															
3	10/19	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則																																																																															
4	10/26	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則																																																																															
5	11/2	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則																																																																															
6	11/9	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則																																																																															
7	11/16	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則																																																																															
8	11/30	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則																																																																															
9	12/7	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則																																																																															
10	12/14	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則																																																																															
11	12/21	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則																																																																															
12	1/11	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則																																																																															
13	1/18	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則																																																																															
14	1/25	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則																																																																															
15	2/1	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則																																																																															
授業方法 講義形式で行う。																																																																																			
授業内容 代表的な生命現象に関与する器官、その器官の組織構造と具体的な機能を説明する。また、生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割を考える。																																																																																			
成績評価の方法 評価:試験 90%・レポート 0% その他(授業期間内での試験 10%) 再評価:有(再評価の成績は 60 点を上限とする)																																																																																			
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。																																																																																			
準備学習などについての具体的な指示 知識が体系的になるようにノートを整理する等の復習を行うこと。																																																																																			

教科書

ヒューマンバイオロジー 人体と生命／SS Mardar:医学書院, 2005
必要に応じて参考資料を配布する。

参考書

カラー人体解剖学 構造と機能:ミクロからマクロまで／FH Martini:西村書店, 2003
Essential Cell Biology, fourth edition／B Alberts:Garland Science, 2011
Molecular Biology of the Cell, sixth edition／B Alberts:Garland Science, 2015
イラスト生化学・分子生物学／前野 正夫:羊土社, 2008
Human Biology, thirteenth edition／SS Marder:McGRAW-HILL, 2014

履修上の注意事項

出欠管理システムで出欠を記録する。

連絡先

itohmt.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000843				
科目名	細胞生物学基礎				
担当教員	松本 幸久				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象専攻: 看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4－1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる。					
主な講義場所 ヒポクラテスホール1階1番教室					
授業の目的、概要等 生物は細胞から成り、細胞の機能によって生命現象が発現される。この授業では、細胞の構造に加えて、遺伝子発現、代謝等の細胞の機能を説明する。さらに、これらの知識を活用することによって、ある種の疾患の原因を説明できることを理解する。					
授業の到達目標(SB0s) 1)細胞を構成する細胞小器官と細胞膜の構造と機能を説明することができる。 2)遺伝および遺伝子とは何か、説明することができる。 3)遺伝子発現機構と転写調節機構を分子レベルで説明することができる。 4)代謝とは何か、説明することができる。 5)酸素呼吸の意義とその反応過程を説明することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/11	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
2	4/18	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
3	4/25	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
4	5/2	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
5	5/9	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
6	5/16	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
7	5/23	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
8	5/30	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
9	6/6	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
10	6/13	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
11	6/20	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
12	6/27	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
13	7/4	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
14	7/11	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
15	7/25	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
授業方法 講義形式で行う。					
授業内容 細胞の構造に加えて、遺伝子発現、代謝等の細胞の機能を説明する。さらに、これらの知識を活用することによって、ある種の疾患の原因を説明する。					
成績評価の方法 評価:期末考査 80%・レポート 0% その他(授業期間内での試験 20%) 再評価:有					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					

準備学習などについての具体的な指示

復習を行う際に、知識が体系的になるようにノートを整理する。加えて、自分で演習問題とその答を作成することを試みる。

教科書

医療・看護系のための生物学／田村 隆明:裳華房, 2010

必要に応じて参考資料を配布する。

参考書

イラスト生化学・分子生物学／前野 正夫:羊土社, 2008

ヒューマンバイオロジー 人体と生命／SS Mader:医学書院, 2005

やさしい基礎生物学／南雲 保:羊土社, 2011

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。

連絡先

松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	000064				
科目名	人体の生物学基礎				
担当教員	松本 幸久				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象専攻: 看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2ー1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る。 4ー2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。					
主な講義場所					
ヒポクラテスホール1階1番教室					
授業の目的、概要等					
多数の細胞が集まって構築されている個体が、どのようにして全体として調和のとれた活動ができるかという点について学習する。					
授業の到達目標(SBOs)					
1) 生体の基本構造を説明することができる。					
2) 生体の構造と関連させて、機能を具体的に説明することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/26	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
2	10/3	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
3	10/17	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
4	10/24	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
5	10/31	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
6	11/7	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
7	11/14	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
8	11/21	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
9	11/28	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
10	12/5	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
11	12/12	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
12	12/19	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
13	1/16	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
14	1/23	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
15	1/30	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
授業方法					
講義形式で行う。					
授業内容					
生体の各組織・器官の構造と機能の概要を説明し、代表的な生命現象とその制御メカニズムを系統進化的な観点を加えて説明する。					
成績評価の方法					
評価: 期末考査 80%・レポート 0%					
その他(授業期間内での試験 20%)					
再評価: 有					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習などについての具体的な指示					
復習を行う際に、知識が体系的になるようにノートを整理する。加えて、自分で演習問題とその答を作成することを試みる。					
教科書					

医療・看護系のための生物学／田村 隆明:裳華房, 2010

必要に応じて参考資料を配布する。

参考書

イラスト生化学・分子生物学／前野 正夫:羊土社, 2008

ヒューマンバイオロジー 人体と生命／SS Mader:医学書院, 2005

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。

連絡先

yukihisa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	000065				
科目名	英語				
担当教員	畔柳 和代, 猪熊 恵子, フォス パトリック, Dennisson Jeanette , Miya Marutsuka, David Baldwin, 菅原 未宇				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	4
準備学習などについての具体的な指示					
連絡先 畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp フォス パトリック:foss.las@tmd.ac.jp 猪熊 恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp Dennisson Jeanette :dennisson.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 畔柳 和代:毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室 フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10 毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10 管理研究棟 3階 フォス研究室 猪熊 恵子:水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室 Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階					

時間割番号	000066			
科目名	英語 a			
担当教員	Dennisson Jeanette			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間:水曜1限 ・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g, in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標(SBOs)				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette
2	4/20	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette
3	4/27	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette
4	5/11	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette
5	5/18	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette
6	5/25	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette
7	6/1	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette
8	6/8	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette
9	6/15	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette
10	6/22	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette
11	6/29	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette
12	7/6	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette
13	7/13	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette
14	7/20	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette

15	7/27	09:10-10:40	10 番教 室	Dennisson Jeanette	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: attendance/participation 15% class assignments and quizzes 55% final discussion test 30%					
再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先					
Dennisson Jeanette :dennisson.jas@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階					

時間割番号	000067																																																																								
科目名	英語 a																																																																								
担当教員	フォス パトリック																																																																								
開講時期	前期	対象年次	1																																																																						
・曜日・時間:水曜1限 ・対象:口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																									
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																									
授業の到達目標(SB0s) To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																									
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/13</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>2</td><td>4/20</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>3</td><td>4/27</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>4</td><td>5/11</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>5</td><td>5/18</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>6</td><td>5/25</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>7</td><td>6/1</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>8</td><td>6/8</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>9</td><td>6/15</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>10</td><td>6/22</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>11</td><td>6/29</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>12</td><td>7/6</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>13</td><td>7/13</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	2	4/20	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	3	4/27	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	4	5/11	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	5	5/18	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	6	5/25	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	7	6/1	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	8	6/8	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	9	6/15	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	10	6/22	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	11	6/29	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	12	7/6	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	13	7/13	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																					
1	4/13	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
2	4/20	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
3	4/27	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
4	5/11	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
5	5/18	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
6	5/25	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
7	6/1	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
8	6/8	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
9	6/15	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
10	6/22	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
11	6/29	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
12	7/6	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
13	7/13	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック																																																																					

14	7/20	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	
15	7/27	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	
授業方法 Skills Instruction and Practice					
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法 評価: attendance/participation 60% quizzes 10% speaking test 30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語abcdの各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先 フォス パトリック:foss.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10 毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10 管理研究棟 3階 フォス研究室					

時間割番号	000068			
科目名	英語 a			
担当教員	Miya Marutsuka			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 水曜1限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g, in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標(SB0s)				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
2	4/20	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
3	4/27	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
4	5/11	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
5	5/18	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
6	5/25	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
7	6/1	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
8	6/8	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
9	6/15	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
10	6/22	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
11	6/29	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
12	7/6	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
13	7/13	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
14	7/20	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka

15	7/27	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: Attendance/Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					

時間割番号	000069																																																																																		
科目名	英語 a																																																																																		
担当教員	David Baldwin																																																																																		
開講時期	前期	対象年次	1																																																																																
・曜日・時間: 水曜1限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																																			
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.																																																																																			
授業の到達目標(SB0s) To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/13</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>David Baldwin</td></tr><tr><td>2</td><td>4/20</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>David Baldwin</td></tr><tr><td>3</td><td>4/27</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>David Baldwin</td></tr><tr><td>4</td><td>5/11</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>David Baldwin</td></tr><tr><td>5</td><td>5/18</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>David Baldwin</td></tr><tr><td>6</td><td>5/25</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>David Baldwin</td></tr><tr><td>7</td><td>6/1</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>David Baldwin</td></tr><tr><td>8</td><td>6/8</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>David Baldwin</td></tr><tr><td>9</td><td>6/15</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>David Baldwin</td></tr><tr><td>10</td><td>6/22</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>David Baldwin</td></tr><tr><td>11</td><td>6/29</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>David Baldwin</td></tr><tr><td>12</td><td>7/6</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>David Baldwin</td></tr><tr><td>13</td><td>7/13</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>David Baldwin</td></tr><tr><td>14</td><td>7/20</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>David Baldwin</td></tr><tr><td>15</td><td>7/27</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>David Baldwin</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin	2	4/20	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin	3	4/27	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin	4	5/11	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin	5	5/18	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin	6	5/25	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin	7	6/1	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin	8	6/8	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin	9	6/15	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin	10	6/22	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin	11	6/29	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin	12	7/6	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin	13	7/13	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin	14	7/20	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin	15	7/27	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/13	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin																																																																															
2	4/20	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin																																																																															
3	4/27	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin																																																																															
4	5/11	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin																																																																															
5	5/18	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin																																																																															
6	5/25	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin																																																																															
7	6/1	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin																																																																															
8	6/8	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin																																																																															
9	6/15	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin																																																																															
10	6/22	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin																																																																															
11	6/29	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin																																																																															
12	7/6	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin																																																																															
13	7/13	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin																																																																															
14	7/20	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin																																																																															
15	7/27	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin																																																																															
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																			
成績評価の方法 評価: attendance/participation: 50% assignments and quizzes: 25% final discussion test: 25% 再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral																																																																																			

test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000070			
科目名	英語 a			
担当教員	Dennisson Jeanette			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標(SB0s)				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette
2	4/20	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette
3	4/27	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette
4	5/11	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette
5	5/18	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette
6	5/25	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette
7	6/1	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette
8	6/8	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette
9	6/15	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette
10	6/22	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette
11	6/29	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette
12	7/6	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette
13	7/13	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette
14	7/20	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette

15	7/27	10:50-12:20	10 番教 室	Dennisson Jeanette	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: attendance/participation: 15% class assignments and quizzes: 55% final speaking test: 30%					
再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先					
Dennisson Jeanette :dennisson.jas@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階					

時間割番号	000080			
科目名	英語 a			
担当教員	David Baldwin			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.				
授業の到達目標(SBOs)				
To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
2	4/20	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
3	4/27	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
4	5/11	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
5	5/18	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
6	5/25	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
7	6/1	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
8	6/8	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
9	6/15	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
10	6/22	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
11	6/29	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
12	7/6	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
13	7/13	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
14	7/20	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
15	7/27	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment				
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: attendance/participation 50% assignments/quizzes 25% final discussion test 25%				

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語abcdの各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000071			
科目名	英語 a			
担当教員	Miya Marutsuka			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g. in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標(SBOs)				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
2	4/20	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
3	4/27	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
4	5/11	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
5	5/18	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
6	5/25	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
7	6/1	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
8	6/8	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
9	6/15	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
10	6/22	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
11	6/29	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
12	7/6	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
13	7/13	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
14	7/20	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka

15	7/27	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: Attendance/Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					

時間割番号	000072			
科目名	英語 a			
担当教員	Miya Marutsuka			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標(SBOs)				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/14	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
2	4/21	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
3	4/28	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
4	5/12	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
5	5/19	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
6	5/26	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
7	6/2	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
8	6/9	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
9	6/16	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
10	6/23	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
11	6/30	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
12	7/7	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
13	7/14	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
14	7/21	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka

15	7/28	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: Attendance/Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					

時間割番号	000073			
科目名	英語 a			
担当教員	菅原 未宇			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標(SB0s)				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/14	09:10-10:40	5 番教室	菅原 未宇
2	4/21	09:10-10:40	5 番教室	菅原 未宇
3	4/28	09:10-10:40	5 番教室	菅原 未宇
4	5/12	09:10-10:40	5 番教室	菅原 未宇
5	5/19	09:10-10:40	5 番教室	菅原 未宇
6	5/26	09:10-10:40	5 番教室	菅原 未宇
7	6/2	09:10-10:40	5 番教室	菅原 未宇
8	6/9	09:10-10:40	5 番教室	菅原 未宇
9	6/16	09:10-10:40	5 番教室	菅原 未宇
10	6/23	09:10-10:40	5 番教室	菅原 未宇
11	6/30	09:10-10:40	5 番教室	菅原 未宇
12	7/7	09:10-10:40	5 番教室	菅原 未宇
13	7/14	09:10-10:40	5 番教室	菅原 未宇
14	7/21	09:10-10:40	5 番教室	菅原 未宇
15	7/28	09:10-10:40	5 番教室	菅原 未宇
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: attendance: 30%, participation: 30%, discussion test: 40% 再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral				

test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000074			
科目名	英語 a			
担当教員	Dennisson Jeanette			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g. in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標(SBOs)				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/14	09:10-10:40	8 番教室	Dennisson Jeanette
2	4/21	09:10-10:40	8 番教室	Dennisson Jeanette
3	4/28	09:10-10:40	8 番教室	Dennisson Jeanette
4	5/12	09:10-10:40	8 番教室	Dennisson Jeanette
5	5/19	09:10-10:40	8 番教室	Dennisson Jeanette
6	5/26	09:10-10:40	8 番教室	Dennisson Jeanette
7	6/2	09:10-10:40	8 番教室	Dennisson Jeanette
8	6/9	09:10-10:40	8 番教室	Dennisson Jeanette
9	6/16	09:10-10:40	8 番教室	Dennisson Jeanette
10	6/23	09:10-10:40	8 番教室	Dennisson Jeanette
11	6/30	09:10-10:40	8 番教室	Dennisson Jeanette
12	7/7	09:10-10:40	8 番教室	Dennisson Jeanette
13	7/14	09:10-10:40	8 番教室	Dennisson Jeanette
14	7/21	09:10-10:40	8 番教室	Dennisson Jeanette

15	7/28	09:10-10:40	8 番教室	Dennisson Jeanette	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: attendance/participation 15% class assignments and quizzes 55% final discussion test 30%					
再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先					
Dennisson Jeanette :dennisson.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階					

時間割番号	000075																																																																								
科目名	英語 a																																																																								
担当教員	フォス バトリック																																																																								
開講時期	前期	対象年次	1																																																																						
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象: 検査技術学・口腔保健工学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																									
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g. in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																									
授業の到達目標(SB0s) To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																									
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/14</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>2</td><td>4/21</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>3</td><td>4/28</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>4</td><td>5/12</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>5</td><td>5/19</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>6</td><td>5/26</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>7</td><td>6/2</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>8</td><td>6/9</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>9</td><td>6/16</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>10</td><td>6/23</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>11</td><td>6/30</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>12</td><td>7/7</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>13</td><td>7/14</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/14	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	2	4/21	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	3	4/28	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	4	5/12	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	5	5/19	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	6	5/26	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	7	6/2	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	8	6/9	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	9	6/16	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	10	6/23	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	11	6/30	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	12	7/7	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	13	7/14	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																					
1	4/14	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
2	4/21	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
3	4/28	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
4	5/12	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
5	5/19	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
6	5/26	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
7	6/2	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
8	6/9	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
9	6/16	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
10	6/23	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
11	6/30	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
12	7/7	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
13	7/14	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					

14	7/21	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	
15	7/28	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	
授業方法 Skills Instruction and Practice					
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法 評価: attendance/participation 60% quizzes 10% speaking test 30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語abcdの各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先 フォス パトリック:foss.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10 毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10 管理研究棟 3階 フォス研究室					

時間割番号	000077			
科目名	英語 a			
担当教員	Dennisson Jeanette			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g, in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標(SBOs)				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/14	10:50-12:20	8 番教室	Dennisson Jeanette
2	4/21	10:50-12:20	8 番教室	Dennisson Jeanette
3	4/28	10:50-12:20	8 番教室	Dennisson Jeanette
4	5/12	10:50-12:20	8 番教室	Dennisson Jeanette
5	5/19	10:50-12:20	8 番教室	Dennisson Jeanette
6	5/26	10:50-12:20	8 番教室	Dennisson Jeanette
7	6/2	10:50-12:20	8 番教室	Dennisson Jeanette
8	6/9	10:50-12:20	8 番教室	Dennisson Jeanette
9	6/16	10:50-12:20	8 番教室	Dennisson Jeanette
10	6/23	10:50-12:20	8 番教室	Dennisson Jeanette
11	6/30	10:50-12:20	8 番教室	Dennisson Jeanette
12	7/7	10:50-12:20	8 番教室	Dennisson Jeanette
13	7/14	10:50-12:20	8 番教室	Dennisson Jeanette
14	7/21	10:50-12:20	8 番教室	Dennisson Jeanette

15	7/28	10:50-12:20	8 番教室	Dennisson Jeanette	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: attendance/participation 15% class assignments and quizzes 55% final speaking test 30%					
再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先					
Dennisson Jeanette :dennisson.jas@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階					

時間割番号	000078			
科目名	英語 a			
担当教員	Miya Marutsuka			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標(SB0s)				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/14	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
2	4/21	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
3	4/28	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
4	5/12	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
5	5/19	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
6	5/26	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
7	6/2	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
8	6/9	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
9	6/16	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
10	6/23	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
11	6/30	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
12	7/7	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
13	7/14	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
14	7/21	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka

15	7/28	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: Attendance/Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					

時間割番号	000079																																																																								
科目名	英語 b																																																																								
担当教員	フォス パトリック																																																																								
開講時期	前期	対象年次	1																																																																						
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																									
授業の目的、概要等 Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages. The primary goals of this course are to improve English reading and writing skills.																																																																									
授業の到達目標(SB0s) To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.																																																																									
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/13</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>2</td><td>4/20</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>3</td><td>4/27</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>4</td><td>5/11</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>5</td><td>5/18</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>6</td><td>5/25</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>7</td><td>6/1</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>8</td><td>6/8</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>9</td><td>6/15</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>10</td><td>6/22</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>11</td><td>6/29</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>12</td><td>7/6</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>13</td><td>7/13</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	2	4/20	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	3	4/27	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	4	5/11	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	5	5/18	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	6	5/25	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	7	6/1	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	8	6/8	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	9	6/15	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	10	6/22	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	11	6/29	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	12	7/6	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	13	7/13	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																					
1	4/13	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																					
2	4/20	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																					
3	4/27	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																					
4	5/11	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																					
5	5/18	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																					
6	5/25	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																					
7	6/1	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																					
8	6/8	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																					
9	6/15	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																					
10	6/22	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																					
11	6/29	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																					
12	7/6	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																					
13	7/13	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																					

14	7/20	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	
15	7/27	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	
授業方法 Skills Instruction and Practice					
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法 評価: writing assignments 50% journal 10% comprehensive test 20% attendance/participation/homework/surprise quizzes 20% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語abcdの各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先 フォス パトリック:foss.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10 毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10 管理研究棟 3階 フォス研究室					

時間割番号	000081			
科目名	英語 b			
担当教員	猪熊 恵子			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.				
授業の到達目標(SBOs)				
To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子
2	4/20	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子
3	4/27	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子
4	5/11	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子
5	5/18	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子
6	5/25	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子
7	6/1	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子
8	6/8	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子
9	6/15	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子
10	6/22	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子
11	6/29	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子
12	7/6	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子
13	7/13	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子
14	7/20	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子
15	7/27	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: attendance and participation:40%, writing assignments + quizzes:30%, in-class exam or final essay :30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)				

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 猪熊 恵子 inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 猪熊 恵子 水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000082																																																																																		
科目名	英語 b																																																																																		
担当教員	畔柳 和代																																																																																		
開講時期	前期	対象年次	1																																																																																
・曜日・限: 水曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																			
授業の到達目標(SB0s) To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/13</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>2</td><td>4/20</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>3</td><td>4/27</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>4</td><td>5/11</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>5</td><td>5/18</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>6</td><td>5/25</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>7</td><td>6/1</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>8</td><td>6/8</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>9</td><td>6/15</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>10</td><td>6/22</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>11</td><td>6/29</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>12</td><td>7/6</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>13</td><td>7/13</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>14</td><td>7/20</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>15</td><td>7/27</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代	2	4/20	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代	3	4/27	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代	4	5/11	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代	5	5/18	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代	6	5/25	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代	7	6/1	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代	8	6/8	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代	9	6/15	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代	10	6/22	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代	11	6/29	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代	12	7/6	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代	13	7/13	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代	14	7/20	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代	15	7/27	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/13	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代																																																																															
2	4/20	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代																																																																															
3	4/27	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代																																																																															
4	5/11	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代																																																																															
5	5/18	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代																																																																															
6	5/25	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代																																																																															
7	6/1	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代																																																																															
8	6/8	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代																																																																															
9	6/15	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代																																																																															
10	6/22	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代																																																																															
11	6/29	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代																																																																															
12	7/6	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代																																																																															
13	7/13	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代																																																																															
14	7/20	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代																																																																															
15	7/27	10:50-12:20	5 番教室	畔柳 和代																																																																															
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																			
成績評価の方法 評価: attendance+participation:20%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:40% 再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)																																																																																			

・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000083			
科目名	英語 b			
担当教員	畔柳 和代			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・限:水曜3限 ・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.				
授業の到達目標(SBOs)				
To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	13:10-14:40	5 番教室	畔柳 和代
2	4/20	13:10-14:40	5 番教室	畔柳 和代
3	4/27	13:10-14:40	5 番教室	畔柳 和代
4	5/11	13:10-14:40	5 番教室	畔柳 和代
5	5/18	13:10-14:40	5 番教室	畔柳 和代
6	5/25	13:10-14:40	5 番教室	畔柳 和代
7	6/1	13:10-14:40	5 番教室	畔柳 和代
8	6/8	13:10-14:40	5 番教室	畔柳 和代
9	6/15	13:10-14:40	5 番教室	畔柳 和代
10	6/22	13:10-14:40	5 番教室	畔柳 和代
11	6/29	13:10-14:40	5 番教室	畔柳 和代
12	7/6	13:10-14:40	5 番教室	畔柳 和代
13	7/13	13:10-14:40	5 番教室	畔柳 和代
14	7/20	13:10-14:40	5 番教室	畔柳 和代
15	7/27	13:10-14:40	5 番教室	畔柳 和代
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: attendance+participation:20%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:40% 再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)				

・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000084			
科目名	英語 b			
担当教員	猪熊 恵子			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 水曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.				
授業の到達目標(SBOs)				
To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子
2	4/20	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子
3	4/27	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子
4	5/11	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子
5	5/18	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子
6	5/25	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子
7	6/1	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子
8	6/8	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子
9	6/15	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子
10	6/22	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子
11	6/29	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子
12	7/6	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子
13	7/13	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子
14	7/20	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子
15	7/27	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: attendance and participation:40%, writing assignments + quizzes:30%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)				

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 猪熊 恵子 inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 猪熊 恵子 水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000085			
科目名	英語 b			
担当教員	猪熊 恵子			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 木曜1限				
・対象学科: 医学科 歯学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.				
The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.				
授業の到達目標(SB0s)				
To improve the ability to read different types of written works effectively.				
To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.				
To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.				
To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/14	09:10-10:40	11 番教室	猪熊 恵子
2	4/21	09:10-10:40	11 番教室	猪熊 恵子
3	4/28	09:10-10:40	11 番教室	猪熊 恵子
4	5/12	09:10-10:40	11 番教室	猪熊 恵子
5	5/19	09:10-10:40	11 番教室	猪熊 恵子
6	5/26	09:10-10:40	11 番教室	猪熊 恵子
7	6/2	09:10-10:40	11 番教室	猪熊 恵子
8	6/9	09:10-10:40	11 番教室	猪熊 恵子
9	6/16	09:10-10:40	11 番教室	猪熊 恵子
10	6/23	09:10-10:40	11 番教室	猪熊 恵子
11	6/30	09:10-10:40	11 番教室	猪熊 恵子
12	7/7	09:10-10:40	11 番教室	猪熊 恵子
13	7/14	09:10-10:40	11 番教室	猪熊 恵子
14	7/21	09:10-10:40	11 番教室	猪熊 恵子

			室		
15	7/28	09:10-10:40	11 番教 室	猪熊 恵子	
授業方法 Skills Instruction and Practice					
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法 評価: attendance + participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先 猪熊 恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 猪熊 恵子水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室					

時間割番号	000086																																																																													
科目名	英語 b																																																																													
担当教員	畔柳 和代																																																																													
開講時期	前期	対象年次	1																																																																											
・曜日・限: 木曜1限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																														
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																														
授業の到達目標(SB0s) To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																														
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/14</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>2</td><td>4/21</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>3</td><td>4/28</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>4</td><td>5/12</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>5</td><td>5/19</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>6</td><td>5/26</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>7</td><td>6/2</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>8</td><td>6/9</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>9</td><td>6/16</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>10</td><td>6/23</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>11</td><td>6/30</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>12</td><td>7/7</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>13</td><td>7/14</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>14</td><td>7/21</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/14	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	2	4/21	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	3	4/28	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	4	5/12	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	5	5/19	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	6	5/26	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	7	6/2	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	8	6/9	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	9	6/16	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	10	6/23	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	11	6/30	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	12	7/7	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	13	7/14	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	14	7/21	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																										
1	4/14	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
2	4/21	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
3	4/28	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
4	5/12	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
5	5/19	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
6	5/26	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
7	6/2	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
8	6/9	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
9	6/16	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
10	6/23	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
11	6/30	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
12	7/7	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
13	7/14	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
14	7/21	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																										

			室		
15	7/28	09:10-10:40	10 番教 室	畔柳 和代	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: attendance+participation:20%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:40%					
再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.					
連絡先					
kuroyanagi.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室					

時間割番号	000076																																																																								
科目名	英語 b																																																																								
担当教員	フォス パトリック																																																																								
開講時期	前期	対象年次	1																																																																						
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																									
授業の目的、概要等 Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages. The primary goals of this course are to improve English reading and writing skills.																																																																									
授業の到達目標(SB0s) To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.																																																																									
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/14</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>2</td><td>4/21</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>3</td><td>4/28</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>4</td><td>5/12</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>5</td><td>5/19</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>6</td><td>5/26</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>7</td><td>6/2</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>8</td><td>6/9</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>9</td><td>6/16</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>10</td><td>6/23</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>11</td><td>6/30</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>12</td><td>7/7</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>13</td><td>7/14</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/14	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック	2	4/21	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック	3	4/28	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック	4	5/12	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック	5	5/19	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック	6	5/26	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック	7	6/2	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック	8	6/9	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック	9	6/16	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック	10	6/23	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック	11	6/30	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック	12	7/7	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック	13	7/14	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																					
1	4/14	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
2	4/21	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
3	4/28	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
4	5/12	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
5	5/19	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
6	5/26	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
7	6/2	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
8	6/9	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
9	6/16	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
10	6/23	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
11	6/30	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
12	7/7	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック																																																																					
13	7/14	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック																																																																					

14	7/21	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック	
15	7/28	10:50-12:20	9 番教室	フォス パトリック	
授業方法 Skills Instruction and Practice					
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法 評価: writing assignments 50% journal 10% comprehensive test 20% attendance/participation/homework/surprise quizzes 20% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語abcdの各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先 フォス パトリック:foss.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10 毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10 管理研究棟 3階 フォス研究室					

時間割番号	000087																																																																													
科目名	英語 b																																																																													
担当教員	畔柳 和代																																																																													
開講時期	前期	対象年次	1																																																																											
・曜日・限: 木曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																														
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																														
授業の到達目標(SB0s) To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																														
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/14</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>2</td><td>4/21</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>3</td><td>4/28</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>4</td><td>5/12</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>5</td><td>5/19</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>6</td><td>5/26</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>7</td><td>6/2</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>8</td><td>6/9</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>9</td><td>6/16</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>10</td><td>6/23</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>11</td><td>6/30</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>12</td><td>7/7</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>13</td><td>7/14</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>14</td><td>7/21</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/14	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	2	4/21	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	3	4/28	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	4	5/12	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	5	5/19	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	6	5/26	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	7	6/2	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	8	6/9	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	9	6/16	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	10	6/23	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	11	6/30	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	12	7/7	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	13	7/14	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	14	7/21	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																										
1	4/14	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
2	4/21	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
3	4/28	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
4	5/12	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
5	5/19	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
6	5/26	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
7	6/2	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
8	6/9	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
9	6/16	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
10	6/23	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
11	6/30	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
12	7/7	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
13	7/14	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																										
14	7/21	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																										

			室		
15	7/28	10:50-12:20	10 番教 室	畔柳 和代	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: attendance+participation:20%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:40%再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.					
連絡先					
kuroyanagi.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室					

時間割番号	000088			
科目名	英語 b			
担当教員	猪熊 恵子			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 木曜2限				
・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.				
The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.				
授業の到達目標(SB0s)				
To improve the ability to read different types of written works effectively.				
To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.				
To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.				
To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/14	10:50-12:20	11 番教室	猪熊 恵子
2	4/21	10:50-12:20	11 番教室	猪熊 恵子
3	4/28	10:50-12:20	11 番教室	猪熊 恵子
4	5/12	10:50-12:20	11 番教室	猪熊 恵子
5	5/19	10:50-12:20	11 番教室	猪熊 恵子
6	5/26	10:50-12:20	11 番教室	猪熊 恵子
7	6/2	10:50-12:20	11 番教室	猪熊 恵子
8	6/9	10:50-12:20	11 番教室	猪熊 恵子
9	6/16	10:50-12:20	11 番教室	猪熊 恵子
10	6/23	10:50-12:20	11 番教室	猪熊 恵子
11	6/30	10:50-12:20	11 番教室	猪熊 恵子
12	7/7	10:50-12:20	11 番教室	猪熊 恵子
13	7/14	10:50-12:20	11 番教室	猪熊 恵子
14	7/21	10:50-12:20	11 番教室	猪熊 恵子

			室		
15	7/28	10:50-12:20	11 番教 室	猪熊 恵子	
授業方法 Skills Instruction and Practice					
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法 評価: attendance + participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先 猪熊 恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 猪熊 恵子水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室					

時間割番号	000089			
科目名	英語 b			
担当教員	菅原 未宇			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.				
授業の到達目標(SB0s)				
To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/14	10:50-12:20	5 番教室	菅原 未宇
2	4/21	10:50-12:20	5 番教室	菅原 未宇
3	4/28	10:50-12:20	5 番教室	菅原 未宇
4	5/12	10:50-12:20	5 番教室	菅原 未宇
5	5/19	10:50-12:20	5 番教室	菅原 未宇
6	5/26	10:50-12:20	5 番教室	菅原 未宇
7	6/2	10:50-12:20	5 番教室	菅原 未宇
8	6/9	10:50-12:20	5 番教室	菅原 未宇
9	6/16	10:50-12:20	5 番教室	菅原 未宇
10	6/23	10:50-12:20	5 番教室	菅原 未宇
11	6/30	10:50-12:20	5 番教室	菅原 未宇
12	7/7	10:50-12:20	5 番教室	菅原 未宇
13	7/14	10:50-12:20	5 番教室	菅原 未宇
14	7/21	10:50-12:20	5 番教室	菅原 未宇
15	7/28	10:50-12:20	5 番教室	菅原 未宇
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: attendance and preparation:40% quizzes and other works:40% final exam:20% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)				

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000090																																																																													
科目名	英語 c																																																																													
担当教員	Dennisson Jeanette																																																																													
開講時期	後期	対象年次	1																																																																											
・曜日・時間:水曜1限 ・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																														
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.																																																																														
授業の到達目標(SB0s) To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																														
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/28</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>2</td><td>10/5</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>3</td><td>10/19</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>4</td><td>10/26</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>5</td><td>11/2</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>6</td><td>11/9</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>7</td><td>11/16</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>8</td><td>11/30</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>9</td><td>12/7</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>10</td><td>12/14</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>11</td><td>12/21</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>12</td><td>1/11</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>13</td><td>1/18</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>14</td><td>1/25</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/28	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette	2	10/5	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette	3	10/19	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette	4	10/26	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette	5	11/2	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette	6	11/9	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette	7	11/16	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette	8	11/30	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette	9	12/7	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette	10	12/14	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette	11	12/21	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette	12	1/11	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette	13	1/18	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette	14	1/25	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																										
1	9/28	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
2	10/5	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
3	10/19	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
4	10/26	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
5	11/2	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
6	11/9	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
7	11/16	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
8	11/30	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
9	12/7	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
10	12/14	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
11	12/21	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
12	1/11	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
13	1/18	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
14	1/25	09:10-10:40	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										

15	2/1	09:10-10:40	10 番教 室	Dennisson Jeanette	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: attendance/participation 15% class assignments/quizzes 45% group oral presentation 15% final discussion test 25%					
再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先					
Dennisson Jeanette :dennisson.jas@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階					

時間割番号	000091																																																																								
科目名	英語 c																																																																								
担当教員	フォス バトリック																																																																								
開講時期	後期	対象年次	1																																																																						
・曜日・時間:水曜1限 ・対象:口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																									
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g. in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																									
授業の到達目標(SB0s) To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																									
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/28</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>2</td><td>10/5</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>3</td><td>10/19</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>4</td><td>10/26</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>5</td><td>11/2</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>6</td><td>11/9</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>7</td><td>11/16</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>8</td><td>11/30</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>9</td><td>12/7</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>10</td><td>12/14</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>11</td><td>12/21</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>12</td><td>1/11</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>13</td><td>1/18</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/28	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック	2	10/5	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック	3	10/19	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック	4	10/26	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック	5	11/2	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック	6	11/9	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック	7	11/16	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック	8	11/30	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック	9	12/7	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック	10	12/14	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック	11	12/21	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック	12	1/11	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック	13	1/18	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																					
1	9/28	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック																																																																					
2	10/5	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック																																																																					
3	10/19	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック																																																																					
4	10/26	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック																																																																					
5	11/2	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック																																																																					
6	11/9	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック																																																																					
7	11/16	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック																																																																					
8	11/30	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック																																																																					
9	12/7	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック																																																																					
10	12/14	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック																																																																					
11	12/21	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック																																																																					
12	1/11	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック																																																																					
13	1/18	09:10-10:40	5 番教室	フォス バトリック																																																																					

14	1/25	09:10-10:40	5 番教室	フォス パトリック	
15	2/1	09:10-10:40	5 番教室	フォス パトリック	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: attendance/participation/discussion and presentation assignments 60% vocabulary-related assignments/quizzes 10% speaking test 30%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先					
フォス パトリック:foss.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10					
毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10					
管理研究棟 3階 フォス研究室					

時間割番号	000092			
科目名	英語 c			
担当教員	Miya Marutsuka			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間: 水曜1限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g, in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標(SBOs)				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/28	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
2	10/5	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
3	10/19	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
4	10/26	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
5	11/2	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
6	11/9	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
7	11/16	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
8	11/30	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
9	12/7	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
10	12/14	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
11	12/21	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
12	1/11	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
13	1/18	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
14	1/25	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka

15	2/1	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: Attendance/Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					

時間割番号	000093			
科目名	英語 c			
担当教員	David Baldwin			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間: 水曜1限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標(SB0s)				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/28	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin
2	10/5	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin
3	10/19	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin
4	10/26	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin
5	11/2	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin
6	11/9	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin
7	11/16	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin
8	11/30	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin
9	12/7	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin
10	12/14	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin
11	12/21	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin
12	1/11	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin
13	1/18	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin
14	1/25	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin
15	2/1	09:10-10:40	4 番教室	David Baldwin
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation				
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment				
Week 15: Review and/or Final Assessment				
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: attendance/participation 50% assignments/quizzes 25% final discussion test 25%				
再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)				
・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral				

test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000105																																																																								
科目名	英語 c																																																																								
担当教員	Dennisson Jeanette																																																																								
開講時期	後期	対象年次	1																																																																						
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																									
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																									
授業の到達目標(SB0s) To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																									
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/28</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>2</td><td>10/5</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>3</td><td>10/19</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>4</td><td>10/26</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>5</td><td>11/2</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>6</td><td>11/9</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>7</td><td>11/16</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>8</td><td>11/30</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>9</td><td>12/7</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>10</td><td>12/14</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>11</td><td>12/21</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>12</td><td>1/11</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>13</td><td>1/18</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/28	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette	2	10/5	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette	3	10/19	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette	4	10/26	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette	5	11/2	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette	6	11/9	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette	7	11/16	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette	8	11/30	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette	9	12/7	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette	10	12/14	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette	11	12/21	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette	12	1/11	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette	13	1/18	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																					
1	9/28	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																					
2	10/5	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																					
3	10/19	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																					
4	10/26	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																					
5	11/2	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																					
6	11/9	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																					
7	11/16	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																					
8	11/30	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																					
9	12/7	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																					
10	12/14	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																					
11	12/21	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																					
12	1/11	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																					
13	1/18	10:50-12:20	10 番教室	Dennisson Jeanette																																																																					

14	1/25	10:50-12:20	10 番教 室	Dennisson Jeanette	
15	2/1	10:50-12:20	10 番教 室	Dennisson Jeanette	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: attendance/participation 15% class assignments/quizzes 55% final discussion test 30%					
再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先					
Dennisson Jeanette :dennisson.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階					

時間割番号	000094																																																																								
科目名	英語 c																																																																								
担当教員	Miya Marutsuka																																																																								
開講時期	後期	対象年次	1																																																																						
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																									
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.																																																																									
授業の到達目標(SBOs) To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																									
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/28</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>2</td><td>10/5</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>3</td><td>10/19</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>4</td><td>10/26</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>5</td><td>11/2</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>6</td><td>11/9</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>7</td><td>11/16</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>8</td><td>11/30</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>9</td><td>12/7</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>10</td><td>12/14</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>11</td><td>12/21</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>12</td><td>1/11</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>13</td><td>1/18</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/28	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	2	10/5	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	3	10/19	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	4	10/26	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	5	11/2	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	6	11/9	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	7	11/16	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	8	11/30	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	9	12/7	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	10	12/14	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	11	12/21	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	12	1/11	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	13	1/18	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																					
1	9/28	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																					
2	10/5	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																					
3	10/19	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																					
4	10/26	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																					
5	11/2	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																					
6	11/9	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																					
7	11/16	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																					
8	11/30	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																					
9	12/7	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																					
10	12/14	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																					
11	12/21	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																					
12	1/11	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																					
13	1/18	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																					

14	1/25	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	
15	2/1	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: Attendance/Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					

時間割番号	000095			
科目名	英語 c			
担当教員	David Baldwin			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標(SB0s)				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/28	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
2	10/5	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
3	10/19	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
4	10/26	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
5	11/2	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
6	11/9	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
7	11/16	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
8	11/30	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
9	12/7	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
10	12/14	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
11	12/21	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
12	1/11	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
13	1/18	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
14	1/25	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
15	2/1	10:50-12:20	4 番教室	David Baldwin
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation				
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment				
Week 15: Review and/or Final Assessment				
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: attendance/participation 50% assignments/quizzes 25% final discussion test 25%				
再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)				
・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral				

test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000096			
科目名	英語 c			
担当教員	Miya Marutsuka			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g, in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標(SBOs)				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/29	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
2	10/6	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
3	10/13	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
4	10/20	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
5	10/27	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
6	11/10	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
7	11/17	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
8	11/24	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
9	12/1	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
10	12/8	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
11	12/15	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
12	12/22	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
13	1/12	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka
14	1/19	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka

15	1/26	09:10-10:40	3 番教室	Miya Marutsuka	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: Attendance/Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					

時間割番号	000097			
科目名	英語 c			
担当教員	菅原 未宇			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標(SB0s)				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/29	09:10-10:40	2 番教室	菅原 未宇
2	10/6	09:10-10:40	2 番教室	菅原 未宇
3	10/13	09:10-10:40	2 番教室	菅原 未宇
4	10/20	09:10-10:40	2 番教室	菅原 未宇
5	10/27	09:10-10:40	2 番教室	菅原 未宇
6	11/10	09:10-10:40	2 番教室	菅原 未宇
7	11/17	09:10-10:40	2 番教室	菅原 未宇
8	11/24	09:10-10:40	2 番教室	菅原 未宇
9	12/1	09:10-10:40	2 番教室	菅原 未宇
10	12/8	09:10-10:40	2 番教室	菅原 未宇
11	12/15	09:10-10:40	2 番教室	菅原 未宇
12	12/22	09:10-10:40	2 番教室	菅原 未宇
13	1/12	09:10-10:40	2 番教室	菅原 未宇
14	1/19	09:10-10:40	2 番教室	菅原 未宇
15	1/26	09:10-10:40	2 番教室	菅原 未宇
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: attendance:30% participation:30% discussion test:40% 再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる ora				

test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000098																																																																								
科目名	英語 c																																																																								
担当教員	フォス バトリック																																																																								
開講時期	後期	対象年次	1																																																																						
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象: 検査技術学・口腔保健工学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																									
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																									
授業の到達目標(SB0s) To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																									
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/29</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>2</td><td>10/6</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>3</td><td>10/13</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>4</td><td>10/20</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>5</td><td>10/27</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>6</td><td>11/10</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>7</td><td>11/17</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>8</td><td>11/24</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>9</td><td>12/1</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>10</td><td>12/8</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>11</td><td>12/8</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>12</td><td>12/15</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr><tr><td>13</td><td>12/22</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>フォス バトリック</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/29	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	2	10/6	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	3	10/13	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	4	10/20	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	5	10/27	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	6	11/10	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	7	11/17	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	8	11/24	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	9	12/1	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	10	12/8	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	11	12/8	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	12	12/15	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック	13	12/22	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																					
1	9/29	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
2	10/6	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
3	10/13	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
4	10/20	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
5	10/27	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
6	11/10	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
7	11/17	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
8	11/24	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
9	12/1	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
10	12/8	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
11	12/8	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
12	12/15	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					
13	12/22	09:10-10:40	9 番教室	フォス バトリック																																																																					

14	1/12	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	
15	1/19	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	
16	1/26	09:10-10:40	9 番教室	フォス パトリック	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: attendance/participation/discussion and presentation assignments 60% vocabulary-related assignments/quizzes 10% speaking test 30%					
再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語abcdの各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先					
フォス パトリック:foss.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10					
毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10					
管理研究棟 3階 フォス研究室					

時間割番号	000099			
科目名	英語 c			
担当教員	Dennisson Jeanette			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g, in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標(SB0s)				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/29	09:10-10:40	11 番教室	Dennisson Jeanette
2	10/6	09:10-10:40	11 番教室	Dennisson Jeanette
3	10/13	09:10-10:40	11 番教室	Dennisson Jeanette
4	10/20	09:10-10:40	11 番教室	Dennisson Jeanette
5	10/27	09:10-10:40	11 番教室	Dennisson Jeanette
6	11/10	09:10-10:40	11 番教室	Dennisson Jeanette
7	11/17	09:10-10:40	11 番教室	Dennisson Jeanette
8	11/24	09:10-10:40	11 番教室	Dennisson Jeanette
9	12/1	09:10-10:40	11 番教室	Dennisson Jeanette
10	12/8	09:10-10:40	11 番教室	Dennisson Jeanette
11	12/15	09:10-10:40	11 番教室	Dennisson Jeanette
12	12/22	09:10-10:40	11 番教室	Dennisson Jeanette
13	1/12	09:10-10:40	11 番教室	Dennisson Jeanette
14	1/19	09:10-10:40	11 番教室	Dennisson Jeanette

15	1/26	09:10-10:40	11 番教 室	Dennisson Jeanette	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: attendance/participation 15% class assignments/quizzes 45% group oral presentation 15% final discussion test 25%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語abcdの各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先					
Dennisson Jeanette :dennisson.jas@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階					

時間割番号	000101																																																																													
科目名	英語 c																																																																													
担当教員	Dennisson Jeanette																																																																													
開講時期	後期	対象年次	1																																																																											
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																														
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g, in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.																																																																														
授業の到達目標(SB0s) To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																														
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/29</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>2</td><td>10/6</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>3</td><td>10/13</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>4</td><td>10/20</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>5</td><td>10/27</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>6</td><td>11/10</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>7</td><td>11/17</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>8</td><td>11/24</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>9</td><td>12/1</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>10</td><td>12/8</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>11</td><td>12/15</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>12</td><td>12/22</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>13</td><td>1/12</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr><tr><td>14</td><td>1/19</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>Dennisson Jeanette</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/29	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette	2	10/6	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette	3	10/13	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette	4	10/20	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette	5	10/27	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette	6	11/10	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette	7	11/17	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette	8	11/24	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette	9	12/1	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette	10	12/8	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette	11	12/15	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette	12	12/22	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette	13	1/12	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette	14	1/19	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																										
1	9/29	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
2	10/6	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
3	10/13	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
4	10/20	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
5	10/27	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
6	11/10	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
7	11/17	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
8	11/24	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
9	12/1	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
10	12/8	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
11	12/15	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
12	12/22	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
13	1/12	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										
14	1/19	10:50-12:20	11 番教室	Dennisson Jeanette																																																																										

15	1/26	10:50-12:20	11 番教 室	Dennisson Jeanette	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: attendance/participation 15% class assignments/quizzes 55% final discussion test 30%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語abcdの各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先					
Dennisson Jeanette :dennisson.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
Dennisson Jeanette :毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階					

時間割番号	000100																																																																													
科目名	英語 c																																																																													
担当教員	Miya Marutsuka																																																																													
開講時期	後期	対象年次	1																																																																											
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																														
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of these courses are to improve English speaking and listening skills.																																																																														
授業の到達目標(SB0s) To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																														
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/29</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>2</td><td>10/6</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>3</td><td>10/13</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>4</td><td>10/20</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>5</td><td>10/27</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>6</td><td>11/10</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>7</td><td>11/17</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>8</td><td>11/24</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>9</td><td>12/1</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>10</td><td>12/8</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>11</td><td>12/15</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>12</td><td>12/22</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>13</td><td>1/12</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>14</td><td>1/19</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Miya Marutsuka</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/29	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	2	10/6	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	3	10/13	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	4	10/20	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	5	10/27	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	6	11/10	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	7	11/17	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	8	11/24	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	9	12/1	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	10	12/8	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	11	12/15	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	12	12/22	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	13	1/12	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	14	1/19	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																										
1	9/29	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																										
2	10/6	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																										
3	10/13	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																										
4	10/20	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																										
5	10/27	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																										
6	11/10	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																										
7	11/17	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																										
8	11/24	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																										
9	12/1	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																										
10	12/8	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																										
11	12/15	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																										
12	12/22	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																										
13	1/12	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																										
14	1/19	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka																																																																										

15	1/25	10:50-12:20	3 番教室	Miya Marutsuka	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: Attendance/Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					

時間割番号	000103																																																																			
科目名	英語 d																																																																			
担当教員	フォス パトリック																																																																			
開講時期	後期	対象年次	1																																																																	
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																				
授業の目的、概要等 Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities. The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.																																																																				
授業の到達目標(SB0s) To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing.																																																																				
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/28</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>2</td><td>10/5</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>3</td><td>10/19</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>4</td><td>10/26</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>5</td><td>11/2</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>6</td><td>11/9</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>7</td><td>11/16</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>8</td><td>11/30</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>9</td><td>12/7</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>10</td><td>12/14</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>11</td><td>12/21</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>12</td><td>1/11</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/28	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	2	10/5	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	3	10/19	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	4	10/26	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	5	11/2	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	6	11/9	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	7	11/16	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	8	11/30	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	9	12/7	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	10	12/14	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	11	12/21	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	12	1/11	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																
1	9/28	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
2	10/5	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
3	10/19	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
4	10/26	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
5	11/2	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
6	11/9	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
7	11/16	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
8	11/30	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
9	12/7	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
10	12/14	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
11	12/21	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
12	1/11	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																

13	1/18	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	
14	1/25	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	
15	2/1	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: attendance/participation 20% presentation assignments 50% research project 30%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語abcdの各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先					
フォス パトリック:foss.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10					
毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10					
管理研究棟 3階 フォス研究室					

時間割番号	000104																																																																																		
科目名	英語 d																																																																																		
担当教員	畔柳 和代																																																																																		
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																
・曜日・限:水曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																			
授業の到達目標(SB0s) To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/28</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>2</td><td>10/5</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>3</td><td>10/19</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>4</td><td>10/26</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>5</td><td>11/2</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>6</td><td>11/9</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>7</td><td>11/16</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>8</td><td>11/30</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>9</td><td>12/7</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>10</td><td>12/14</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>11</td><td>12/21</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>12</td><td>1/11</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>13</td><td>1/18</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>14</td><td>1/25</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>15</td><td>2/1</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/28	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代	2	10/5	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代	3	10/19	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代	4	10/26	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代	5	11/2	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代	6	11/9	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代	7	11/16	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代	8	11/30	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代	9	12/7	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代	10	12/14	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代	11	12/21	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代	12	1/11	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代	13	1/18	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代	14	1/25	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代	15	2/1	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	9/28	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代																																																																															
2	10/5	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代																																																																															
3	10/19	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代																																																																															
4	10/26	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代																																																																															
5	11/2	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代																																																																															
6	11/9	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代																																																																															
7	11/16	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代																																																																															
8	11/30	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代																																																																															
9	12/7	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代																																																																															
10	12/14	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代																																																																															
11	12/21	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代																																																																															
12	1/11	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代																																																																															
13	1/18	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代																																																																															
14	1/25	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代																																																																															
15	2/1	10:50-12:20	6 番教室	畔柳 和代																																																																															
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																			
成績評価の方法 評価: attendance+participation:20%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:40% 再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)																																																																																			

・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000107																																																																																		
科目名	英語 d																																																																																		
担当教員	猪熊 恵子																																																																																		
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																			
授業の到達目標(SB0s) To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/28</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>2</td><td>10/5</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>3</td><td>10/19</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>4</td><td>10/26</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>5</td><td>11/2</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>6</td><td>11/9</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>7</td><td>11/16</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>8</td><td>11/30</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>9</td><td>12/7</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>10</td><td>12/14</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>11</td><td>12/21</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>12</td><td>1/11</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>13</td><td>1/18</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>14</td><td>1/25</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>15</td><td>2/1</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/28	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子	2	10/5	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子	3	10/19	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子	4	10/26	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子	5	11/2	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子	6	11/9	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子	7	11/16	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子	8	11/30	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子	9	12/7	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子	10	12/14	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子	11	12/21	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子	12	1/11	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子	13	1/18	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子	14	1/25	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子	15	2/1	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	9/28	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子																																																																															
2	10/5	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子																																																																															
3	10/19	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子																																																																															
4	10/26	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子																																																																															
5	11/2	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子																																																																															
6	11/9	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子																																																																															
7	11/16	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子																																																																															
8	11/30	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子																																																																															
9	12/7	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子																																																																															
10	12/14	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子																																																																															
11	12/21	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子																																																																															
12	1/11	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子																																																																															
13	1/18	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子																																																																															
14	1/25	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子																																																																															
15	2/1	10:50-12:20	2 番教室	猪熊 恵子																																																																															
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																			
成績評価の方法 評価: attendance + participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)																																																																																			

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 猪熊 恵子 inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 猪熊 恵子 水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000108			
科目名	英語 d			
担当教員	畔柳 和代			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・限:水曜3限 ・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.				
授業の到達目標(SB0s)				
To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/28	13:10-14:40	3 番教室	畔柳 和代
2	10/5	13:10-14:40	3 番教室	畔柳 和代
3	10/19	13:10-14:40	3 番教室	畔柳 和代
4	10/26	13:10-14:40	3 番教室	畔柳 和代
5	11/2	13:10-14:40	3 番教室	畔柳 和代
6	11/9	13:10-14:40	3 番教室	畔柳 和代
7	11/16	13:10-14:40	3 番教室	畔柳 和代
8	11/30	13:10-14:40	3 番教室	畔柳 和代
9	12/7	13:10-14:40	3 番教室	畔柳 和代
10	12/14	13:10-14:40	3 番教室	畔柳 和代
11	12/21	13:10-14:40	3 番教室	畔柳 和代
12	1/11	13:10-14:40	3 番教室	畔柳 和代
13	1/18	13:10-14:40	3 番教室	畔柳 和代
14	1/25	13:10-14:40	3 番教室	畔柳 和代
15	2/1	13:10-14:40	3 番教室	畔柳 和代
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: attendance+participation:20%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:40% 再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)				

・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000106																																																																																		
科目名	英語 d																																																																																		
担当教員	猪熊 恵子																																																																																		
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																
・曜日・時間:水曜3限 ・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																			
授業の到達目標(SB0s) To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/28</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>2</td><td>10/5</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>3</td><td>10/19</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>4</td><td>10/26</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>5</td><td>11/2</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>6</td><td>11/9</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>7</td><td>11/16</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>8</td><td>11/30</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>9</td><td>12/7</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>10</td><td>12/14</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>11</td><td>12/21</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>12</td><td>1/11</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>13</td><td>1/18</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>14</td><td>1/25</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>15</td><td>2/1</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/28	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子	2	10/5	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子	3	10/19	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子	4	10/26	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子	5	11/2	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子	6	11/9	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子	7	11/16	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子	8	11/30	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子	9	12/7	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子	10	12/14	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子	11	12/21	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子	12	1/11	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子	13	1/18	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子	14	1/25	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子	15	2/1	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	9/28	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子																																																																															
2	10/5	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子																																																																															
3	10/19	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子																																																																															
4	10/26	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子																																																																															
5	11/2	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子																																																																															
6	11/9	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子																																																																															
7	11/16	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子																																																																															
8	11/30	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子																																																																															
9	12/7	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子																																																																															
10	12/14	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子																																																																															
11	12/21	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子																																																																															
12	1/11	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子																																																																															
13	1/18	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子																																																																															
14	1/25	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子																																																																															
15	2/1	13:10-14:40	4 番教室	猪熊 恵子																																																																															
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																			
成績評価の方法 評価: attendance and participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)																																																																																			

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 猪熊 恵子 inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 猪熊 恵子 水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000109																																																																																		
科目名	英語 d																																																																																		
担当教員	猪熊 恵子																																																																																		
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																			
授業の到達目標(SBOs) To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/29</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>2</td><td>10/6</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>3</td><td>10/13</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>4</td><td>10/20</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>5</td><td>10/27</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>6</td><td>11/10</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>7</td><td>11/17</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>8</td><td>11/24</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>9</td><td>12/1</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>10</td><td>12/8</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>11</td><td>12/15</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>12</td><td>12/22</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>13</td><td>1/12</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>14</td><td>1/19</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>15</td><td>1/26</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>猪熊 恵子</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/29	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子	2	10/6	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子	3	10/13	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子	4	10/20	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子	5	10/27	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子	6	11/10	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子	7	11/17	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子	8	11/24	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子	9	12/1	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子	10	12/8	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子	11	12/15	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子	12	12/22	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子	13	1/12	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子	14	1/19	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子	15	1/26	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	9/29	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子																																																																															
2	10/6	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子																																																																															
3	10/13	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子																																																																															
4	10/20	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子																																																																															
5	10/27	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子																																																																															
6	11/10	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子																																																																															
7	11/17	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子																																																																															
8	11/24	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子																																																																															
9	12/1	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子																																																																															
10	12/8	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子																																																																															
11	12/15	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子																																																																															
12	12/22	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子																																																																															
13	1/12	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子																																																																															
14	1/19	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子																																																																															
15	1/26	09:10-10:40	5 番教室	猪熊 恵子																																																																															
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																			
成績評価の方法 評価: attendance + participation:30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)																																																																																			

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 猪熊 恵子 inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 猪熊 恵子 水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000110																																																																								
科目名	英語 d																																																																								
担当教員	畔柳 和代																																																																								
開講時期	後期	対象年次	1																																																																						
・曜日・限: 木曜1限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																									
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																									
授業の到達目標(SB0s) To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																									
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/29</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>2</td><td>10/6</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>3</td><td>10/13</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>4</td><td>10/20</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>5</td><td>10/27</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>6</td><td>11/10</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>7</td><td>11/17</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>8</td><td>11/24</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>9</td><td>12/1</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>10</td><td>12/8</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>11</td><td>12/15</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>12</td><td>12/22</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>13</td><td>1/12</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/29	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	2	10/6	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	3	10/13	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	4	10/20	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	5	10/27	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	6	11/10	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	7	11/17	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	8	11/24	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	9	12/1	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	10	12/8	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	11	12/15	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	12	12/22	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	13	1/12	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																					
1	9/29	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
2	10/6	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
3	10/13	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
4	10/20	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
5	10/27	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
6	11/10	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
7	11/17	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
8	11/24	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
9	12/1	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
10	12/8	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
11	12/15	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
12	12/22	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
13	1/12	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代																																																																					

14	1/19	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	
15	1/26	09:10-10:40	10 番教室	畔柳 和代	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: attendance+participation:20%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:40%					
再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.					
連絡先					
kuroyanagi.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室					

時間割番号	000102																																																																			
科目名	英語 d																																																																			
担当教員	フォス パトリック																																																																			
開講時期	後期	対象年次																																																																		
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																				
授業の目的、概要等 Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities. The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.																																																																				
授業の到達目標(SB0s) To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing.																																																																				
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/29</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>2</td><td>10/6</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>3</td><td>10/13</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>4</td><td>10/20</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>5</td><td>10/27</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>6</td><td>11/10</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>7</td><td>11/17</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>8</td><td>11/24</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>9</td><td>12/1</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>10</td><td>12/8</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>11</td><td>12/15</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>12</td><td>12/22</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>フォス パトリック</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/29	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	2	10/6	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	3	10/13	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	4	10/20	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	5	10/27	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	6	11/10	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	7	11/17	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	8	11/24	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	9	12/1	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	10	12/8	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	11	12/15	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック	12	12/22	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																
1	9/29	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
2	10/6	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
3	10/13	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
4	10/20	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
5	10/27	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
6	11/10	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
7	11/17	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
8	11/24	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
9	12/1	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
10	12/8	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
11	12/15	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																
12	12/22	10:50-12:20	計算機実習室	フォス パトリック																																																																

13	1/12	10:50-12:20	計算機実 習室	フォス パトリ ック	
14	1/19	10:50-12:20	計算機実 習室	フォス パトリ ック	
15	1/26	10:50-12:20	計算機実 習室	フォス パトリ ック	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: attendance/participation 20% presentation assignments 50% research project 30%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語abcd」についての評価方法です。「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」はa,b,c,dの4クラスの成績(90%)と学年末に行われるoral testの成績(10%)およびe-learning教材ALCによるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語abcdの各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先					
フォス パトリック:foss.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10					
毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10					
管理研究棟 3階 フォス研究室					

時間割番号	000111																																																																								
科目名	英語 d																																																																								
担当教員	畔柳 和代																																																																								
開講時期	後期	対象年次	1																																																																						
・曜日・限: 木曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																									
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																									
授業の到達目標(SB0s) To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																									
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/29</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>2</td><td>10/6</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>3</td><td>10/13</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>4</td><td>10/20</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>5</td><td>10/27</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>6</td><td>11/10</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>7</td><td>11/17</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>8</td><td>11/24</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>9</td><td>12/1</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>10</td><td>12/8</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>11</td><td>12/15</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>12</td><td>12/22</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>13</td><td>1/12</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>畔柳 和代</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/29	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	2	10/6	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	3	10/13	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	4	10/20	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	5	10/27	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	6	11/10	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	7	11/17	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	8	11/24	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	9	12/1	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	10	12/8	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	11	12/15	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	12	12/22	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	13	1/12	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																					
1	9/29	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
2	10/6	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
3	10/13	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
4	10/20	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
5	10/27	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
6	11/10	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
7	11/17	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
8	11/24	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
9	12/1	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
10	12/8	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
11	12/15	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
12	12/22	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																					
13	1/12	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代																																																																					

14	1/19	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	
15	1/26	10:50-12:20	10 番教室	畔柳 和代	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: attendance+participation:20%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:40%					
再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナスポイントを合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.					
連絡先					
kuroyanagi.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室					

時間割番号	000112			
科目名	英語 d			
担当教員	猪熊 恵子			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.				
授業の到達目標(SBOs)				
To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/29	10:50-12:20	5 番教室	猪熊 恵子
2	10/6	10:50-12:20	5 番教室	猪熊 恵子
3	10/13	10:50-12:20	5 番教室	猪熊 恵子
4	10/13	10:50-12:20	5 番教室	猪熊 恵子
5	10/20	10:50-12:20	5 番教室	猪熊 恵子
6	10/27	10:50-12:20	5 番教室	猪熊 恵子
7	11/10	10:50-12:20	5 番教室	猪熊 恵子
8	11/17	10:50-12:20	5 番教室	猪熊 恵子
9	11/24	10:50-12:20	5 番教室	猪熊 恵子
10	12/1	10:50-12:20	5 番教室	猪熊 恵子
11	12/8	10:50-12:20	5 番教室	猪熊 恵子
12	12/15	10:50-12:20	5 番教室	猪熊 恵子
13	12/22	10:50-12:20	5 番教室	猪熊 恵子
14	1/12	10:50-12:20	5 番教室	猪熊 恵子
15	1/19	10:50-12:20	5 番教室	猪熊 恵子
16	1/26	10:50-12:20	5 番教室	猪熊 恵子
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: attendance + participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%				

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを含わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを含わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 猪熊 恵子 inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 猪熊 恵子 水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000113																																																																																		
科目名	英語 d																																																																																		
担当教員	菅原 未宇																																																																																		
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																			
授業の到達目標(SB0s) To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/29</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>2</td><td>10/6</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>3</td><td>10/13</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>4</td><td>10/20</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>5</td><td>10/27</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>6</td><td>11/10</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>7</td><td>11/17</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>8</td><td>11/24</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>9</td><td>12/1</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>10</td><td>12/8</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>11</td><td>12/15</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>12</td><td>12/22</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>13</td><td>1/12</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>14</td><td>1/19</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>15</td><td>1/26</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>菅原 未宇</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/29	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇	2	10/6	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇	3	10/13	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇	4	10/20	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇	5	10/27	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇	6	11/10	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇	7	11/17	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇	8	11/24	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇	9	12/1	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇	10	12/8	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇	11	12/15	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇	12	12/22	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇	13	1/12	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇	14	1/19	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇	15	1/26	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	9/29	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇																																																																															
2	10/6	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇																																																																															
3	10/13	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇																																																																															
4	10/20	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇																																																																															
5	10/27	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇																																																																															
6	11/10	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇																																																																															
7	11/17	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇																																																																															
8	11/24	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇																																																																															
9	12/1	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇																																																																															
10	12/8	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇																																																																															
11	12/15	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇																																																																															
12	12/22	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇																																																																															
13	1/12	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇																																																																															
14	1/19	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇																																																																															
15	1/26	10:50-12:20	2 番教室	菅原 未宇																																																																															
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																			
成績評価の方法 評価: attendance and preparation:40% quizzes and other works:40% final exam:20% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)																																																																																			

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)および e-learning 教材 ALC によるボーナス・ポイントを合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000158			
科目名	日本語 a			
担当教員	今村 圭介			
開講時期	前期	対象年次	1	
主な講義場所				
12 番教室				
授業の目的、概要等				
日本語で書かれた様々なジャンル・スタイルの本を読み、議論することで、日本の文化・社会について理解を深めるとともに、読解力の向上を目指す。				
また、口頭及び小論文演習を通じて日本語で論理的な表現力の獲得を目指す。				
授業の到達目標(SBOs)				
6年間の勉学に必要な読解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
2	4/18	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
3	4/25	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
4	5/2	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
5	5/9	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
6	5/16	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
7	5/23	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
8	5/30	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
9	6/6	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
10	6/13	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
11	6/20	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
12	6/27	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
13	7/4	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
14	7/11	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
15	7/25	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
授業方法				
講義、読解、ディスカッション、発表				
授業内容				

初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。
成績評価の方法 出席及び授業態度 40% 宿題 30%、期末試験 30%
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出することとする。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上の出席が必要である。
他科目との関連 日本語は a/b/c/d/の総合点で 4 単位まとめて評価する。
連絡先 Imamura.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 AM.10:00-PM.1:00

時間割番号	000159			
科目名	日本語 b			
担当教員	今村 圭介			
開講時期	前期	対象年次	1	
授業の目的、概要等				
現代社会や文化に関するビデオを見ながら、ディスカッションを行うことで、日本・自国を中心に文化・社会について理解を深めるとともに、聴解力の向上を目指す。				
また、口頭及び小論文演習を通じて日本語で論理的な表現力の獲得を目指す。				
授業の到達目標(SBOs)				
6年間の勉学に必要な聴解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
2	4/20	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
3	4/27	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
4	5/11	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
5	5/18	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
6	5/25	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
7	6/1	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
8	6/8	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
9	6/15	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
10	6/22	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
11	6/29	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
12	7/6	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
13	7/13	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
14	7/20	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
15	7/27	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
授業方法				
ビデオ(聴解)、ディスカッション、発表				
授業内容				
初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。				
成績評価の方法				
出席及び授業態度 40% 宿題 30%、期末試験 30%				

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示
宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出することとする。
試験の受験資格
期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上の出席が必要である。
構成ユニット
12 番教室
他科目との関連
日本語は a/b/c/d/の総合点で 4 単位まとめて評価する。
連絡先
Imamura.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
毎週水曜日 AM.10:00-PM.1:00

時間割番号	000160			
科目名	日本語 c			
担当教員	今村 圭介			
開講時期	後期	対象年次	1	
主な講義場所				
12 番教室				
授業の目的、概要等				
日本語で書かれた様々なジャンル・スタイルの本を読み、議論することで、日本の文化・社会について理解を深めるとともに、読解力の向上を目指す。				
また、口頭及び小論文演習を通じて日本語で論理的な表現力の獲得を目指す。				
授業の到達目標(SBOs)				
6年間の勉学に必要な読解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
2	10/3	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
3	10/17	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
4	10/24	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
5	10/31	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
6	11/7	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
7	11/14	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
8	11/21	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
9	11/28	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
10	12/5	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
11	12/12	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
12	12/19	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
13	1/16	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
14	1/23	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
15	1/30	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
授業方法				
講義、読解、ディスカッション、発表				
授業内容				
初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。				

成績評価の方法
出席及び授業態度 40% 宿題 30%、期末試験 30%
成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示
宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出することとする。
試験の受験資格
期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上の出席が必要である。
他科目との関連
日本語は a/b/c/d/の総合点で4単位まとめて評価する。
連絡先
Imamura.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
毎週水曜日 AM.10:00-PM.1:00

時間割番号	000161			
科目名	日本語 d			
担当教員	今村 圭介			
開講時期	後期	対象年次	1	
主な講義場所				
12 番教室				
授業の目的、概要等				
現代社会や文化に関するビデオを見ながら、ディスカッションを行うことで、日本・自国を中心に文化・社会について理解を深めるとともに、聴解力の向上を目指す。				
また、口頭及び小論文演習を通じて日本語で論理的な表現力の獲得を目指す。				
授業の到達目標(SBOs)				
6年間の勉学に必要な聴解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/28	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
2	10/5	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
3	10/19	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
4	10/26	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
5	11/2	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
6	11/9	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
7	11/16	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
8	11/30	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
9	12/7	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
10	12/14	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
11	12/21	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
12	1/11	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
13	1/18	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
14	1/25	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
15	2/1	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
授業方法				
ビデオ(聴解)、ディスカッション、発表				
授業内容				
初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。				

成績評価の方法 出席及び授業態度 40% 宿題 30%、期末試験 30%
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出することとする。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上の出席が必要である。
他科目との関連 日本語は a/b/c/d/の総合点で4単位まとめて評価する。
連絡先 Imamura.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 AM.10:00-PM.1:00

時間割番号	000163			
科目名	ドイツ語 a			
担当教員	シンチンガー エミ			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。				
授業の到達目標(SB0s) 1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	13:10-14:40	5 番教室	シンチンガー エミ
2	4/18	13:10-14:40	5 番教室	シンチンガー エミ
3	4/25	13:10-14:40	5 番教室	シンチンガー エミ
4	5/2	13:10-14:40	5 番教室	シンチンガー エミ
5	5/9	13:10-14:40	5 番教室	シンチンガー エミ
6	5/16	13:10-14:40	5 番教室	シンチンガー エミ
7	5/23	13:10-14:40	5 番教室	シンチンガー エミ
8	5/30	13:10-14:40	5 番教室	シンチンガー エミ
9	6/6	13:10-14:40	5 番教室	シンチンガー エミ
10	6/13	13:10-14:40	5 番教室	シンチンガー エミ
11	6/20	13:10-14:40	5 番教室	シンチンガー エミ
12	6/27	13:10-14:40	5 番教室	シンチンガー エミ
13	7/4	13:10-14:40	5 番教室	シンチンガー エミ
14	7/11	13:10-14:40	5 番教室	シンチンガー エミ

15	7/25	13:10-14:40	5 番教室	シンチンガー エミ	
授業方法					
講義と演習による					
授業内容					
前期には教科書の第 7 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。					
独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。					
成績評価の方法					
評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。					
再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。					
予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。					
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。					
試験の受験資格					
期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席					
教科書					
もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本/伊藤真・Emi Schinzinger・木村高明: 同学社, 2016					
教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。					
これらは授業中に配布しますので注意してください。					
参考書					
アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010					
新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008					
アクセス独和辞典/在間進 編: 三修社, 2010					
代表的な独和辞典を挙げておきます。					
辞書については文法の 1 回目の授業で説明します。					
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、					
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。					
携帯に入っている辞書、スマートフォンに入っている辞書は					
使用禁止です。					
他科目との関連					
ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上の授業を履修していないと試験を受けられません。授業に積極的に参加し、パートナー練習なども積極的に行うこと。					
連絡先					
schinzinger.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室					

時間割番号	000164			
科目名	ドイツ語 a			
担当教員	白井 史人			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜 3 限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。				
授業の到達目標(SB0s)				
1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	13:10-14:40	4 番教室	白井 史人
2	4/18	13:10-14:40	4 番教室	白井 史人
3	4/25	13:10-14:40	4 番教室	白井 史人
4	5/2	13:10-14:40	4 番教室	白井 史人
5	5/9	13:10-14:40	4 番教室	白井 史人
6	5/16	13:10-14:40	4 番教室	白井 史人
7	5/23	13:10-14:40	4 番教室	白井 史人
8	5/30	13:10-14:40	4 番教室	白井 史人
9	6/6	13:10-14:40	4 番教室	白井 史人
10	6/13	13:10-14:40	4 番教室	白井 史人
11	6/20	13:10-14:40	4 番教室	白井 史人
12	6/27	13:10-14:40	4 番教室	白井 史人
13	7/4	13:10-14:40	4 番教室	白井 史人
14	7/11	13:10-14:40	4 番教室	白井 史人
15	7/25	13:10-14:40	4 番教室	白井 史人
授業方法				
講義と演習による				
授業内容				
前期には教科書の第 7 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 独自のプリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。				
成績評価の方法				
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				

準備学習などについての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席
教科書 もちろん！ドイツ語：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016 教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。 これらは授業中に配られますので注意してください。
参考書 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆.:同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編.:三修社, 2008 アクセス独和辞典／在間進 編.:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,l は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,l は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000165			
科目名	ドイツ語 a			
担当教員	シンチンガー エミ			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。				
授業の到達目標(SB0s) 1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	14:50-16:20	5 番教室	シンチンガー エミ
2	4/18	14:50-16:20	5 番教室	シンチンガー エミ
3	4/25	14:50-16:20	5 番教室	シンチンガー エミ
4	5/2	14:50-16:20	5 番教室	シンチンガー エミ
5	5/9	14:50-16:20	5 番教室	シンチンガー エミ
6	5/16	14:50-16:20	5 番教室	シンチンガー エミ
7	5/23	14:50-16:20	5 番教室	シンチンガー エミ
8	5/30	14:50-16:20	5 番教室	シンチンガー エミ
9	6/6	14:50-16:20	5 番教室	シンチンガー エミ
10	6/13	14:50-16:20	5 番教室	シンチンガー エミ
11	6/20	14:50-16:20	5 番教室	シンチンガー エミ
12	6/27	14:50-16:20	5 番教室	シンチンガー エミ
13	7/4	14:50-16:20	5 番教室	シンチンガー エミ
14	7/11	14:50-16:20	5 番教室	シンチンガー エミ

15	7/25	14:50-16:20	5 番教室	シンチンガー エミ	
授業方法					
講義と演習による					
授業内容					
前期には教科書の第 7 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。					
独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。					
成績評価の方法					
評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。					
再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。					
予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。					
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。					
試験の受験資格					
期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席					
教科書					
もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinzig, 木村高明 著, 同学社, 2016					
教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。					
それらは授業中に配布されますので注意してください。					
参考書					
アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆, 同学社, 2010					
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, 三修社, 2008					
アクセス独和辞典／在間進 編, 三修社, 2010					
代表的な独和辞典を挙げておきます。					
辞書については文法の授業で説明しますが、					
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、					
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。					
携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。					
他科目との関連					
ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験を受けられません。積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。					
連絡先					
schinzig@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室					

時間割番号	000166			
科目名	ドイツ語 a			
担当教員	白井 史人			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。				
授業の到達目標(SB0s)				
1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	14:50-16:20	4 番教室	白井 史人
2	4/18	14:50-16:20	4 番教室	白井 史人
3	4/25	14:50-16:20	4 番教室	白井 史人
4	5/2	14:50-16:20	4 番教室	白井 史人
5	5/9	14:50-16:20	4 番教室	白井 史人
6	5/16	14:50-16:20	4 番教室	白井 史人
7	5/23	14:50-16:20	4 番教室	白井 史人
8	5/30	14:50-16:20	4 番教室	白井 史人
9	6/6	14:50-16:20	4 番教室	白井 史人
10	6/13	14:50-16:20	4 番教室	白井 史人
11	6/20	14:50-16:20	4 番教室	白井 史人
12	6/27	14:50-16:20	4 番教室	白井 史人
13	7/4	14:50-16:20	4 番教室	白井 史人
14	7/11	14:50-16:20	4 番教室	白井 史人
15	7/25	14:50-16:20	4 番教室	白井 史人
授業方法				
講義と演習による				
授業内容				
前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。				
成績評価の方法				
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				

準備学習などについての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席
教科書 もちろん！ドイツ語：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,:同学社, 2016 教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。 これらは授業中に配られますので注意してください。
参考書 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008 アクセス独和辞典／在間進 編,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,l は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,l は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000170																																																																													
科目名	ドイツ語 a																																																																													
担当教員	シンチンガー エミ																																																																													
開講時期	前期	対象年次	1																																																																											
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する																																																																														
授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。																																																																														
授業の到達目標(SB0s) 1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。																																																																														
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/13</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>2</td><td>4/20</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>3</td><td>4/27</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>4</td><td>5/11</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>5</td><td>5/18</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>6</td><td>5/25</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>7</td><td>6/1</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>8</td><td>6/8</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>9</td><td>6/15</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>10</td><td>6/22</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>11</td><td>6/29</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>12</td><td>7/6</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>13</td><td>7/13</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>14</td><td>7/20</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ	2	4/20	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ	3	4/27	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ	4	5/11	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ	5	5/18	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ	6	5/25	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ	7	6/1	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ	8	6/8	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ	9	6/15	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ	10	6/22	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ	11	6/29	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ	12	7/6	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ	13	7/13	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ	14	7/20	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																										
1	4/13	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ																																																																										
2	4/20	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ																																																																										
3	4/27	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ																																																																										
4	5/11	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ																																																																										
5	5/18	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ																																																																										
6	5/25	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ																																																																										
7	6/1	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ																																																																										
8	6/8	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ																																																																										
9	6/15	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ																																																																										
10	6/22	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ																																																																										
11	6/29	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ																																																																										
12	7/6	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ																																																																										
13	7/13	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ																																																																										
14	7/20	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ																																																																										

15	7/27	10:50-12:20	8 番教室	シンチンガー エミ	
授業方法 講義と演習による					
授業内容 前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。					
成績評価の方法 評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。					
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席					
教科書 もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著, : 同学社, 2016 教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので、注意してください。					
参考書 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆, : 同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, : 三修社, 2008 アクセス独和辞典／在間進 編, : 三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。					
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。					
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。					
連絡先 schinzinger.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室					

時間割番号	000173			
科目名	ドイツ語 a			
担当教員	シンチンガー エミ			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 水曜3限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。				
授業の到達目標(SB0s) 1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
2	4/20	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
3	4/27	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
4	5/11	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
5	5/18	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
6	5/25	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
7	6/1	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
8	6/8	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
9	6/15	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
10	6/22	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
11	6/29	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
12	7/6	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
13	7/13	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
14	7/20	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ

15	7/27	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ	
授業方法					
講義と演習による					
授業内容					
前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。					
成績評価の方法					
評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。					
試験の受験資格					
期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席					
教科書					
もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明: 同学社, 2016 教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので、注意してください。					
参考書					
アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008 アクセス独和辞典／在間進 編: 三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。					
他科目との関連					
ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。					
連絡先					
schinzinger.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室					

時間割番号	000167			
科目名	ドイツ語 b			
担当教員	立川 睦美			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標(SB0s)				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 b は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、話法の助動詞、前置詞の格変化、従属の接続詞と副文まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
2	4/18	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
3	4/25	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
4	5/2	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
5	5/9	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
6	5/16	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
7	5/23	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
8	5/30	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
9	6/6	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
10	6/13	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
11	6/20	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
12	6/27	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
13	7/4	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
14	7/11	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
15	7/25	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
授業方法				
講義と演習による				
授業内容				
前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。毎回辞書と教科書を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。				
成績評価の方法				
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。				

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000168			
科目名	ドイツ語 b			
担当教員	立川 睦美			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4) 外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標(SB0s)				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 b は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、話法の助動詞・前置詞の格変化、従属の接続詞と副文まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
2	4/18	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
3	4/25	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
4	5/2	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
5	5/9	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
6	5/16	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
7	5/23	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
8	5/30	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
9	6/6	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
10	6/13	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
11	6/20	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
12	6/27	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
13	7/4	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
14	7/11	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
15	7/25	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
授業方法				
講義と演習による				
授業内容				
前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。毎回教科書と独和辞典を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。				
成績評価の方法				
評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。				

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,: 同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000171			
科目名	ドイツ語 b			
担当教員	白井 史人			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標(SB0s)				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 b は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、話法の助動詞、前置詞の格変化、従属の接続詞と副文まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
2	4/20	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
3	4/27	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
4	5/11	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
5	5/18	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
6	5/25	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
7	6/1	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
8	6/8	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
9	6/15	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
10	6/22	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
11	6/29	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
12	7/6	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
13	7/13	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
14	7/20	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
15	7/27	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
授業方法				
講義と演習による				
授業内容				
前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。毎回教科書と独和辞典を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。				
成績評価の方法				
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。				

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,: 同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000169																																																																																		
科目名	ドイツ語 b																																																																																		
担当教員	立川 睦美																																																																																		
開講時期	前期	対象年次	1																																																																																
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4) 外国文化を理解する																																																																																			
授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。																																																																																			
授業の到達目標(SBOs) 1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 b は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、前置詞の格変化、従属の接続詞と副文まで学ぶことが目標です。																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/13</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>立川 睦美</td></tr><tr><td>2</td><td>4/20</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>立川 睦美</td></tr><tr><td>3</td><td>4/27</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>立川 睦美</td></tr><tr><td>4</td><td>5/11</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>立川 睦美</td></tr><tr><td>5</td><td>5/18</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>立川 睦美</td></tr><tr><td>6</td><td>5/25</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>立川 睦美</td></tr><tr><td>7</td><td>6/1</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>立川 睦美</td></tr><tr><td>8</td><td>6/8</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>立川 睦美</td></tr><tr><td>9</td><td>6/15</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>立川 睦美</td></tr><tr><td>10</td><td>6/22</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>立川 睦美</td></tr><tr><td>11</td><td>6/29</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>立川 睦美</td></tr><tr><td>12</td><td>7/6</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>立川 睦美</td></tr><tr><td>13</td><td>7/13</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>立川 睦美</td></tr><tr><td>14</td><td>7/20</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>立川 睦美</td></tr><tr><td>15</td><td>7/27</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>立川 睦美</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美	2	4/20	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美	3	4/27	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美	4	5/11	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美	5	5/18	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美	6	5/25	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美	7	6/1	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美	8	6/8	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美	9	6/15	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美	10	6/22	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美	11	6/29	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美	12	7/6	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美	13	7/13	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美	14	7/20	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美	15	7/27	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/13	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美																																																																															
2	4/20	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美																																																																															
3	4/27	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美																																																																															
4	5/11	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美																																																																															
5	5/18	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美																																																																															
6	5/25	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美																																																																															
7	6/1	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美																																																																															
8	6/8	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美																																																																															
9	6/15	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美																																																																															
10	6/22	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美																																																																															
11	6/29	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美																																																																															
12	7/6	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美																																																																															
13	7/13	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美																																																																															
14	7/20	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美																																																																															
15	7/27	10:50-12:20	6 番教室	立川 睦美																																																																															
授業方法 講義と演習による																																																																																			
授業内容 前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。毎回教科書と独和辞典を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。																																																																																			
成績評価の方法 評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)																																																																																			
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による																																																																																			
準備学習などについての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。																																																																																			

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席
教科書 もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016 教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。
参考書 アボロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆.: 同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編.:三修社, 2008 アクセス独和辞典／在間進 編.:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d.の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c.は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d.は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000172			
科目名	ドイツ語 b			
担当教員	立川 睦美			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間:水曜3限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期b、後期d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標(SBOs)				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 bは、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、話法の助動詞、前置詞の格変化、従属の接続詞と副文まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
2	4/20	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
3	4/27	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
4	5/11	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
5	5/18	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
6	5/25	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
7	6/1	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
8	6/8	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
9	6/15	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
10	6/22	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
11	6/29	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
12	7/6	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
13	7/13	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
14	7/20	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
15	7/27	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
授業方法				
講義と演習による				
授業内容				
前期には教科書1の第7課までを学ぶことを目指します。毎回教科書と辞書を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。				
成績評価の方法				
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。				

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席
教科書 もちろん！ドイツ語：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明：同学社，2016
参考書 アポロン独和辞典／根本道也，恒吉良隆，吉中幸平，成田克史，福元圭太，重竹芳江 責任編集執筆，有村隆広，新保弼彬，本田義昭，鈴木敦典 編集執筆：同学社，2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル，山本明，南原実 編：三修社，2008 アクセス独和辞典／在間進 編：三修社，2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000174			
科目名	ドイツ語 b			
担当教員	白井 史人			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間:水曜3限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期b、後期d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標(SB0s)				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 bは、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、話法の助動詞、前置詞の格変化、従属の接続詞と副文まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	13:10-14:40	3 番教室	白井 史人
2	4/20	13:10-14:40	3 番教室	白井 史人
3	4/27	13:10-14:40	3 番教室	白井 史人
4	5/11	13:10-14:40	3 番教室	白井 史人
5	5/18	13:10-14:40	3 番教室	白井 史人
6	5/25	13:10-14:40	3 番教室	白井 史人
7	6/1	13:10-14:40	3 番教室	白井 史人
8	6/8	13:10-14:40	3 番教室	白井 史人
9	6/15	13:10-14:40	3 番教室	白井 史人
10	6/22	13:10-14:40	3 番教室	白井 史人
11	6/29	13:10-14:40	3 番教室	白井 史人
12	7/6	13:10-14:40	3 番教室	白井 史人
13	7/13	13:10-14:40	3 番教室	白井 史人
14	7/20	13:10-14:40	3 番教室	白井 史人
15	7/27	13:10-14:40	3 番教室	白井 史人
授業方法				
講義と演習による				
授業内容				
前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。毎回教科書と独和辞典を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。				
成績評価の方法				
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。				

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席
教科書 もちろん！ドイツ語：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明：同学社，2016
参考書 アポロン独和辞典／根本道也，恒吉良隆，吉中幸平，成田克史，福元圭太，重竹芳江 責任編集執筆，有村隆広，新保弼彬，本田義昭，鈴木敦典 編集執筆：同学社，2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル，山本明，南原実 編：三修社，2008 アクセス独和辞典／在間進 編：三修社，2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000175			
科目名	ドイツ語 c			
担当教員	白井 史人			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。				
授業の到達目標(SB0s)				
1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 c は、会話としては、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	13:10-14:40	5 番教室	白井 史人
2	10/3	13:10-14:40	5 番教室	白井 史人
3	10/17	13:10-14:40	5 番教室	白井 史人
4	10/24	13:10-14:40	5 番教室	白井 史人
5	10/31	13:10-14:40	5 番教室	白井 史人
6	11/7	13:10-14:40	5 番教室	白井 史人
7	11/14	13:10-14:40	5 番教室	白井 史人
8	11/21	13:10-14:40	5 番教室	白井 史人
9	11/28	13:10-14:40	5 番教室	白井 史人
10	12/5	13:10-14:40	5 番教室	白井 史人
11	12/12	13:10-14:40	5 番教室	白井 史人
12	12/19	13:10-14:40	5 番教室	白井 史人
13	1/16	13:10-14:40	5 番教室	白井 史人
14	1/23	13:10-14:40	5 番教室	白井 史人
15	1/30	13:10-14:40	5 番教室	白井 史人
授業方法				
講義と演習による				
授業内容				
後期には教科書の第8課から第16課までを学ぶことを目指しますが、第14課と第15課の本文は読まない予定です。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。プリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習もします。				
成績評価の方法				
評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席
教科書 もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinziger・木村高明 著.: 同学社, 2016 教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。
参考書 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆.: 同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編.: 三修社, 2008 アクセス独和辞典／在間進 編.: 三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,l は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,l は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000176																																																																																		
科目名	ドイツ語 c																																																																																		
担当教員	シンチンガー エミ																																																																																		
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4) 外国文化を理解する																																																																																			
授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。																																																																																			
授業の到達目標(SB0s) 1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 c は、会話としては、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/26</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>2</td><td>10/3</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>3</td><td>10/17</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>4</td><td>10/24</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>5</td><td>10/31</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>6</td><td>11/7</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>7</td><td>11/14</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>8</td><td>11/21</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>9</td><td>11/28</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>10</td><td>12/5</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>11</td><td>12/12</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>12</td><td>12/19</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>13</td><td>1/16</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>14</td><td>1/23</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>15</td><td>1/30</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>シンチンガー</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/26	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ	2	10/3	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ	3	10/17	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ	4	10/24	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ	5	10/31	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ	6	11/7	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ	7	11/14	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ	8	11/21	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ	9	11/28	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ	10	12/5	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ	11	12/12	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ	12	12/19	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ	13	1/16	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ	14	1/23	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ	15	1/30	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	9/26	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
2	10/3	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
3	10/17	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
4	10/24	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
5	10/31	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
6	11/7	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
7	11/14	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
8	11/21	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
9	11/28	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
10	12/5	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
11	12/12	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
12	12/19	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
13	1/16	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
14	1/23	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
15	1/30	13:10-14:40	4 番教室	シンチンガー																																																																															

				エミ	
授業方法					
講義と演習による					
授業内容					
後期には教科書の第8課から第16課までを学ぶことを目指しますが、第14課と第15課の本文は読まない予定です。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 プリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。					
成績評価の方法					
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が50パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が50パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。					
試験の受験資格					
期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席					
教科書					
もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本/伊藤真・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016 教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。					
参考書					
アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆:有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆:同学社, 2010 新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編:三修社, 2008 アクセス独和辞典/在間進 編:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。					
他科目との関連					
ドイツ語は a,b,c,d の総合点で4単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則3分の2以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。					
連絡先					
schinzinger.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟3階研究室					

時間割番号	000177			
科目名	ドイツ語 c			
担当教員	シンチンガー エミ			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3ー1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3ー4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。				
授業の到達目標(SB0s) 1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 c は、会話としては、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	14:50-16:20	4 番教室	シンチンガー エミ
2	10/3	14:50-16:20	4 番教室	シンチンガー エミ
3	10/17	14:50-16:20	4 番教室	シンチンガー エミ
4	10/24	14:50-16:20	4 番教室	シンチンガー エミ
5	10/31	14:50-16:20	4 番教室	シンチンガー エミ
6	11/7	14:50-16:20	4 番教室	シンチンガー エミ
7	11/14	14:50-16:20	4 番教室	シンチンガー エミ
8	11/21	14:50-16:20	4 番教室	シンチンガー エミ
9	11/28	14:50-16:20	4 番教室	シンチンガー エミ
10	12/5	14:50-16:20	4 番教室	シンチンガー エミ
11	12/12	14:50-16:20	4 番教室	シンチンガー エミ
12	12/19	14:50-16:20	4 番教室	シンチンガー エミ
13	1/16	14:50-16:20	4 番教室	シンチンガー エミ
14	1/23	14:50-16:20	4 番教室	シンチンガー エミ
15	1/30	14:50-16:20	4 番教室	シンチンガー

				エミ	
授業方法					
講義と演習による					
授業内容					
後期には教科書の第8課から第16課までを学ぶことを目指しますが、第14課と第15課の本文は読まない予定です。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 プリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。					
成績評価の方法					
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 復習は重要ですので、毎回自宅で復習してください。					
試験の受験資格					
期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席					
教科書					
もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016 教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。					
参考書					
アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆:同学社, 2010 新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編:三修社, 2008 アクセス独和辞典/在間進 編:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。					
他科目との関連					
ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c,l は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d,l は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。					
連絡先					
schinzinger.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室					

時間割番号	000178			
科目名	ドイツ語 c			
担当教員	白井 史人			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。				
授業の到達目標(SB0s)				
1)ドイツ語 a,c は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 c は、会話としては、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	14:50-16:20	5 番教室	白井 史人
2	10/3	14:50-16:20	5 番教室	白井 史人
3	10/17	14:50-16:20	5 番教室	白井 史人
4	10/24	14:50-16:20	5 番教室	白井 史人
5	10/31	14:50-16:20	5 番教室	白井 史人
6	11/7	14:50-16:20	5 番教室	白井 史人
7	11/14	14:50-16:20	5 番教室	白井 史人
8	11/21	14:50-16:20	5 番教室	白井 史人
9	11/28	14:50-16:20	5 番教室	白井 史人
10	12/5	14:50-16:20	5 番教室	白井 史人
11	12/12	14:50-16:20	5 番教室	白井 史人
12	12/19	14:50-16:20	5 番教室	白井 史人
13	1/16	14:50-16:20	5 番教室	白井 史人
14	1/23	14:50-16:20	5 番教室	白井 史人
15	1/30	14:50-16:20	5 番教室	白井 史人
授業方法				
講義と演習による				
授業内容				
後期には教科書の第8課から第16課までを学ぶことを目指しますが、第14課と第15課の本文は読まない予定です。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 プリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。				
成績評価の方法				
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席
教科書 もちろん！ドイツ語：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,: 同学社, 2016 教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。
参考書 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,: 同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,: 三修社, 2008 アクセス独和辞典／在間進 編,: 三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000179																																																																																		
科目名	ドイツ語 c																																																																																		
担当教員	シンチンガー エミ																																																																																		
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する																																																																																			
授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。																																																																																			
授業の到達目標(SB0s) 1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 c は、会話としては、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/28</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>2</td><td>10/5</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>3</td><td>10/19</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>4</td><td>10/26</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>5</td><td>11/2</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>6</td><td>11/9</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>7</td><td>11/16</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>8</td><td>11/30</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>9</td><td>12/7</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>10</td><td>12/14</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>11</td><td>12/21</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>12</td><td>1/11</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>13</td><td>1/18</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>14</td><td>1/25</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>15</td><td>2/1</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>シンチンガー</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/28	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ	2	10/5	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ	3	10/19	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ	4	10/26	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ	5	11/2	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ	6	11/9	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ	7	11/16	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ	8	11/30	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ	9	12/7	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ	10	12/14	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ	11	12/21	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ	12	1/11	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ	13	1/18	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ	14	1/25	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ	15	2/1	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	9/28	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
2	10/5	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
3	10/19	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
4	10/26	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
5	11/2	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
6	11/9	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
7	11/16	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
8	11/30	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
9	12/7	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
10	12/14	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
11	12/21	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
12	1/11	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
13	1/18	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
14	1/25	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー エミ																																																																															
15	2/1	10:50-12:20	5 番教室	シンチンガー																																																																															

				エミ	
授業方法					
講義と演習による					
授業内容					
後期には教科書の第8課から第16課までを学ぶことを目指しますが、第14課と第15課の本文は読まない予定です。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 プリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。					
成績評価の方法					
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が50パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が50パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。					
試験の受験資格					
期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席					
教科書					
もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本/伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著.:同学社, 2016 教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。					
参考書					
アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆.:同学社, 2010 新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編.:三修社, 2008 アクセス独和辞典/在間進 編.:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。					
他科目との関連					
ドイツ語は a,b,c,d の総合点で4単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則3分の2以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。					
連絡先					
schinzinger.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟3階研究室					

時間割番号	000182			
科目名	ドイツ語 c			
担当教員	シンチンガー エミ			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間:水曜3限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期a、後期c、は、会話、聞き取り、読解の練習をします。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることを目的としています。				
授業の到達目標(SB0s)				
1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 c は、会話としては、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/28	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
2	10/5	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
3	10/19	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
4	10/26	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
5	11/2	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
6	11/9	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
7	11/16	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
8	11/30	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
9	12/7	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
10	12/14	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
11	12/21	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
12	1/11	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
13	1/18	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
14	1/25	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー エミ
15	2/1	13:10-14:40	7 番教室	シンチンガー

				エミ	
授業方法					
講義と演習による					
授業内容					
後期には教科書の第8課から第16課までを学ぶことを目指しますが、第14課と第15課の本文は読まない予定です。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 プリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。					
成績評価の方法					
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が50パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が50パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。					
試験の受験資格					
期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席					
教科書					
もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,: 同学社, 2016 教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。					
参考書					
アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,: 同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,: 三修社, 2008 アクセス独和辞典／在間進 編,: 三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。					
他科目との関連					
ドイツ語は a,b,c,d の総合点で4単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則3分の2以上授業を履修しないと試験が受験できません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。					
連絡先					
schinzinger.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟3階研究室					

時間割番号	000180			
科目名	ドイツ語 d			
担当教員	立川 睦美			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期b、後期d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標(SB0s)				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 d は、形容詞、動詞の三基本形と過去時称、分離動詞・非分離動詞、完了時称、再帰動詞、受動態、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
2	10/3	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
3	10/17	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
4	10/24	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
5	10/31	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
6	11/7	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
7	11/14	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
8	11/21	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
9	11/28	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
10	12/5	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
11	12/12	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
12	12/19	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
13	1/16	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
14	1/23	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
15	1/30	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
授業方法				
講義と演習による				
授業内容				
後期には教科書第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。				
成績評価の方法				
評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。				

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000181			
科目名	ドイツ語 d			
担当教員	立川 睦美			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期b、後期d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標(SBOs)				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 d は、形容詞、動詞の三基本形と過去時称、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
2	10/3	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
3	10/17	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
4	10/24	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
5	10/31	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
6	11/7	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
7	11/14	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
8	11/21	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
9	11/28	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
10	12/5	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
11	12/12	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
12	12/19	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
13	1/16	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
14	1/23	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
15	1/30	14:50-16:20	8 番教室	立川 睦美
授業方法				
講義と演習による				
授業内容				
後期には教科書の第 8 課から第16課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。				
成績評価の方法				
評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。				

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席
教科書 もちろん！ドイツ語:ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016 教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。
参考書 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008 アクセス独和辞典／在間進 編,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,dの総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c.は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d.は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000183			
科目名	ドイツ語 d			
担当教員	立川 睦美			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期b、後期d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標(SBOs)				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 d は、形容詞、動詞の三基本形と過去時称、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/28	10:50-12:20	8 番教室	立川 睦美
2	10/5	10:50-12:20	8 番教室	立川 睦美
3	10/19	10:50-12:20	8 番教室	立川 睦美
4	10/26	10:50-12:20	8 番教室	立川 睦美
5	11/2	10:50-12:20	8 番教室	立川 睦美
6	11/9	10:50-12:20	8 番教室	立川 睦美
7	11/16	10:50-12:20	8 番教室	立川 睦美
8	11/30	10:50-12:20	8 番教室	立川 睦美
9	12/7	10:50-12:20	8 番教室	立川 睦美
10	12/14	10:50-12:20	8 番教室	立川 睦美
11	12/21	10:50-12:20	8 番教室	立川 睦美
12	1/11	10:50-12:20	8 番教室	立川 睦美
13	1/18	10:50-12:20	8 番教室	立川 睦美
14	1/25	10:50-12:20	8 番教室	立川 睦美
15	2/1	10:50-12:20	8 番教室	立川 睦美
授業方法				
講義と演習による				
授業内容				
後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。				
成績評価の方法				
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。				

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席
教科書 もちろん！ドイツ語:ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016 教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。
参考書 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008 アクセス独和辞典／在間進 編,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,dの総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c.は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d.は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000184			
科目名	ドイツ語 d			
担当教員	白井 史人			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期b、後期d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標(SB0s)				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 d は、形容詞、動詞の三基本形と過去時称、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/28	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
2	10/5	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
3	10/19	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
4	10/26	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
5	11/2	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
6	11/9	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
7	11/16	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
8	11/30	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
9	12/7	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
10	12/14	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
11	12/21	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
12	1/11	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
13	1/18	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
14	1/25	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
15	2/1	10:50-12:20	7 番教室	白井 史人
授業方法				
講義と演習による				
授業内容				
後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。				
成績評価の方法				
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。				

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席
教科書 もちろん！ドイツ語:ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016 教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。
参考書 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008 アクセス独和辞典／在間進 編,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000186			
科目名	ドイツ語 d			
担当教員	立川 睦美			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間:水曜3限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期b、後期d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標(SB0s)				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 d は、形容詞、動詞の三基本形と過去時称、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/28	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
2	10/5	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
3	10/19	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
4	10/26	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
5	11/2	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
6	11/9	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
7	11/16	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
8	11/30	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
9	12/7	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
10	12/14	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
11	12/21	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
12	1/11	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
13	1/18	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
14	1/25	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
15	2/1	13:10-14:40	8 番教室	立川 睦美
授業方法				
講義と演習による				
授業内容				
後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。				
成績評価の方法				
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。				

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席
教科書 もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016 教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。
参考書 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008 アクセス独和辞典／在間進 編,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,dの総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c.は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d.は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000185			
科目名	ドイツ語 d			
担当教員	白井 史人			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間:水曜3限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期b、後期d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標(SBOs)				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 d は、形容詞、動詞の三基本形と過去時称、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/28	13:10-14:40	2 番教室	白井 史人
2	10/5	13:10-14:40	2 番教室	白井 史人
3	10/19	13:10-14:40	2 番教室	白井 史人
4	10/26	13:10-14:40	2 番教室	白井 史人
5	11/2	13:10-14:40	2 番教室	白井 史人
6	11/9	13:10-14:40	2 番教室	白井 史人
7	11/16	13:10-14:40	2 番教室	白井 史人
8	11/30	13:10-14:40	2 番教室	白井 史人
9	12/7	13:10-14:40	2 番教室	白井 史人
10	12/14	13:10-14:40	2 番教室	白井 史人
11	12/21	13:10-14:40	2 番教室	白井 史人
12	1/11	13:10-14:40	2 番教室	白井 史人
13	1/18	13:10-14:40	2 番教室	白井 史人
14	1/25	13:10-14:40	2 番教室	白井 史人
15	2/1	13:10-14:40	2 番教室	白井 史人
授業方法				
講義と演習による				
授業内容				
後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。				
成績評価の方法				
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。				

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席
教科書 もちろん！ドイツ語：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明：同学社，2016 教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。
参考書 アポロン独和辞典／根本道也，恒吉良隆，吉中幸平，成田克史，福元圭太，重竹芳江，責任編集執筆，有村隆広，新保弼彬，本田義昭，鈴木敦典，編集執筆：同学社，2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル，山本明，南原実，編：三修社，2008 アクセス独和辞典／在間進，編：三修社，2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000201			
科目名	フランス語 a			
担当教員	中島 ひかる			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4) 外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週2回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期のdで行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につけません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみる事が大切です。				
授業の到達目標(SBOs)				
1)基本単語の意味と綴りを身につける。 2)フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
2	4/18	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
3	4/25	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
4	5/2	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
5	5/9	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
6	5/16	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
7	5/23	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
8	5/30	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
9	6/6	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
10	6/13	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
11	6/20	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
12	6/27	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
13	7/4	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
14	7/11	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる

15	7/25	13:10-14:40	11 番教 室	中島 ひかる	
授業方法 講義と演習による					
授業内容 前期a・bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。 原則的に一つの項目に対して、月・水の2回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。 第1回: 授業概要の説明、発音、アルファベ 第2回: 名詞、冠詞、提示表現 第3回: 主語人称代名詞、動詞(第1群規則動詞、être, avoir) 第4回: 指示形容詞、所有形容詞、形容詞 第5回: 指示形容詞、所有形容詞、形容詞 第6回: 第2群規則動詞、否定文、疑問文 第7回: aller, venir, 近接未来・近接過去 第8回: 疑問詞 第9回: 疑問詞、時刻の表現 第10回: 補語人称代名詞 第11回: 非人称構文 第12回: 代名動詞 第13回: 命令法 第14回: 複合過去 第15回: 復習と前期のまとめ					
成績評価の方法 評価: 試験(期末考査) 90%・レポート 0 %・ その他 10 % (授業中小試験・授業中の解答状況等) 再評価: 有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) ●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた考査を行い、これを全体の 50% とし、後期の c 25%, d 各 25% と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。 ●「フランス語 a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の可否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例: 再考査を含めて 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、評価は 60)。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。					
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。					

・後期 c については c のみが基準点に満たない場合は再考査を行う。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席
教科書 くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他:朝日出版社, 2015
参考書 デイコ仏和辞典 /白水社:白水社 プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの買ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語は a・b・c・d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a・b・c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語 d は作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
連絡先 nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000202			
科目名	フランス語 a			
担当教員	中島 ひかる			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4) 外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につけません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみるのが大切です。				
授業の到達目標(SBOs)				
1)基本単語の意味と綴りを身につける。 2)フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
2	4/18	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
3	4/25	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
4	5/2	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
5	5/9	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
6	5/16	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
7	5/23	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
8	5/30	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
9	6/6	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
10	6/13	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
11	6/20	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
12	6/27	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
13	7/4	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
14	7/11	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる

15	7/25	14:50-16:20	11 番教 室	中島 ひかる	
授業方法 講義と演習による					
授業内容 前期a・bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。 原則的に一つの項目に対して、月・水の2回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。 第1回: 授業概要の説明、発音、アルファベ 第2回: 名詞、冠詞、提示表現 第3回: 主語人称代名詞、動詞(第1群規則動詞、être, avoir) 第4回: 指示形容詞、所有形容詞、形容詞 第5回: 指示形容詞、所有形容詞、形容詞 第6回: 第2群規則動詞、否定文、疑問文 第7回: aller, venir, 近接未来・近接過去 第8回: 疑問詞 第9回: 疑問詞、時刻の表現 第10回: 補語人称代名詞 第11回: 非人称構文 第12回: 代名動詞 第13回: 命令法 第14回: 複合過去 第15回: 復習と前期のまとめ					
成績評価の方法 評価: 試験(期末考査) 90%・レポート 0 %・ その他 10 % (授業中小試験・授業中の解答状況等) 再評価: 有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) ●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた考査を行い、これを全体の 50% とし、後期の c 25%, d 各 25% と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。 ●「フランス語 a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の可否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例: 再考査を含めて 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、評価は 60)。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。					
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。					

・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席
教科書 くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他:朝日出版社, 2015
参考書 デイコ仏和辞典 /白水社:白水社 プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語は a・b・c・d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a・b・c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語dは作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
連絡先 nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000203																																																																													
科目名	フランス語 b																																																																													
担当教員	中島 ひかる																																																																													
開講時期	前期	対象年次	1																																																																											
・曜日・時間:水曜 2 限 ・対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する																																																																														
授業の目的、概要等 フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につけません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみる事が大切です。																																																																														
授業の到達目標(SBOs) 1)基本単語の意味と綴りを身につける。 2)フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。																																																																														
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/13</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>2</td><td>4/20</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>3</td><td>4/27</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>4</td><td>5/11</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>5</td><td>5/18</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>6</td><td>5/25</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>7</td><td>6/1</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>8</td><td>6/8</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>9</td><td>6/15</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>10</td><td>6/22</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>11</td><td>6/29</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>12</td><td>7/6</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>13</td><td>7/13</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>14</td><td>7/20</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	2	4/20	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	3	4/27	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	4	5/11	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	5	5/18	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	6	5/25	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	7	6/1	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	8	6/8	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	9	6/15	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	10	6/22	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	11	6/29	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	12	7/6	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	13	7/13	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	14	7/20	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																										
1	4/13	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
2	4/20	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
3	4/27	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
4	5/11	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
5	5/18	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
6	5/25	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
7	6/1	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
8	6/8	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
9	6/15	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
10	6/22	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
11	6/29	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
12	7/6	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
13	7/13	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
14	7/20	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										

15	7/27	10:50-12:20	11 番教 室	中島 ひかる	
授業方法					
講義と演習による					
授業内容					
前期a・bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。 原則的に一つの項目に対して、月・水の2回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。					
第1回:発音、アルファベ					
第2回:名詞、冠詞、提示表現					
第3回:主語人称代名詞、動詞(第1群規則動詞、être, avoir)					
第4回:第2群規則動詞、否定文、疑問文					
第5回:aller, venir, 近接未来・近接過去					
第6回:疑問詞					
第7回:疑問詞、時刻の表現					
第8回:補語人称代名詞					
第9回:非人称構文					
第10回:代名動詞					
第11回:命令法					
第12回:準動詞					
第13回:複合過去					
第14回:複合過去					
第15回:復習と前期のまとめ					
成績評価の方法					
評価:試験(期末考査)90%・レポート0 %・ その他 10 % (授業中小試験・授業中の解答状況等) 再評価:有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験)					
●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた考査を行い、これを全体の 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。 ●「フランス語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の可否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例:再考査を含めて 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、評価は 60)。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。					
試験の受験資格					
1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。					

・後期 c については c のみが基準点に満たない場合は再考査を行う。 - 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席
教科書 くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他:朝日出版社, 2015
参考書 デイコ仏和辞典 /白水社:白水社 プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語は a・b・c・d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a・b・c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語 d は作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
連絡先 nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000205																																																																													
科目名	フランス語 b																																																																													
担当教員	中島 ひかる																																																																													
開講時期	前期	対象年次	1																																																																											
・曜日・時間:水曜3限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する																																																																														
授業の目的、概要等 フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週2回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期のdで行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につけません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみる事が大切です。																																																																														
授業の到達目標(SBOs) 1)基本単語の意味と綴りを身につける。 2)フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。																																																																														
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/13</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>2</td><td>4/20</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>3</td><td>4/27</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>4</td><td>5/11</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>5</td><td>5/18</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>6</td><td>5/25</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>7</td><td>6/1</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>8</td><td>6/8</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>9</td><td>6/15</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>10</td><td>6/22</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>11</td><td>6/29</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>12</td><td>7/6</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>13</td><td>7/13</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>14</td><td>7/20</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	2	4/20	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	3	4/27	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	4	5/11	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	5	5/18	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	6	5/25	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	7	6/1	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	8	6/8	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	9	6/15	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	10	6/22	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	11	6/29	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	12	7/6	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	13	7/13	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	14	7/20	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																										
1	4/13	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
2	4/20	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
3	4/27	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
4	5/11	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
5	5/18	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
6	5/25	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
7	6/1	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
8	6/8	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
9	6/15	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
10	6/22	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
11	6/29	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
12	7/6	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
13	7/13	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
14	7/20	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										

15	7/27	13:10-14:40	11 番教 室	中島 ひかる	
授業方法 講義と演習による					
授業内容 前期a・bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。 原則的に一つの項目に対して、月・水の2回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。 第1回:発音、アルファベ 第2回:名詞、冠詞、提示表現 第3回:主語人称代名詞、動詞(第1群規則動詞、être, avoir) 第4回:第2群規則動詞、否定文、疑問文 第5回:aller, venir, 近接未来・近接過去 第6回:疑問詞 第7回:疑問詞、時刻の表現 第8回:補語人称代名詞 第9回:非人称構文 第10回:代名動詞 第11回:命令法 第12回:準動詞 第13回:複合過去 第14回:複合過去 第15回:復習と前期のまとめ					
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)90%・レポート0 %・ その他 10 % (授業中小試験・授業中の解答状況等) 再評価:有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) ●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた考査を行い、これを全体の 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。 ●「フランス語 a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の合否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例:再考査を含めて 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、評価は 60)。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。					
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。					

・後期 c については c のみが基準点に満たない場合は再考査を行う。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席
教科書 くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他:朝日出版社, 2015
参考書 デイコ仏和辞典 /白水社:白水社 プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語は a・b・c・d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a・b・c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語 d は作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
連絡先 nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000207																																																																													
科目名	フランス語 c																																																																													
担当教員	中島 ひかる																																																																													
開講時期	後期	対象年次	1																																																																											
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4) 外国文化を理解する																																																																														
授業の目的、概要等 フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につけません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみるのが大切です。 後期のcではフランス語の様々な時制や法、関係代名詞、中性代名詞の学習が中心になります。																																																																														
授業の到達目標(SB0s) 1)基本単語の意味と綴りを身につける。 2)フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。																																																																														
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/26</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>2</td><td>10/3</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>3</td><td>10/17</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>4</td><td>10/24</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>5</td><td>10/31</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>6</td><td>11/7</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>7</td><td>11/14</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>8</td><td>11/21</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>9</td><td>11/28</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>10</td><td>12/5</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>11</td><td>12/12</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>12</td><td>12/19</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>13</td><td>1/16</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>14</td><td>1/23</td><td>13:10-14:40</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/26	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	2	10/3	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	3	10/17	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	4	10/24	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	5	10/31	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	6	11/7	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	7	11/14	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	8	11/21	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	9	11/28	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	10	12/5	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	11	12/12	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	12	12/19	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	13	1/16	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる	14	1/23	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																										
1	9/26	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
2	10/3	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
3	10/17	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
4	10/24	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
5	10/31	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
6	11/7	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
7	11/14	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
8	11/21	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
9	11/28	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
10	12/5	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
11	12/12	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
12	12/19	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
13	1/16	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
14	1/23	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる																																																																										

			室		
15	1/30	13:10-14:40	11 番教 室	中島 ひかる	
授業方法 講義と演習による					
授業内容 後期cでは、前期a・bの内容を引き継ぎ、中性代名詞、関係代名詞を学習するほか、様々な時制や法を学んでいきます。以下の予定はクラスの理解度によって変更する可能性があります。 第1回:半過去、大過去 第2回:半過去、大過去、受動態 第3回:関係代名詞 第4回:関係代名詞、指示代名詞 第5回:比較の表現 第6回:比較の表現 第7回:中性代名詞 第8回:代名詞まとめ 第10回:単純未来、前未来、時制のまとめ 第11回:現在分詞、ジェロンディフ 第12回:条件法 第13回:直接話法・間接話法 第14回:接続法・単純過去・強調構文 第15回:フランス語cまとめ					
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)80～85%・レポート0 %・ その他 15～20 % (授業中小試験・授業中の解答状況等) 再評価:有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) ●上記のパーセンテージは「フランス語c」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせて 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。 ●「フランス語c」のみの再考査は行いません。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。					
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席					
教科書					

くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他:朝日出版社, 2015

参考書

デコ仏和辞典 /白水社:白水社

プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社

ロワイヤル仏和辞典 :旺文社

代表的な仏和辞書を挙げておきます。

辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。

電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語は a・b・c・dの総合点で4単位まとめて評価します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟3階フランス語研究室

時間割番号	000209			
科目名	フランス語 c			
担当教員	中島 ひかる			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4) 外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につけません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみるのが大切です。 後期のcではフランス語の様々な時制や法、関係代名詞、中性代名詞の学習が中心になります。				
授業の到達目標(SB0s)				
1) 基本単語の意味と綴りを身につける。 2) フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
2	10/3	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
3	10/17	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
4	10/24	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
5	10/31	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
6	11/7	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
7	11/14	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
8	11/21	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
9	11/28	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
10	12/5	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
11	12/12	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
12	12/19	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
13	1/16	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる
14	1/23	14:50-16:20	11 番教室	中島 ひかる

			室		
15	1/30	14:50-16:20	11 番教 室	中島 ひかる	
授業方法 講義と演習による					
授業内容 後期cでは、前期a・bの内容を引き継ぎ、中性代名詞、関係代名詞を学習するほか、様々な時制や法を学んでいきます。以下の予定はクラスの理解度によって変更する可能性があります。 第1回:半過去、大過去 第2回:半過去、大過去、受動態 第3回:関係代名詞 第4回:関係代名詞、指示代名詞 第5回:比較の表現 第6回:比較の表現 第7回:中性代名詞 第8回:代名詞まとめ 第10回:単純未来、前未来、時制のまとめ 第11回:現在分詞、ジェロンディフ 第12回:条件法 第13回:直接話法・間接話法 第14回:接続法・単純過去・強調構文 第15回:フランス語cまとめ					
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)80～85%・レポート0 %・ その他 15～20%(授業中小試験・授業中の解答状況等) 再評価:有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) ●上記のパーセンテージは「フランス語c」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせて 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とします。 ●「フランス語c」のみの再考査は行いません。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。					
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席					
教科書					

くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他:朝日出版社, 2015

参考書

デコ仏和辞典 /白水社:白水社

プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社

ロワイヤル仏和辞典 :旺文社

代表的な仏和辞書を挙げておきます。

辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。

電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語は a・b・c・dの総合点で4単位まとめて評価します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟3階フランス語研究室

時間割番号	000212																																																																													
科目名	フランス語 d																																																																													
担当教員	中島 ひかる																																																																													
開講時期	後期	対象年次	1																																																																											
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する																																																																														
授業の目的、概要等 フランス語dの中島が担当する授業は仏作文・講読の授業になります。 目的:自らフランス語の文章を書いてみることで、フランス語の基本的構造と単語を定着させる。同時に読解力を養う。 概要:簡単なフランス語のテキストをもとに、フランス語を書く練習をします。テキストの文章を逐語訳せずに、重要な単語を拾いながら、必要な情報を理解し、それを簡単なフランス語の文にまとめます。フランス語をフランス語のまま捉えて読む練習にもなります。																																																																														
授業の到達目標(SB0s) 1)フランス語の構文を理解し、文法規則に則った正しい文章が書けるようになる。 2)基本的単語の意味と綴り、基本動詞の活用に慣れる。 3)やや複雑なフランス語の文章構造に慣れ、読解力を養成する。																																																																														
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/28</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>2</td><td>10/5</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>3</td><td>10/19</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>4</td><td>10/26</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>5</td><td>11/2</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>6</td><td>11/9</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>7</td><td>11/16</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>8</td><td>11/30</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>9</td><td>12/7</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>10</td><td>12/14</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>11</td><td>12/21</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>12</td><td>1/11</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>13</td><td>1/18</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>14</td><td>1/25</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>中島 ひかる</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/28	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	2	10/5	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	3	10/19	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	4	10/26	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	5	11/2	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	6	11/9	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	7	11/16	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	8	11/30	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	9	12/7	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	10	12/14	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	11	12/21	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	12	1/11	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	13	1/18	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	14	1/25	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																										
1	9/28	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
2	10/5	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
3	10/19	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
4	10/26	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
5	11/2	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
6	11/9	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
7	11/16	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
8	11/30	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
9	12/7	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
10	12/14	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
11	12/21	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
12	1/11	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
13	1/18	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										
14	1/25	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる																																																																										

			室		
15	2/1	10:50-12:20	11 番教 室	中島 ひかる	
授業方法 時事問題を扱った簡単なテキストをもとに、フランス語の質問にフランス語で答えることを通して、以下のような練習を行います。適宜文法事項の復習を行います。 1:キーワードを理解する。 2:キーセンテンスを把握する。 3:1, 2をもとにテキスト内容を把握する。 4:簡単な文章を正しいフランス語で書く。					
授業内容 テキストで扱う内容は以下のようになります(変更の可能性もあります)。 1,2回目:ファーストネーム 3,4回目:日本におけるフランス企業 5,6回目:ボボ 7,8回目:レストラン 9,10 回目:国防の日 11,12 回目:シテ島 13,14 回目:数学王国フランス 15 回目:フランス語 d 総まとめ					
成績評価の方法 評価:試験(期末考査) 70%・レポート 0 %・ その他 30 % (授業中の解答状況) 再評価:有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) ●上記のパーセンテージは「フランス語d」についての評価方法です。「フランス語」は a・b 合わせて 50%、c25%、d25%を総合して成績を評価します。ただし、平均で 60 点に達していても c が 50 点未満の場合は不合格とします。 ●「フランス語d」のみの再考査は実施しません。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 授業で扱うテキストについては、キーワードや主要なセンテンスをあらかじめ書き出して、概略を理解するよう努めて下さい。					
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席					
教科書 時事フランス語 2016 年度版／加藤晴久他:朝日出版社, 2016 :朝日出版社					
参考書					

ディコ仏和辞典 /白水社:白水社

プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社

ロワイヤル仏和辞典 :旺文社

代表的な仏和辞書を挙げておきます。

辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。和仏辞典は必ずしも必要ありません。

電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語dについては2種類の授業が開講されているので、中島(作文・講読)、満島(聞き取り・会話)のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟3階フランス語研究室

時間割番号	000213			
科目名	フランス語 d			
担当教員	満島 直子			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間:水曜2限 対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等 フランス語 a, b (前期文法)修了者を対象とする会話入門。 フランスの世界遺産を訪れ、料理とワインを味わいながら旅するミカの会話例や、現地でのインタビュー映像をとおして旅行や日常生活で使われる表現を学びます。 知っているはずの文法事項でも、実際に聞いたり話したりしようとすると急には使えないことが判ると思います。 文法の授業で習う内容を具体的な文脈の中で確認し、復習するとともに、基本例をもとにして身の回りのことについての簡単な文を扱えるようになることを目指します。				
授業の到達目標(SB0s) 1) 文型の口頭練習、リスニング、ディクテーション等を通して、フランス語を聞き取り、発音することに慣れること。 2) 基本的な表現を覚えて発話の手がかりをつかむこと。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/28	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
2	10/5	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
3	10/19	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
4	10/26	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
5	11/2	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
6	11/9	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
7	11/16	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
8	11/30	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
9	12/7	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
10	12/14	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
11	12/21	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
12	1/11	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
13	1/18	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子

			室		
14	1/25	10:50-12:20	12 番教 室	満島 直子	
15	2/1	10:50-12:20	12 番教 室	満島 直子	
授業方法 テキストに沿って発音、構文を確認しながら進み、学んだ事項をもとに口頭での応答やリスニング、ディクテーションの練習を行います。					
授業内容 開講時に、フランス語 a, b の進み具合、及び参加者の到達度に応じて開始箇所を決めます。進度については各クラスの様子を見ながら調整し、場合によっては一部を省略または追加することもあります。文法の教科書と学習項目の順序が異なる時は、必要に応じて文法事項を解説します。 1 回目: 前期学習項目の確認と練習 2 回目: 観光ツアーの申し込みをする 3 回目: 自己紹介する、興味を述べる 4 回目: 誘う 5 回目: 天候と時刻を言う 6 回目: レストランに入る 7 回目: 食卓の会話 8 回目: 比較する 9 回目: 予定を話す 10 回目: ヴァカンスを語る 11 回目: 過去の状況を話す 12 回目: 仮定、願望、義務、感情を表す 13 回目: 総合口頭練習 14 回目: 面接 15 回目: フランス語 d 総復習					
成績評価の方法 評価: 試験(期末考査) 40%・レポート 0 %・その他 60 % (授業中小試験 30 %・授業参加度 30 %) 期末試験は、口頭試験 10 %、筆記試験 30 %です。 再評価: 有(再評価方法「フランス語」としての再試験) ●上記のパーセンテージは「フランス語 d」についての評価方法です。「フランス語」は a/b/c/d 各 25%を総合して成績を評価します。 ●「フランス語d」のみの再考査は行いません。「フランス語」として全体の再評価を行います。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 実践してみることが大切なため、単語については予習し、授業での練習には積極的に参加してください。音声教材を繰り返し聞いたり、手で文を書き写す等の作業も有効です。					
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。 受験資格は定期試験を受験していること。					

・後期 d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席
教科書 『バリー・ボルドー』／藤田裕二：朝日出版社，2016
参考書 授業中にプリントを配布したり、参考書や教材の紹介を行います。 辞書については、フランス語 a のシラバスを参照してください。
他科目との関連 フランス語 d については2種類の授業が開講されているので、中島(作文・講読)、満島(聞き取り・会話)のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000210			
科目名	フランス語 d			
担当教員	中島 ひかる			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間:水曜3限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
フランス語dの中島が担当する授業は仏作文・講読の授業になります。				
目的:自らフランス語の文章を書いてみることで、フランス語の基本的構造と単語を定着させる。同時に読解力を養う。				
概要:簡単なフランス語のテキストをもとに、フランス語を書く練習をします。テキストの文章を逐語訳せずに、重要な単語を拾いながら、必要な情報を理解し、それを簡単なフランス語の文にまとめます。フランス語をフランス語のまま捉えて読む練習にもなります。				
授業の到達目標(SBOs)				
1)フランス語の構文を理解し、文法規則に則った正しい文章が書けるようになる。				
2)基本的単語の意味と綴り、基本動詞の活用に慣れる。				
3)やや複雑なフランス語の文章構造に慣れ、読解力を養成する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/28	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
2	10/5	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
3	10/19	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
4	10/26	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
5	11/2	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
6	11/9	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
7	11/16	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
8	11/30	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
9	12/7	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
10	12/14	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
11	12/21	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
12	1/11	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
13	1/18	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる
14	1/25	13:10-14:40	11 番教室	中島 ひかる

			室		
15	2/1	13:10-14:40	11 番教 室	中島 ひかる	
授業方法 時事問題を扱った簡単なテキストをもとに、フランス語の質問にフランス語で答えることを通して、以下のような練習を行います。適宜文法事項の復習を行います。 1:キーワードを理解する。 2:キーセンテンスを把握する。 3:1, 2をもとにテキスト内容を把握する。 4:簡単な文章を正しいフランス語で書く。					
授業内容 テキストで扱う内容は以下のようになります(変更の可能性もあります)。 1,2回目:ファーストネーム 3,4回目:日本におけるフランス企業 5,6回目:ボボ 7,8回目:レストラン 9,10 回目:国防の日 11,12 回目:シテ島 13,14 回目:数学王国フランス 15 回目:フランス語 d 総まとめ					
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)70%・レポート0 %・ その他 30 % (授業中の解答状況) 再評価:有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) ●上記のパーセンテージは「フランス語d」についての評価方法です。「フランス語」はa・b 合わせて50%、c25%、d25%を総合して成績を評価します。ただし、平均で60 点に達していてもc が50 点未満の場合は不合格とします。 ●「フランス語d」のみの再考査は実施しません。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 授業で扱うテキストについては、キーワードや主要なセンテンスをあらかじめ書き出して、概略を理解するよう努めて下さい。					
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格はa とb 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行う。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席					
教科書 時事フランス語 2016 年度版／加藤晴久他:朝日出版社, 2016 :朝日出版社					
参考書					

ディコ仏和辞典 /白水社:白水社

プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社

ロワイヤル仏和辞典 :旺文社

代表的な仏和辞書を挙げておきます。

辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。和仏辞典は必ずしも必要ありません。

電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語d1については2種類の授業が開講されているので、中島(作文・講読)、満島(聞き取り・会話)のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000211			
科目名	フランス語 d			
担当教員	満島 直子			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間:水曜3限				
対象学科:医学科・歯学科				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表3-4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
フランス語 a, b (前期文法)修了者を対象とする会話入門。				
フランスの世界遺産を訪れ、料理とワインを味わいながら旅するミカの会話例や、現地でのインタビュー映像をとおして旅行や日常生活で使われる表現を学びます。				
知っているはずの文法事項でも、実際に聞いたり話したりしようとすると急には使えないことが判ると思います。				
文法の授業で習う内容を具体的な文脈の中で確認し、復習するとともに、基本例をもとにして身の回りのことについての簡単な文を扱えるようになることを目指します。				
授業の到達目標(SBOs)				
1) 文型の口頭練習、リスニング、ディクテーション等を通して、フランス語を聞き取り、発音することに慣れること。				
2) 基本的な表現を覚えて発話の手がかりをつかむこと。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/28	13:10-14:40	5 番教室	満島 直子
2	10/5	13:10-14:40	5 番教室	満島 直子
3	10/19	13:10-14:40	5 番教室	満島 直子
4	10/26	13:10-14:40	5 番教室	満島 直子
5	11/2	13:10-14:40	5 番教室	満島 直子
6	11/9	13:10-14:40	5 番教室	満島 直子
7	11/16	13:10-14:40	5 番教室	満島 直子
8	11/30	13:10-14:40	5 番教室	満島 直子
9	12/7	13:10-14:40	5 番教室	満島 直子
10	12/14	13:10-14:40	5 番教室	満島 直子
11	12/21	13:10-14:40	5 番教室	満島 直子
12	1/11	13:10-14:40	5 番教室	満島 直子
13	1/18	13:10-14:40	5 番教室	満島 直子
14	1/25	13:10-14:40	5 番教室	満島 直子
15	2/1	13:10-14:40	5 番教室	満島 直子
授業方法				
テキストに沿って発音、構文を確認しながら進み、学んだ事項をもとに口頭での応答やリスニング、ディクテーションの練習を行います。				
授業内容				
開講時に、フランス語 a, b の進み具合、及び参加者の到達度に応じて開始箇所を決めます。進度については各クラスの様子を見ながら調整し、場合によっては一部を省略または追加することもあります。文法の教科書と学習項目の順序が異なる時は、必要に応じて文法事項を解説します。				
1 回目:前期学習項目の確認と練習				
2 回目:観光ツアーの申し込みをする				
3 回目:自己紹介する、興味を述べる				
4 回目:誘う				
5 回目:天候と時刻を言う				

6 回目: レストランに入る 7 回目: 食卓の会話 8 回目: 比較する 9 回目: 予定を話す 10 回目: ヴァカンスを語る 11 回目: 過去の状況を話す 12 回目: 仮定、願望、義務、感情を表す 13 回目: 総合口頭練習 14 回目: 面接 15 回目: フランス語 d 総復習
成績評価の方法 評価: 試験(期末考査) 40%・レポート 0 %・その他 60 % (授業中小試験 30 %・授業参加度 30 %) 期末試験は、口頭試験 10 %、筆記試験 30 %です。 再評価: 有(再評価方法「フランス語」としての再試験) ●上記のパーセンテージは「フランス語 d」についての評価方法です。「フランス語」は a/b/c/d 各 25%を総合して成績を評価します。 ●「フランス語 d」のみの再考査は行いません。「フランス語」として全体の再評価を行います。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 実践してみることが大切なため、単語については予習し、授業での練習には積極的に参加してください。音声教材を繰り返し聞いたり、手で文を書き写す等の作業も有効です。
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c については c のみが基準点に満たない場合は再考査を行う。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席
教科書 『パリー・ボルドー』／藤田裕二: 朝日出版社, 2016
参考書 授業中にプリントを配布したり、参考書や教材の紹介を行います。 辞書については、フランス語 a のシラバスを参照してください。
他科目との関連 フランス語 d については2種類の授業が開講されているので、中島(作文・講読)、満島(聞き取り・会話)のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000225			
科目名	中国語 a			
担当教員	家永 真幸			
開講時期	前期	対象年次	1	
曜日・時間: 月曜3限 対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4				
授業の目的、概要等 中国語を初めて学ぶ人のための授業です。 中国語の表記に使われる漢字は「簡体字」と呼ばれ、日本の漢字とは形が異なる場合も多いので、改めて覚える必要があります。その漢字の読み仮名である「ピンイン」は、ローマ字で表記しますが英語の読み方とはほとんど一致しません。さらに、中国語は音の高低によって意味が変わる「声調言語」であり、歌を歌うように正しい節をつけて発音しないと通じません。文法構造は英語に似ているようで似ておらず、むしろ日本語に似た部分も多い一方、日本語話者にとって何とも耳慣れない語順になることもしばしばです。 このように、みなさんにとって未知なる「中国語の特徴」を、1年間を通じて体得していただきたいと思います。				
授業の到達目標(SBOs) 中国語を読み、書き、話し、聞き取れるようになるための「基礎的な文法」および「正しい発音」の習得を目指します。文法事項で言うと、「動詞述語文」から始まり「結果補語」「様態補語」「兼語文」あたりまでの習得が到達目標になります。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
2	4/18	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
3	4/25	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
4	5/2	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
5	5/9	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
6	5/16	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
7	5/23	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
8	5/30	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
9	6/6	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
10	6/13	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
11	6/20	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
12	6/27	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
13	7/4	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
14	7/11	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
15	7/25	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
授業方法 時間割の名義上は a/c(前期文法／後期文法)と b/d(前期会話／後期会話)に分かれていますが、1人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ通年で行う授業となります。 学期序盤は発音の習得に重点を置きます。それ以降は、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにさせていただく、ということを繰り返します。 進度に余裕があれば映像鑑賞や中国文化に関する講義もはさみ、中国各地の風景や中国的なモノの考え方について想像を巡らせてもらいたいと考えています。				
授業内容 教科書の順番通り学習しながら、上記「授業方法」のとおり進めます。発音の基礎を習得した後、基本的な構文に始まり、「結果補語」「様態補語」「兼語文」の用法あたりまで扱う予定です。				

成績評価の方法 評価: 期末試験40%・小テスト40%・その他(平常点)20% 再評価: 有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。 習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。 教科書付属のドリルを各自活用すること。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席 ※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。 ※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。
教科書 現代漢語基礎／小野秀樹, 木村英樹, 張麗群, 楊凱栄, 吉川雅之 著, 白帝社, 2013
参考書 Why? にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか: 同学社, 1996 やさしくわかる中国語文法の基礎／守屋宏則: 東方書店, 1995 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著, 語研, 2015 中国語の構文／王亜新 著, アルク, 2011 辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』 後期に入ると新出単語も増加するため、購入して授業に持参することを勧めます。
他科目との関連 成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
連絡先 ienaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日 PM.12:20-PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000226			
科目名	中国語 a			
担当教員	家永 真幸			
開講時期	前期	対象年次	1	
曜日・時間:水曜3限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4				
授業の目的、概要等				
中国語を初めて学ぶ人のための授業です。				
中国語の表記に使われる漢字は「簡体字」と呼ばれ、日本の漢字とは形が異なる場合も多いので、改めて覚える必要があります。その漢字の読み仮名である「ピンイン」は、ローマ字で表記しますが英語の読み方とはほとんど一致しません。さらに、中国語は音の高低によって意味が変わる「声調言語」であり、歌を歌うように正しい節をつけて発音しないと通じません。文法構造は英語に似ているようで似ておらず、むしろ日本語に似た部分も多い一方、日本語話者にとって何とも耳慣れない語順になることもしばしばです。				
このように、みなさんにとって未知なる「中国語の特徴」を、1年間を通じて体得していただきたいと思います。				
授業の到達目標(SBOs)				
中国語を読み、書き、話し、聞き取れるようになるための「基礎的な文法」および「正しい発音」の習得を目指します。文法事項で言うと、「動詞述語文」から始まり「結果補語」「様態補語」「兼語文」あたりまでの習得が到達目標になります。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
2	4/20	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
3	4/27	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
4	5/11	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
5	5/18	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
6	5/25	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
7	6/1	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
8	6/8	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
9	6/15	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
10	6/22	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
11	6/29	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
12	7/6	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
13	7/13	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
14	7/20	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
15	7/27	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
授業方法				
時間割の名義上は a/c(前期文法／後期文法)と b/d(前期会話／後期会話)に分かれていますが、1人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ通年で行う授業となります。				
学期序盤は発音の習得に重点を置きます。それ以降は、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにさせていただく、ということを繰り返します。				
進度に余裕があれば映像鑑賞や中国文化に関する講義もはさみ、中国各地の風景や中国的なモノの考え方について想像を巡らせてもらいたいと考えています。				
授業内容				
教科書の順番通り学習しながら、上記「授業方法」のとおり進めます。発音の基礎を習得した後、基本的な構文に始まり、「結果補語」「様態補語」「兼語文」の用法あたりまで扱う予定です。				

成績評価の方法 評価: 期末試験40%・小テスト40%・その他(平常点)20% 再評価: 有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。 習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。 教科書付属のドリルを各自活用すること。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席 ※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。 ※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。
教科書 現代漢語基礎／小野秀樹, 木村英樹, 張麗群, 楊凱栄, 吉川雅之 著, 白帝社, 2013
参考書 Why? にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか: 同学社, 1996 やさしくわかる中国語文法の基礎／守屋宏則: 東方書店, 1995 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著, 語研, 2015 中国語の構文／王亜新 著, アルク, 2011 辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』 後期に入ると新出単語も増加するため、購入して授業に持参することを勧めます。
他科目との関連 成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
連絡先 ienaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日 PM.12:20-PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000227			
科目名	中国語 b			
担当教員	家永 真幸			
開講時期	前期	対象年次	1	
曜日・時間:水曜2限 対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4				
授業の目的、概要等 中国語を初めて学ぶ人のための授業です。 中国語の表記に使われる漢字は「簡体字」と呼ばれ、日本の漢字とは形が異なる場合も多いので、改めて覚える必要があります。その漢字の読み仮名である「ピンイン」は、ローマ字で表記しますが英語の読み方とはほとんど一致しません。さらに、中国語は音の高低によって意味が変わる「声調言語」であり、歌を歌うように正しい節をつけて発音しないと通じません。文法構造は英語に似ているようで似ておらず、むしろ日本語に似た部分も多い一方、日本語話者にとって何とも耳慣れない語順になることもしばしばです。 このように、みなさんにとって未知なる「中国語の特徴」を、1年間を通じて体得していただきたいと思います。				
授業の到達目標(SBOs) 中国語を読み、書き、話し、聞き取れるようになるための「基礎的な文法」および「正しい発音」の習得を目指します。文法事項で言うと、「動詞述語文」から始まり「結果補語」「様態補語」「兼語文」あたりまでの習得が到達目標になります。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
2	4/20	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
3	4/27	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
4	5/11	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
5	5/18	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
6	5/25	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
7	6/1	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
8	6/8	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
9	6/15	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
10	6/22	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
11	6/29	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
12	7/6	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
13	7/13	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
14	7/20	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
15	7/27	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
授業方法 時間割の名義上は a/c(前期文法／後期文法)と b/d(前期会話／後期会話)に分かれていますが、1人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ通年で行う授業となります。 学期序盤は発音の習得に重点を置きます。それ以降は、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにさせていただく、ということを繰り返します。 進度に余裕があれば映像鑑賞や中国文化に関する講義もはさみ、中国各地の風景や中国的なモノの考え方について想像を巡らせてもらいたいと考えています。				
授業内容 教科書の順番通り学習しながら、上記「授業方法」のとおり進めます。発音の基礎を習得した後、基本的な構文に始まり、「結果補語」「様態補語」「兼語文」の用法あたりまで扱う予定です。				

成績評価の方法 評価: 期末試験40%・小テスト40%・その他(平常点)20% 再評価: 有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。 習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。 教科書付属のドリルを各自活用すること。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席 ※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。 ※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。
教科書 現代漢語基礎／小野秀樹, 木村英樹, 張麗群, 楊凱栄, 吉川雅之 著, 白帝社, 2013
参考書 Why? にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか: 同学社, 1996 やさしくわかる中国語文法の基礎／守屋宏則: 東方書店, 1995 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著, 語研, 2015 中国語の構文／王亜新 著, アルク, 2011 辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』 後期に入ると新出単語も増加するため、購入して授業に持参することを勧めます。
他科目との関連 成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
連絡先 ienaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日 PM.12:20-PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000228			
科目名	中国語 b			
担当教員	家永 真幸			
開講時期	前期	対象年次	1	
曜日・時間: 月曜4限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4				
授業の目的、概要等 中国語を初めて学ぶ人のための授業です。 中国語の表記に使われる漢字は「簡体字」と呼ばれ、日本の漢字とは形が異なる場合も多いので、改めて覚える必要があります。その漢字の読み仮名である「ピンイン」は、ローマ字で表記しますが英語の読み方とはほとんど一致しません。さらに、中国語は音の高低によって意味が変わる「声調言語」であり、歌を歌うように正しい節をつけて発音しないと通じません。文法構造は英語に似ているようで似ておらず、むしろ日本語に似た部分も多い一方、日本語話者にとって何とも耳慣れない語順になることもしばしばです。 このように、みなさんにとって未知なる「中国語の特徴」を、1年間を通じて体得していただきたいと思います。				
授業の到達目標(SBOs) 中国語を読み、書き、話し、聞き取れるようになるための「基礎的な文法」および「正しい発音」の習得を目指します。文法事項で言うと、「動詞述語文」から始まり「結果補語」「様態補語」「兼語文」あたりまでの習得が到達目標になります。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
2	4/18	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
3	4/25	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
4	5/2	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
5	5/9	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
6	5/16	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
7	5/23	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
8	5/30	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
9	6/6	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
10	6/13	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
11	6/20	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
12	6/27	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
13	7/4	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
14	7/11	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
15	7/25	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
授業方法 時間割の名義上は a/c(前期文法／後期文法)と b/d(前期会話／後期会話)に分かれていますが、1人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ通年で行う授業となります。 学期序盤は発音の習得に重点を置きます。それ以降は、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにさせていただく、ということを繰り返します。 進度に余裕があれば映像鑑賞や中国文化に関する講義もはさみ、中国各地の風景や中国的なモノの考え方について想像を巡らせてもらいたいと考えています。				
授業内容 教科書の順番通り学習しながら、上記「授業方法」のとおり進めます。発音の基礎を習得した後、基本的な構文に始まり、「結果補語」「様態補語」「兼語文」の用法あたりまで扱う予定です。				

成績評価の方法 評価: 期末試験40%・小テスト40%・その他(平常点)20% 再評価: 有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。 習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。 教科書付属のドリルを各自活用すること。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席 ※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。 ※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。
教科書 現代漢語基礎／小野秀樹, 木村英樹, 張麗群, 楊凱栄, 吉川雅之 著, 白帝社, 2013
参考書 Why? にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか: 同学社, 1996 やさしくわかる中国語文法の基礎／守屋宏則: 東方書店, 1995 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著, 語研, 2015 中国語の構文／王亜新 著, アルク, 2011 辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』 後期に入ると新出単語も増加するため、購入して授業に持参することを勧めます。
他科目との関連 成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
連絡先 ienaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日 PM.12:20-PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000229			
科目名	中国語 c			
担当教員	家永 真幸			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間:水曜2限 対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4				
授業の目的、概要等 選択科目「中国語」の後期の授業です。目的、概要は前期に準じます。				
授業の到達目標(SB0s) 日本語や英語に親しんだみなさんは違和感を覚えるであろう、独特の語順となるような構文も使いこなせるようになることを目指します。文法事項で言えば、「使役」から「把構文」「二重目的語文」あたりまでが到達目標です。短いスピーチを自作・自演できるようになることも目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/28	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
2	10/5	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
3	10/19	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
4	10/26	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
5	11/2	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
6	11/9	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
7	11/16	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
8	11/30	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
9	12/7	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
10	12/14	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
11	12/21	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
12	1/11	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
13	1/18	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
14	1/25	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
15	2/1	10:50-12:20	9 番教室	家永 真幸
授業方法 時間割の名義上は a/c(前期文法／後期文法)と b/d(前期会話／後期会話)に分かれていますが、1人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ通年で行う授業となります。 前期に引き続き、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにさせていただく、ということを繰り返します。11 月ごろから徐々に会話練習を増やし、12 月中旬(予定)には短いスピーチを発表していただきます。				
授業内容 教科書の順番通り学習を進めます。「使役」から「把構文」「二重目的語文」あたりまで進む予定です。スピーチの練習用としてプリント教材も配布して用います。				
成績評価の方法 評価:期末試験40%・小テスト(スピーチ含む)40%・その他(平常点)20% 再評価:有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習などについての具体的な指示 新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。				

習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。 教科書付属のドリルを各自活用すること。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席 ※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。 ※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。
教科書 現代漢語基礎／小野秀樹, 木村英樹, 張麗群, 楊凱栄, 吉川雅之 著,: 白帝社, 2013
参考書 Why? にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか: 同学社, 1996 やさしくわかる中国語文法の基礎／守屋宏則: 東方書店, 1995 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,: 語研, 2015 中国語の構文／王亜新 著,: アルク, 2011 辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』 後期は新出単語も増加するため、購入して授業に持参することを勧めます。
他科目との関連 成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
連絡先 ienagalas@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日 PM.12:20-PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000230			
科目名	中国語 c			
担当教員	家永 真幸			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間:水曜3限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4				
授業の目的、概要等				
選択科目「中国語」の後期の授業です。目的、概要は前期に準じます。				
授業の到達目標(SB0s)				
日本語や英語に親しんだみなさんは違和感を覚えるであろう、独特の語順となるような構文も使いこなせるようになることを目指します。文法事項で言えば、「使役」から「把構文」「二重目的語文」あたりまでが到達目標です。短いスピーチを自作・自演できるようになることも目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/28	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
2	10/5	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
3	10/19	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
4	10/26	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
5	11/2	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
6	11/9	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
7	11/16	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
8	11/30	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
9	12/7	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
10	12/14	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
11	12/21	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
12	1/11	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
13	1/18	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
14	1/25	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
15	2/1	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
授業方法				
時間割の名義上は a/c(前期文法／後期文法)と b/d(前期会話／後期会話)に分かれていますが、1人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ通年で行う授業となります。				
前期に引き続き、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにさせていただく、ということを繰り返します。11 月ごろから徐々に会話練習を増やし、12 月中旬(予定)には短いスピーチを発表していただきます。				
授業内容				
教科書の順番通り学習を進めます。「使役」から「把構文」「二重目的語文」あたりまで進む予定です。スピーチの練習用としてプリント教材も配布して用います。				
成績評価の方法				
評価:期末試験40%・小テスト(スピーチ含む)40%・その他(平常点)20%				
再評価:有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習などについての具体的な指示				
新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。				

習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。 教科書付属のドリルを各自活用すること。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席 ※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。 ※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。
教科書 現代漢語基礎／小野秀樹, 木村英樹, 張麗群, 楊凱栄, 吉川雅之 著,: 白帝社, 2013
参考書 Why? にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか: 同学社, 1996 やさしくわかる中国語文法の基礎／守屋宏則: 東方書店, 1995 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,: 語研, 2015 中国語の構文／王亜新 著,: アルク, 2011 辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』 後期は新出単語も増加するため、購入して授業に持参することを勧めます。
他科目との関連 成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
連絡先 ienagalas@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日 PM.12:20-PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000231			
科目名	中国語 d			
担当教員	家永 真幸			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間: 月曜3限 対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4				
授業の目的、概要等				
選択科目「中国語」の後期の授業です。目的、概要は前期に準じます。				
授業の到達目標(SB0s)				
日本語や英語に親しんだみなさんは違和感を覚えるであろう、独特の語順となるような構文も使いこなせるようになることを目指します。文法事項で言えば、「使役」から「把構文」「二重目的語文」あたりまでが到達目標です。短いスピーチを自作・自演できるようになることも目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
2	10/3	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
3	10/17	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
4	10/24	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
5	10/31	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
6	11/7	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
7	11/14	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
8	11/21	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
9	11/28	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
10	12/5	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
11	12/12	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
12	12/19	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
13	1/16	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
14	1/23	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
15	1/30	13:10-14:40	9 番教室	家永 真幸
授業方法				
時間割の名義上は a/c(前期文法／後期文法)と b/d(前期会話／後期会話)に分かれていますが、1人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ通年で行う授業となります。				
前期に引き続き、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにさせていただく、ということを繰り返します。11 月ごろから徐々に会話練習を増やし、12 月中旬(予定)には短いスピーチを発表していただきます。				
授業内容				
教科書の順番通り学習を進めます。「使役」から「把構文」「二重目的語文」あたりまで進む予定です。スピーチの練習用としてプリント教材も配布して用います。				
成績評価の方法				
評価: 期末試験40%・小テスト(スピーチ含む)40%・その他(平常点)20%				
再評価: 有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習などについての具体的な指示				
新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。				

習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。 教科書付属のドリルを各自活用すること。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席 ※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。 ※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。
教科書 現代漢語基礎／小野秀樹, 木村英樹, 張麗群, 楊凱栄, 吉川雅之 著,: 白帝社, 2013
参考書 Why? にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか: 同学社, 1996 やさしくわかる中国語文法の基礎／守屋宏則: 東方書店, 1995 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,: 語研, 2015 中国語の構文／王亜新 著,: アルク, 2011 辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』 後期は新出単語も増加するため、購入して授業に持参することを勧めます。
他科目との関連 成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
連絡先 ienagalas@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日 PM.12:20-PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000232			
科目名	中国語 d			
担当教員	家永 真幸			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間: 月曜4限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4				
授業の目的、概要等				
選択科目「中国語」の後期の授業です。目的、概要は前期に準じます。				
授業の到達目標(SB0s)				
日本語や英語に親しんだみなさんは違和感を覚えるであろう、独特の語順となるような構文も使いこなせるようになることを目指します。文法事項で言えば、「使役」から「把構文」「二重目的語文」あたりまでが到達目標です。短いスピーチを自作・自演できるようになることも目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
2	10/3	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
3	10/17	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
4	10/24	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
5	10/31	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
6	11/7	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
7	11/14	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
8	11/21	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
9	11/28	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
10	12/5	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
11	12/12	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
12	12/19	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
13	1/16	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
14	1/23	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
15	1/30	14:50-16:20	9 番教室	家永 真幸
授業方法				
時間割の名義上は a/c(前期文法／後期文法)と b/d(前期会話／後期会話)に分かれていますが、1人の教員が1冊の教科書を使い週2コマ通年で行う授業となります。				
前期に引き続き、新しい文法事項を講義した後、それを使う練習をみなさんにさせていただく、ということを繰り返します。11 月ごろから徐々に会話練習を増やし、12 月中旬(予定)には短いスピーチを発表していただきます。				
授業内容				
教科書の順番通り学習を進めます。「使役」から「把構文」「二重目的語文」あたりまで進む予定です。スピーチの練習用としてプリント教材も配布して用います。				
成績評価の方法				
評価: 期末試験40%・小テスト(スピーチ含む)40%・その他(平常点)20%				
再評価: 有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習などについての具体的な指示				
新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。				

習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。 教科書付属のドリルを各自活用すること。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席 ※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。 ※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。
教科書 現代漢語基礎／小野秀樹, 木村英樹, 張麗群, 楊凱栄, 吉川雅之 著,: 白帝社, 2013
参考書 Why? にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか: 同学社, 1996 やさしくわかる中国語文法の基礎／守屋宏則: 東方書店, 1995 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,: 語研, 2015 中国語の構文／王亜新 著,: アルク, 2011 辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』 後期は新出単語も増加するため、購入して授業に持参することを勧めます。
他科目との関連 成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
連絡先 ienagalas@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日 PM.12:20-PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室

時間割番号	000234			
科目名	スペイン語 a			
担当教員	佐藤 正樹			
開講時期	前期	対象年次	1	
曜日・時間: 月曜4限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1) 国際的に活躍するための語学力を養う。別表3-4) 外国文化を理解する				
授業の目的、概要等 世界中で3億5千万人が母語としているスペイン語の基本的な知識を身につけて、スペインおよびイスパノアメリカの文化に対する理解を深めましょう。				
授業の到達目標(SB0s) 1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。 2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読めるようになる。 3)スペインおよびイスパノアメリカの国々についての知識を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
2	4/18	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
3	4/25	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
4	5/2	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
5	5/9	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
6	5/16	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
7	5/23	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
8	5/30	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
9	6/6	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
10	6/13	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
11	6/20	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
12	6/27	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
13	7/4	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
14	7/11	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
15	7/25	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
授業方法 文法項目を講義形式で説明した後、作文や会話の練習を行います。				
授業内容 以下の文法項目の説明と演習を行います。 第1回:ガイダンス、アルファベットと発音 第2回:発音とアクセント 第3回:現在・規則変化 第4回:名詞の性と数、冠詞、形容詞 第5回:現在・不規則変化、所有形容詞 第6回:線過去 第7回:人称代名詞、gustar 型動詞 第8回:点過去・規則変化 第9回:指示詞、否定語 第10回:点過去・不規則変化 第11回:不定詞 第12回:現在完了、過去完了 第13回:関係詞				

第14回:期末試験
第15回:期末試験返却と解説
成績評価の方法 評価 : 試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(授業中小試験・出席) 30% 再評価: 有(再評価方法 試験) ・abcd を総合して成績を評価します。 ・前期は ab 総合の期末考査のほか、授業期間中にも適宜小テストを行う可能性があります。 ・ab の再考査を9月に行います。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 演習問題は教員の指示どおり、予習してきてください。
試験の受験資格 ・期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 ・ab,cd の考査毎に受験資格を決定する。 ・再考査の受験資格は ab 合わせての出席率、再試験の受験資格は abcd 合わせての出席率で決定する。
教科書 『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年。
履修上の注意事項 教科書を持参していない場合、その都度平常点を減点します。

時間割番号	000235			
科目名	スペイン語 b			
担当教員	佐藤 正樹			
開講時期	前期	対象年次	1	
曜日・時間: 水曜3限				
対象学科: 医学科・歯学科				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1) 国際的に活躍するための語学力を養う。別表3-4) 外国文化を理解する)				
授業の目的、概要等				
世界中で3億5千万人が母語としているスペイン語の基本的な知識を身につけて、スペインおよびイスパノアメリカの文化に対する理解を深めましょう。				
授業の到達目標(SBOs)				
1) スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。				
2) スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読めるようになる。				
3) スペインおよびイスパノアメリカの国々についての知識を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
2	4/20	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
3	4/27	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
4	5/11	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
5	5/18	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
6	5/25	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
7	6/1	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
8	6/8	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
9	6/15	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
10	6/22	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
11	6/29	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
12	7/6	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
13	7/13	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
14	7/20	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
15	7/27	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
授業方法				
文法項目を講義形式で説明した後、作文や会話の練習を行います。				
授業内容				
以下の文法項目の説明と演習を行います。				
第1回: ガイダンス、アルファベットと発音				
第2回: 発音とアクセント				
第3回: 現在・規則変化				
第4回: 名詞の性と数、冠詞、形容詞				
第5回: 現在・不規則変化、所有形容詞				
第6回: 線過去				
第7回: 人称代名詞、gustar 型動詞				
第8回: 点過去・規則変化				
第9回: 指示詞、否定語				
第10回: 点過去・不規則変化				
第11回: 不定詞				
第12回: 現在完了、過去完了				
第13回: 関係詞				

第14回:期末試験
第15回:期末試験返却と解説
成績評価の方法 評価 : 試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(授業中小試験・出席) 30% 再評価: 有(再評価方法 試験) ・abcd を総合して成績を評価します。 ・前期は ab 総合の期末考査のほか、授業期間中にも適宜小テストを行う可能性があります。 ・ab の再考査を9月に行います。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 演習問題は教員の指示どおり、予習してきてください。
試験の受験資格 ・期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 ・ab,cd の考査毎に受験資格を決定する。 ・再考査の受験資格は ab 合わせての出席率、再試験の受験資格は abcd 合わせての出席率で決定する。
教科書 『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年。
履修上の注意事項 教科書を持参していない場合、その都度平常点を減点します。

時間割番号	000236			
科目名	スペイン語 c			
担当教員	佐藤 正樹			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間: 月曜4限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1) 国際的に活躍するための語学力を養う。別表3-4) 外国文化を理解する)				
授業の目的、概要等				
世界中で3億5千万人が母語としているスペイン語の基本的な知識を身につけて、スペインおよびイスパノアメリカの文化に対する理解を深めましょう。				
授業の到達目標(SBOs)				
1) スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。 2) スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読めるようになる。 3) スペインおよびイスパノアメリカの国々についての知識を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
2	10/3	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
3	10/17	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
4	10/24	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
5	10/31	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
6	11/7	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
7	11/14	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
8	11/21	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
9	11/28	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
10	12/5	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
11	12/12	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
12	12/19	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
13	1/16	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
14	1/23	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
15	1/30	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
授業方法				
文法項目を講義形式で説明した後、作文や会話の練習を行います。				
授業内容				
以下の文法項目の説明と演習を行います。				
第1回: 未来、未来完了				
第2回: 無主語文				
第3回: 比較				
第4回: 再帰動詞①				
第5回: 過去未来				
第6回: 過去未来完了				
第7回: 再帰動詞②				
第8回: 接続法現在・現在完了				
第9回: 命令文				
第10回: 接続法過去・過去完了				
第11回: 条件文				
第12回: 願望文				
第13回: 総見直し				

第14回:期末試験
第15回:期末試験返却と解説
成績評価の方法 評価：試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(授業中小試験・出席) 30% 再評価: 有(再評価方法 試験) ・abcd を総合して成績を評価します。 ・後期は cd 総合の期末考査のほか、授業期間中にも適宜小テストを行う可能性があります。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 演習問題は教員の指示どおり、予習してきてください。
試験の受験資格 ・期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 ・ab,cd の考査毎に受験資格を決定する。 ・再考査の受験資格は ab 合わせての出席率、再試験の受験資格は abcd 合わせての出席率で決定する。
教科書 『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年。
履修上の注意事項 教科書を持参していない場合、その都度平常点を減点します。

時間割番号	000237			
科目名	スペイン語 d			
担当教員	佐藤 正樹			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間: 水曜3限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1) 国際的に活躍するための語学力を養う。別表3-4) 外国文化を理解する)				
授業の目的、概要等				
世界中で3億5千万人が母語としているスペイン語の基本的な知識を身につけて、スペインおよびイスパノアメリカの文化に対する理解を深めましょう。				
授業の到達目標(SBOs)				
1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。 2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読めるようになる。 3)スペインおよびイスパノアメリカの国々についての知識を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/28	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
2	10/5	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
3	10/19	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
4	10/26	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
5	11/2	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
6	11/9	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
7	11/16	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
8	11/30	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
9	12/7	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
10	12/14	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
11	12/21	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
12	1/11	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
13	1/18	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
14	1/25	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
15	2/1	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
授業方法				
文法項目を講義形式で説明した後、作文や会話の練習を行います。				
授業内容				
以下の文法項目の説明と演習を行います。				
第1回: 未来、未来完了				
第2回: 無主語文				
第3回: 比較				
第4回: 再帰動詞①				
第5回: 過去未来				
第6回: 過去未来完了				
第7回: 再帰動詞②				
第8回: 接続法現在・現在完了				
第9回: 命令文				
第10回: 接続法過去・過去完了				
第11回: 条件文				
第12回: 願望文				
第13回: 総見直し				

第14回:期末試験
第15回:期末試験返却と解説
成績評価の方法 評価 : 試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(授業中小試験・出席) 30% 再評価: 有(再評価方法 試験) ・abcd を総合して成績を評価します。 ・後期は cd 総合の期末考査のほか、授業期間中にも適宜小テストを行う可能性があります。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 演習問題は教員の指示どおり、予習してきてください。
試験の受験資格 ・期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 ・ab,cd の考査毎に受験資格を決定する。 ・再考査の受験資格は ab 合わせての出席率、再試験の受験資格は abcd 合わせての出席率で決定する。
教科書 『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年。
履修上の注意事項 教科書を持参していない場合、その都度平常点を減点します。

時間割番号	000238				
科目名	物理学実験				
担当教員	檜枝 光憲, 越野 和樹, 水谷 雅志, 梅崎 馨章				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1
物理学実験、化学実験、生物学実験を 5 週間ずつ交代で、前後期各 1 回、計 10 週行う。 クラス分けと時間割に注意すること。					
主な講義場所 物理学生実験室(1F)、計算機実習室(2F)、物理教員実験室 1(3F)					
授業の目的、概要等 物理学実験がどのような手順で行われるかを学ぶ。 実験するにあたり、目的を達成するための方法を考え実験計画を立て、実験中はよくみ(観・視)よく考えて行動し、その結果を確かめながらやり方を改良しつつ着実に目的に向かって進み、最終的に得られた結果をどのように解釈したらよいかという物事を処理するときの基本的な方法を学ぶ。					
授業の到達目標(SB0s) 1. 交流回路における回路素子の働きを理解し、複素インピーダンスと位相差を求めることができる。 2. レンズの働きを理解し、凸レンズおよび組み合わせレンズの焦点距離、主点の位置を求めることができる。 3. 自然科学に欠かせない予測手段の一つである数値シミュレーションを用い、運動方程式を解くことができる。 4. 極低温状態の固体の性質を調べ、金属、半導体、超伝導、磁性という現代物理学の主要分野である「物性物理学」の知識を得る。 5. 重力加速度の測定を通して、データの統計処理、誤差の計算方法を学ぶ。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-3	4/15	13:10-18:00	物理学実験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章	
4-6	4/22	13:10-18:00	物理学実験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章	
7-9	5/6	13:10-18:00	物理学実験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章	
10-12	5/13	13:10-18:00	物理学実験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章	
13-15	5/20	13:10-18:00	物理学実験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章	
16-18	5/27	13:10-18:00	物理学実験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章	
19-21	6/3	13:10-18:00	物理学実験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志	

				梅崎 馨章
22-24	6/10	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
25-27	6/17	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
28-30	6/24	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
31-33	7/1	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
34-36	7/8	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
37-39	7/15	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
40-42	7/22	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
43-45	7/29	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
46-48	9/30	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
49-51	10/7	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
52-54	10/14	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
55-57	10/21	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志

				梅崎 馨章
58-60	10/28	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
61-63	11/4	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
64-66	11/11	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
67-69	11/18	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
70-72	11/25	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
73-75	12/2	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
76-78	12/9	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
79-81	12/16	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
82-84	1/13	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
85-87	1/20	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
88-90	1/27	13:10-18:00	物理学実 験室	檜枝 光憲 越野 和樹 水谷 雅志 梅崎 馨章
授業方法				
実験				
授業内容				

物理実験学の講義を実験初日(第1週)に行うので休まないこと。 物理学の講義と平行して行うので、未学習の分野については自学自習で補っておくこと。 十分な予習と実験計画を立てて実験に望むことが必要である。 下記の4項目の実験を、項目ごとに2回の実験日で行う。グループ分けは、実験初日に発表する。 1. エレクトロニクス(担当:水谷) 2. レンズの焦点距離と主点の位置(担当:梅崎) 3. 計算機による運動方程式の解法(担当:越野) 4. 物性実験、重力加速度の測定(担当:檜枝)
成績評価の方法 レポート、平常点、実験ノートで総合評価する。
成績評価の基準 特に平常点では、遅刻や実験中の態度不良による減点が多いので注意すること。 なお、「物理学実験」では、すべての授業に出席すること、すべてのレポートを提出することが義務付けられている。
準備学習などについての具体的な指示 テキストは、実験初日に配布する。
教科書 物理学実験／東京医科歯科大学教養部自然科学系物理学分野編
連絡先 檜枝 光憲 hieda.las@tmd.ac.jp 越野 和樹 ikuzak.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 檜枝 光憲 毎週月曜 11:00～13:00 ヒポクラテス4階 越野 和樹 毎週月曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階

時間割番号	000239				
科目名	化学実験				
担当教員	勝又 敏行, 大塚 淳, 澤野 頼子, 奈良 雅之				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 金曜日・3～5時限(前期5回、後期5回)					
対象学科: 医学科、歯学科					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
別表2-2) 自然現象を探究するための手法を知る					
別表4-3) 自然現象を探究するための基本的手法を身につける					
授業の目的、概要等					
無機定性分析および容量分析を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。1人1セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質(硫化水素など)の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。					
授業の到達目標(SBOs)					
一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。					
自分で実験テーマを見つけて、計画・実施することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-3	4/15	13:10-18:00	化学実験室	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之	
4-6	4/22	13:10-18:00	化学実験室	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之	
7-9	5/6	13:10-18:00	化学実験室	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之	
10-12	5/13	13:10-18:00	化学実験室	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之	
13-15	5/20	13:10-18:00	化学実験室	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之	
16-18	5/27	13:10-18:00	化学実験室	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之	
19-21	6/3	13:10-18:00	化学実験室	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之	
22-24	6/10	13:10-18:00	化学実験室	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之	
25-27	6/17	13:10-18:00	化学実験室	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之	
28-30	6/24	13:10-18:00	化学実験室	勝又 敏行, 大塚 淳, 奈良 雅之	

31-33	7/1	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 大塚 淳 奈 良 雅之
34-36	7/8	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 大塚 淳 奈 良 雅之
37-39	7/15	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 大塚 淳 奈 良 雅之
40-42	7/22	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 大塚 淳 奈 良 雅之
43-45	7/29	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 大塚 淳 奈 良 雅之
46-48	9/30	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之
49-51	10/7	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之
52-54	10/14	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之
55-57	10/21	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之
58-60	10/28	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之
61-63	11/4	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之
64-66	11/11	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之
67-69	11/18	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之
70-72	11/25	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之
73-75	12/2	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之
76-78	12/9	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之

79-81	12/16	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之
82-84	1/13	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之
85-87	1/20	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之
88-90	1/27	13:10-18:00	化学実験 室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之
授業方法 実習および講義による				
授業内容 前期 1. 化学実験総論／席決め／実験準備と講義(一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策等) 2. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) その1(1族-3族の分析) 3. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) その2(3-5族の分析) 4. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) テスト(1-5族混合未知試料の分析) 5. 考察実験(ペーパークロマトグラフィー／分光光度計をもちいた比色分析等) 後期 6. 容量分析(その1) 中和滴定の練習(食酢中の酸の定量)／誤差の取り扱い方 7. 容量分析(その2) 容量分析テスト(酒石酸または炭酸カリウムの未知試料の濃度決定) 8. 容量分析(その3) キレート滴定 牛乳、天然水中の Ca^{2+} の定量 9. 容量分析(応用編) 酸化還元滴定(ヨウ素滴定)によるビタミン C の定量／沈殿滴定による塩素イオンの定量／過マンガン酸滴定による過酸化水素水の濃度および硫酸第一鉄の純度 など(考察実験) 10. 考察実験 各自が組み立てた実験計画を実施する				
成績評価の方法 実験ノート(一次記録および報告)50%、特別報告・口頭発表 20% 実験中の取り組み(面接、テストなどを含む)30%				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示 予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。				
教科書 「化学実験」(東京医科歯科大学教養部化学教室編)				
参考書 高木誠司著: 定性分析化学中巻 イオン反応編、南江堂 高木誠司著: 定量分析の実験と計算、共立出版 柴田村治著: 無機クロマトグラフ法とイオン交換分離、共立出版 D.T.Plummer 著: 廣海他訳、実験で学ぶ生化学、化学同人				
連絡先 奈良 雅之 nara.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子 sawano.las@tmd.ac.jp 勝又 敏行 katsumata.las@tmd.ac.jp 大塚 淳 ohtsuka.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階
澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階
勝又 敏行:毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室
大塚 淳:毎週金曜日 PM.12:00-PM.1:00 ヒポクラテスホール4階

時間割番号	000240				
科目名	生物学実験				
担当教員	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1
・曜日・時間: 金曜日3～5限 ・対象学科・専攻: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2－2) 自然現象を探究するための手法を知る。 4－3) 自然現象を探究するための基本的手法を身につける。					
主な講義場所					
ヒポクラテスホール3階生物学実験室					
授業の目的、概要等					
講義で学習する内容は観察や実験によって得られたものである。これらの生物学の基本知識がどのような過程で得られたかを実際に体験することによって生物学の考え方を学ぶ。また、観察の仕方、生物と機器の取り扱い方法、観察・測定した結果の数量化などの基本を学ぶ。					
授業の到達目標(SB0s)					
1) 生物を適切に取り扱うことができる。					
2) 実験機器を正しく使用することができる。					
3) 肉眼あるいは光学顕微鏡により生体の構造を観察し、その特徴を説明することができる。					
4) 現象から仮説を立て、仮説を検証するために適切な実験を計画・実施することができる。					
5) データを整理・分析し、レポートにまとめることができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-3	4/15	13:10-18:00	生物学実験室	松本 幸久 服部 淳彦 伊藤 正則 粕谷 ひかる	
4-6	4/22	13:10-18:00	生物学実験室	松本 幸久 服部 淳彦 伊藤 正則 粕谷 ひかる	
7-9	5/6	13:10-18:00	生物学実験室	松本 幸久 服部 淳彦 伊藤 正則 粕谷 ひかる	
10-12	5/13	13:10-18:00	生物学実験室	松本 幸久 服部 淳彦 伊藤 正則 粕谷 ひかる	
13-15	5/20	13:10-18:00	生物学実験室	松本 幸久 服部 淳彦 伊藤 正則 粕谷 ひかる	
16-18	5/27	13:10-18:00	生物学実験室	松本 幸久 服部 淳彦 伊藤 正則 粕谷 ひかる	
19-21	6/3	13:10-18:00	生物学実験室	松本 幸久	

			験室	服部 淳彦, 伊藤 正則, 粕谷 ひかる
22-24	6/10	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 粕谷 ひかる
25-27	6/17	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 粕谷 ひかる
28-30	6/24	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 粕谷 ひかる
31-33	7/1	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 粕谷 ひかる
34-36	7/8	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 粕谷 ひかる
37-39	7/15	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 粕谷 ひかる
40-42	7/22	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 粕谷 ひかる
43-45	7/29	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 粕谷 ひかる
46-48	9/30	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則
49-51	10/7	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則
52-54	10/14	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則
55-57	10/21	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則
58-60	10/28	13:10-18:00	生物学実	松本 幸久

			験室	服部 淳彦, 伊藤 正則	
61-63	11/4	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
64-66	11/11	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
67-69	11/18	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
70-72	11/25	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
73-75	12/2	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
76-78	12/9	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
79-81	12/16	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
82-84	1/13	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
85-87	1/20	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
88-90	1/27	13:10-18:00	生物学実 験室	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
授業方法 実習による。					
授業内容 肉眼あるいは光学顕微鏡下で、生物の体のつくりや生命現象を観察する。行動観察を通して、仮説とそれを証明するための実験計画を立て、実際に実験を行うことによって科学の基本的な手順を学ぶ。加えて、分子生物学の基本的な手法を学ぶ。					
成績評価の方法 評価:試験 0%・レポート 80% その他 20%(実習態度等) 再評価:有 *欠席は原則認めない。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習などについての具体的な指示 実験を行う前に必ずテキストを読んでおくこと。					
教科書 「新 生物学実験テキスト」 東京医科歯科大学教養部生物学教室 編(2016 年版)					

参考図書は随時紹介する。

履修上の注意事項

欠席は原則認めない。 教員がとる出欠を優先し、授業開始時間(13:10)に席についていない場合は遅刻とする。3回の遅刻で欠席とする。

連絡先

松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000241																																																																																																																												
科目名	科学基礎実験Ⅰ																																																																																																																												
担当教員	勝又 敏行, 奈良 雅之, 伊藤 正則, 服部 淳彦, 松本 幸久																																																																																																																												
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																																																								
・曜日・時間: 火曜 2～4限(第9週～15 週) ・対象学科: 保健衛生学科検査技術学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 2-2)自然現象を探究するための手法を知る 別表 4-3)自然現象を探究するための基本的手法を身につける																																																																																																																													
授業の目的、概要等 無機定性分析、容量分析、光学顕微鏡を用いた観察を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。1人1 セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質(硫化水素など)の扱い方、光学顕微鏡の使い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。																																																																																																																													
授業の到達目標(SB0s) 実験ノートのきちんと取り、それを報告としてまとめ、発表することができる。さらに、自分でテーマを見つけ、実験を組み立てることができることを目標とする。																																																																																																																													
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>11/29</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>2</td><td>11/29</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>3</td><td>11/29</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>4</td><td>12/6</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>5</td><td>12/6</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>6</td><td>12/6</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>7</td><td>12/13</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>8</td><td>12/13</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>9</td><td>12/13</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>10</td><td>12/13</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>11</td><td>12/20</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>12</td><td>12/20</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>13</td><td>12/20</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>14</td><td>12/20</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>15</td><td>1/10</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>16</td><td>1/10</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>17</td><td>1/10</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>18</td><td>1/17</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>19</td><td>1/17</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>20</td><td>1/17</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>21</td><td>1/24</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>22</td><td>1/24</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>23</td><td>1/24</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	11/29	09:10-10:40	7 番教室	勝又 敏行	2	11/29	10:50-12:20	7 番教室	勝又 敏行	3	11/29	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行	4	12/6	09:10-10:40	7 番教室	勝又 敏行	5	12/6	10:50-12:20	7 番教室	勝又 敏行	6	12/6	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行	7	12/13	09:10-10:40	7 番教室	勝又 敏行	8	12/13	10:50-12:20	7 番教室	勝又 敏行	9	12/13	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行	10	12/13	14:50-16:20	7 番教室	勝又 敏行	11	12/20	09:10-10:40	7 番教室	勝又 敏行	12	12/20	10:50-12:20	7 番教室	勝又 敏行	13	12/20	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行	14	12/20	14:50-16:20	7 番教室	勝又 敏行	15	1/10	09:10-10:40	7 番教室	勝又 敏行	16	1/10	10:50-12:20	7 番教室	勝又 敏行	17	1/10	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行	18	1/17	09:10-10:40	7 番教室	勝又 敏行	19	1/17	10:50-12:20	7 番教室	勝又 敏行	20	1/17	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行	21	1/24	09:10-10:40	7 番教室	勝又 敏行	22	1/24	10:50-12:20	7 番教室	勝又 敏行	23	1/24	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																																																									
1	11/29	09:10-10:40	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
2	11/29	10:50-12:20	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
3	11/29	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
4	12/6	09:10-10:40	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
5	12/6	10:50-12:20	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
6	12/6	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
7	12/13	09:10-10:40	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
8	12/13	10:50-12:20	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
9	12/13	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
10	12/13	14:50-16:20	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
11	12/20	09:10-10:40	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
12	12/20	10:50-12:20	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
13	12/20	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
14	12/20	14:50-16:20	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
15	1/10	09:10-10:40	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
16	1/10	10:50-12:20	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
17	1/10	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
18	1/17	09:10-10:40	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
19	1/17	10:50-12:20	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
20	1/17	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
21	1/24	09:10-10:40	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
22	1/24	10:50-12:20	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
23	1/24	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行																																																																																																																									
授業方法 実習による																																																																																																																													
授業内容 1. 科学基礎実験総論／席決め／実験準備と講義(一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策等) 2. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) その1(1 族－5 族の分析)																																																																																																																													

3. 無機金属イオンの分析(硫化水素法)(1-5族混合未知試料の分析) 4. 容量分析(その1) 中和滴定(食酢中の酸の定量)／誤差の取り扱い方 5. 容量分析(その2) キレート滴定(水道水中のカルシウムの定量) 6. 考察実験 各自が組み立てた実験計画を実施する 7. 光学顕微鏡を用いた観察(1) 顕微鏡の使い方 8. 光学顕微鏡を用いた観察(2) 血液塗抹標本の作製
成績評価の方法 生物学分野 20%、化学分野 80%で評価する。 化学分野では実験ノート(一次記録およびレポート)50%、特別報告、口頭発表 20% 実験中の取り組み(面接・テストなどを含む)30%で評価する。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。
教科書 化学実験(東京医科歯科大学教養部化学教室編)
連絡先 勝又 敏行 katsumata.las@tmd.ac.jp 服部 淳彦 ahattori.las@tmd.ac.jp 奈良 雅之 nara.las@tmd.ac.jp 伊藤 正則 itohmt.las@tmd.ac.jp 松本 幸久 yukihisa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 勝又 敏行:毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室 服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2) 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室 松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	000242																																																											
科目名	科学基礎実験 N・O・K																																																											
担当教員	澤野 頼子, 勝又 敏行, 奈良 雅之																																																											
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																							
・曜日・時間: 木曜日(前半7回)/3～5時限 ・対象学科: 保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科 ・募集人数: 48 名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2－2) 自然現象を探究するための手法を知る 4－3) 自然現象を探究するための基本的手法を身につける																																																												
授業の目的、概要等 定性分析、容量分析を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につけ、注意深い観察力、正確な判断力を身につける。1人1セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質(硫化水素など)の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。																																																												
授業の到達目標(SBOs) 一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。 自分で実験テーマを見つけて、計画・実施することができる。																																																												
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/29</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>9/29</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>9/29</td><td>16:30-18:00</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>10/6</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>10/6</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>10/6</td><td>16:30-18:00</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>7</td><td>10/13</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>8</td><td>10/13</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>9</td><td>10/13</td><td>16:30-18:00</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之</td></tr><tr><td>10</td><td>10/20</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>勝又 敏行,</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/29	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	2	9/29	14:50-16:20	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	3	9/29	16:30-18:00	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	4	10/6	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	5	10/6	14:50-16:20	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	6	10/6	16:30-18:00	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	7	10/13	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	8	10/13	14:50-16:20	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	9	10/13	16:30-18:00	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	10	10/20	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行,
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																								
1	9/29	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之																																																								
2	9/29	14:50-16:20	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之																																																								
3	9/29	16:30-18:00	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之																																																								
4	10/6	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之																																																								
5	10/6	14:50-16:20	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之																																																								
6	10/6	16:30-18:00	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之																																																								
7	10/13	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之																																																								
8	10/13	14:50-16:20	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之																																																								
9	10/13	16:30-18:00	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之																																																								
10	10/20	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行,																																																								

				澤野 頼子, 奈良 雅之	
11	10/20	14:50-16:20	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	
12	10/20	16:30-18:00	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	
13	10/27	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	
14	10/27	14:50-16:20	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	
15	10/27	16:30-18:00	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	
16	11/10	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	
17	11/10	14:50-16:20	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	
18	11/10	16:30-18:00	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	
19	11/17	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	
20	11/17	14:50-16:20	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	
21	11/17	16:30-18:00	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	
22	11/24	13:10-14:40	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	
23	11/24	14:50-16:20	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	
24	11/24	16:30-18:00	7 番教室	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	
授業方法					
実習および講義による					
授業内容					
1. 科学基礎実験総論／席決め／実験準備と講義(一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策等)					

2. 容量分析(1)中和滴定:食酢中の酸の定量 3. 容量分析(2)キレート滴定による水中のカルシウムの定量 4. 容量分析(3)キレート滴定による牛乳中のカルシウムの定量 5. 無機定性分析(1)金属イオンの分析(硫化水素法による分属) 6. 無機定性分析(2)金属イオンの分析(ペーパークロマトグラフィー) 7. 考察実験 各自が組み立てた実験計画を実施する 8. 発表会(希望者)
成績評価の方法 実験ノート(一次記録、報告)50%、特別報告、口頭発表 20%、実験中の取り組み(面接・テストなどを含む)30%で評価する。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。
教科書 「化学実験」(東京医科歯科大学教養部化学教室編)
参考書 生命科学のための化学実験／高橋知義 ほか:東京教学社, 2007 基礎化学実験 安全オリエンテーション／山口和也、山本仁:東京化学同人, 2007 基礎化学実験／東京大学教養学部化学部会 編:東京化学同人, 2012
他科目との関連 本科目が「科学基礎演習」のいずれかを選択すること。夏休み前に希望調査を行い、希望者数が募集人数を超えた場合は抽選を行う。
履修上の注意事項 出欠は授業開始時に教員がとる。出席が3分の2以上を満たさないと、不合格となる。
連絡先 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp 勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 勝又 敏行:毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000243				
科目名	科学基礎演習				
担当教員	越野 和樹, 澤野 頼子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
・曜日・時間: 木曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科 ・募集人数: 50 名まで ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2－1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 別表4－2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける					
授業の目的、概要等					
看護や口腔保健に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学や物理の基礎を演習することを基本とする。前半は物理(力学、電磁気学の基礎)について、後半は化学(物理化学の基礎)について演習を行う。					
授業の到達目標(SBOs)					
看護や口腔保健の専門科目で役立つ化学と物理の基礎を演習を通して学ぶ。具体的には、下記の授業計画で挙げている各項目に関して、基礎的な演習問題に取り組むことで理解を深めること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/29	13:10-14:40	10 番教室	越野 和樹, 澤野 頼子	
2	10/6	13:10-14:40	10 番教室	越野 和樹, 澤野 頼子	
3	10/13	13:10-14:40	10 番教室	越野 和樹, 澤野 頼子	
4	10/20	13:10-14:40	10 番教室	越野 和樹, 澤野 頼子	
5	10/27	13:10-14:40	10 番教室	越野 和樹, 澤野 頼子	
6	11/10	13:10-14:40	10 番教室	越野 和樹, 澤野 頼子	
7	11/17	13:10-14:40	10 番教室	越野 和樹, 澤野 頼子	
8	11/24	13:10-14:40	10 番教室	越野 和樹, 澤野 頼子	
9	12/1	13:10-14:40	10 番教室	越野 和樹, 澤野 頼子	
10	12/8	13:10-14:40	10 番教室	越野 和樹, 澤野 頼子	
11	12/15	13:10-14:40	10 番教室	越野 和樹, 澤野 頼子	
12	12/22	13:10-14:40	10 番教室	越野 和樹, 澤野 頼子	
13	1/12	13:10-14:40	10 番教室	越野 和樹, 澤野 頼子	
14	1/19	13:10-14:40	10 番教室	越野 和樹, 澤野 頼子	
15	1/26	13:10-14:40	10 番教室	越野 和樹, 澤野 頼子	

授業方法 講義と演習による
授業内容 物理 ・静電気 ・コンデンサー ・電流 ・磁界と電磁誘導 ・交流と電磁波 化学 ・酸化・還元 ・電池 ・反応速度 ・化学平衡
成績評価の方法 評価: 試験(物理分野・化学分野毎の考査) 100%・レポート0%・その他(出席状況が考慮される) 再評価: 有(再評価方法 物理分野と化学分野を合わせた学期末再試験)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 物理: 講義資料をあらかじめダウンロードし(URLは別途指示)印刷しておくことを前提とする。 化学: 参考書等で関連分野にあらかじめ目を通しておく。
試験の受験資格 考査・再試験の受験資格: 3分の2以上出席
参考書 高校の物理をイチからおさらいする本／鈴木誠治 著.: 中経出版, 2006 化学／小島一光 著.: 化学同人, 2002 医療・看護系のための化学入門／塩田三千夫, 山崎昶 共著.: 裳華房, 2003
他科目との関連 本科目が「科学基礎実験 N・O・K」のいずれかを選択すること。夏休み前に希望調査を行う。
連絡先 越野 和樹 ikuzak.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子 sawano.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 越野 和樹: 毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階 澤野 頼子: 毎週金曜日 PM.0:00—PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000244		
科目名	情報科学 N		
担当教員	徳永 伸一, 津垣 正男		
開講時期	前期	対象年次	
曜日・時間: 月曜 5 限			
対象学科・専攻: 保健衛生学科 看護学専攻			
主な講義場所			
計算機実習室			
授業の目的、概要等			
情報科学技術に関する知識と、情報処理能力、論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。			
(1)情報処理: 電子情報を活用するための基本的な技術。			
(2)プログラミング: 論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。			
授業の到達目標(SB0s)			
(1)情報処理: Eメール、テキストエディタ、タイピング、HTML 等の基本的な技術を習得する。			
(2)プログラミング: 十進 BASIC を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。			
授業計画			
回	日付	時刻	講義室 担当教員
1	4/11	16:30-18:00	計算機実習室 徳永 伸一, 津垣 正男
2	4/18	16:30-18:00	計算機実習室 徳永 伸一, 津垣 正男
3	4/25	16:30-18:00	計算機実習室 徳永 伸一, 津垣 正男
4	5/2	16:30-18:00	計算機実習室 徳永 伸一, 津垣 正男
5	5/9	16:30-18:00	計算機実習室 徳永 伸一, 津垣 正男
6	5/16	16:30-18:00	計算機実習室 徳永 伸一, 津垣 正男
7	5/23	16:30-18:00	計算機実習室 徳永 伸一, 津垣 正男
8	5/30	16:30-18:00	計算機実習室 徳永 伸一, 津垣 正男
9	6/6	16:30-18:00	計算機実習室 徳永 伸一, 津垣 正男
10	6/13	16:30-18:00	計算機実習室 徳永 伸一, 津垣 正男
11	6/20	16:30-18:00	計算機実習室 徳永 伸一, 津垣 正男
12	6/27	16:30-18:00	計算機実習室 徳永 伸一, 津垣 正男
13	7/4	16:30-18:00	計算機実習室 徳永 伸一, 津垣 正男
14	7/11	16:30-18:00	計算機実習室 徳永 伸一, 津垣 正男
15	7/25	16:30-18:00	計算機実習室 徳永 伸一, 津垣 正男

授業方法 パソコンを用いた実習を中心とする。
授業内容 第1回(情報処理1) Eメール(Webメール)・LMS 利用法、キーボード操作とタイピング演習 第2回(情報処理2) パソコン・インターネットの基礎、日本語入力・テキストエディタ演習 第3回(情報処理3) HTML 演習 第4回(プログラミング1) 十進 BASIC の概要、プログラムの入力と実行 第5回(プログラミング2) 変数と数値式、INPUT 文、PRINT 文 第6回(プログラミング3) FOR～NEXT 構文 第7回(プログラミング4) DEF 文、組み込み関数 第8回(プログラミング5) グラフィックス 第9回(プログラミング6) IF～ENDIF 構文 第10回(プログラミング7) DO～LOOP 構文 第11回(プログラミング8) 配列 第12回(プログラミング9) 応用課題1 第13回(プログラミング10) 応用課題2 第14回 タイピング試験 第15回 予備(成績評価に関わる演習等)
成績評価の方法 分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。 (1)プログラミング: 出席、課題提出および学期末の試験による(約70点満点) (2)情報処理: 出席・タイピング試験、課題提出および試験による(約30点満点) なお本科目の再評価は、後期に指定された補習科目の受講+再試験により行う。 【再評価について】 プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。またプログラミング試験の不合格者に対しては、原則として、後期に実施する補習授業への出席を義務付け、さらに再試験を行う。 なお再評価の上限は70点とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 高校までの数学、特に多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。 また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかりと行うこと。
試験の受験資格 原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。 (やむを得ぬ事情で欠席する場合は、Eメールにより連絡し指示を仰ぐこと)
教科書 Web上の教材を利用する。
履修上の注意事項 実習形式の授業を行いますので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となります。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ずEメールにより連絡し、指示を仰ぐこと。また筆記試験で不合格となった学生に対しては、後期に行う補習授業の受講を、再評価の必須要件とする。
参照ホームページ 情報処理テキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm プログラミングテキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm
連絡先 徳永 伸一: tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永 伸一:月曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

* 計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

時間割番号	000245			
科目名	情報科学Ⅰ			
担当教員	徳永 伸一, 津垣 正男			
開講時期	前期	対象年次		
曜日・時間: 月曜 4 限				
対象学科・専攻: 保健衛生学科 検査技術専攻				
主な講義場所				
計算機実習室				
授業の目的、概要等				
情報科学技術に関する知識と、情報処理能力、論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。				
(1)情報処理: 電子情報を活用するための基本的な技術。				
(2)プログラミング: 論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。				
授業の到達目標(SB0s)				
(1)情報処理: Eメール、テキストエディタ、タイピング、HTML 等の基本的な技術を習得する。				
(2)プログラミング: 十進 BASIC を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/11	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
2	4/18	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
3	4/25	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
4	5/2	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
5	5/9	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
6	5/16	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
7	5/23	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
8	5/30	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
9	6/6	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
10	6/13	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
11	6/20	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
12	6/27	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
13	7/4	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
14	7/11	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
15	7/25	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男

授業方法 パソコンを用いた実習を中心とする。
授業内容 第1回(情報処理1) Eメール(Webメール)・LMS 利用法、キーボード操作とタイピング演習 第2回(情報処理2) パソコン・インターネットの基礎、日本語入力・テキストエディタ演習 第3回(情報処理3) HTML 演習 第4回(プログラミング1) 十進 BASIC の概要、プログラムの入力と実行 第5回(プログラミング2) 変数と数値式、INPUT 文、PRINT 文 第6回(プログラミング3) FOR～NEXT 構文 第7回(プログラミング4) DEF 文、組み込み関数 第8回(プログラミング5) グラフィックス 第9回(プログラミング6) IF～ENDIF 構文 第10回(プログラミング7) DO～LOOP 構文 第11回(プログラミング8) 配列 第12回(プログラミング9) 応用課題1 第13回(プログラミング10) 応用課題2 第14回 タイピング試験 第15回 予備(成績評価に関わる演習等)
成績評価の方法 分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。 (1)プログラミング: 出席、課題提出および学期末の試験による(約70点満点) (2)情報処理: 出席・タイピング試験、課題提出および試験による(約30点満点) なお本科目の再評価は、後期に指定された補習科目の受講+再試験により行う。 【再評価について】 プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。またプログラミング試験の不合格者に対しては、原則として、後期に実施する補習授業への出席を義務付け、さらに再試験を行う。 なお再評価の上限は70点とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 高校までの数学、特に多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。 また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかりと行うこと。
試験の受験資格 原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。 (やむを得ぬ事情で欠席する場合は、Eメールにより連絡し指示を仰ぐこと)
教科書 Web上の教材を利用する。
履修上の注意事項 実習形式の授業を行いますので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となります。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ずEメールにより連絡し、指示を仰ぐこと。また筆記試験で不合格となった学生に対しては、後期に行う補習授業の受講を、再評価の必須要件とする。
参照ホームページ 情報処理テキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm プログラミングテキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm
連絡先 徳永 伸一: tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永 伸一:月曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

* 計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

時間割番号	000246			
科目名	情報科学 O・K			
担当教員	徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男			
開講時期	前期	対象年次		
曜日・時間: 木曜 3 限				
対象学科・専攻: 口腔保健学科				
主な講義場所				
計算機実習室				
授業の目的、概要等				
情報科学技術に関する知識と、情報処理能力、論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。				
(1)情報処理: 電子情報を活用するための基本的な技術。				
(2)プログラミング: 論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。				
授業の到達目標(SB0s)				
(1)情報処理: E メール、テキストエディタ、タイピング、HTML 等の基本的な技術を習得する。				
(2)プログラミング: 十進 BASIC を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/14	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男
2	4/21	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男
3	4/28	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男
4	5/12	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男
5	5/19	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男
6	5/26	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男
7	6/2	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男
8	6/9	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男
9	6/16	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男
10	6/23	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 中口 悦史, 津垣 正男

11	6/30	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 中口 悦史 津垣 正男
12	7/7	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 中口 悦史 津垣 正男
13	7/14	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 中口 悦史 津垣 正男
14	7/21	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 中口 悦史 津垣 正男
15	7/28	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 中口 悦史 津垣 正男

授業方法

パソコンを用いた実習を中心とする。

授業内容

第1回(情報処理1) Eメール(Webメール)・LMS 利用法、キーボード操作とタイピング演習

第2回(情報処理2) パソコン・インターネットの基礎、日本語入力・テキストエディタ演習

第3回(情報処理3) HTML 演習

第4回(プログラミング1) 十進 BASIC の概要、プログラムの入力と実行

第5回(プログラミング2) 変数と数値式、INPUT 文、PRINT 文

第6回(プログラミング3) FOR～NEXT 構文

第7回(プログラミング4) DEF 文、組み込み関数

第8回(プログラミング5) グラフィックス

第9回(プログラミング6) IF～ENDIF 構文

第10回(プログラミング7) DO～LOOP 構文

第11回(プログラミング8) 配列

第12回(プログラミング9) 応用課題1

第13回(プログラミング10) 応用課題2

第14回 タイピング試験

第15回 予備(成績評価に関わる演習等)

成績評価の方法

分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。

(1)プログラミング: 出席、課題提出および学期末の試験による(約70点満点)

(2)情報処理: 出席・タイピング試験、課題提出および試験による(約30点満点)

なお本科目の再評価は、後期に指定された補習科目の受講+再試験により行う。

【再評価について】

プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。またプログラミング試験の不合格者に対しては、原則として、後期に実施する補習授業への出席を義務付け、さらに再試験を行う。

なお再評価の上限は70点とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

高校までの数学、特に多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。

また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかりと行うこと。
試験の受験資格 原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。 (やむを得ぬ事情で欠席する場合は、Eメールにより連絡し指示を仰ぐこと)
教科書 Web上の教材を利用する。
履修上の注意事項 実習形式の授業を行いますので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となります。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず Eメールにより連絡し、指示を仰ぐこと。また筆記試験で不合格となった学生に対しては、後期に行う補習授業の受講を、再評価の必須要件とする。
参照ホームページ 情報処理テキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm プログラミングテキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm
連絡先 徳永 伸一: tokunaga.las@tmd.ac.jp 中口 悦史: nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 徳永 伸一: 月曜 12:20-13:10 (ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 木曜 12:20-13:10 (ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) * 計算機実習室で授業がある日は、そちらにすることが多いです。 中口 悦史: 水・金 12:00-13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応 / D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する / 電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000248			
科目名	情報処理(Ⅱ)			
担当教員	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将			
開講時期	前期	対象年次		
曜日・時間: 木曜 1 限				
対象学科・専攻: 医学科および歯学科(英語を 2 限に履修する学生)				
主な講義場所				
計算機実習室および 6 番教室				
(詳細は掲示等にて通知するので各自確認すること)				
授業の目的、概要等				
医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。				
単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。				
授業の到達目標(SB0s)				
・Eメール、テキストエディタ、タイピング、表計算ソフト(Excel)、HTML等の基本的な技術を習得する。				
・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/14	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
2	4/21	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
3	4/28	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
4	5/12	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
5	5/19	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
6	5/26	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
7	6/2	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
8	6/9	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
9	6/16	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
10	6/23	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
11	6/30	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将

			習室 6 番教室	中口 悦史 八島 高将
12	7/7	09:10-10:40	計算機実 習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史 八島 高将
13	7/14	09:10-10:40	計算機実 習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史 八島 高将
14	7/21	09:10-10:40	計算機実 習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史 八島 高将
15	7/28	09:10-10:40	計算機実 習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史 八島 高将

授業内容

第 1 回 情報セキュリティ、著作権

第 2 回 [計]E メール(Web メール)・LMS 利用法

第 3 回 パソコン・インターネットの基礎

第 4 回 [計]タイピング演習

第 5 回 無線 LAN 接続

第 6 回 [計]テキストエディタ演習

第 7 回 HTML 基礎

第 8 回 [計]HTML 演習

第 9 回 Excel 基礎

第 10 回 [計]Excel 演習(1)

第 11 回 データ処理の基礎

第 12 回 [計]Excel 演習(2)

第 13 回 総合演習

第 14 回 [計]Excel 演習(3)

第 15 回 [計]タイピング試験

([計]は計算機実習室で行う授業。医歯学科全体で計4クラスに分け、うち 2 クラスは第 2 回の内容から開始し、14 週目付近に第 1 回の内容を行う。詳細は掲示等で確認すること)

成績評価の方法

出席および提出課題、タイピング試験による。実習の比重が高いので、出席は特に重視する。

習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席してすべての課題を提出し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

実習に先立って講義が行われるので、講義内容をよく理解し、実習に備えること。またパソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。

教科書

Web 上の教材を利用する。

履修上の注意事項

無断欠席は履修の意思がないものと見なします。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

参照ホームページ

情報処理テキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

連絡先

徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永 伸一:月曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

* 計算機実習室で授業がある日は、そちらに多いです。

中口 悦史:水・金 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する／
電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000249			
科目名	情報処理(β)			
担当教員	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将			
開講時期	前期	対象年次		
曜日・時間: 木曜 2 限				
対象学科・専攻: 医学科および歯学科(英語を 1 限に履修する学生)				
主な講義場所				
計算機実習室および 6 番教室				
(詳細は掲示等にて通知するので各自確認すること)				
授業の目的、概要等				
医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。				
単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。				
授業の到達目標(SB0s)				
・Eメール、テキストエディタ、タイピング、表計算ソフト(Excel)、HTML等の基本的な技術を習得する。				
・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/14	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
2	4/21	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
3	4/28	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
4	5/12	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
5	5/19	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
6	5/26	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
7	6/2	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
8	6/9	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
9	6/16	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
10	6/23	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将
11	6/30	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 八島 高将

			習室 6 番教室	中口 悦史 八島 高将
12	7/7	10:50-12:20	計算機実 習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史 八島 高将
13	7/14	10:50-12:20	計算機実 習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史 八島 高将
14	7/21	10:50-12:20	計算機実 習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史 八島 高将
15	7/28	10:50-12:20	計算機実 習室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史 八島 高将

授業内容

第 1 回 情報セキュリティ、著作権

第 2 回 [計]E メール(Web メール)・LMS 利用法

第 3 回 パソコン・インターネットの基礎

第 4 回 [計]タイピング演習

第 5 回 無線 LAN 接続

第 6 回 [計]テキストエディタ演習

第 7 回 HTML 基礎

第 8 回 [計]HTML 演習

第 9 回 Excel 基礎

第 10 回 [計]Excel 演習(1)

第 11 回 データ処理の基礎

第 12 回 [計]Excel 演習(2)

第 13 回 総合演習

第 14 回 [計]Excel 演習(3)

第 15 回 [計]タイピング試験

([計]は計算機実習室で行う授業。医歯学科全体で計4クラスに分け、うち 2 クラスは第 2 回の内容から開始し、14 週目付近に第 1 回の内容を行う。詳細は掲示等で確認すること)

成績評価の方法

出席および提出課題、タイピング試験による。実習の比重が高いので、出席は特に重視する。

習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席してすべての課題を提出し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

実習に先立って講義が行われるので、講義内容をよく理解し、実習に備えること。またパソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。

教科書

Web 上の教材を利用する。

履修上の注意事項

無断欠席は履修の意思がないものと見なします。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

参照ホームページ

情報処理テキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

連絡先

徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永 伸一:月曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

* 計算機実習室で授業がある日は、そちらに多いです。

中口 悦史:水・金 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する／
電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000251				
科目名	スポーツ・健康科学				
担当教員	水野 哲也, 清水 諭, 谷木 龍男				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 木曜5限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する					
主な講義場所 1 番教室					
授業の目的、概要等 保健体育分野の開講科目の主たる目的は、これらの授業の受講をととしてスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに理論的意義を学ぶことである。そして、その中で生涯における健康的で有意義な人生設計に欠かせないより良いライフスタイル形成についての理論を学び、そのより効果的な実践能力の基盤を養うことにある。従って、この授業は原則して全学科の1年生を対象とし、特に専門教育以前に学生自身の健康管理並びにスポーツに関する一般的な教養を身に付けることをその目的とする。 本授業はスポーツ並びに健康科学に関する基礎理論を中心とした授業で、その具体的な内容は、身体文化論、保健医学、フィットネス科学等である。					
授業の到達目標(SB0s) 本授業の到達目標は、スポーツ並びに健康科学に関する理論を学び、それを十分に理解することであり、実習系授業等の中で実施される測定、評価並びに体験との有機的な融合を図り、学生自身の自己管理能力の基盤と心身に関する基礎的な教養を身につけることである。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/14	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
2	4/21	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
3	4/28	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
4	5/12	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
5	5/19	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
6	5/26	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
7	6/2	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
8	6/9	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
9	6/16	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
10	6/23	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
11	6/30	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
12	7/7	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
13	7/14	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
14	7/21	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
15	7/28	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
授業方法 授業は講義形式で、内容別にそれぞれの専門家が分担で行う。					
授業内容 1. 身体文化論 スポーツを含む身体活動並びに身体表現に着目し、人文社会学的視座からその文化的価値並びにその現代的意味を考えていくとともに、広くヒトの身体とその教育の重要性及び意義について考える。 2. 保健医学 感染症・薬物・生活習慣・エイジングなど健康を巡るさまざまな問題を取り上げ、実例を紹介しながら、検討してゆく。また、医学や医療従事者として今後どのような心構えが必要なのかについても共に考える。 3. フィットネス科学(健康栄養学を含む)					

健康の維持増進の観点から人の身体運動を生理学的な視点から捉え、その予防医学的手段としての価値や適正量などその現代的意義を中心に考えるとともに食事のあり方について、栄養素、食品、調理、献立やその適切な組み合わせ方法などを概説する。また、睡眠を中心とした休養の重要性とそのメカニズムについても解説し、ストレスマネジメントを含むトータルなフィットネスマネジメント(健全なライフスタイルの形成)の意義について考える。
成績評価の方法 評価: 定期試験期間に考查を実施し、その理解度を評価する。試験 100% (担当教員によっては、授業中に理解度評価を実施する場合がある) 再評価: 有 (レポートによる)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習よりも復習を重視する。よって、授業で取り上げた内容について教科書および参考書等を参照しながら理解を深めて頂きたい。
参考書 現代霊性論／内田樹, 釈徹宗 [著].: 講談社, 2013 スポーツ文化を学ぶ人のために／井上俊, 亀山佳明 編.: 世界思想社, 1999 生き方としての健康科学／山崎喜比古, 朝倉隆司 編.: 有信堂高文社, 2011 教養としてのスポーツ心理学／徳永幹雄 編著.: 大修館書店, 2005
他科目との関連 実習系科目であるフィットネスマネジメント並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な融合を図ることでより効果が上がるように設計されている。
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiku/index.html
連絡先 水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水野 哲也:毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階

時間割番号	000250				
科目名	スポーツ・健康科学				
担当教員	水野 哲也, 谷木 龍男, 二宮 雅也, 清水 諭				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 金曜5限 対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する					
主な講義場所 1 番教室					
授業の目的、概要等 保健体育分野の開講科目の主たる目的は、これらの授業の受講をととしてスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに理論的意義を学ぶことである。そして、その中で生涯における健康的で有意義な人生設計に欠かせないより良いライフスタイル形成についての理論を学び、そのより効果的な実践能力の基盤を養うことにある。従って、この授業は原則して全学科の1年生を対象とし、特に専門教育以前に学生自身の健康管理並びにスポーツに関する一般的な教養を身に付けることをその目的とする。 本授業はスポーツ並びに健康科学に関する基礎理論を中心とした授業で、その具体的な内容は、身体文化論、保健医学、フィットネス科学等である。					
授業の到達目標(SB0s) 本授業の到達目標は、スポーツ並びに健康科学に関する理論を学び、それを十分に理解することであり、実習系授業等の中で実施される測定、評価並びに体験との有機的な融合を図り、学生自身の自己管理能力の基盤と心身に関する基礎的な教養を身につけることである。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/15	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
2	4/22	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
3	5/6	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
4	5/13	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
5	5/20	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
6	5/27	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
7	6/3	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
8	6/10	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
9	6/17	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
10	6/24	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
11	7/1	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
12	7/8	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
13	7/15	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
14	7/22	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
15	7/29	16:30-18:00	1 番教室	水野 哲也	
授業方法 授業は講義形式で、内容別にそれぞれの専門家が分担で行う。					
授業内容 1. 身体文化論 スポーツを含む身体活動並びに身体表現に着目し、人文社会学的視座からその文化的価値並びにその現代的意味を考えていくとともに、広くヒトの身体とその教育の重要性及び意義について考える。 2. 保健医学 感染症・薬物・生活習慣・エイジングなど健康を巡るさまざまな問題を取り上げ、実例を紹介しながら、検討してゆく。また、医学や医療従事者として今後どのような心構えが必要なのかについても共に考える。 3. フィットネス科学(健康栄養学を含む)					

健康の維持増進の観点から人の身体運動を生理学的な視点から捉え、その予防医学的手段としての価値や適正量などその現代的意義を中心に考えるとともに食事のあり方について、栄養素、食品、調理、献立やその適切な組み合わせ方法などを概説する。また、睡眠を中心とした休養の重要性とそのメカニズムについても解説し、ストレスマネジメントを含むトータルなフィットネスマネジメント(健全なライフスタイルの形成)の意義について考える。
成績評価の方法 評価: 定期試験期間に考查を実施し、その理解度を評価する。試験 100% (担当教員によっては、授業中に理解度評価を実施する場合がある) 再評価: 有 (レポートによる)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習よりも復習を重視する。よって、授業で取り上げた内容について教科書および参考書等を参照しながら理解を深めて頂きたい。
参考書 現代霊性論／内田樹, 釈徹宗 [著].: 講談社, 2013 スポーツ文化を学ぶ人のために／井上俊, 亀山佳明 編.: 世界思想社, 1999 生き方としての健康科学／山崎喜比古, 朝倉隆司 編.: 有信堂高文社, 2011 教養としてのスポーツ心理学／徳永幹雄 編著.: 大修館書店, 2005
他科目との関連 実習系科目であるフィットネスマネジメント並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な融合を図ることでより効果が上がるように設計されている。
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiku/index.html
連絡先 水野 哲也 mizuno.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水野 哲也 毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階

時間割番号	000252				
科目名	フィットネスマネージメント				
担当教員	水野 哲也, 今野 和志, 林 久仁則				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間:木曜3限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける					
授業の目的、概要等					
保健体育分野の開講科目の主たる目的は、これらの授業の受講をとおしてスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学ぶことである。特に、本授業は受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養並びにメンタルマネジメントについて、それぞれの方法を用いて客観的評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身につけることを第一の目的としている。 また、本授業では様々な身体活動の機会(身体運動文化の実践)をとおして適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に必要な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的である。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の主体的で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件である。					
授業の到達目標(SBOs)					
本授業の最終到達目標には、自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身につけることにある。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、そのひとつめは継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践であり、ふたつめはその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得である。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階として、それらを正しく自己評価する能力が求められる。授業の中でこうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS を用いて評価を実践する。さらに授業における最終段階では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(フィットネスマネジメント)にむけたプランニングが求められる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/14	13:10-14:40		水野 哲也, 林 久仁則, 今野 和志	
2	4/21	13:10-14:40		水野 哲也, 林 久仁則, 今野 和志	
3	4/28	13:10-14:40		水野 哲也, 林 久仁則, 今野 和志	
4	5/12	13:10-14:40		水野 哲也, 林 久仁則, 今野 和志	
5	5/19	13:10-14:40		水野 哲也, 林 久仁則, 今野 和志	
6	5/26	13:10-14:40		水野 哲也, 林 久仁則, 今野 和志	

7	6/2	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志
8	6/9	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志
9	6/16	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志
10	6/23	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志
11	6/30	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志
12	7/7	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志
13	7/14	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志
14	7/21	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志
15	7/28	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志
16	9/29	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志
17	10/6	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志
18	10/13	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志
19	10/20	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志
20	10/27	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志
21	11/10	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志
22	11/17	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志
23	11/24	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志
24	12/1	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志
25	12/8	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志
26	12/15	13:10-14:40		水野 哲也

				今野 和志
27	12/22	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志
28	1/12	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志
29	1/19	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志
30	1/26	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されるが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことある。

受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されている。学生は、各学期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められる。

授業内容

最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われる。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球などのスポーツ種目の他に、リラクゼーションプログラムや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されている。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願いしたい。

成績評価の方法

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められる。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFASを活用して自己教育力を高めて頂きたい。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。

参考書

身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳: 北大路書房, 2000

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。

参照ホームページ

<http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html>

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2階

時間割番号	000254				
科目名	フィットネスマネージメント				
担当教員	水野 哲也, 今野 和志, 林 久仁則				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 木曜4限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3－3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける					
授業の目的、概要等					
保健体育分野の開講科目の主たる目的は、これらの授業の受講をととしてスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学ぶことである。特に、本授業は受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養並びにメンタルマネジメントについて、それぞれの方法を用いて客観的評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身につけることを第一の目的としている。 また、本授業では様々な身体活動の機会(身体運動文化の実践)をととして適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に必要な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的である。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の主体的で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件である。					
授業の到達目標(SBOs)					
本授業の最終到達目標には、自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身につけることにある。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、そのひとつめは継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践であり、ふたつめはその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得である。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階として、それらを正しく自己評価する能力が求められる。授業の中でこうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS を用いて評価を実践する。さらに授業における最終段階では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(フィットネスマネジメント)にむけたプランニングが求められる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/14	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志	
2	4/21	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志	
3	4/28	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志	
4	5/12	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志	
5	5/19	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志	
6	5/26	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志	

7	6/2	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志
8	6/9	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志
9	6/16	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志
10	6/23	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志
11	6/30	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志
12	7/7	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志
13	7/14	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志
14	7/21	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志
15	7/28	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 今野 和志
16	9/29	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志
17	10/6	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志
18	10/13	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志
19	10/20	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志
20	10/27	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志
21	11/10	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志
22	11/17	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志
23	11/24	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志
24	12/1	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志
25	12/8	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志
26	12/15	14:50-16:20		水野 哲也

				今野 和志
27	12/22	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志
28	1/12	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志
29	1/19	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志
30	1/26	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志
授業方法				
授業は基本的に実習形式で実施されるが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことある。 受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されている。学生は、各学期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められる。				
授業内容				
最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われる。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球などのスポーツ種目の他に、リラクゼーションプログラムや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されている。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願いしたい。				
成績評価の方法				
評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50% 再評価: 有 (レポート等による)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められる。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めて頂きたい。				
試験の受験資格				
本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。				
参考書				
身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳: 北大路書房, 2000				
他科目との関連				
講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。				
参照ホームページ				
http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html				
連絡先				
水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
水野 哲也:毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階				

時間割番号	000253				
科目名	フィットネスマネジメント				
担当教員	水野 哲也, 高岡 英氣, 林 久仁則				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 金曜3限 対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3－3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける					
授業の目的、概要等					
保健体育分野の開講科目の主たる目的は、これらの授業の受講をとおしてスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学ぶことである。特に、本授業は受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養並びにメンタルマネジメントについて、それぞれの方法を用いて客観的評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身につけることを第一の目的としている。 また、本授業では様々な身体活動の機会(身体運動文化の実践)をとおして適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に必要な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的である。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の主体的で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件である。					
授業の到達目標(SBOs)					
本授業の最終到達目標には、自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身につけることにある。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、そのひとつめは継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践であり、ふたつめはその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得である。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階として、それらを正しく自己評価する能力が求められる。授業の中でこうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS を用いて評価を実践する。さらに授業における最終段階では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(フィットネスマネジメント)にむけたプランニングが求められる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/15	13:10-14:40		水野 哲也, 林 久仁則, 高岡 英氣	
2	4/22	13:10-14:40		水野 哲也, 林 久仁則, 高岡 英氣	
3	5/6	13:10-14:40		水野 哲也, 林 久仁則, 高岡 英氣	
4	5/13	13:10-14:40		水野 哲也, 林 久仁則, 高岡 英氣	
5	5/20	13:10-14:40		水野 哲也, 林 久仁則, 高岡 英氣	
6	5/27	13:10-14:40		水野 哲也, 林 久仁則, 高岡 英氣	

7	6/3	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
8	6/10	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
9	6/17	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
10	6/24	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
11	7/1	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
12	7/8	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
13	7/15	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
14	7/22	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
15	7/29	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
16	9/30	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
17	10/7	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
18	10/14	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
19	10/21	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
20	10/28	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
21	11/4	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
22	11/11	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣

23	11/18	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
24	11/25	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
25	12/2	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
26	12/9	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
27	12/16	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
28	1/13	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
29	1/20	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
30	1/27	13:10-14:40		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されるが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことある。
受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されている。学生は、各学期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められる。

授業内容

最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われる。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球などのスポーツ種目の他に、リラクゼーションプログラムや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されている。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願いしたい。

成績評価の方法

評価: 参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められる。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めて頂きたい。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。

参考書

身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著, 竹中晃二 監訳: 北大路書房, 2000

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計

されている。

参照ホームページ

<http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html>

連絡先

水野 哲也 mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也 毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2階

時間割番号	000255				
科目名	フィットネスマネージメント				
担当教員	水野 哲也, 高岡 英氣, 林 久仁則				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 金曜4限 対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3－3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける					
授業の目的、概要等					
保健体育分野の開講科目の主たる目的は、これらの授業の受講をとおしてスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学ぶことである。特に、本授業は受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養並びにメンタルマネジメントについて、それぞれの方法を用いて客観的評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身につけることを第一の目的としている。 また、本授業では様々な身体活動の機会(身体運動文化の実践)をとおして適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に必要な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的である。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の主体的で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件である。					
授業の到達目標(SBOs)					
本授業の最終到達目標には、自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身につけることにある。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、そのひとつめは継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践であり、ふたつめはその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得である。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階として、それらを正しく自己評価する能力が求められる。授業の中でこうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS を用いて評価を実践する。さらに授業における最終段階では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(フィットネスマネジメント)にむけたプランニングが求められる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/15	14:50-16:20		水野 哲也, 林 久仁則, 高岡 英氣	
2	4/22	14:50-16:20		水野 哲也, 林 久仁則, 高岡 英氣	
3	5/6	14:50-16:20		水野 哲也, 林 久仁則, 高岡 英氣	
4	5/13	14:50-16:20		水野 哲也, 林 久仁則, 高岡 英氣	
5	5/20	14:50-16:20		水野 哲也, 林 久仁則, 高岡 英氣	
6	5/27	14:50-16:20		水野 哲也, 林 久仁則, 高岡 英氣	

7	6/3	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
8	6/10	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
9	6/17	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
10	6/24	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
11	7/1	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
12	7/8	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
13	7/15	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
14	7/22	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
15	7/29	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
16	9/30	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
17	10/7	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
18	10/14	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
19	10/21	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
20	10/28	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
21	11/4	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
22	11/11	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣

23	11/18	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
24	11/25	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
25	12/2	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
26	12/9	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
27	12/16	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
28	1/13	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
29	1/20	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣
30	1/27	14:50-16:20		水野 哲也 林 久仁則 高岡 英氣

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されるが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことある。
受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されている。学生は、各学期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められる。

授業内容

最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われる。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球などのスポーツ種目の他に、リラクゼーションプログラムや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されている。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願いしたい。

成績評価の方法

評価: 参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められる。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めて頂きたい。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。

参考書

身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著, 竹中晃二 監訳: 北大路書房, 2000

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計

されている。

参照ホームページ

<http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html>

連絡先

水野 哲也 mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也 毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2階

時間割番号	000820				
科目名	S・フランスとヨーロッパの現代				
担当教員	中島 ひかる				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時限: 月曜2限 対象学科: 全学科 受講資格: フランス語履修者が望ましい 募集人数: 20 名以内 コンピテンシー: 別表3-4) 外国文化を理解する					
授業の目的、概要等					
目的: 主としてフランスの社会・文化に関わる時事問題を通して、ヨーロッパやアフリカも視野に入れながらフランス現代社会の一端を知る。					
概要: フランスで最近話題になった社会現象や、文化的な出来事を取り上げ、その背景となる歴史や地理、社会制度についても理解を深めます。できるだけ直近のニュース報道から、今、話題になっている出来事を取り上げることで、現在のフランスやヨーロッパへの関心を高めます。					
授業の到達目標(SB0s)					
1) フランスやヨーロッパに対する興味を深め、基本的知識を得る。					
2) フランス社会やフランスから見た世界の一端に触れ、社会や文化に対する関心の幅を広げる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/11	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
2	4/18	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
3	4/25	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
4	5/2	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
5	5/9	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
6	5/16	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
7	5/23	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
8	5/30	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
9	6/6	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
10	6/13	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
11	6/20	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
12	6/27	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
13	7/4	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
14	7/11	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	

			室		
15	7/25	10:50-12:20	11 番教 室	中島 ひかる	
授業方法 講義形式で、毎回、最近のフランスのニュース報道から話題になった社会現象や、文化的な出来事について幾つかのトピックスに選んで解説し、その背景となる歴史や地理、社会制度についても触れます。後半は、ニュース報道等から、興味のあるトピックスを自ら選んでいただき、教室で発表して頂く予定です。					
授業内容 昨年扱った Topics の例をあげます。 ・移民問題 ・右翼の躍進 ・バカロレア ・ギリシャ問題 ・フランス国内のムスリム ・農民のストライキ ・ネットとタクシー ・閣僚の国籍 ・フランス軍 ・中等教育改革 ・サッカースキャンダル ・中国人観光客の増加					
成績評価の方法 評価: 試験(期末考査)0%・レポート 80 %・ その他 20 % (授業中の質疑応答、発表等) 再評価: 無 おもに期末レポートで評価しますが、授業中の質疑応答による参加度も一部考慮します。 期末レポートは、フランスやヨーロッパの文化や出来事について、自分でテーマを選んで作成して頂きます。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 取り上げるトピックスについては、できる範囲で自分でも情報を収集し、日本社会や文化との差について考えておいて下さい。授業中にコメントや考えを述べてもらう機会を設けます。					
試験の受験資格 3 分の 2 以上に出席したものにレポート提出資格を与える。					
他科目との関連 ヨーロッパの社会や文化に興味があって、積極的にニュースに触れようという意欲があれば、フランス語選択者以外も選択できます。授業中は教員が日本語で解説しますが、テキストにはフランス語も含まれますので、フランス語選択者は、時事問題のフランス語の表現に興味を持って頂けるとフランス語への理解も深まります。					
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。					
連絡先 nakashima.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室					

時間割番号	000813				
科目名	S・英文史料を読む/ヨーロッパのナショナリズム				
担当教員	高尾 千津子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
授業の目的、概要等					
近代ヨーロッパのナショナリズムを扱った英文のテキストを読む					
授業の到達目標(SB0s)					
ナショナリズムにかんする英文テキストを読み、現代のナショナリズムや民族問題を理解する上で基本的な知識を習得する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/11	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
2	4/18	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
3	4/25	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
4	5/2	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
5	5/9	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
6	5/16	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
7	5/23	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
8	5/30	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
9	6/6	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
10	6/13	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
11	6/20	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
12	6/27	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
13	7/4	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
14	7/11	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
15	7/25	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
授業方法					
ナショナリズムの歴史に関する基本的なことがらを講義したうえで、近代のナショナリズムをめぐる様々な問題: ネーションの概念、ヨーロッパの民族意識の覚醒、アイルランドのナショナリズム、反ユダヤ主義とナチズム、植民地主義とアラブナショナリズムなどを論じたテキストから、いくつかを選んで読んでいく。					
授業内容					
第1回 ガイダンス					
第2回 ナショナリズムについて 1					
第3回 ナショナリズムについて 2					
第4回 テキスト読解と討論					
第5回 テキスト読解と討論					
第6回 テキスト読解と討論					
第7回 テキスト読解と討論					
第8回 テキスト読解と討論					
第9回 テキスト読解と討論					
第10回 テキスト読解と討論					
第11回 テキスト読解と討論					
第12回 テキスト読解と討論					
第13回 テキスト読解と討論					
第14回 テキスト読解と討論					
第15回 まとめ					
成績評価の方法					
評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(平常点 討論への参加、テキストの理解) 100 %					
再評価: 有(再評価方法 レポート)					

成績評価を受けるためには3分の2以上の出席を必要とする。
準備学習などについての具体的な指示 毎回テキストの指定箇所を読み、準備しておくこと。
教科書 Clive J. Christie, Race and Nation, London, 1998. 受講者にはテキストをプリントして配布する。
参考書 国民国家とナショナリズム／谷川稔 著,：山川出版社, 1999 民族とネーション：ナショナリズムという難問／塩川伸明 著,：岩波書店, 2008
連絡先 takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 12:30～13:30

時間割番号	000821																																																																										
科目名	S・漢文講読																																																																										
担当教員	土佐 朋子																																																																										
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1																																																																						
・曜日・時間: 月曜 2 限 ・募集人数: 10 名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテシー) 別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る																																																																											
授業の目的、概要等 志怪小説・唐代伝奇を読みながら、日中の現代ホラーの源泉の一つである古代中国文学に対する理解を深めるとともに、漢文訓読の能力を向上させることを目指す。 志怪小説とは、魏晉南北朝を中心に記録された怪異譚であり、唐代伝奇はそれが発展した怪奇小説である。 これらは、日本にも 9 世紀までには確実に伝来し、享受されてきた。それらを土台とした作品が、今昔物語などの古典作品に見られるだけでなく、芥川龍之介『杜子春』や中島敦『山月記』などの近代以降の文学にも継承されている。 中国志怪小説・唐代伝奇を読むことを通して、現代に至るまで継承される怪異譚の源流のありようを考える。また、それらを土台として成立した日本の作品も、比較対照させながら読んでいきたい。																																																																											
授業の到達目標(SB0s) ①漢文訓読の技術を身につけ、できるだけ高いレベルに到達すること。 ②中国志怪・唐代伝奇に対する知識を身につけ、理解を深めること。 ③文化の継承と創造に対する考えを深めること。																																																																											
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/11</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>2</td><td>4/18</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>3</td><td>4/25</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>4</td><td>5/2</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>5</td><td>5/9</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>6</td><td>5/16</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>7</td><td>5/23</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>8</td><td>5/30</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>9</td><td>6/6</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>10</td><td>6/13</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>11</td><td>6/20</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>12</td><td>6/27</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>13</td><td>7/4</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/11	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子	2	4/18	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子	3	4/25	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子	4	5/2	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子	5	5/9	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子	6	5/16	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子	7	5/23	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子	8	5/30	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子	9	6/6	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子	10	6/13	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子	11	6/20	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子	12	6/27	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子	13	7/4	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																							
1	4/11	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子																																																																							
2	4/18	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子																																																																							
3	4/25	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子																																																																							
4	5/2	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子																																																																							
5	5/9	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子																																																																							
6	5/16	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子																																																																							
7	5/23	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子																																																																							
8	5/30	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子																																																																							
9	6/6	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子																																																																							
10	6/13	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子																																																																							
11	6/20	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子																																																																							
12	6/27	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子																																																																							
13	7/4	10:50-12:20	10 番教室	土佐 朋子																																																																							

			室		
14	7/11	10:50-12:20	10 番教 室	土佐 朋子	
15	7/25	10:50-12:20	10 番教 室	土佐 朋子	
授業方法 演習形式。					
授業内容 第 1 回 オリエンテーション 第 2～5 回 『搜神記』演習。 第 6～8 回 『搜神後記』演習。 第 9～11 回 『幽明録』演習。 第 12～14 回 『唐代伝奇』『剪灯新話』演習。 第 15 回 まとめ					
成績評価の方法 評価:試験 0%・レポート 50% その他 50%(演習の準備・発表内容・質疑応答への参加度等) 50% 再評価:無					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習などについての具体的な指示 毎回、訓読と解釈を行う。漢和辞典をひきながら、自分で漢文を訓む力が身につくよう、努力する。次回あてられそうな箇所については、事前に準備をすることを勧める。					
試験の受験資格 レポート提出には、原則として 3 分の 2 以上の出席が必要。					
教科書 中国志怪・伝奇選／近藤春雄:武蔵野書院					
参考書 唐代伝奇(新釈漢文大系)／内田泉之助ほか:明治書院 :中央公論社, 1993 :筑摩書房 :講談社, 1987 漢和辞典(手元にあるものでよい。電子辞書で OK)。					
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。 出欠管理システムに打刻されていても、教員がとった出欠に出席記録がない場合には、欠席扱いになります。 レポートにおいて、剽竊、無断引用などが見られた場合には原則として「不可」とする。					
連絡先 tosa.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50 管理研究棟 2 階文学研究室					

時間割番号	000847				
科目名	S・英語文献講読				
担当教員	田中 智彦				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
◇ 曜日・時間: 月曜 2 限					
◇ 対象学科: 全学科					
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)					
別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する					
別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る					
別表 1-7) 人間の心への理解を深める					
授業の目的、概要等					
この授業では、20 世紀の哲学者ガダマーが医学・医療、生と死、健康と病などのテーマを論じた論文集 Hans-Georg Gadamer, The Enigma of Health: The Art of Healing in a Scientific Age, translated. by J.Gaiger and N.Walker (Polity Press, 1996) からいくつかの論文をとりあげ、精読してゆきます。					
英語の文献を適切に読解することはもちろん、そこで論じられているテーマについて洞察を深めることが目的です。授業はセミナー形式で行います。					
授業の到達目標(SB0s)					
(1) 人文社会科学系の英語学術論文を適切に読解する基礎をすること。					
(2) 医学・医療に関係するさまざまな論点について理解を深めること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/11	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
2	4/18	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
3	4/25	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
4	5/2	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
5	5/9	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
6	5/16	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
7	5/23	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
8	5/30	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
9	6/6	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
10	6/13	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
11	6/20	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
12	6/27	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
13	7/4	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
14	7/11	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
15	7/25	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
授業方法					
セミナー形式で行います。担当者(受講者の中から指名)が作成した訳文をもとに読み進めてゆくと同時に、そこで提示される論点について折々に議論をし、テーマへの理解を深めてゆきます。					
授業内容					
The Enigma of Health 所収の論文からまずは Authority and Critical Freedom をとりあげ、精読してゆきます。他にもう 1, 2 本は読みたいと考えています。					
成績評価の方法					
◇評価: 授業へのコミットメント(訳文の作成、議論への参加など) 80%					
その他 20%(出席状況、コメントシートへの回答など)					
◇再評価: 有(試験もしくはレポート)					
成績評価の基準					

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示 (1)担当者であるかないかにかかわらず、毎回必ず各自で訳文を作成して授業に臨むこと。 (2)各回に学んだことを、次回の訳文作成や内容理解に反映させるよう試みること。
試験の受験資格 ◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則 3 分の 2 以上の出席
教科書 授業で用いる論文はコピーして配布します。
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介します。
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。
連絡先 tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 12:30～13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室

時間割番号	000856				
科目名	S・基礎力学				
担当教員	越野 和樹				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
・曜日・時間: 月曜5限 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2－1) 別表4－2)					
授業の目的、概要等					
ボールの運動から太陽のまわりを回る惑星の運動にいたるまで、我々の身の回りで見られる殆どの運動は、17世紀にニュートンによりまとめられた「ニュートン力学」によって定量的に説明できます。ニュートン力学によれば、運動方程式や万有引力の法則などの数個の基本法則に基づいて、あらゆる物理現象を統一的かつ定量的に説明することができます。また、基本法則を発展させることによって、エネルギー保存のような新しい概念を導出することができます。力学を学ぶことによって、物体の運動の基本法則を知ると同時に、基本法則に基づいて物理現象を理解しようとする考え方や、基本法則をどのように具体的事象に適用してゆくかを学びます。具体的には、(i)物体の運動が微分方程式という言葉で表現されること、(ii)基本方程式から様々な保存則が導かれること、(iii)それらを適用して実際の物体の運動を予言すること、を学びます。 物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に数多くの演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。					
授業の到達目標(SBOs)					
ニュートン力学の提供する世界観を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には、 － 物体の運動が微分方程式という言葉で表現されることを理解する。 － 基本方程式から様々な保存則を導出する。 － 運動方程式や保存則を適用して実際の物体の運動を予言できるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/11	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹	
2	4/18	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹	
3	4/25	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹	
4	5/2	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹	
5	5/9	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹	
6	5/16	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹	
7	5/23	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹	
8	5/30	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹	
9	6/6	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹	
10	6/13	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹	
11	6/20	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹	
12	6/27	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹	
13	7/4	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹	
14	7/11	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹	
15	7/25	16:30-18:00	7 番教室	越野 和樹	
授業方法					
講義による					
授業内容					
運動と力／さまざまな力／エネルギー保存則・運動量保存則／さまざまな運動					
成績評価の方法					
評価: 試験(期末考査)90%・その他10%					

再評価:有(再試験)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 講義資料をあらかじめダウンロードし(URLは別途指示)印刷しておくことを前提とする.
参考書 : 中経出版
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる.

時間割番号	000303				
科目名	S・メンタルトレーニング				
担当教員	谷木 龍男				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間:水曜4限					
受講資格:メンタルトレーニングに興味・関心があり,トレーニングを継続し,スキルを習得すること					
なんらかのスポーツあるいは競技(competition)経験を有し,現在もスポーツあるいは競技を継続していることが望ましい					
募集人数:20名					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1ー7), 1ー8)					
授業の目的、概要等					
スポーツに限らず,身心のコンディショニングを調え,優れたパフォーマンスを発揮するためには,心・技・体の調和のとれた発達が不可欠です。メンタルトレーニングとは,様々な心理的スキルをスポーツ選手の心を鍛える方法として体系化したものですが,今日では,スポーツ領域に留まらず,医療領域,教育領域など,様々な領域に応用されています。本授業では,講義形式でスポーツ心理学やメンタルトレーニングの理論と実践方法を学び,実習形式で心理的スキル技法を練習・習得します。					
授業の到達目標(SB0s)					
基本的な心理的スキル技法を習得し,日常生活の様々な場面で応用できるようになることを目指します。特に,自律訓練法の標準練習はしっかりと練習・習得をします。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/14	14:50-16:20	9 番教室	谷木 龍男	
2	4/21	14:50-16:20	9 番教室	谷木 龍男	
3	4/28	14:50-16:20	9 番教室	谷木 龍男	
4	5/12	14:50-16:20	9 番教室	谷木 龍男	
5	5/19	14:50-16:20	9 番教室	谷木 龍男	
6	5/26	14:50-16:20	9 番教室	谷木 龍男	
7	6/2	14:50-16:20	9 番教室	谷木 龍男	
8	6/9	14:50-16:20	9 番教室	谷木 龍男	
9	6/16	14:50-16:20	9 番教室	谷木 龍男	
10	6/23	14:50-16:20	9 番教室	谷木 龍男	
11	6/30	14:50-16:20	9 番教室	谷木 龍男	
12	7/7	14:50-16:20	9 番教室	谷木 龍男	
13	7/14	14:50-16:20	9 番教室	谷木 龍男	
14	7/21	14:50-16:20	9 番教室	谷木 龍男	
15	7/28	14:50-16:20	9 番教室	谷木 龍男	
授業方法					
スポーツ心理学やメンタルトレーニングの基礎的な知識を講義した後,実際にその技法を練習します。練習・習得状況について発表を課します。					
授業内容					
1. ガイダンス					
2. メンタルトレーニングとは何か? 自己への気づき1(質問紙法)					
3. リラクセーション					
4. 自己への気づき2(投影法)					
5. 自己への気づき3(エゴグラム)					
6. イメージの基礎					
7. 過去のイメージ1(ピークパフォーマンス分析)					
8. 過去のイメージ2(人生曲線)					
9. 未来のイメージ1(人生曲線)					
10. 未来のイメージ2(目標設定)					

11. セルフトーク 12. セルフ・コンパッション 13. エンカウンター 14. アスリートの心理的問題とスポーツカウンセリング 15. 総括
成績評価の方法 評価：試験 50% ・ レポート 50% ・ その他(受講態度) 50% 再評価: 無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 メンタルトレーニングの練習及び練習記録の提出
教科書 ・スポーツメンタルトレーニング教本改訂増補版 日本スポーツ心理学会編, 2005, 大修館書店.
参考書 ・アスリートの心理臨床—スポーツカウンセリング, 中込四郎, 2004, 道和書院. ・スポーツカウンセリング入門, 内田直, 2011, 講談社. ・自律訓練法改訂版, 松岡洋一・松岡素子, 2009, 日本評論社.
履修上の注意事項 ・出欠管理システムを優先する。 ・出欠管理システムへの登録を失念したなどの場合は当該授業中に速やかに申し出ること。

時間割番号	000308				
科目名	S・離散構造講義				
担当教員	徳永 伸一				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間:水曜 4-5 限(第 1・第 3 週を除く)					
対象学科・専攻:全学科					
授業の目的、概要等					
「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」といい、離散数学が扱う対象を総称して「離散構造」と呼びます。離散構造のうち最も基本的かつ重要な構造の1つが「グラフ」(中学・高校で習う「関数のグラフ」とは異なる概念)であり、これを研究対象とする分野が「グラフ理論」です。たとえば「すべての地図は4色で色分けできる」という有名な「4色定理」は、グラフ理論の言葉では「すべての平面的グラフは 4-彩色可能」と言い換えることができます。4色定理の証明は長大ですが、その基本的なアイデアや興味深い一般化は、複雑な数式等は用いずに誰でも理解することができます。					
本科目では4色定理を始めとする、グラフ理論およびその周辺のトピックをいくつか取り上げて解説し、それらを通じて、数式を伴わない数学的論理を、正確に理解し考察する能力を身に付けることを目的とします。					
数学好きな人はもちろん、「これまで学校で習ってきた数学はあまり好きではない・得意ではない」という人にこそ、お勧めしたい科目です。					
授業の到達目標(SB0s)					
4色定理やグラフ理論のいくつかの基本的な定理について、その背景や証明のアイデアを理解し、関連する問題、一般化された問題について考察する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/13	14:50-16:20	6 番教室	徳永 伸一	
2	4/13	16:30-18:00	6 番教室	徳永 伸一	
3	4/27	14:50-16:20	6 番教室	徳永 伸一	
4	4/27	16:30-18:00	6 番教室	徳永 伸一	
5	5/11	14:50-16:20	6 番教室	徳永 伸一	
6	5/11	16:30-18:00	6 番教室	徳永 伸一	
7	5/25	14:50-16:20	6 番教室	徳永 伸一	
8	5/25	16:30-18:00	6 番教室	徳永 伸一	
9	6/8	14:50-16:20	6 番教室	徳永 伸一	
10	6/8	16:30-18:00	6 番教室	徳永 伸一	
11	6/22	14:50-16:20	6 番教室	徳永 伸一	
12	6/22	16:30-18:00	6 番教室	徳永 伸一	
13	7/13	14:50-16:20	6 番教室	徳永 伸一	
14	7/13	16:30-18:00	6 番教室	徳永 伸一	
15	7/27	14:50-16:20	6 番教室	徳永 伸一	
16	7/27	16:30-18:00	6 番教室	徳永 伸一	
授業方法					
講義と演習による。					
授業内容					
以下のトピック(予定)について順次解説し、簡単な演習問題を考えます。 ・グラフの基礎概念 ・一筆描き問題、ハミルトン問題 ・ドミノ敷き詰め問題、結婚定理 ・美術館問題 ・4色定理とその一般化、周辺の問題					

成績評価の方法

授業への出席、授業中に行う演習、小テスト等により行います。また欠席数等に応じ、評価の不足を補うためのレポートや試験を課することがあります。

準備学習などについての具体的な指示

事前の予備知識等は必要ありませんが、授業は段階的に進めていきますので、各回の復習をしっかりと行ってください。

参考書

グラフ理論(増補改訂版)／恵羅博, 土屋守正 著, 産業図書, 2010

グラフ理論／R.ディーステル 著, 根上生也, 太田克弘 訳, シュプリンガー・フェアラーク東京, 2000

幾何学的グラフ理論／前原潤, 根上生也 著, 朝倉書店, 1992

離散構造／根上生也 著, 共立出版, 1993

連絡先

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

* 計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

時間割番号	000306																																																																																									
科目名	R・講義と実習によるバイオサイエンス 1																																																																																									
担当教員	服部 淳彦																																																																																									
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1																																																																																					
・曜日・時間: 水曜日4・5限(第1・3週を除く) ・対象学科・専攻: 医学・歯学・検査学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2ー1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。 2ー5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる力を養う。																																																																																										
授業の目的、概要等 この科目は、バイオサイエンス 1(前期)と2(後期)を合わせて完結する実習セミナー系の科目である。この科目では、 1) 現代のバイオサイエンスの研究で用いられている新しい手法の原理を学ぶ。 2) また、英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み、その内容をレジュメにまとめて、それぞれ発表してもらう。 3) 次に、それらの技術の一部を用いた実験を実際に行う。 4) さらにその発展バージョンとして、自由にテーマを設定し、実験のプランニングをし、そのプランに従った実験を実際に行い、結果を発表、ミニ卒論(論文形式)の形にまとめてもらう。 したがって、実験を行う日は、5時限以降にずれ込むこともあるので、そのつもりでいてほしい。																																																																																										
授業の到達目標(SB0s) 将来研究者になるために必要な基本的なものの考え方や技術を修得する。																																																																																										
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/13</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>2</td><td>4/13</td><td>16:30-18:00</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>3</td><td>4/27</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>4</td><td>4/27</td><td>16:30-18:00</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>5</td><td>5/11</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>6</td><td>5/11</td><td>16:30-18:00</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>7</td><td>5/25</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>8</td><td>5/25</td><td>16:30-18:00</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>9</td><td>6/8</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>10</td><td>6/8</td><td>16:30-18:00</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>11</td><td>6/22</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>12</td><td>6/22</td><td>16:30-18:00</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>13</td><td>7/13</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>14</td><td>7/13</td><td>16:30-18:00</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>15</td><td>7/27</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>16</td><td>7/27</td><td>16:30-18:00</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦	2	4/13	16:30-18:00	7 番教室	服部 淳彦	3	4/27	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦	4	4/27	16:30-18:00	7 番教室	服部 淳彦	5	5/11	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦	6	5/11	16:30-18:00	7 番教室	服部 淳彦	7	5/25	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦	8	5/25	16:30-18:00	7 番教室	服部 淳彦	9	6/8	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦	10	6/8	16:30-18:00	7 番教室	服部 淳彦	11	6/22	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦	12	6/22	16:30-18:00	7 番教室	服部 淳彦	13	7/13	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦	14	7/13	16:30-18:00	7 番教室	服部 淳彦	15	7/27	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦	16	7/27	16:30-18:00	7 番教室	服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																						
1	4/13	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																						
2	4/13	16:30-18:00	7 番教室	服部 淳彦																																																																																						
3	4/27	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																						
4	4/27	16:30-18:00	7 番教室	服部 淳彦																																																																																						
5	5/11	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																						
6	5/11	16:30-18:00	7 番教室	服部 淳彦																																																																																						
7	5/25	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																						
8	5/25	16:30-18:00	7 番教室	服部 淳彦																																																																																						
9	6/8	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																						
10	6/8	16:30-18:00	7 番教室	服部 淳彦																																																																																						
11	6/22	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																						
12	6/22	16:30-18:00	7 番教室	服部 淳彦																																																																																						
13	7/13	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																						
14	7/13	16:30-18:00	7 番教室	服部 淳彦																																																																																						
15	7/27	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																						
16	7/27	16:30-18:00	7 番教室	服部 淳彦																																																																																						
授業方法 主に、論文紹介と実験による。																																																																																										
授業内容 1. 本年度のテーマに沿った内容の講義(前期) 2. 英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み、その内容をレジュメにまとめて発表(前期) 3. 研究に必要な実験の基本テクニックを習得(前期・夏休み) 4. テーマを設定し(夏休み)、独自の実験計画を立て、実際に実験を行う(後期) 5. 結果をパワーポイントにまとめて発表し、ミニ卒論としてまとめる(後期) * 少人数セミナー形式の授業なので、希望者が多い場合は、申し訳ないが人数を絞らせていただく。																																																																																										

成績評価の方法

評価: その他 100%

内容を発表してもらう英語論文に関するプレゼンテーションやディスカッションの様子, さらに, 実際に行った研究(実験)の内容やミニ卒論などから総合的に判断する。

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

渡された英語の論文は早めに読んでおくこと。また, レジユメにまとめる内容に関しては事前に相談に来ること。

教科書

参考論文などは, 随時紹介する。

連絡先

ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000335																																																										
科目名	S・計算機による数学																																																										
担当教員	中口 悦史																																																										
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1																																																						
曜日・時限:水曜日4・5時限(第1・3水曜日を除く) 募集人数:15名程度 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2-2), 4-3), 4-4)																																																											
授業の目的、概要等 数学や統計学は、自然科学や社会科学など諸分野に現れる様々な問題を解決するために非常に有益な道具を与えてくれるが、現実の問題は非常に大規模で複雑であることが多く、どうしても計算機(コンピュータ、電卓)に頼らざるを得ない。しかし無闇に頼るだけでは、適切な結果が得られたかどうかすら分からなくなるものである。この授業では、計算機を用いた数学問題の解決方法について理解することを目的として、基本的な数値計算法を取り上げ、計算機による処理の手順や注意点を学ぶ。																																																											
授業の到達目標(SB0s) 問題解決における計算機の役割と限界を理解する。																																																											
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>担当教員</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1-2</td><td>4/13</td><td>14:50-18:00</td><td>2 番教室</td><td>第1回</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>3-4</td><td>4/27</td><td>14:50-18:00</td><td>2 番教室</td><td>第2回</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>5-6</td><td>5/11</td><td>14:50-18:00</td><td>2 番教室</td><td>第3回</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>7-8</td><td>5/25</td><td>14:50-18:00</td><td>2 番教室</td><td>第4回</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>9-10</td><td>6/8</td><td>14:50-18:00</td><td>2 番教室</td><td>第5回</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>11-12</td><td>6/22</td><td>14:50-18:00</td><td>2 番教室</td><td>第6回</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>13-14</td><td>7/13</td><td>14:50-18:00</td><td>2 番教室</td><td>第7回</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>15-16</td><td>7/27</td><td>14:50-18:00</td><td>2 番教室</td><td>第8回</td><td>中口 悦史</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-2	4/13	14:50-18:00	2 番教室	第1回	中口 悦史	3-4	4/27	14:50-18:00	2 番教室	第2回	中口 悦史	5-6	5/11	14:50-18:00	2 番教室	第3回	中口 悦史	7-8	5/25	14:50-18:00	2 番教室	第4回	中口 悦史	9-10	6/8	14:50-18:00	2 番教室	第5回	中口 悦史	11-12	6/22	14:50-18:00	2 番教室	第6回	中口 悦史	13-14	7/13	14:50-18:00	2 番教室	第7回	中口 悦史	15-16	7/27	14:50-18:00	2 番教室	第8回	中口 悦史
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																						
1-2	4/13	14:50-18:00	2 番教室	第1回	中口 悦史																																																						
3-4	4/27	14:50-18:00	2 番教室	第2回	中口 悦史																																																						
5-6	5/11	14:50-18:00	2 番教室	第3回	中口 悦史																																																						
7-8	5/25	14:50-18:00	2 番教室	第4回	中口 悦史																																																						
9-10	6/8	14:50-18:00	2 番教室	第5回	中口 悦史																																																						
11-12	6/22	14:50-18:00	2 番教室	第6回	中口 悦史																																																						
13-14	7/13	14:50-18:00	2 番教室	第7回	中口 悦史																																																						
15-16	7/27	14:50-18:00	2 番教室	第8回	中口 悦史																																																						
授業方法 板書による講義と、電卓を用いた演習を交えながら授業を進める。																																																											
授業内容 はじめに、計算機で数値を扱うための基礎知識として、数の種類、数の計算機内部での表現形式、有効桁数等について学ぶ。次いで、電卓の機能と性能を調べ、関数計算機能やメモリ機能について知る。その後、数学や統計学の基本的な問題を電卓を用いて解くことを体験し、解法の手順やアルゴリズムについて学習する。																																																											
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 50% ・ その他(授業中の演習) 50% 再評価: 無 期末試験に代えてレポートを課す。																																																											
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による																																																											
準備学習などについての具体的な指示 高校数学・統計学の内容をよく復習して臨むこと。																																																											
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに、出席回のコメントシートの提出。																																																											
教科書 特に指定しない。適宜プリント等を配布する。																																																											
参考書 理系人のための関数電卓パーフェクトガイド／遠藤雅守 著,:とりい書房, 2013 数値計算／洲之内治男 著,:サイエンス社, 2002 初等数値解析／D.G.モースト, C.S.デュリス 著, 村上温夫 訳:共立全書, 1975 いかにして問題をとくか／G.ポリア 著, 柿内賢信 訳:丸善株式会社出版事業部, 1999 絶版の参考書																																																											

- ・ 吉村勝夫, 末次信義『関数電卓 入門と活用』日本経営出版会, 1977 年初版。

履修上の注意事項

- ・ 電卓必携。電卓の機能・性能は問わない(この授業に限りスマホ等の電卓機能でも構わない)。可能であれば関数電卓と普通電卓(ただしメモリ機能と平方根計算が使えるもの)の2台を持参するのが望ましい。
- ・ 出欠確認は出欠管理システムと, 各回のコメントシート提出を併用する。

連絡先

nakagutilas@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水・金 12:00~13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000850				
科目名	S・物理実験学入門				
担当教員	檜枝 光憲				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間:水曜日4・5限(第1・3週を除く)					
対象学科:検査技術学専攻、口腔保健衛生学専攻、口腔保健工学専攻					
受講資格:検査技術学については特に制限無し					
口腔保健衛生学・口腔保健工学については「基礎力学」を履修する者に限る					
募集人数:10人					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)別表2－2)別表4－2)					
授業の目的、概要等					
この授業は学生自身が主体的に実験を行うことに重点をおき、物理量の測定や現象の観察を自ら行うことにより、その背景にある物理法則についての理解を深め、基本的な測定方法と原理、各種測定機器の使用法などの実験技術を習得することを目的としている。同時に、実験に関連した講義と演習を行ってデーター処理、レポートの書き方などについても学習する。					
授業の到達目標(SB0s)					
講義形式のみの授業では得られない物理学の知識を実験演習形式で学び、それぞれの専門分野のための基礎学力を身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/13	14:50-16:20	物理学実験室	檜枝 光憲	
2	4/13	16:30-18:00	物理学実験室	檜枝 光憲	
3	4/27	14:50-16:20	物理学実験室	檜枝 光憲	
4	4/27	16:30-18:00	物理学実験室	檜枝 光憲	
5	5/11	14:50-16:20	物理学実験室	檜枝 光憲	
6	5/11	16:30-18:00	物理学実験室	檜枝 光憲	
7	5/25	14:50-16:20	物理学実験室	檜枝 光憲	
8	5/25	16:30-18:00	物理学実験室	檜枝 光憲	
9	6/8	14:50-16:20	物理学実験室	檜枝 光憲	
10	6/8	16:30-18:00	物理学実験室	檜枝 光憲	
11	6/22	14:50-16:20	物理学実験室	檜枝 光憲	
12	6/22	16:30-18:00	物理学実験室	檜枝 光憲	
13	7/13	14:50-16:20	物理学実験室	檜枝 光憲	
14	7/13	16:30-18:00	物理学実験室	檜枝 光憲	
15	7/27	14:50-16:20	物理学実験室	檜枝 光憲	

16	7/27	16:30-18:00	物理学実験室	檜枝 光憲	
授業方法					
主に演習形式とする					
授業内容					
・重力加速度の測定(ボルダーの振り子) ・オシロスコープを使った電気信号の測定 ・レンズ ・液体窒素を使った物性測定(超伝導体、磁性体の相転移など)					
他					
成績評価の方法					
評価：レポート 60%、その他(平常点) 40%					
再評価：無					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
授業までに資料に一通り目を通しておくこと。					
教科書					
こちらで用意した実験資料を配布する。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。					
連絡先					
hieda.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週月曜 11:00～13:00 ヒポクラテス 4 階					

時間割番号	000851				
科目名	S・分子の構造とプレゼンテーション				
担当教員	大塚 淳				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
・曜日・時間:水曜 3・4 時限(第 1・3 水曜を除く)					
・対象学科:全学科					
募集人数:15 名					
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
別表2ー1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る					
別表4ー2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける					
授業の目的、概要等					
医歯学を支える生命科学を学ぶ上で、分子の立体構造を知ることは大きなアドバンテージとなります。この授業では低分子化合物(代謝物、生理活性物質など)から生体高分子(タンパク質、糖鎖、核酸など)までを対象とし、分子の立体構造に関わる基礎的な知識を身につけ、また、ソフトウェアを用いて立体構造図を作成する方法を身につけてもらいます。立体視の概念やカラーユニバーサルデザインについても、基本的な部分を解説します。					
授業の到達目標(SBOs)					
生命科学において重要な物質の立体構造を理解する能力と、それらを適切な描画方法によってプレゼンする能力を身につけてもらいます。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/13	14:50-16:20	10 番教室	大塚 淳	
2	4/13	16:30-18:00	10 番教室	大塚 淳	
3	4/27	14:50-16:20	10 番教室	大塚 淳	
4	4/27	16:30-18:00	10 番教室	大塚 淳	
5	5/11	14:50-16:20	10 番教室	大塚 淳	
6	5/11	16:30-18:00	10 番教室	大塚 淳	
7	5/25	14:50-16:20	10 番教室	大塚 淳	
8	5/25	16:30-18:00	10 番教室	大塚 淳	
9	6/8	14:50-16:20	10 番教室	大塚 淳	
10	6/8	16:30-18:00	10 番教室	大塚 淳	
11	6/22	14:50-16:20	10 番教室	大塚 淳	
12	6/22	16:30-18:00	10 番教室	大塚 淳	
13	7/13	14:50-16:20	10 番教室	大塚 淳	
14	7/13	16:30-18:00	10 番教室	大塚 淳	

15	7/27	14:50-16:20	10 番教 室	大塚 淳
16	7/27	16:30-18:00	10 番教 室	大塚 淳

授業方法 全8回の講義を予定していて、各回とも2コマ続きの授業となります。 生体分子の基礎と生体高分子向けのコンピューター・グラフィックス・ソフトウェアの使い方を解説します。 また、学術論文等に掲載されている図を手本にして、分子の立体構造図を作成してもらいます。 最終回には、受講者全員がプレゼンテーションを行います。
成績評価の方法 評価：その他(発表内容、授業への参加度) 100% 再評価：有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 講義内容を復習し、発表課題等に取り組む。
試験の受験資格 2/3 以上出席したものに、発表の資格を与える。
履修上の注意事項 図書館のタブレット PC を使用することを予定しています。受講者が PC を持ち込むことも可能です。
連絡先 ohtsuka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 PM.12:00-PM.1:00 ヒポクラテスホール4階

時間割番号	000305				
科目名	R・整数論				
担当教員	清田 正夫				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時限: 金曜日 1 時限 募集人数: 10人以下 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 2-4)					
授業の目的、概要等					
英文テキストを用いて、ゼミ形式で初等整数論を学ぶ。					
授業の到達目標(SB0s)					
整数論における基本的定理の内容と証明を理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/15	09:10-10:40	3 番教室	清田 正夫	
2	4/22	09:10-10:40	3 番教室	清田 正夫	
3	5/6	09:10-10:40	3 番教室	清田 正夫	
4	5/13	09:10-10:40	3 番教室	清田 正夫	
5	5/20	09:10-10:40	3 番教室	清田 正夫	
6	5/27	09:10-10:40	3 番教室	清田 正夫	
7	6/3	09:10-10:40	3 番教室	清田 正夫	
8	6/10	09:10-10:40	3 番教室	清田 正夫	
9	6/17	09:10-10:40	3 番教室	清田 正夫	
10	6/24	09:10-10:40	3 番教室	清田 正夫	
11	7/1	09:10-10:40	3 番教室	清田 正夫	
12	7/8	09:10-10:40	3 番教室	清田 正夫	
13	7/15	09:10-10:40	3 番教室	清田 正夫	
14	7/22	09:10-10:40	3 番教室	清田 正夫	
15	7/29	09:10-10:40	3 番教室	清田 正夫	
授業方法					
学生一人ひとりに下記テキストの一章節(3、4ページ)を割り当て、十分時間をかけてレジュメを作成してもらい、その内容を他の学生にわかるように黒板を用いて解説してもらう。 本文のみならず、章末問題の解答、解説も学生自身にやってもらう。					
授業内容					
第1回—第2回 整数の公理と数学的帰納法 第3回—第4回 整除性と素因数分解の一意性 第5回—第7回 整数の合同と合同類群 第8回—第11回 フェルマーの定理とオイラーの定理 第12回—第15回 二次剰余の相互法則					
成績評価の方法					
評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他 100% 出席と発表の回数および、発表のやり方、内容の理解度等により評価する。 再評価: 無					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
レジュメ作成の際は、テキストを時間をかけてじっくり読み込み、その数学的内容を簡潔にまとめること。					
教科書					

Number Theory for Beginners

Andre Weil

ISBN 13: 9780387903811

Publisher: Springer Verlag

Publication Date: 1979

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。

連絡先

kiyota.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日、木曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階数学研究室(清田)

時間割番号	000312																																																																																				
科目名	S・水の科学																																																																																				
担当教員	奈良 雅之																																																																																				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
・曜日・時間: 金曜1時限 ・対象学科: 全学科 ・募集人数: 25 名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2－4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける 別表2－5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う																																																																																					
授業の目的、概要等 水に対する世間の関心が高いことはご存じのことでしょう。例えば、水道水に対する不安、不満、嗜好飲料に対するブランド志向などからミネラルウォーターが一般家庭の中で定着しています。また、十分な科学的な根拠なしに、水に新しい機能を求める風潮がありますし、本屋の棚には「水で病気が治った?」といった怪しげな本も見受けられます。日常生活の中で当たり前としてとらえがちな「水」ですが、実は非常に複雑で奥が深く、なかなか一筋縄で理解できるものではありません。そこで、「水」に関するテーマを科学的な視点はもちろん、社会的な視点からも眺めることにより、その広さと深さを勉強します。																																																																																					
授業の到達目標(SBOs) 1. 水、水溶液を科学的な視点で理解できる。 2. 「水」に関連する興味のあるテーマについて、自分で調べてプレゼンテーションを行うことができる。																																																																																					
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/15</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>4/22</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>5/6</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>5/13</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>5/20</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>5/27</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>7</td><td>6/3</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>8</td><td>6/10</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>9</td><td>6/17</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>10</td><td>6/24</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>11</td><td>7/1</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>12</td><td>7/8</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>13</td><td>7/15</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>14</td><td>7/22</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>15</td><td>7/29</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/15	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	2	4/22	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	3	5/6	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	4	5/13	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	5	5/20	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	6	5/27	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	7	6/3	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	8	6/10	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	9	6/17	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	10	6/24	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	11	7/1	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	12	7/8	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	13	7/15	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	14	7/22	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	15	7/29	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/15	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
2	4/22	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
3	5/6	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
4	5/13	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
5	5/20	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
6	5/27	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
7	6/3	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
8	6/10	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
9	6/17	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
10	6/24	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
11	7/1	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
12	7/8	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
13	7/15	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
14	7/22	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
15	7/29	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
授業方法 教員による講義の部分ではできるだけ少なくてし、受講者が積極的に参加するように、輪読、グループ学習、発表会など能動学習を設けます。特に、机上の議論だけでなく、「どの水がうまいか?」「どの水を使うと、おいしいコーヒーが飲めるか?」など実際に比較実験を行う(自分の舌で確かめる)ことにより、朝の眠気を吹き飛ばすようにしたいと思います。																																																																																					
授業内容 1.ガイダンス 2.水に関する講義 3.水・水溶液に関連する文献の輪読 4.ミネラルウォーターの試飲会 and/or コーヒーの試飲会 5. 水に関する簡単な実験(←実験希望者を対象) 6.報告会 など																																																																																					
成績評価の方法																																																																																					

評価:出席・授業への貢献度(40 点)、プレゼンテーション(20 点)、レポート(40 点)を総合して評価します。 再評価:無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 新聞記事、インターネットなどから水に関する情報を収集してください。
試験の受験資格 期末考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
教科書 水を科学する／川瀬義矩 著.:東京電機大学出版局, 2011
参考書 水の話・十講: その科学と環境問題／鈴木啓三 著.:化学同人, 1997 水とはなにか: ミクロに見たそのふるまい／上平 恒／著.:講談社, 1979
他科目との関連 分子レベルに興味を持った方は、「分子分光学演習:基礎編」をお勧めします。
履修上の注意事項 1限の授業に遅刻する人は履修しないでください。
連絡先 nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000812																																																																										
科目名	S・Topics in the News																																																																										
担当教員	フォス パトリック																																																																										
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1																																																																						
・曜日・時間: 金曜1限 ・対象: 医学科・歯学科・検査技術学・口腔保健工学・口腔保健衛生学・看護学 ・募集人数: 20名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)、別表3－4)、別表3－5)																																																																											
授業の目的、概要等 Do you keep up with the news? What's happening these days in Japan and around the world? More importantly, why are these events happenings? How might they affect you and other people in the future? What's your opinion about them? It's essential to know what's going on in the world around you in order to have intelligent conversations with others and be a responsible citizen. However, understanding the news is not easy, particularly when it is in a foreign language. In this course, students will improve their understanding of current events and develop both their critical thinking skills and English abilities through reading, analyzing, and discussing articles on newsworthy topics.																																																																											
授業の到達目標(SB0s) By the end of this course, students will be able to: 1. Critically read news articles in English 2. Intelligently discuss (in English) a variety of current issues and events taking place in Japan and around the world																																																																											
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/15</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>2</td><td>4/22</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>3</td><td>5/6</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>4</td><td>5/13</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>5</td><td>5/20</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>6</td><td>5/27</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>7</td><td>6/3</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>8</td><td>6/10</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>9</td><td>6/17</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>10</td><td>6/24</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>11</td><td>7/1</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>12</td><td>7/8</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>13</td><td>7/15</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/15	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック	2	4/22	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック	3	5/6	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック	4	5/13	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック	5	5/20	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック	6	5/27	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック	7	6/3	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック	8	6/10	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック	9	6/17	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック	10	6/24	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック	11	7/1	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック	12	7/8	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック	13	7/15	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																							
1	4/15	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック																																																																							
2	4/22	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック																																																																							
3	5/6	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック																																																																							
4	5/13	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック																																																																							
5	5/20	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック																																																																							
6	5/27	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック																																																																							
7	6/3	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック																																																																							
8	6/10	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック																																																																							
9	6/17	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック																																																																							
10	6/24	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック																																																																							
11	7/1	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック																																																																							
12	7/8	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック																																																																							
13	7/15	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリック																																																																							

				ツク	
14	7/22	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリ ツク	
15	7/29	09:10-10:40	2 番教室	フォス パトリ ツク	
授業方法 Discussion Skills Instruction and Practice					
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Group Discussions, Skills Instruction, and Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Because this course will focus on current issues and events, the topic for any particular class will depend on what is newsworthy at that time. Students will also occasionally choose articles to present and discuss. Throughout the course, the following critical reading/thinking skills will likely be addressed: Separating fact from opinion Identifying missing information Differentiating causes and effects Identifying perspectives and bias Identifying generalizations, assumptions, and stereotypes Evaluating tone and word choice Distinguishing between emotional and logical arguments Evaluating inferences Evaluating evidence and credibility Determining the validity of conclusions Evaluating one's own reactions and opinions					
成績評価の方法 評価: quizzes/response papers 20% attendance/participation/discussion presentations 50% comprehensive test or assignment 30% 再評価: 無					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格 There is no official final examination for this course.					
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先 foss.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10 毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10 管理研究棟 3階 フォス研究室					

時間割番号	000852				
科目名	S・ Mathematics for Natural Scientists				
担当教員	Eckhard HITZER, 中口 悦史				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 金曜日2限(10:50～12:20)					
受講資格:					
High school level mathematics and English are required. Good listening understanding is helpful.					
募集人数: 10名					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
2-1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る					
2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける					
3-1) 国際的に活躍するための語学力を養う					
4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける					
授業の目的、概要等					
English is the common language on the international scene, not only in science but also in medicine. Many Japanese researchers have had the experience of having had trouble with English. Thus, for your future preparations, it is meaningful to early on take a class of natural science in English as freshman. In this lecture, you will learn various topics of mathematics by using English: infinite series, integrals and differential equations, complex algebra, vector spaces and geometric algebra, and crystal symmetry. It is also aiming at obtaining not only knowledge of mathematics but also a communicative competence in English.					
授業の到達目標(SB0s)					
As for the purpose of this lecture, you will acquire the ability to adsorb useful information in mathematics from English lecture.					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/15	10:50-12:20	12 番教室	Eckhard HITZER, 中口 悦史	
2	4/22	10:50-12:20	12 番教室	Eckhard HITZER, 中口 悦史	
3	5/6	10:50-12:20	12 番教室	Eckhard HITZER	
4	5/13	10:50-12:20	12 番教室	Eckhard HITZER	
5	5/20	10:50-12:20	12 番教室	Eckhard HITZER	
6	5/27	10:50-12:20	12 番教室	Eckhard HITZER	
7	6/3	10:50-12:20	12 番教室	Eckhard HITZER	
8	6/10	10:50-12:20	12 番教室	Eckhard HITZER	
9	6/17	10:50-12:20	12 番教室	Eckhard HITZER	
10	6/24	10:50-12:20	12 番教室	Eckhard HITZER	
11	7/1	10:50-12:20	12 番教室	Eckhard HITZER	
12	7/8	10:50-12:20	12 番教室	Eckhard	

			室	HITZER
13	7/15	10:50-12:20	12 番教 室	Eckhard HITZER
14	7/22	10:50-12:20	12 番教 室	Eckhard HITZER
15	7/29	10:50-12:20	12 番教 室	Eckhard HITZER

授業方法

Lecture

授業内容

Infinite series

Integrals and differential equations

Complex algebra

Vector spaces and geometric algebra

Orthogonal transformations and crystal symmetry

成績評価の方法

評価：試験 0 % ・ レポート 50 % ・ その他(授業中の演習と発表) 50 %

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Review your high school mathematics well before the course. Put more emphasize on review after each class than preparation during course.

Try to learn English words, which are new to you. After solving problems confirm the correct answer after it is discussed in class.

教科書

Linear and Geometric Algebra／A.Macdonald: CreateSpace Independent Publishing Platform, 2011

Mathematical tool for physicists／J.Nearing: Dover Publications, 2010

Free PDF for 教科書 2: <http://www.physics.miami.edu/~nearing/mathmethods/>

参考書

Understanding Geometric Algebra: Hamilton, Grassmann, and Clifford for Computer Vision and Graphics／Kenichi Kanatani: A K Peters/CRC Press, 2015

幾何学と代数系 = Geometric Algebra : ハミルトン,グラスマン,クリフォード／金谷健一 著.: 森北出版, 2014

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと、数回のクイズ提出による確認を併用する。

連絡先

中口 悦史nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中口 悦史水・金 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000314				
科目名	S・国際文化論				
担当教員	家永 真幸				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 金曜2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2, 1-5, 1-9, 3-2, 3-5					
授業の目的、概要等					
あなたは友人の考え方や行動に衝撃を受けて、自分の考えや生活スタイルを変化させた経験がありませんか？そのような変化は、個人レベルだけではなく、国と国の関係のような集団レベルでも起っています。この授業では、国境を超えた文化の接触と、それがもたらす変化という角度から、国際社会とはどのような社会であるのか理解することを目指します。「外国にはこんな文化があります」といった旅行ガイド的な情報に飽き足らず、なぜそのような文化が生まれ、そして生き残ったのか、といった抽象的な問いにまで考えを進めてみたい方の参加を歓迎します。					
授業の到達目標(SBOs)					
国際社会において「文化と文化が接触すると何が起こるのか」を抽象的に捉えるための視点・言葉を身につけ、世界各地で起っている「文化」にまつわる具体的な諸問題を自分なりに理解・考察できるようになることを目指します。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/15	10:50-12:20	2 番教室	家永 真幸	
2	4/22	10:50-12:20	2 番教室	家永 真幸	
3	5/6	10:50-12:20	2 番教室	家永 真幸	
4	5/13	10:50-12:20	2 番教室	家永 真幸	
5	5/20	10:50-12:20	2 番教室	家永 真幸	
6	5/27	10:50-12:20	2 番教室	家永 真幸	
7	6/3	10:50-12:20	2 番教室	家永 真幸	
8	6/10	10:50-12:20	2 番教室	家永 真幸	
9	6/17	10:50-12:20	2 番教室	家永 真幸	
10	6/24	10:50-12:20	2 番教室	家永 真幸	
11	7/1	10:50-12:20	2 番教室	家永 真幸	
12	7/8	10:50-12:20	2 番教室	家永 真幸	
13	7/15	10:50-12:20	2 番教室	家永 真幸	
14	7/22	10:50-12:20	2 番教室	家永 真幸	
15	7/29	10:50-12:20	2 番教室	家永 真幸	
授業方法					
参加者による 20－30 分程度のプレゼン、教員による解説、参加者によるディスカッションを組み合わせ進めていきます。					
初回はガイダンスを行います。受講者が募集人数を超えた場合はその場で抽選を行います。もし定員に余裕がある場合は、初回授業時の後半(2 限の 11:35～)から二次募集を行います。さらに空きがある場合はウェブクラスにて追加募集の告知を出します。					
教科書は、初回の抽選で本教科を履修できることが内定した後、2 回目の授業までに購入し毎回必ず持参してください。					
授業内容					
まずは「国際関係全体を文化の視点で理解する」ことを目指して著されたユニークな教科書、平野健一郎『国際文化論』(東京大学出版会、2000 年)を丁寧に輪読します。そこで得られた知見を生かし、学期終盤では個別具体的なテーマについて議論します。					
成績評価の方法					
評価: 授業内での報告30%・期末レポート40%・その他(出席・議論への参加等) 30%					
再評価: 無					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					

準備学習などについての具体的な指示

教科書の指定範囲を必ず読んでくること。それに基づき、報告者に対し必ず質問やコメントを投げかけること。

試験の受験資格

期末レポート提出資格として、①授業内での報告を最低1回担当、かつ②原則3分の2以上出席。

教科書

国際文化論／平野健一郎 著：東京大学出版会，2000

参考書

国際文化関係史研究／平野健一郎，古田和子，土田哲夫，川村陶子 編：東京大学出版会，2013

文化と外交：パブリック・ディプロマシーの時代／渡辺靖 著：中央公論新社，2011

〈文化〉を捉え直す——カルチュラル・セキュリティの発想／渡辺靖：岩波書店，2015

連絡先

ienaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月・水曜日 PM.12:20-PM13:10 管理研究棟3階309室

時間割番号	000347				
科目名	S・分子分光光学演習:基礎編				
担当教員	奈良 雅之				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
夏季集中型: ・対象学科:全学科 ・募集人数:5名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1・2・3)科学的思考方法を知る 4-3)自然現象を探究するための基本的手法を身につける					
主な講義場所 分光測定は化学教員実験室で行います。 オプションとして、分析展の見学ツアーを予定しています。					
授業の目的、概要等 近年の技術的な進歩に伴って、医歯学や生命科学の分野における分子分光光学の果たす役割は大きくなっています。この科目では担当教員の専門分野である“生体分子分光光学”を通じて「ミクロのものの見方」を学びます。まずは分光測定の基本操作に慣れることから始まり、測定で得られたスペクトルをコンピュータで解析します。					
授業の到達目標(SB0s) (1)基本操作を習得することにより、一人で分光測定ができる。 (2)基本物質の振動スペクトルから構造を読み取ることができる。					
授業方法 演習形式とによる					
授業内容 タンパク質や脂質などの生体高分子や生体材料そのものを研究対象として、分光光学的手法(主として赤外分光法もしくはラマン分光法)によるアプローチにより、対象となる分子の構造と機能の相関を解析する。 1. (初回) ガイダンス、分子分光光学に関する概説、装置の説明など 2. 分光光学に関する基本操作を習得する。 3. 実験テーマを決めて、取り組む。(実験ならびに結果解析) 4. 実験経過、研究成果を発表する。 5. 実験レポート(報告書)として報告する。					
成績評価の方法 評価:報告会での発表・レポート 70%・ その他 30%(実験の取り組み方) 再評価:無					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 ガイダンスの折に資料を配付しますので、配付資料を事前に読んでください。					
試験の受験資格 考查の受験資格:原則3分の2以上出席					
教科書 必要な文献はコピーして配付します					
履修上の注意事項 分子分光光学についてさらに理解を深めたい方は、後期の S・生体分子分光光学演習をお勧めします。					
連絡先 nara.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階					

時間割番号	000353				
科目名	S・現代パフォーミング・アーツ入門				
担当教員	徳永 伸一				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
8月下旬または9月上旬(予定)に開講する短期集中科目です。スケジュールの詳細は掲示にて通知します。 対象学科・専攻:全学科					
主な講義場所 湯島キャンパスで開講します。詳細は掲示にて確認してください。					
授業の目的、概要等 「パフォーミング・アーツ(Performing Arts)」とは音楽、演劇、ダンス等「演じられる」芸術の総称です。 「現代」と謳っていますが、いわゆる「現代的」なものを扱うという意味ではなく、現在活動中のアーティスト(＋彼らに直接的に影響を与えた人々)にスポットを当てます。生のパフォーマンス体験に勝る「学習」はありませんが、教室内では難しいので主に代用品としてCD・DVD等の記録媒体やインターネット上のコンテンツを用います。現在までのところ、入手可能なソフトの都合で音楽(ジャズ、クラシックからロック、J-POPまで何でも)の比重が高いですが、他のジャンル(音楽＋ビジュアルによるパフォーマンス、コンテンポラリーダンス等)も徐々に増やす予定。 より重要なのは聴衆・観客としてパフォーマンスに「参加」することで、結果として生涯にわたって芸術と主体的に関わる術を学ぶことが究極の目標です (よって必ずしも単位取得は重要ではなく、単位と関係なく野次馬的・娯楽的に参加する学生も歓迎します)。					
授業の到達目標(SBOs) ・様々なパフォーミング・アートに対し、自分の言葉で批評し、感想を整理してわかりやすく述べることができる。 ・未知のアートに対する興味に基づいて自ら探究し、文化的背景を学習すると共に、体験(鑑賞)行動に発展させることができる。					
授業方法 講義、映像・音源鑑賞およびディスカッション。					
授業内容 各授業ごとに大まかなテーマ(ジャンルやアーティスト個人等)を決め、関連するソフトやインターネット上のコンテンツを鑑賞します。 また2014年度・2015年度は授業期間中に開催した公開講座を、授業の一部として取り入れました。本年度も同様の企画を予定しています。					
成績評価の方法 評価項目は以下の2点: (1) 各回の授業の関するレポート (2) 授業時間外に各自が体験したコンサートやパフォーマンス公演に関する詳細なレポート (1)と(2)は同等に評価するので、欠席した場合はその回数に応じて(2)のレポートを余分に提出することによって穴埋めしてもらいます。					
成績評価の基準 到達目標をある程度達成したと見なせること。					
準備学習などについての具体的な指示 授業のための特別な準備は必要ありませんが、日頃からアートに関心を持ち、積極的に鑑賞して、感性を磨くよう心掛けてください。					
教科書 特にありませんが、主にインターネットで得られる情報を積極的に活用します。					
他科目との関連 直接の関連はありませんが、「芸術Ⅱ」(室田尚子先生)の履修を推奨します。					
参照ホームページ 過去の記録(の一部): http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/cparts.htm					

2014 年度の公開講座(「Saigenji と旅するブラジル」)の様子:

<https://www.facebook.com/tmdu.public/posts/720148531368330>

2015 年度の公開講座(「レオナルド・ブラーボと旅するブラジル」)の様子:

<https://www.facebook.com/tmdu.public/posts/890552230994625>

連絡先

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

* 計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

時間割番号	000349				
科目名	S・ウニの発生と海産生物の観察実習				
担当教員	服部 淳彦, 松本 幸久, 伊藤 正則				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
・夏季集中(8月1日教養部においてガイダンス、8月29日～31日新潟大学 佐渡臨海実験所にて実験) ・対象学科:全学科(28名の定員で、定員を超えたときは抽選を行う) ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 2-2)自然現象を探究するための手法を知る。 4-3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。					
主な講義場所 8月1日(月)に教養部においてガイダンスを行う。8月29日(月)～31日(水)に新潟大学佐渡臨海実験施設において実験を行う。					
授業の目的、概要等 [目的] ウニの発生を光学顕微鏡で観察し、その発生過程で起こる現象を理解する。また、海に生息する様々な生物の形態、生態及び行動を観察し、その多様性を理解する。 [概要] この実習の大部分は、新潟大学佐渡臨海実験施設において実施される。実習内容は、①棘皮動物であるウニの発生の観察、②沿岸域でのプランクトンの採集とその形態及び行動の観察、③潮間態に生息する生物の採集とその形態、生態及び行動の観察である。					
授業の到達目標(SB0s) 1. ウニの発生過程の特徴を説明することができる。 2. 海に生息する生物の多様性を具体的に説明することができる。					
授業方法 講義と実習による。					
授業内容 教養部で行われる実習ガイダンスを受講する。その目的は光学顕微鏡の使い方と生物の分類を理解することである。新潟大学佐渡臨海実験所では、①棘皮動物であるウニの発生の観察、②沿岸域でのプランクトンの採集とその形態及び行動の観察、③潮間態に生息する生物の採集とその形態、生態及び行動の観察を行う。					
成績評価の方法 レポート内容によって評価する。再評価は行わない。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習などについての具体的な指示 事前に配布された資料をよく読んでおく。ウニの発生過程と海に生息する生物に関して予め知識を得ておく。					
教科書 資料を配布する。					
参考書 図解生物科学講座／浅島誠 編:朝倉書店, 1996 日本海洋プランクトン検索図説／千原光雄, 村野正昭 編:東海大学出版会, 1997-01 原色検索日本海岸動物図鑑／西村三郎 編著.:保育社, 1995					
履修上の注意事項 定員は28名で、履修希望者が28名を超えたときは抽選で履修者を決める。8月1(月)に教養部で行われる実習ガイダンスに必ず出席すること。29(月)～31(水)(2泊3日)に新潟大学臨海実験施設で実習を行うが、集合時間から解散時間まで、スケジュールに従って行動すること。					
連絡先 服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp 松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 服部 淳彦:毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)					

伊藤 正則	毎週月曜日	AM.10:00-PM.2:00	ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室
松本 幸久	毎週月曜日	PM.4:30-6:00	ヒポクラテスホール3階生物教員実験室

時間割番号	000849				
科目名	S・イギリス小説講読				
担当教員	猪熊 恵子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
・曜日・時間: 夏季集中、8月29日、30日、31日、9月5日、6日の5日間、1から3限まで					
授業の目的、概要等 19世紀後半から20世紀前半のイギリスで書かれた「探偵小説」を英語で読む。 主にコナン・ドイルの「シャーロック・ホームズ」の中編・短編、アガサ・クリスティーの短編などを取り上げ、可能な限り精読する。 また、近代社会の成立と個人のアイデンティティという問題と探偵小説というジャンルが、どのようにかかわっているのかについても考察する。 あわせて、「探偵小説」というジャンルにしばしば与えられる「芸術性が低い」「芸術的価値を認められない」との批判的評価の背景についても考える。					
授業の到達目標(SB0s) 英文をざっくり適当に読むのではなく、きちんと精読・吟読するように努め、その過程で文脈や背景知識を調べながら、一つ一つの言葉の裏にある大きな社会の枠組みを想像してみる。 また、調べた知識や、丁寧に英文を読んだうえでの感想を、他の学生と議論・共有する。この議論を通して、同じ英文を読んだときに、読んだ人の数だけ異なる感想があるという当たり前の事実を改めてよく理解するとともに、翻って自らの読解力・想像力・嗜好・思考などを相対的に把握することを目指す。					
授業方法 セミナー形式を取る。 一日3時限続きの集中講義形式であるため、事前に十分な予習をすることが求められる。 一時限目は予習してきた英文の訳出確認、個々の学生の訳出の違いについての意見交換、二限目は該当箇所の文脈や、作家の生きた時代背景などの大きな枠組みの確認と、それに関するディスカッション、三限目はその短編を翻案した映像資料などを確認し、同一作品の受容法がメディアの違いや文化・時代の流れにしたがってどのように変化していくかを議論する。					
授業内容 第一回: ガイダンス 第二回から第五回: シャーロック・ホームズ短編「踊る人形」(The Adventure of the Dancing Men)、およびベネディクト・カンバーバッチ主演『シャーロック』第一シリーズ「The Blind Banker」 第六回から第九回: シャーロック・ホームズ中編「バスカヴィル家の犬」(The hound of the Baskervilles) ※教員の抜粋する箇所のみ、およびグラナダ・テレビシリーズ『シャーロック・ホームズの冒険』第四シリーズの同作品映像 第十回から第十三回: アガサ・クリスティー『ポワロ登場』のなかからいくつかの短編、およびデヴィッド・スーシェ主演のポワロシリーズ 第十四回: 総括およびディスカッション回 第十五回: 最終レポート提出および意見交換					
成績評価の方法 評価: 出席および議論への参加・貢献度: 40%、授業内発表(訳出課題の提出含む): 30%、最終レポート 30% 再評価: 無					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習などについての具体的な指示 上記授業内容からも明らかのように、英語の短編(および長編の抜粋)を三作品分読む授業である。そのため、授業開始前に十全な準備が要求される。 履修が決定した学生には、夏休みに入る前にメールその他で予習課題と予習方法などを通知する。指定された箇所を十分に読んで、授業内発表用の資料を作成し、そのうえで初回授業に臨むことが必須。その後も、授業内で指定された箇所を訳出したり、その短編の書かれた社会や時代背景について十分に調査することが求められる。					
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。					
参照ホームページ					

参考文献および使用テキストは、教員からコピーを配布するとともに、授業前にメールその他で周知する。

連絡先

inokuma.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水曜日 12時30分～13時

木曜日 12時30分～13時20分

管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000834				
科目名	S・Marine Biology in English				
担当教員	服部 淳彦, 松本 幸久, Md.Shahjahan				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
・夏季集中(8月1日、8月31日－9月3日) ・対象学科:全学科(15名の定員で、定員を超えたときは抽選を行う) ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 2－2)自然現象を探究するための手法を知る。 4－3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける					
主な講義場所 教養部(生物学実験室)においてガイダンスと基礎知識に関する講義を受けた後、新潟大学理学部臨海実験所(佐渡)において臨海実習と講義を行う。					
授業の目的、概要等 The objective of this course is to obtain basic knowledge of animal biology with a special focus on marine animals. Marine animals include almost all phylogenetic groups of the animal kingdom. Furthermore, morphology, development, physiology, and life style are amazingly different among them. In this course, students will learn the basics of marine animal biology and the diversity of marine animals from lectures, field activities, and hands-on lab activities.					
授業の到達目標(SB0s) At the end of the course, students will be able to describe the basic functions of animal body and the specific features of marine animals in a certain phylogenetic group.					
授業方法 Several lectures will be held at the Tokyo Medical and Dental University, and the rest of the course will be held at the Sado Marine Biological Station, Faculty of Science, Niigata University. Students will stay together at the Sado Marine Station for 4 days and communicate to each other in English. During the course, several lectures will be provided by a native English speaker.					
授業内容 Specific issues to be covered would include phylogeny, ontogeny, anatomy, ecology, homeostasis, hormones, and reproduction. Field activities will include behavioral observation in the field and sampling of marine animals including plankton. Furthermore, hands-on lab activities about the artificial insemination of sea urchin, observation of sea urchin embryos and plankton using a light microscope, and dissection of animal body will be conducted during the course.					
成績評価の方法 Sketches, Group discussion, Report, Attitude: A proper delineation of certain characteristics of a particular animal species (20%) Active participation in group discussion (20%) A proper description of basic biology in the report (30%) A proper discussion in the report (30%)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習などについての具体的な指示 Study the “Diversity of Organisms” by yourself beforehand.					
教科書 資料を配布する。					
参考書 Senior Biology 2: Student Workbook／Richard Allan, Tracey Greenwood, Lissa Bainbridge-Smith:Biozone International Ltd, 2010 図解生物科学講座／浅島誠 編:朝倉書店, 1996 日本海洋プランクトン検索図説／千原光雄, 村野正昭 編:東海大学出版会, 1997-01 原色検索日本海岸動物図鑑／西村三郎 編著.:保育社, 1995					
履修上の注意事項 ・定員は 15 名で、これを超えたときは抽選で履修者を決める。 ・8 月 1(月)に教養部で行われる実習ガイダンスと講義に必ず出席す					

ること。・8月31(水)ー9月3(土): 3泊4日で新潟大学臨海実験所(新潟県佐渡市)で実習・講義等を行うが、集合時間から解散時間までスケジュールに従って行動すること。

連絡先

服部 淳彦 ahattori.las@tmd.ac.jp

松本 幸久 yuki.hisa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

服部 淳彦: 毎週 水曜: 12:30~14:00 金曜: 10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

松本 幸久: 毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3階生物教員実験室

時間割番号	000848				
科目名	S・Biotechnology in Medical Sciences				
担当教員	Dennisson Jeanette				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
This course is being offered for the first time as an introduction to science topics in English. As science knowledge is rapidly changing, most current information is available only in English. Therefore, learning science topics in English now will greatly prepare you for advanced courses related to your medical profession. This year, the course's science topic is "Biotechnology". So, what is "biotechnology"? Researchers in engineering, biology, and medicine are combining their knowledge and techniques to create this growing field. In this course, you will be able to select an area of biotechnology that you are interested in. Here are some questions that we could discuss in this course. How does penicillin work to kill infection? Why do we take so many vaccines as a child? Can we make a whole heart with tissue engineering? How do biochips implanted in our body help treat diseases? How can we take medicine without needles? Will genetic testing help us predict whether we will get cancer? Should we allow human cloning?					
主な講義場所 This is an intensive course in the summer. Tentative dates are: Lessons 1-2 Aug 1 (1, 2 periods) Lessons 3-5 Aug 2 (1, 2, 3 periods) Lessons 6-7 Sept 1 (1, 2 periods) Lessons 8-10 Sept 2 (1, 2, 3 periods) Lessons 11-12 Sept 6 (1, 2 periods) Lessons 13-15 Sept 7 (1, 2, 3 periods) Location: TBA					
授業の目的、概要等 The purpose of this course is to build knowledge and understanding of biotechnology that helps medical professionals to do research and treat patients. This course will also introduce how to select good science-related resources available in English. Goals 1) Understand current biotechniques and biotechnology tools used in medicine 2) Learn science topics using evidence-based materials in English 3) Develop the ability to find, read, and interpret science literature and to critically evaluate the quality of data presented					
授業の到達目標(SB0s) By the end of this course, you will be able to: 1) Describe some medical tools/medicine developed using biotechnology 2) Describe how biotechnology can help treat and diagnose diseases 3) Compare the different types of human diseases based on causes and reasons					

- 4) Categorize microorganisms based on their properties and how those properties are related to drug resistance and immunity
- 5) Summarise and analyze one biotechnology topic presented in a mini lesson
- 6) Evaluate the importance of various biotechnology tools for future medical science

授業方法

The course will be organised into teacher-led and student-led lessons. Each lesson will have two components: 1) a vocabulary building component and 2) a discussion component.

Note: Many activities of the course should be completed outside of class time. These activities will help you prepare for both the vocabulary and discussion components of each lesson.

授業内容

Topics that will be introduced by the instructor:

- Intro to Biotechnology in medical sciences
- Human diseases and their causes
- Bacteria, virus, and how to fight them

Additional topics (chosen by students):

- Immune system and antibodies
- DNA and protein technology for medicine
- Stem cell technology
- Cell and tissue engineering
- Forensic science
- Gene therapy
- Nanomedicine
- Gene technology for predicting disease

成績評価の方法

Attendance:	15%
Class participation:	15%
Online activities:	10%
Mini lesson	20%
2 Essays:	20%
Final exam:	20%

Attendance: Rated on 3-point scale: 3 = On time; 2 = 10 minutes late; 1 = 20 minutes late. Students 20 minutes late for class will be considered absent.

Class participation: Rated on 4-point scale: 4 = very active; 3 = active; 2 = limited activity; 1: No activity

Online activities: TWO online activities may be dropped from your total evaluation. In-class activities have strict deadlines (same day submission). Outside class activities have flexible deadlines (by the end of the final examination).

Mini lesson: The mini lesson will be 30 to 60 minutes long. This activity requires the most preparation out of class and is largest portion of your grade. Details of the requirement of the student-led mini lesson will be given in the first lesson of the course.

2 Mid term essays: Each essay will cover FOUR topics presented throughout the course. The essays will be submitted on the course website and be open notes and textbook. The deadlines for these essays are strict.

Final examination: The final examination will have two components: 1) vocabulary test and 2) essay that will cover all topics presented throughout the course. The examination will be submitted on the course website and be open notes and textbook. The deadline for this

examination is strict.
成績評価の基準 Refer to 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」
準備学習などについての具体的な指示 Before Class: Reading the selected parts of the textbook and further readings is essential. The mini lesson should be created based on both the textbook section and further readings that you chose. The preparation for the mini lesson should be completed outside of class time but you may ask questions at any time during class or via the Discussion forum on the course website. In Class: Your opinion, ideas and perspective are greatly encouraged in class discussions. Providing your opinion based on literature you have read is especially encouraged. Some tasks in class require online submission. You must submit these tasks within the class or immediately following the class to receive credit. Vocabulary List: Creating your own vocabulary list throughout the course is greatly encouraged. Sharing your list with classmates is also helpful. The course website provides a great environment to share your list. You will be tested on the vocabulary chosen by the teacher and your peers. A good vocabulary list includes more than the definition in Japanese or in English. A good vocabulary list includes your definition of the word (using your own words not the dictionary's) and a sample sentence of how the word is used. Many words have different meanings. Only introduce the meaning that you found in the text (not all possible meanings). When creating meanings and sentences, think about your classmates who will read it. Will they understand how to use the word without looking it up themselves? Online Course Website: Regular access to the online course website will be required in and outside of class. In-class activities should be submitted on the course website. You will have to share your teaching materials for the mini lesson and review the topic materials of other students on the course website.
試験の受験資格 Completion of 生物学入門 is required. Some basic knowledge of biology concepts, including bacteria, viruses, and genetics, is recommended. **If you do not meet these requirements but have a strong interest in this course, please contact Prof. Dennisson directly.
教科書 Main Textbook: Biotechnology in Medical Sciences by Khan (2014) **Note: Chapters of the textbook used in class will be available by the instructor. Purchase of this textbook is therefore NOT required. However, if you would like to have your own copy, the cheapest option is to rent the Kindle version from the USA Amazon site (2nd link below) Amazon link (JPN): http://www.amazon.co.jp/Biotechnology-Medical-Sciences-Firdos-Alam/dp/1482223678/ref=asap_bc?ie=UTF8 Amazon link (USA): http://www.amazon.com/Biotechnology-Medical-Sciences-Firdos-Alam-ebook/dp/B00L2EBKCK/ref=mt_kindle?_encoding=UTF8&me=
参考書 Supplemental materials will be provided on the course website.
履修上の注意事項 You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device

(laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs. Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

The online course website is: www.eliademy.com

You will need to sign up with a new account using your TMDU email address, if you have not created an account already for another course. All/most of the teaching materials and assignments will be available on this website. You should check this website before and after each lesson.

You will receive an invitation join the online course in your email box at the beginning of the semester. Please join the class immediately after creating an account. You will be responsible for the content and activities provided on this website.

連絡先

dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階

時間割番号	000350				
科目名	S・フィットネスキャンプ				
担当教員	水野 哲也, 谷木 龍男, 林 久仁則, 高岡 英氣				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 前期集中(夏季休業中を含む) 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1ー8)自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3ー3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける					
授業の目的、概要等 人が充実した一生を全うするためには、その心身の健康が基盤であり、その維持増進には自然の摂理を理解した健康的なライフスタイルの実践とより良い人間関係を築き上げるコミュニケーション力が必要です。そして、そうした能力の基礎には「人間の理解」、つまり自分自身の心身さらには人格的相互関係への理解が不可欠です。 本授業は、医療者である前に一人の青年として自分自身の健康を意識するとともに、その基盤となる自身の健康をどのように管理してゆくことが重要か、また社会性の視点から自己と他者との関係をより良好に保つとともに両者の関係性をより成熟したものにするためにどのようなコミュニケーションスキルが必要かを考え、学ぶことを目指して開講されるプログラムです。具体的にはセルフケアについては事前授業で基礎理論を学び、転地での栄養バランスを考えた食事摂取、運動、温泉入浴並びにリラクゼーション実習等が身心にどういった変化をもたらすかを体験し、コミュニケーションについては事前授業を含めた集団でのスキルトレーニングを用いた実習を通じて問題を発見・整理し、調整・解決するための基本を身につけることを目的とします。また、短期合宿研修では、規律ある集団生活を通して社会性を養います。なお、短期合宿研修は千葉県館山市にある本学の研修施設・大賀寮に宿泊する予定です。					
授業の到達目標(SB0s) 前述しましたようにフィットネスとは多様な内容を含む概念です。そこで、本授業ではその多様性並びに生活環境の構成要素と適応について理解し、自分自身の生活や人間関係能力を振り返り、新たに自分らしい探究が行えることを到達目標とします。とはいえ、授業は短期間のため、必ずしも目先の能力獲得のみを求めるのではなく、その目標ではあくまで方法論の理解と基礎的スキルの習得に重点をおきます。よって、本授業の到達目標は自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身につけることにあります。					
授業方法 本授業は国府台キャンパスでの事前授業(7月)と夏季休業中(9月初旬の予定)に転地で実施される短期合宿研修(フィットネス・キャンプ)形式で構成されています。					
授業内容 国府台キャンパスでの事前授業では、セルフケアに関する基礎としてフィットネス理論、運動の基礎生理、フィットネスの評価、コミュニケーション論として自己理解、他者理解、そして相互理解を学び、後半は学外での短期合宿研修(3泊4日)で、気候療法の基礎、コミュニケーションスキルとしての「話す技術」、「聴く技術」並びにストレスマネジメントのための「自律訓練法」などの学習を中心に行います。					
成績評価の方法 評価: 参加度 40%、理解度(レポート等による) 60% 再評価: 無					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 本授業では単に授業に参加するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかについて主体性をもって考えるとともに、自らのより良いライフスタイル構築に向けた積極的な態度や姿勢が求められます。よって、他の授業でも使用するフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。					
試験の受験資格 本授業は体験型授業科目のため、原則事前授業を含む全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。					
参考書 温泉療法: 温泉と自然が生み出す健康づくり／大塚吉則 著、クルーズ、2012 気候療法入門: 山歩きにはちょっと冷たい冷刺激／アンゲラ・シュウ 著、西川力 訳、阿岸祐幸 医学監修、パレード、2009 自律訓練法の実践 心身の健康のために／佐々木雄二 著、静岡市立清水中央図書館、2003					

他科目との関連

必修科目であるスポーツ・健康科学並びにフィットネスマネジメントとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

<http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html>

連絡先

水野 哲也 mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也 毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2 階

時間割番号	000322				
科目名	S・フランス語でニュースを読む				
担当教員	中島 ひかる				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時限: 月曜2限 対象学科: 全学科 受講資格: フランス語前期履修者(あるいは同等の実力を持つ者) 募集人数: 10 名以内 コンピテンシー: 別表3-4) 外国文化を理解する					
授業の目的、概要等					
目的: フランス語文法の知識をもとに、フランス語で書かれたフランス、ヨーロッパ、世界のニュースや文化記事を読み、現代的な語彙や表現に触れるとともに、フランス現代社会の一端を知る。					
概要: 4 月以来学習してきたフランス語の文法知識を使って、フランスで実際に読まれている時事的な文章に触れ、現代を特徴的に表す単語や表現を中心に、内容を把握します。後期の初めでまだ出てきていない文法項目については解説しますし、ニュース記事は英語と共通する単語も多いので、内容に興味があれば概略は理解できます。 前期終了のフランス語の学力があり、少し先取りして文法を学習し、今のフランスや世界を知りたいという意欲のある人の参加を歓迎します。					
授業の到達目標(SB0s)					
1) 1 年生の文法知識で、リライトしないフランス語の文章が読めるという実感を得る。 2) 現代的な時事表現に触れ、ニュース記事の読解の中で基本的な文法事項や語彙を確認する。 3) ニュースを通してフランス社会やフランスから見た世界の一端に触れ、社会や文化に対する関心を広げる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/26	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
2	10/3	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
3	10/17	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
4	10/24	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
5	10/31	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
6	11/7	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
7	11/14	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
8	11/21	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
9	11/28	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
10	12/5	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
11	12/12	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	
12	12/19	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる	

13	1/16	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる
14	1/23	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる
15	1/30	10:50-12:20	11 番教室	中島 ひかる
授業方法 初めに、ニュースサイトを幾つか提示します。受講者は、その中から毎週、自分が興味ある記事を選んで、私に URL を送って下さい。それを教室で、皆で読んでいきます。細かい点にはこだわらず、概略が理解できるよう指導しますが、適宜、文法が実際の記事でどう使われているかに注意を促します。				
授業内容 毎回、各自で選んだ記事を教室で訳して頂きながら、理解があやふやなところやニュースの背景を説明します。また、文法における学習事項と照らし合わせながら、重要なフランス語の構文や単語を解説します。受講者が多い場合は、2 回に 1 回程度担当して頂きます。				
成績評価の方法 評価: 試験(期末考査)0%・レポート0 %・ その他 100 % (授業への準備・授業の発表等) 再評価: 無 授業への準備、教室での発言等の平常点で評価します。 学力に差があると思いますが、多少わからない文法事項があっても構いません。自分なりに、ニュースに興味を持ち、概要だけでも理解しようと努め、積極的に授業に参加することを重視します。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示 自分の力にあった、興味の持てる記事を選ぶところから授業の準備が始まります。各授業の前の週の土曜日までには各自で1つずつ記事を選んで、その URL を私に送信して下さい。 短い記事を選んででも結構ですので、選んだ記事については概略を説明でき、主要な部分は訳せるように準備して下さい。理解できない箇所、訳せない箇所があっても構いませんので、不明な点は明確にして授業に臨んで下さい。 国際ニュースの場合は、関連記事が日本語でも読める場合が多いので、日本語のニュースを検索して事件の概略を理解してからフランス語を読むと、フランス語も理解しやすくなります。授業をきっかけに、世界の出来事に目を向けるのも授業の目的の一つです。				
試験の受験資格 試験は行わず、平常点で評価する				
教科書 ・francetvinfo http://www.francetvinfo.fr/ テレビ報道を文字に起こした記事なので、構文が比較的わかりやすく、映像付きの記事も多い。 ・パリジアン http://www.leparisien.fr/ ・パリマッチ http://www.parismatch.com/ ・フィガロ http://www.lefigaro.fr/ ・リベラシオン				

http://www.liberation.fr/ ・ネット新聞 http://www.20minutes.fr/ ・ル・モンド http://www.lemonde.fr/ 無料購読の場合一ヶ月の閲覧数に制限あり
参考書 ・テレビ放送(1週間分のニュース報道のアーカイブ) 閲覧には silverlight(無料でダウンロードできます)が必要です。 http://jt.france2.fr/20h/
他科目との関連 フランス語の必修授業より先行して文法項目が出てきますが、最初は細かい文法事項にはあまりこだわらず、理解に必要な概略にのみ触れて授業を進めます。
履修上の注意事項 少人数授業ですので出席は必須です。体調不良等で休む場合は、教員にメールで連絡して下さい。
連絡先 nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000817																																																																																				
科目名	S・日本の古典																																																																																				
担当教員	土佐 朋子																																																																																				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
・曜日・時間: 月曜 2 限 ・募集人数: 25 名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテシー) 別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る																																																																																					
授業の目的、概要等 日本の古典文学に対する理解を深めることを目的とし、今年度は上田秋成『雨月物語』を講読する。 『雨月物語』は、一七七六年に刊行された、短編怪異小説集である。 日本および中国の古典をふまえながら、秋成が翻案したこれらの怪異小説を読み、江戸期における古典の継承と文学創作のありようを考察する。 また、短編それぞれがふまえた古典作品と比較対照させながら読むことにより、秋成の創作意図を考えていきたい。 現代ホラーの源流の一つともいえる『雨月物語』を読むことにより、日本文化に対する理解を深める一助ともしたい。																																																																																					
授業の到達目標(SB0s) ①『雨月物語』の内容を理解すること。 ②日本古典文学の素養を身に付け、理解を深めること。 ③日本の文化・文学が、中国および自国の古典を継承することによって成立していることを、実践的に学び、理解すること。 ④人間にとって「語り」とは何かという問いに対して自分なりの考えをまとめること。																																																																																					
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/26</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>2</td><td>10/3</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>3</td><td>10/17</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>4</td><td>10/24</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>5</td><td>10/31</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>6</td><td>11/7</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>7</td><td>11/14</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>8</td><td>11/21</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>9</td><td>11/28</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>10</td><td>12/5</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>11</td><td>12/12</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>12</td><td>12/19</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>13</td><td>1/16</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>14</td><td>1/23</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>15</td><td>1/30</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/26	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子	2	10/3	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子	3	10/17	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子	4	10/24	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子	5	10/31	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子	6	11/7	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子	7	11/14	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子	8	11/21	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子	9	11/28	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子	10	12/5	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子	11	12/12	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子	12	12/19	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子	13	1/16	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子	14	1/23	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子	15	1/30	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	9/26	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子																																																																																	
2	10/3	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子																																																																																	
3	10/17	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子																																																																																	
4	10/24	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子																																																																																	
5	10/31	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子																																																																																	
6	11/7	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子																																																																																	
7	11/14	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子																																																																																	
8	11/21	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子																																																																																	
9	11/28	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子																																																																																	
10	12/5	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子																																																																																	
11	12/12	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子																																																																																	
12	12/19	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子																																																																																	
13	1/16	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子																																																																																	
14	1/23	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子																																																																																	
15	1/30	10:50-12:20	8 番教室	土佐 朋子																																																																																	
授業方法 講義を中心とする予定であるが、受講生に意見を聞いたり、課題にもとづく議論を行うことも考えている。																																																																																					
授業内容 第1回: オリエンテーション／『雨月物語』とは。 第2～3回: 「白峰」講読 第3～4回: 「菊花の約」講読 第5～6回: 「浅茅が宿」講読 第7回: 「夢応の鯉魚」講読 第7回: 「仏法僧」講読 第8～10回: 「吉備津の釜」講読																																																																																					

第11～12回:「蛇性の淫」講読 第13回:「青頭巾」講読 第14回:「貧富論」講読 第15回:まとめ ※上の内容は、進度によって変更する場合があります。
成績評価の方法 評価:試験 0%・レポート 50% その他 50%(演習の準備・発表内容・質疑応答への参加度等) 再評価:無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 書物に書いてある説明などを鵜呑みのせず、批判的精神にもとづく主体的な解釈を目指すこと。
試験の受験資格 レポート提出には、原則として3分の2以上の出席が必要。
教科書 雨月物語：現代語訳付き／上田秋成〔著〕、鶴月洋 訳注、角川学芸出版、2006
参考書 :講談社 授業でその都度紹介する。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。 出欠管理システムの打刻されていても、教員がとる出欠において出席が認められない場合は欠席扱いとなる。 レポートにおいて、剽窃、無断引用などが見られた場合には原則として「不可」とする。
連絡先 tosa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50 管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000831				
科目名	S・ロシア語入門				
担当教員	高尾 千津子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
授業の目的、概要等					
ロシア語の基礎を学ぶ。文字を覚えることからはじめ、初歩の文法を学び、平易なロシア語のあいさつや重要表現を習得する。					
授業の到達目標(SB0s)					
ロシア語はロシアだけでなく、旧ソ連各国や離散したロシア人たちによって世界各地で使われる言語である。またウクライナ語やベラルーシ語という東スラブ系言語とも近い関係にある。独特の文字や発音、また格変化など一見して近づきたい印象があるかもしれないが、傑出した文豪や知識人を生み出したロシアの文化を、言語を通して学んでいく。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/26	10:50-12:20	2 番教室	高尾 千津子	
2	10/3	10:50-12:20	2 番教室	高尾 千津子	
3	10/17	10:50-12:20	2 番教室	高尾 千津子	
4	10/24	10:50-12:20	2 番教室	高尾 千津子	
5	10/31	10:50-12:20	2 番教室	高尾 千津子	
6	11/7	10:50-12:20	2 番教室	高尾 千津子	
7	11/14	10:50-12:20	2 番教室	高尾 千津子	
8	11/21	10:50-12:20	2 番教室	高尾 千津子	
9	11/28	10:50-12:20	2 番教室	高尾 千津子	
10	12/5	10:50-12:20	2 番教室	高尾 千津子	
11	12/12	10:50-12:20	2 番教室	高尾 千津子	
12	12/19	10:50-12:20	2 番教室	高尾 千津子	
13	1/16	10:50-12:20	2 番教室	高尾 千津子	
14	1/23	10:50-12:20	2 番教室	高尾 千津子	
15	1/30	10:50-12:20	2 番教室	高尾 千津子	
授業方法					
まずは独特の文字と発音を覚えることから始める。ロシア語の入門用テキストを用いて、ロシア語の基本的文法を習得する。履修者には毎回、重要表現の暗唱、書き取り、練習問題を課す。またロシアの社会や文化についても随時紹介していきたい。					
授業内容					
1 ロシア語の文字と発音					
2 基本の文型					
3 人称代名詞、あいさつの表現、否定の表現					
4 小テスト 所有代名詞、形容詞					
5 動詞の現在形 第一変化と第二変化					
6 場所の表現、C動詞					
7 小テスト 所有の表現、命令形					
8 移動の動詞、名詞の対格					
9 動詞の過去					
10 動詞の未来 名詞の生格					
11 小テスト 与格と造格					
12 形容詞の格変化					
13 完了体の過去					
14 完了体の未来					
15 まとめと復習					
成績評価の方法					
評価：試験 60%・レポート 0%・その他(授業への参加と小テスト) 40%					

再評価: 有(再評価方法 試験) 試験の受験資格には3分の2以上の出席が必要。
準備学習などについての具体的な指示 履修者は教科書を予習するだけでなく、授業後は付録のCDを聞き、ロシア語のイントネーション、アクセント、発音を復習しておくこと。
教科書 ニューエクスプレスロシア語／黒田 竜之助／著.: 白水社, 2007
参考書 必要に応じて補助教材を配布する。
履修上の注意事項 初回にロシア語の文字と発音を習得するので必ず出席すること。
連絡先 takao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 12:30～13:30

時間割番号	000344				
科目名	R・離散構造(β)				
担当教員	徳永 伸一				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間:火曜 5 限(ただし履修者の希望により時間帯は調整します)					
対象学科・専攻:全学科					
授業の目的、概要等					
この授業で扱うのは、たとえば以下のような問題です:					
「 $m \times n$ の長方形が単位正方形を4つ張り合わせたL字型のタイルで隙間無く敷き詰められるための、 m と n の 必要十分条件を求めよ」					
「 3×4 の長方形の中に6つの点があるとき、それら6点のうち距離 $\sqrt{5}$ 以下の2点が存在することを示せ」					
「6人が参加したパーティにおいて、互いに知り合いである3人か、または互いに2知り合いでない3人のいずれかが存在することを示せ」					
「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」といい、離散数学が扱う対象を総称して「離散構造」と呼びます。本科目では離散構造に関する書籍を1つ取り上げ、輪読形式のセミナーを行います。扱われる命題の大部分は直観的に理解可能で高度な知識や数式を必要としませんが、その分、論理を正確に理解し言葉で的確に説明する能力が重視されます。					
本年度は					
V. Boltyanski & A. Soifer 著「Geometric Etude in Combinatorial Mathematics」					
(「組合せ数学における幾何的なエチュード」)					
の適当な Chapter を選んで読むことにします。					
(ただし他に適当な教材があれば受講者の希望も勘案して変更する可能性あり。 α と β で別内容となる可能性もあります)					
本書の英文は極めて平易であり、扱われる問題も直感的に理解しやすいものであるため、高度な読解力や数学および数学専門用語の知識は必要としません(その都度調べれば充分対応可能)。結果的に、英文を「論理的に読む」ための教材として非常に適しており、医療系の英語論文を読む際にも大いに役立つと思われます。なお、冒頭の問題は本書の例題・演習問題から選びました。					
授業の到達目標(SB0s)					
英語で書かれた数学の平易なテキストを論理的に解読し、理解したことを整理して解説できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/4	16:30-18:00	共用セミナー室12	徳永 伸一	
2	10/11	16:30-18:00	共用セミナー室12	徳永 伸一	
3	10/18	16:30-18:00	共用セミナー室12	徳永 伸一	
4	10/25	16:30-18:00	共用セミナー室12	徳永 伸一	
5	11/1	16:30-18:00	共用セミナー室12	徳永 伸一	

6	11/8	16:30-18:00	共用セミナー室 12	徳永 伸一
7	11/15	16:30-18:00	共用セミナー室 12	徳永 伸一
8	11/22	16:30-18:00	共用セミナー室 12	徳永 伸一
9	11/29	16:30-18:00	共用セミナー室 12	徳永 伸一
10	12/6	16:30-18:00	共用セミナー室 12	徳永 伸一
11	12/13	16:30-18:00	共用セミナー室 12	徳永 伸一
12	12/20	16:30-18:00	共用セミナー室 12	徳永 伸一
13	1/10	16:30-18:00	共用セミナー室 12	徳永 伸一
14	1/17	16:30-18:00	共用セミナー室 12	徳永 伸一
15	1/24	16:30-18:00	共用セミナー室 12	徳永 伸一

授業方法

輪読によるセミナー形式。

授業内容

毎回1～2名の発表者に、各自の担当範囲(1セクションの半分程度)を解説してもらいます。

ただし状況に応じて担当教員が関連分野の講義を行うこともあります。

また発表者には担当範囲の全訳およびそれを補足するレジュメの提出を義務付けます。

成績評価の方法

発表・レジュメの内容や授業参加への積極性を総合的に評価します。

成績評価の基準

到達目標をある程度達成したと見なせること。

準備学習などについての具体的な指示

テキストを事前に読み、未知の英単語・概念等を調べて、大まかな内容を把握しておくこと。

参考書

やさしい幾何学問題ゼミナール／ピーター・フランクフル、前原潤 著、共立出版、1992

入門組合せ論／ラスロウ・ロバース 他著、秋山仁、ピーター・フランクフル 翻案、共立出版、1985

他科目との関連

前期の「S・離散構造講義」と関連する問題も扱いますが、必要に応じて補足説明を行いますので、「S・離散構造講義」している必要はありません。

備考

選択科目の可能性を拡げるために、試験的に湯島キャンパスでの開講を予定していますが、場所・時間帯共に、なるべく履修者の要望に沿って開講したいと思いますので、希望者は相談してください(履修希望者が少なければ、より柔軟に対応できます)。

連絡先

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

* 計算機実習室で授業がある日は、そちらにいることが多いです。

時間割番号	000317																																																																																																				
科目名	S・数学解析																																																																																																				
担当教員	中口 悦史																																																																																																				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																																
曜日・時限:水曜日1時限 対象学科:口腔保健学科口腔保健工学専攻 募集人数:10名程度 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2-1), 4-1), 4-2)																																																																																																					
授業の目的、概要等 口腔保健工学専攻専門科目履修のために知っておくべき、数学・応用数学・計算科学の基礎分野を概観する。そのために最低限必要な高校数学の知識を復習しながら、関連する項目を学習する。																																																																																																					
授業の到達目標(SBOs) 微積分, 線形代数, 数値計算の基本的な考え方を理解する。																																																																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9/28</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>ガイダンス</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/5</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>数の体系(1)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/19</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>数の体系(2)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/26</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>図形と関数(1)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/2</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>図形と関数(2)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/9</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>図形と関数(3)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/16</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>場合の数と確率(1)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/30</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>場合の数と確率(2)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/7</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>線形代数入門(1)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/14</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>線形代数入門(2)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/21</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>線形代数入門(3)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/11</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>微積分入門(1)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/18</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>微積分入門(2)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/25</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>微積分入門(3)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>15</td><td>2/1</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>総合演習</td><td>中口 悦史</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	1	9/28	09:10-10:40	2 番教室	ガイダンス	中口 悦史	2	10/5	09:10-10:40	2 番教室	数の体系(1)	中口 悦史	3	10/19	09:10-10:40	2 番教室	数の体系(2)	中口 悦史	4	10/26	09:10-10:40	2 番教室	図形と関数(1)	中口 悦史	5	11/2	09:10-10:40	2 番教室	図形と関数(2)	中口 悦史	6	11/9	09:10-10:40	2 番教室	図形と関数(3)	中口 悦史	7	11/16	09:10-10:40	2 番教室	場合の数と確率(1)	中口 悦史	8	11/30	09:10-10:40	2 番教室	場合の数と確率(2)	中口 悦史	9	12/7	09:10-10:40	2 番教室	線形代数入門(1)	中口 悦史	10	12/14	09:10-10:40	2 番教室	線形代数入門(2)	中口 悦史	11	12/21	09:10-10:40	2 番教室	線形代数入門(3)	中口 悦史	12	1/11	09:10-10:40	2 番教室	微積分入門(1)	中口 悦史	13	1/18	09:10-10:40	2 番教室	微積分入門(2)	中口 悦史	14	1/25	09:10-10:40	2 番教室	微積分入門(3)	中口 悦史	15	2/1	09:10-10:40	2 番教室	総合演習	中口 悦史
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員																																																																																																
1	9/28	09:10-10:40	2 番教室	ガイダンス	中口 悦史																																																																																																
2	10/5	09:10-10:40	2 番教室	数の体系(1)	中口 悦史																																																																																																
3	10/19	09:10-10:40	2 番教室	数の体系(2)	中口 悦史																																																																																																
4	10/26	09:10-10:40	2 番教室	図形と関数(1)	中口 悦史																																																																																																
5	11/2	09:10-10:40	2 番教室	図形と関数(2)	中口 悦史																																																																																																
6	11/9	09:10-10:40	2 番教室	図形と関数(3)	中口 悦史																																																																																																
7	11/16	09:10-10:40	2 番教室	場合の数と確率(1)	中口 悦史																																																																																																
8	11/30	09:10-10:40	2 番教室	場合の数と確率(2)	中口 悦史																																																																																																
9	12/7	09:10-10:40	2 番教室	線形代数入門(1)	中口 悦史																																																																																																
10	12/14	09:10-10:40	2 番教室	線形代数入門(2)	中口 悦史																																																																																																
11	12/21	09:10-10:40	2 番教室	線形代数入門(3)	中口 悦史																																																																																																
12	1/11	09:10-10:40	2 番教室	微積分入門(1)	中口 悦史																																																																																																
13	1/18	09:10-10:40	2 番教室	微積分入門(2)	中口 悦史																																																																																																
14	1/25	09:10-10:40	2 番教室	微積分入門(3)	中口 悦史																																																																																																
15	2/1	09:10-10:40	2 番教室	総合演習	中口 悦史																																																																																																
授業方法 板書による講義と演習を交えながら授業を進める。																																																																																																					
授業内容 第 1回 ガイダンス 第 2～ 3回 数の体系 第 4～ 6回 図形と関数 第 7～ 8回 場合の数と確率 第 9～11回 線形代数入門 第12～14回 微積分入門 第15回 総合演習																																																																																																					
成績評価の方法 評価 : 試験 50% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 50% 再評価: 無 期末試験は授業最終回の総合演習をもって代えることがある。																																																																																																					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による																																																																																																					
準備学習などについての具体的な指示																																																																																																					

高校数学の内容をよく思い出し、不明な点を整理して授業に臨むことが望ましい。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席, ならびに, 出席回の演習カードの提出。
教科書 数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山館周恒 熊坂一成 著, 医歯薬出版, 2005
参考書 教養の線形代数／村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 共著, 培風館, 2008 初歩から学べる微積分学／佐藤恒雄 [[ほか]共著, 培風館, 1999 微分積分学／難波誠 著, 裳華房, 1996 数値計算／洲之内治男 著, サイエンス社, 2002 いかんにして問題をとくか／G. ポリア 著, 柿内 賢信 訳, 丸善株式会社出版事業部 その他, 高校数学の参考書。
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと, 各回の演習カード提出を併用する。
連絡先 nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水・金 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000853				
科目名	S・実用統計学(Ⅰ)				
担当教員	徳永 伸一				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間:水曜3限					
対象学科:保健衛生学科、口腔保健学科					
授業の目的、概要等					
保健衛生学科・口腔保健学科の皆さんが学ぶ「統計学」を補完する形で、講義と演習を交えながら、より実践的な統計学を学習します。					
保健衛生学科や口腔保健学科の卒業研究では統計処理が多用されますが、これに対処するためには、必修科目の「統計学」だけでは充分とはいえません。この授業では、「統計学」の学習内容をより確かなものとすると共に、将来卒業研究等で必要になると思われるレベルの統計学や、Excelを用いた簡単な統計処理の技術を習得することを目指します。担当者は皆さんの先輩から相談を受け、指導を行った経験がありますので、その内容も反映させていく予定です。					
授業の到達目標(SBOs)					
・必修科目「統計学」の理解をより確実なものとし、実際の統計処理に応用できるようにする。					
・クロス表の検定や初歩的なノンパラメトリック検定など、実用上重要となる統計手法の原理を理解し、実際の問題に応用できるようにする。					
・本格的な統計処理ソフトを使う前段階として、Excelを用いた簡単な統計処理を実行できるようにする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/28	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一	
2	10/5	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一	
3	10/19	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一	
4	10/26	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一	
5	11/2	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一	
6	11/9	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一	
7	11/16	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一	
8	11/30	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一	
9	12/7	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一	
10	12/14	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一	
11	12/21	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一	
12	1/11	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一	
13	1/18	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一	
14	1/25	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一	

15	2/1	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一	
授業内容 (以下は仮のスケジュールです。履修者のレベルや希望に応じて調整予定) 第1～3回 :序論および前期の復習 第4回 :Excel 入門 第5～8回 :演習1 (Excel 演習) 第9～12回 :実用統計学講義(カイニ乗検定、ノンパラメトリック検定 他) 第13・14回 :演習2 第15回 (予備)					
成績評価の方法 原則として出席および授業中に行う演習課題により評価しますが、それらの評価が一定基準に達しない履修者を対象に、評価の不足を補うためのレポート課題や試験を課す可能性があります。					
準備学習などについての具体的な指示 必修科目「統計学」の授業内容をよく把握しておくこと。また自宅のパソコンに Excel をインストールし、使えるようにしておくこと。					
参考書 数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山舘周恒, 熊坂一成 著, :医歯薬出版, 2005 やさしい医療系の統計学／佐藤敏雄, 村松宰 著, :医歯薬出版, 2002 入門統計解析／松原望 著, :東京図書, 2007 バイオサイエンスの統計学 : 正しく活用するための実践理論／市原清志 著, :南江堂, 1990					
他科目との関連 「統計学」の進行に合わせ、内容を確認しながら進めます。					
備考 木曜日に開講する「S・実用統計学(β)」と同内容です。 水曜日に履修できない人は、木曜日での履修を検討してください。					
連絡先 tokunaga.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 月曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) * 計算機実習室で授業がある日は、そちらにすることが多いです。					

時間割番号	000326				
科目名	S・糖の科学				
担当教員	勝又 敏行				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間:水曜日 4,5 限(後期)1,3 週					
募集人数:5名					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
別表2-2) 自然現象を探究するための手法を知る					
別表4-3) 自然現象を探究するための基本的手法を身につける					
授業の目的、概要等					
糖と聞くとまず思い浮かぶのが砂糖である。砂糖は料理などで気軽に使われ、身近にたくさんあるが、ほかにも様々なところで糖は私たちに関わっている。糖の仲間であるデンプンは米やパンの主成分であり、人間のエネルギー源として毎日の生活に欠かせないものである。食品以外でも木や紙の主成分はセルロースという多糖であり、軟膏や手術糸などはアルギン酸という多糖が使われている。このように糖はもっとも身近にある有機化合物である。分子レベルで見た時も、生物の構成成分としてもエネルギー源として使われるのをはじめとしてタンパク質、核酸、脂質などと結合して、生体内で起こる反応に重要な機能を担っていることが明らかになってきている。中でもタンパク質の多くは糖鎖の修飾をもち、生理活性や構造の維持に糖鎖が重要や役割を果たしていると考えられている。この実習では糖の働きに関する英文のレビューを読み、糖の機能や構造に関する理解を深め、論文購読や糖鎖分析に関する実験を体験することを通して生体における糖の役割や重要性について最新の知識を勉強していく予定である。					
授業の到達目標(SBOs)					
糖に関する基礎知識を習得し、自分で実験計画を立て実験を行い、成果をまとめることができることを目標とする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	14:50-16:20	化学学生 実験室	勝又 敏行	
2	10/5	16:30-18:00	化学学生 実験室	勝又 敏行	
3	10/19	14:50-16:20	化学学生 実験室	勝又 敏行	
4	10/19	16:30-18:00	化学学生 実験室	勝又 敏行	
5	11/2	14:50-16:20	化学学生 実験室	勝又 敏行	
6	11/2	16:30-18:00	化学学生 実験室	勝又 敏行	
7	11/16	14:50-16:20	化学学生 実験室	勝又 敏行	
8	11/16	16:30-18:00	化学学生 実験室	勝又 敏行	
9	12/7	14:50-16:20	化学学生 実験室	勝又 敏行	
10	12/7	16:30-18:00	化学学生 実験室	勝又 敏行	
11	12/21	14:50-16:20	化学学生 実験室	勝又 敏行	
12	12/21	16:30-18:00	化学学生 実験室	勝又 敏行	
13	1/18	14:50-16:20	化学学生 実験室	勝又 敏行	

14	1/18	16:30-18:00	化学学生 実験室	勝又 敏行
15	2/1	14:50-16:20	化学学生 実験室	勝又 敏行
16	2/1	16:30-18:00	化学学生 実験室	勝又 敏行

授業方法 実習と講義による
授業内容 1. 糖のペーパークロマトグラフィー 2. 化学的な糖タンパク質の検出 3. 抗体、レクチンを使った特異的な構造の検出 4. 糖の組成分析 5. HPLC を用いた糖鎖構造解析 6. 論文講読
成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、その他(実験ノートなど)50% 再評価 有(レポート再提出)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 実験後に考察をし、次回の実験のテーマ設定にいかせるようにすること。
参考書 コールドスプリングハーバー糖鎖生物学／Ajit Varki [ほか編]鈴木康夫, 木全弘治 監訳: 丸善, 2010 ポストゲノム時代の糖鎖生物学がわかる／谷口直之 編: 羊土社, 2002 糖鎖科学への招待／辻崇一 共著,梶本哲也 共著.: 三共出版, 2008
連絡先 katsumata.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000331																																																																																									
科目名	R・講義と実習によるバイオサイエンス 2																																																																																									
担当教員	服部 淳彦																																																																																									
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																					
・曜日・時間: 水曜日4・5限(第1・3週を除く) ・対象学科・専攻: 医学・歯学・検査学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2－1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。 2－5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる力を養う。																																																																																										
授業の目的、概要等 この科目は、バイオサイエンス 1(前期)と2(後期)を合わせて完結する実習セミナー系の科目である。この科目では、 1) 現代のバイオサイエンスの研究で用いられている新しい手法の原理を学ぶ。 2) また、英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み、その内容をレジュメにまとめて、それぞれ発表してもらう。 3) 次に、それらの技術の一部を用いた実験を、実際に行う。 4) さらにその発展バージョンとして、自由にテーマを設定し、実験のプランニングをし、そのプランに従った実験を実際に行い、結果を発表、ミニ卒論(論文形式)の形にまとめてもらう。 したがって、実験を行う日は、5時限以降にずれ込むこともあるので、そのつもりでいてほしい。																																																																																										
授業の到達目標(SB0s) 将来研究者になるために必要な基本的なものの考え方や技術を修得する。																																																																																										
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/28</td><td>14:50-16:20</td><td>6 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>2</td><td>9/28</td><td>16:30-18:00</td><td>6 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>3</td><td>10/26</td><td>14:50-16:20</td><td>6 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>4</td><td>10/26</td><td>16:30-18:00</td><td>6 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>5</td><td>11/9</td><td>14:50-16:20</td><td>6 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>6</td><td>11/9</td><td>16:30-18:00</td><td>6 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>7</td><td>11/30</td><td>14:50-16:20</td><td>6 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>8</td><td>11/30</td><td>16:30-18:00</td><td>6 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>9</td><td>12/14</td><td>14:50-16:20</td><td>6 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>10</td><td>12/14</td><td>16:30-18:00</td><td>6 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>11</td><td>1/11</td><td>14:50-16:20</td><td>6 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>12</td><td>1/11</td><td>16:30-18:00</td><td>6 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>13</td><td>1/25</td><td>14:50-16:20</td><td>6 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>14</td><td>1/25</td><td>16:30-18:00</td><td>6 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>15</td><td>2/2</td><td>14:50-16:20</td><td>6 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>16</td><td>2/2</td><td>16:30-18:00</td><td>6 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/28	14:50-16:20	6 番教室	服部 淳彦	2	9/28	16:30-18:00	6 番教室	服部 淳彦	3	10/26	14:50-16:20	6 番教室	服部 淳彦	4	10/26	16:30-18:00	6 番教室	服部 淳彦	5	11/9	14:50-16:20	6 番教室	服部 淳彦	6	11/9	16:30-18:00	6 番教室	服部 淳彦	7	11/30	14:50-16:20	6 番教室	服部 淳彦	8	11/30	16:30-18:00	6 番教室	服部 淳彦	9	12/14	14:50-16:20	6 番教室	服部 淳彦	10	12/14	16:30-18:00	6 番教室	服部 淳彦	11	1/11	14:50-16:20	6 番教室	服部 淳彦	12	1/11	16:30-18:00	6 番教室	服部 淳彦	13	1/25	14:50-16:20	6 番教室	服部 淳彦	14	1/25	16:30-18:00	6 番教室	服部 淳彦	15	2/2	14:50-16:20	6 番教室	服部 淳彦	16	2/2	16:30-18:00	6 番教室	服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																						
1	9/28	14:50-16:20	6 番教室	服部 淳彦																																																																																						
2	9/28	16:30-18:00	6 番教室	服部 淳彦																																																																																						
3	10/26	14:50-16:20	6 番教室	服部 淳彦																																																																																						
4	10/26	16:30-18:00	6 番教室	服部 淳彦																																																																																						
5	11/9	14:50-16:20	6 番教室	服部 淳彦																																																																																						
6	11/9	16:30-18:00	6 番教室	服部 淳彦																																																																																						
7	11/30	14:50-16:20	6 番教室	服部 淳彦																																																																																						
8	11/30	16:30-18:00	6 番教室	服部 淳彦																																																																																						
9	12/14	14:50-16:20	6 番教室	服部 淳彦																																																																																						
10	12/14	16:30-18:00	6 番教室	服部 淳彦																																																																																						
11	1/11	14:50-16:20	6 番教室	服部 淳彦																																																																																						
12	1/11	16:30-18:00	6 番教室	服部 淳彦																																																																																						
13	1/25	14:50-16:20	6 番教室	服部 淳彦																																																																																						
14	1/25	16:30-18:00	6 番教室	服部 淳彦																																																																																						
15	2/2	14:50-16:20	6 番教室	服部 淳彦																																																																																						
16	2/2	16:30-18:00	6 番教室	服部 淳彦																																																																																						
授業方法 主に、論文紹介と実験による。																																																																																										
授業内容 1. 本年度のテーマに沿った内容の講義(前期) 2. 英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み、その内容をレジュメにまとめて発表(前期) 3. 研究に必要な実験の基本テクニックを習得(前期・夏休み) 4. テーマを設定し(夏休み)、独自の実験計画を立て、実際に実験を行う(後期) 5. 結果をパワーポイントにまとめて発表し、ミニ卒論としてまとめる(後期) * 少人数セミナー形式の授業なので、希望者が多い場合は、申し訳ないが人数を絞らせていただく。																																																																																										

成績評価の方法

評価: その他 100%

内容を発表してもらう英語論文に関するプレゼンテーションやディスカッションの様子, さらに, 実際に行った研究(実験)の内容やミニ卒論などから総合的に判断する。

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

渡された英語の論文は早めに読んでおくこと。また, レジюмеにまとめる内容に関して事前に相談に来ること。

教科書

参考論文などは随時紹介する。

連絡先

ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000818																																																																																									
科目名	S・表象文化論																																																																																									
担当教員	土佐 朋子																																																																																									
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																					
・曜日・時間: 第1・3を除く水曜2限 ・対象学科: 全学科 ・募集人数: 25 名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテシー) 別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－4) 異なる空間の文化を理解する																																																																																										
授業の目的、概要等 ここでいう「表象文化」とは、「文学」あるいは「作品」の概念をより拡張したものであるが、本講においては、特に視覚的イメージを題材にして、その構造と政治性について考察する。 言葉、映像、音楽などを組み合わせた映画特有の表現方法や、時代背景、作品と作品との継承関係などをふまえながら、制度＝秩序の生成と、自然＝身体との対立、そして身体の異形化による制度からの逸脱あるいは排除といった政治力学を、文化記号の中に読み取り分析する。あわせて、作品一つ一つに対する自らの解釈を定めることと、それらを人間の生み出してきた表象の大きな流れの中に位置づけることを目指す。																																																																																										
授業の到達目標(SB0s) ①作品一つ一つに対する自らの解釈を定めるための方法を学ぶ。 ②人間の表象という創造的営みが、歴史という大きな流れの中で継承されながら新たに生み出されていくことを理解する。																																																																																										
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/28</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>2</td><td>9/28</td><td>16:30-18:00</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>3</td><td>10/26</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>4</td><td>10/26</td><td>16:30-18:00</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>5</td><td>11/9</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>6</td><td>11/9</td><td>16:30-18:00</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>7</td><td>11/30</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>8</td><td>11/30</td><td>16:30-18:00</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>9</td><td>12/14</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>10</td><td>12/14</td><td>16:30-18:00</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>11-12</td><td>1/11</td><td>14:50-18:00</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>13</td><td>1/11</td><td>16:30-18:00</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>14</td><td>1/25</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>15</td><td>1/25</td><td>16:30-18:00</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>16</td><td>2/2</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>17</td><td>2/2</td><td>16:30-18:00</td><td>9 番教室</td><td>土佐 朋子</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/28	14:50-16:20	9 番教室	土佐 朋子	2	9/28	16:30-18:00	9 番教室	土佐 朋子	3	10/26	14:50-16:20	9 番教室	土佐 朋子	4	10/26	16:30-18:00	9 番教室	土佐 朋子	5	11/9	14:50-16:20	9 番教室	土佐 朋子	6	11/9	16:30-18:00	9 番教室	土佐 朋子	7	11/30	14:50-16:20	9 番教室	土佐 朋子	8	11/30	16:30-18:00	9 番教室	土佐 朋子	9	12/14	14:50-16:20	9 番教室	土佐 朋子	10	12/14	16:30-18:00	9 番教室	土佐 朋子	11-12	1/11	14:50-18:00	9 番教室	土佐 朋子	13	1/11	16:30-18:00	9 番教室	土佐 朋子	14	1/25	14:50-16:20	9 番教室	土佐 朋子	15	1/25	16:30-18:00	9 番教室	土佐 朋子	16	2/2	14:50-16:20	9 番教室	土佐 朋子	17	2/2	16:30-18:00	9 番教室	土佐 朋子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																						
1	9/28	14:50-16:20	9 番教室	土佐 朋子																																																																																						
2	9/28	16:30-18:00	9 番教室	土佐 朋子																																																																																						
3	10/26	14:50-16:20	9 番教室	土佐 朋子																																																																																						
4	10/26	16:30-18:00	9 番教室	土佐 朋子																																																																																						
5	11/9	14:50-16:20	9 番教室	土佐 朋子																																																																																						
6	11/9	16:30-18:00	9 番教室	土佐 朋子																																																																																						
7	11/30	14:50-16:20	9 番教室	土佐 朋子																																																																																						
8	11/30	16:30-18:00	9 番教室	土佐 朋子																																																																																						
9	12/14	14:50-16:20	9 番教室	土佐 朋子																																																																																						
10	12/14	16:30-18:00	9 番教室	土佐 朋子																																																																																						
11-12	1/11	14:50-18:00	9 番教室	土佐 朋子																																																																																						
13	1/11	16:30-18:00	9 番教室	土佐 朋子																																																																																						
14	1/25	14:50-16:20	9 番教室	土佐 朋子																																																																																						
15	1/25	16:30-18:00	9 番教室	土佐 朋子																																																																																						
16	2/2	14:50-16:20	9 番教室	土佐 朋子																																																																																						
17	2/2	16:30-18:00	9 番教室	土佐 朋子																																																																																						
授業方法 講義と演習。																																																																																										
授業内容 第1回 「表象」とは何か 映画の始まりージョルジュ・メリエス『月世界旅行』ー 第2回 可視化される制度ー映画『メトロポリス』(フリッツ・ラング、1927 年公開) 第3回 身体のディシプリンと逸脱1ー映画『モダンタイムス』(チャールズ・チャップリン、1938 年) 第4回 身体のディシプリンと逸脱2ー映画『自由を我らに』(山本薩夫、1952 年)ほか。 第5回 怪物、あるいは逸脱する身体ー映画『ゴジラ』(本多猪四郎、1954 年) 第6回 自然と技術、葛藤する制度ー映画『もののけ姫』(宮崎駿、1997 年)																																																																																										

第7回 排除と憧憬、畏怖と神聖視1—ジブリ作品を中心に 第8回 まとめ ※上の内容は、授業の進度などによって、変更する場合があります。
成績評価の方法 評価:試験0%・レポート 50% その他(授業中の取り組みと演習への参加度)50% 再評価:無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 課題となる作品を事前に見て、内容を把握し、問題点や疑問点などを整理しておく。 講義中に使用する関連資料も読み、理解しておく。
試験の受験資格 原則として3分の2以上の出席。
教科書 プリントを使用。
参考書 授業中にその都度紹介する。
履修上の注意事項 出席管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させる。 出欠管理システム上に打刻があっても、教員がとった出欠で記録がない場合には欠席扱いになる。 レポートにおいて、剽窃、無断引用などが見られた場合には原則として「不可」とする。
連絡先 tosa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50 管理研究棟2階文学研究室

時間割番号	000343				
科目名	R・離散構造(α)				
担当教員	徳永 伸一				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間:水曜 4-5 限(ただし第 1 週・第 3 週を除く)					
対象学科・専攻:全学科					
授業の目的、概要等					
この授業で扱うのは、たとえば以下のような問題です:					
「 $m \times n$ の長方形が単位正方形を 4 つ張り合わせた L 字型のタイルで隙間無く敷き詰められるための、 m と n の 必要十分条件を求めよ」					
「 3×4 の長方形の中に 6 つの点があるとき、それら 6 点のうち距離 $\sqrt{5}$ 以下の 2 点が存在することを示せ」					
「6 人が参加したパーティにおいて、互いに知り合いである 3 人か、または互いに 2 知り合いでない 3 人のいずれかが存在することを示せ」					
「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」といい、離散数学が扱う対象を総称して「離散構造」と呼びます。本科目では離散構造に関する書籍を 1 つ取り上げ、輪読形式のセミナーを行います。扱われる命題の大部分は直観的に理解可能で高度な知識や数式を必要としませんが、その分、論理を正確に理解し言葉で的確に説明する能力が重視されます。					
本年度は					
V. Boltyanski & A. Soifer 著「Geometric Etude in Combinatorial Mathematics」					
(「組合せ数学における幾何的なエチュード」)					
の適当な Chapter を選んで読むことにします。					
(ただし他に適当な教材があれば受講者の希望も勘案して変更する可能性あり。αとβで別内容となる可能性もあります)					
本書の英文は極めて平易であり、扱われる問題も直感的に理解しやすいものであるため、高度な読解力や数学および数学専門用語の知識は必要としません(その都度調べれば充分対応可能)。結果的に、英文を「論理的に読む」ための教材として非常に適しており、医療系の英語論文を読む際にも大いに役立つと思われます。なお、冒頭の問題は本書の例題・演習問題から選びました。					
授業の到達目標(SB0s)					
英語で書かれた数学の平易なテキストを論理的に解読し、理解したことを整理して解説できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/28	14:50-16:20	2 番教室	徳永 伸一	
2	9/28	16:30-18:00	2 番教室	徳永 伸一	
3	10/26	14:50-16:20	2 番教室	徳永 伸一	
4	10/26	16:30-18:00	2 番教室	徳永 伸一	
5	11/9	14:50-16:20	2 番教室	徳永 伸一	
6	11/9	16:30-18:00	2 番教室	徳永 伸一	
7	11/30	14:50-16:20	2 番教室	徳永 伸一	
8	11/30	16:30-18:00	2 番教室	徳永 伸一	
9	12/14	14:50-16:20	2 番教室	徳永 伸一	
10	12/14	16:30-18:00	2 番教室	徳永 伸一	
11	1/11	14:50-16:20	2 番教室	徳永 伸一	
12	1/11	16:30-18:00	2 番教室	徳永 伸一	
13	1/25	14:50-16:20	2 番教室	徳永 伸一	
14	1/25	16:30-18:00	2 番教室	徳永 伸一	
15	2/2	14:50-16:20	2 番教室	徳永 伸一	

16	2/2	16:30-18:00	2 番教室	徳永 伸一
授業方法 輪読によるセミナー形式。				
授業内容 毎回 1～2名の発表者に、各自の担当範囲(1セクションの半分程度)を解説してもらいます。 ただし状況に応じて担当教員が関連分野の講義を行うこともあります。 また発表者には担当範囲の全訳およびそれを補足するレジュメの提出を義務付けます。				
成績評価の方法 発表・レジュメの内容や授業参加への積極性を総合的に評価します。				
成績評価の基準 到達目標をある程度達成したと見なせること。				
準備学習などについての具体的な指示 テキストを事前に読み、未知の英単語・概念等を調べて、大まかな内容を把握しておくこと。				
参考書 やさしい幾何学問題ゼミナール／ピーター・フランクフル、前原潤 著：共立出版、1992 入門組合せ論／ラスロウ・ロバース 他著、秋山仁、ピーター・フランクフル 翻案：共立出版、1985				
他科目との関連 前期の「S・離散構造講義」と関連する問題も扱いますが、必要に応じて補足説明を行いますので、「S・離散構造講義」している必要はありません。				
備考 水曜 4-5 限に履修できない学生のために別クラス(β)を設けていますので、そちらも検討してください。				
連絡先 tokunaga.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー 月曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) * 計算機実習室で授業がある日は、そちらにすることが多いです。				

時間割番号	000332																																																																
科目名	R・グリム童話を読む																																																																
担当教員	シンチンガー エミ																																																																
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																												
・曜日・時間:水曜 4・5 限、(第 1 と第 3 水曜をのぞく) ・対象学科:全学科 ・受講資格:ドイツ語を履修していること ・募集人数:20 人 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－1)言語を通した人間の創造的営みを理解する 別表1－4)異なる空間の文化を理解する 別表1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表1－6)優れた芸術作品に触れて感性を高める 別表1－7)人間の心への理解を深める 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する																																																																	
授業の目的、概要等 ドイツ語を習い始めて、原文で有名な作品を読みたい方々のための授業です。 グリム童話集(決定稿と呼ばれる 1857 年の第3版をもとにした現代版)から、短くて読みやすいもの、有名なものなどを中心に選び、読んでいきたいと思います。 作品だけを理解し、鑑賞することも大切ですが、作者やその時代背景についての知識が深まれば作品の理解も深まります。そこで参加者には、作者と作品の時代的、文学的背景などについて調べてきてもらい、短い発表をしてもらいます。その後発表と童話の訳を中心に作成したレポートを提出してもらいます。																																																																	
授業の到達目標(SBOs) なるべく多くの童話を読み、グリム童話というもの、そして様々な国の童話集との関係などについても考えることが目標です。																																																																	
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/28</td><td>14:50-16:20</td><td>11 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>2</td><td>9/28</td><td>16:30-18:00</td><td>11 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>3</td><td>10/26</td><td>14:50-16:20</td><td>11 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>4</td><td>10/26</td><td>16:30-18:00</td><td>11 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>5</td><td>11/9</td><td>14:50-16:20</td><td>11 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>6</td><td>11/9</td><td>16:30-18:00</td><td>11 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>7</td><td>11/30</td><td>14:50-16:20</td><td>11 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>8</td><td>11/30</td><td>16:30-18:00</td><td>11 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>9</td><td>12/14</td><td>14:50-16:20</td><td>11 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>10</td><td>12/14</td><td>16:30-18:00</td><td>11 番教室</td><td>シンチンガー エミ</td></tr><tr><td>11</td><td>1/11</td><td>14:50-16:20</td><td>11 番教室</td><td>シンチンガー</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/28	14:50-16:20	11 番教室	シンチンガー エミ	2	9/28	16:30-18:00	11 番教室	シンチンガー エミ	3	10/26	14:50-16:20	11 番教室	シンチンガー エミ	4	10/26	16:30-18:00	11 番教室	シンチンガー エミ	5	11/9	14:50-16:20	11 番教室	シンチンガー エミ	6	11/9	16:30-18:00	11 番教室	シンチンガー エミ	7	11/30	14:50-16:20	11 番教室	シンチンガー エミ	8	11/30	16:30-18:00	11 番教室	シンチンガー エミ	9	12/14	14:50-16:20	11 番教室	シンチンガー エミ	10	12/14	16:30-18:00	11 番教室	シンチンガー エミ	11	1/11	14:50-16:20	11 番教室	シンチンガー
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																													
1	9/28	14:50-16:20	11 番教室	シンチンガー エミ																																																													
2	9/28	16:30-18:00	11 番教室	シンチンガー エミ																																																													
3	10/26	14:50-16:20	11 番教室	シンチンガー エミ																																																													
4	10/26	16:30-18:00	11 番教室	シンチンガー エミ																																																													
5	11/9	14:50-16:20	11 番教室	シンチンガー エミ																																																													
6	11/9	16:30-18:00	11 番教室	シンチンガー エミ																																																													
7	11/30	14:50-16:20	11 番教室	シンチンガー エミ																																																													
8	11/30	16:30-18:00	11 番教室	シンチンガー エミ																																																													
9	12/14	14:50-16:20	11 番教室	シンチンガー エミ																																																													
10	12/14	16:30-18:00	11 番教室	シンチンガー エミ																																																													
11	1/11	14:50-16:20	11 番教室	シンチンガー																																																													

			室	エミ	
12	1/11	16:30-18:00	11 番教 室	シンチンガー エミ	
13	1/25	14:50-16:20	11 番教 室	シンチンガー エミ	
14	1/25	16:30-18:00	11 番教 室	シンチンガー エミ	
15	2/2	14:50-16:20	11 番教 室	シンチンガー エミ	
16	2/2	16:30-18:00	11 番教 室	シンチンガー エミ	
授業方法					
初回にはオリエンテーションとして、教員がグリム童話についての講義をします。その後プリントを配布、どの童話を読むかを相談し、どの参加者が、いつ、どの童話について発表するかも相談します。2 回目以降: 予習してきてもらって、童話を原文で読んで、訳していきます。難しい箇所についてはみんなで考えます。3 回目以降: それぞれの童話について、担当者に作者と童話の時代背景などについて短い発表をしてもらってから、全員で読んでみて、内容、解釈等について話し合います。					
授業内容					
予定しているのは、多数のあまり知られていない短い童話と、赤ずきん、ブレーメンの音楽隊、カエルの王様、ラプンツェル、金のガチョウなどの有名な童話です。参加者の希望で読む童話を決めたいと思います。					
成績評価の方法					
予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。 授業中に行った発表と、その内容をまとめて提出してもらったレポートが 50 パーセント。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
毎回原文をたくさん読んでいきますので、予習がとても重要です。 毎回指示がある箇所まで辞書を使って自宅で予習してきてください。 1 年前期に習った文法事項では全く足りないのので、後期に習う文法事項も先取りしながら読んでいきますが、1 年の教科書のドイツ語とは格段に違う難しいドイツ語をたくさん読みますので覚悟が必要です。 受講前の準備としては、前期に習ったドイツ語の文法をよく復習しておいてください。					
試験の受験資格					
原則 3 分の 2 以上出席					
教科書					
初回にプリントを配布します。					
参考書					
新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきました。 電子辞書よりも紙の辞書の方が詳しいのでよいのですが、 もし電子辞書をこれから購入するのであれば、 そしてこれからもドイツ語を続けるのであれば、 カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。					
履修上の注意事項					
原文を読むので、ドイツ語を履修していない人は取れません。 毎回予習が必要です。					
連絡先					
schinzinger.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					

時間割番号	000315																																																										
科目名	S・数理生物学																																																										
担当教員	中口 悦史																																																										
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																						
曜日・時限: 水曜日4・5時限(第1・3水曜日を除く) 募集人数: 15名程度 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 2-4), 4-2)																																																											
授業の目的、概要等 数理生物学とは数学的手法を用いて生物学・生命科学の問題を解決する学問分野であり、生物学・生命科学と数学の融合領域として今や重要な位置を占めている。この授業では、生物学・生命科学における数学の役割と数学的手法の理解を目的として、数理生物学の中でもイメージのつかみやすい個体群動態や生物拡散、遺伝・進化のモデルについて、英語文献の輪読により学習する。なお、モデル化や数学的手法を主に取り上げ、生物学の内容にはあまり深入りしないので、履修選択の際には注意すること。																																																											
授業の到達目標(SB0s) 生物学・生命科学における数理モデルの重要性とその限界について理解する。																																																											
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>担当教員</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1-2</td><td>9/28</td><td>14:50-18:00</td><td>4 番教室</td><td>第1回</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>3-4</td><td>10/26</td><td>14:50-18:00</td><td>4 番教室</td><td>第2回</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>5-6</td><td>11/9</td><td>14:50-18:00</td><td>4 番教室</td><td>第3回</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>7-8</td><td>11/30</td><td>14:50-18:00</td><td>4 番教室</td><td>第4回</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>9-10</td><td>12/14</td><td>14:50-18:00</td><td>4 番教室</td><td>第5回</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>11-12</td><td>1/11</td><td>14:50-18:00</td><td>4 番教室</td><td>第6回</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>13-14</td><td>1/25</td><td>14:50-18:00</td><td>4 番教室</td><td>第7回</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>15-16</td><td>2/2</td><td>14:50-18:00</td><td>4 番教室</td><td>第8回</td><td>中口 悦史</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-2	9/28	14:50-18:00	4 番教室	第1回	中口 悦史	3-4	10/26	14:50-18:00	4 番教室	第2回	中口 悦史	5-6	11/9	14:50-18:00	4 番教室	第3回	中口 悦史	7-8	11/30	14:50-18:00	4 番教室	第4回	中口 悦史	9-10	12/14	14:50-18:00	4 番教室	第5回	中口 悦史	11-12	1/11	14:50-18:00	4 番教室	第6回	中口 悦史	13-14	1/25	14:50-18:00	4 番教室	第7回	中口 悦史	15-16	2/2	14:50-18:00	4 番教室	第8回	中口 悦史
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																						
1-2	9/28	14:50-18:00	4 番教室	第1回	中口 悦史																																																						
3-4	10/26	14:50-18:00	4 番教室	第2回	中口 悦史																																																						
5-6	11/9	14:50-18:00	4 番教室	第3回	中口 悦史																																																						
7-8	11/30	14:50-18:00	4 番教室	第4回	中口 悦史																																																						
9-10	12/14	14:50-18:00	4 番教室	第5回	中口 悦史																																																						
11-12	1/11	14:50-18:00	4 番教室	第6回	中口 悦史																																																						
13-14	1/25	14:50-18:00	4 番教室	第7回	中口 悦史																																																						
15-16	2/2	14:50-18:00	4 番教室	第8回	中口 悦史																																																						
授業方法 英語文献の輪読と演習を交えながらゼミ形式で授業を進める。																																																											
授業内容 英語文献“Essential Mathematical Biology”または“Mathematical Ideas in Biology”の輪読、質疑応答、演習。																																																											
成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 50% ・ その他(授業への取り組み方) 50% 再評価：無 期末試験に代えてレポートを課す。																																																											
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による																																																											
準備学習などについての具体的な指示 輪読に当たっては必ず予習し、不明な点をよく整理して臨むこと。 また、高校・大学で学習した数学・統計学および生物学の内容をよく復習のこと。 ただし、微分方程式に関する事項は、授業中に説明するので、特に予習しなくてもよい。																																																											
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに、出席回のコメントシートの提出。																																																											
教科書 Essential Mathematical Biology／Nicholas F.Britton: Springer, 2003 Mathematical Ideas in Biology／John Maynard Smith,: Cambridge University Press, 1968 絶版の場合は輪読箇所等のコピーを適宜配付する。																																																											
参考書 マレー数理生物学入門／James D. Murray 著,: 丸善出版, 2014-01 Mathematical Biology I: An Introduction, 3rd ed.／J.D.Murray: Springer, 2002 Mathematical Biology II: Spatial Models and Biomedical Applications, 3rd ed.／J.D.Murray: Springer, 2003																																																											

「数」の数理生物学／日本数理生物学会 編：共立出版, 2008

「空間」の数理生物学／瀬野裕美 責任編集：共立出版, 2009

「行動・進化」の数理生物学／瀬野裕美 責任編集：共立出版, 2010

数理生物学：個体群動態の数理モデリング入門／瀬野裕美 著：共立出版, 2007

理論生物学：生命科学の新しい潮流／望月敦史 編：共立出版, 2011

絶版の参考書：

- ・ 寺本英『数理生態学』朝倉書店(1997 年)
- ・ 重定南奈子『侵入と伝播の数理生態学』東京大学出版会(1992 年)ISBN: 978-4-13-063142-6
- ・ 稲葉寿 編著『感染症の数理モデル』培風館(2008 年)ISBN: 978-4563011376

履修上の注意事項

・ 英和辞典必携。語彙や用例が豊富であれば電子辞書やスマホ等の辞書機能でも可。 ・ 出欠確認は出欠管理システムと、各回のコメントシート提出を併用する。

連絡先

nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水・金 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000339				
科目名	S・彫刻(塑造)				
担当教員	高見 直宏				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間:水曜・4～5限					
募集人数:14 人					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1ー6					
主な講義場所					
13 番教室					
授業の目的、概要等					
水粘土を使用し、塑造による頭像制作を行う実技演習授業。					
授業の到達目標(SB0s)					
素材とする水粘土に触れる。造形を追求する。観察によって得られる人体の力強さや美しさ等を表現することを目標とする。人間の魅力を感じ取り、芸術に深く触れることを目標とする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/28	14:50-16:20	13 番教室	高見 直宏	
2	9/28	16:30-18:00	13 番教室	高見 直宏	
3	10/5	14:50-16:20	13 番教室	高見 直宏	
4	10/5	16:30-18:00	13 番教室	高見 直宏	
5	10/19	14:50-16:20	13 番教室	高見 直宏	
6	10/19	16:30-18:00	13 番教室	高見 直宏	
7	10/26	14:50-16:20	13 番教室	高見 直宏	
8	10/26	16:30-18:00	13 番教室	高見 直宏	
9	11/2	14:50-16:20	13 番教室	高見 直宏	
10	11/2	16:30-18:00	13 番教室	高見 直宏	
11	11/9	14:50-16:20	13 番教室	高見 直宏	
12	11/9	16:30-18:00	13 番教室	高見 直宏	
13	11/16	14:50-16:20	13 番教室	高見 直宏	
14	11/16	16:30-18:00	13 番教室	高見 直宏	
15	11/30	14:50-16:20	13 番教室	高見 直宏	
16	11/30	16:30-18:00	13 番教室	高見 直宏	

授業方法
全 16 回の授業は全て実技実習。
授業内容
第 1、2 回 彫刻についての講義 / 第 3、4 回 デッサンについての講義とデッサン実技(モデル)/第 5、6 回 心棒についての講義と塑造制作(モデル)/第 7、8 回 粘土についての講義と塑造制作(モデル)/第 9、10 回 塑造制作(モデル)/第 11、12 回 塑造制作(モデル)/第 13、14 回 塑造制作(モデル)/第 15、16 回 作品の講評会
成績評価の方法
評価 : 試験 % ・ レポート % ・ その他(実習作品、出席点)100 % 再評価: 無
成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示
料理・メイク・大工仕事などのクリエイティブな活動を積極的に行い、日常生活において、想像した物事を自らの手で形作ろうとする姿勢を持つことが望ましい。
履修上の注意事項
出席重視 出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先させる
備考
準備するもの:スケッチブック(A4 以上)、鉛筆(2B のものを 3 本)、カッターナイフ、作業着(白衣も可)

時間割番号	000855				
科目名	S・Essentials of Medical Language				
担当教員	Dennisson Jeanette				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
This course is being offered for the first time as an introduction to medical terminology in English. As a medical professional, you will need to know technical medical vocabulary presented in textbooks and literature. You will also need to understand how to use non-technical vocabulary that you use with non-medical professionals, such as patients. In this class, you will build technical medical language to describe systems of the body. You will also practice how to communicate with patients in English using non-technical language.					
授業の目的、概要等					
The purpose of this course is to build medical terminology and understand how to communicate with patients in English.					
Goals					
1) Learn medical language and how it is used in written and oral forms					
2) Identify and “translate” medical language into lay term (non-technical) language					
3) Apply medical and lay terminology in written and oral formats.					
授業の到達目標(SBOs)					
By the end of this course, you will be able to:					
1) Break down medical language into elements (for example, prefix, suffix, root words)					
2) Describe medical language used for each body system					
3) Create own English conversation with a patient using non-technical language					
4) Create medical documentations that uses technical medical language					
5) Evaluate English conversations with a patient based on appropriate professionalism, medical language, and flow.					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/28	14:50-16:20	3 番教室	Dennisson Jeanette	
2	9/28	16:30-18:00	3 番教室	Dennisson Jeanette	
3	10/26	14:50-16:20	3 番教室	Dennisson Jeanette	
4	10/26	16:30-18:00	3 番教室	Dennisson Jeanette	
5	11/9	14:50-16:20	3 番教室	Dennisson Jeanette	
6	11/9	16:30-18:00	3 番教室	Dennisson Jeanette	
7	11/30	14:50-16:20	3 番教室	Dennisson Jeanette	
8	11/30	16:30-18:00	3 番教室	Dennisson Jeanette	
9	12/14	14:50-16:20	3 番教室	Dennisson Jeanette	
10	12/14	16:30-18:00	3 番教室	Dennisson Jeanette	
11	1/11	14:50-16:20	3 番教室	Dennisson Jeanette	

12	1/11	16:30-18:00	3 番教室	Dennisson Jeanette
13	1/25	14:50-16:20	3 番教室	Dennisson Jeanette
14	1/25	16:30-18:00	3 番教室	Dennisson Jeanette
15	2/2	14:50-16:20	3 番教室	Dennisson Jeanette
16	2/2	16:30-18:00	3 番教室	Dennisson Jeanette

授業方法

Students will work in groups to complete tasks in and outside class.

For each unit, there will be the following two components.

- 1) Tasks related to vocabulary building for each body system
- 2) Patient conversation practice related to complaints/disease of each body system

授業内容

The 6 units covered in this course are organised by body system:

- 1) Integumentary system (skin)
- 2) Digestive system (from mouth to rectum)
- 3) Cardiovascular/Circulatory system (heart and blood)
- 4) Respiratory system (nose, lungs)
- 5) Endocrine system (hypothalamus, pituitary and pineal glands)
- 6) Nervous system (brain, nerves, spinal cord)

For each system, medical language related to each system will be introduced, including body parts, diseases and medical procedures. You will be tested on the content of these units through in class activities, weekly quizzes and conversation performance in class.

In addition to these 6 units, there will be two student projects. The two projects will be pair/group work. You and your classmates will decide on one anatomy topic to investigate. As a group, you will 1) create a vocabulary list of medical language related to this topic and 2) a patient conversation related to a problem/disease/complaint related to the topic. You will present your vocabulary to classmates and perform the conversations in class.

成績評価の方法

Attendance: 15%

Class participation: 15%

Online activities: 30%

2 Group projects: 40% (20% each)

Attendance: Rated on 3-point scale: 3 = On time; 2 = 10 minutes late; 1 = 20 minutes late. Students 20 minutes late for class will be considered absent but may be considered for participation points.

Class participation: Rated on 4-point scale: 4 = very active, good group work; 3 = active, shares with group; 2 = limited activity, unprepared, does not share with group; 1: No activity

Online activities: TWO online activities may be dropped from your total evaluation. In-class activities have strict deadlines (same day submission). Outside class activities have flexible deadlines (by the end of the final examination).

Group projects: There are two group projects. The group may be 2 or 3 members. As a group, you must select your own topic to investigate. All members will be evaluated the same based on the group's performance. A final survey will be given to evaluate the level of participation of each group member to ensure fairness.

成績評価の基準

Refer to「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」

準備学習などについての具体的な指示

Before Class:

Reading the selected parts of the textbook before each class is recommended. Copies of parts of the textbook will be provided on the course website.

The group projects should be a team effort prepared outside of class time. Each student should contribute some portion to the submitted materials. If you find one member of the group who did not participate sufficiently, you will have an opportunity to describe your group member's performance on the peer evaluation survey after submission of the project.

In Class:

Your opinion, ideas and perspective are greatly encouraged in class activities. As part of the class, you will be role playing patient conversations. Therefore, you will have a chance to practice pronunciation and intonation. For example, you must sound sick if you are the patient and you must sound sympathetic if you are the medical professional.

Some tasks in class require online submission. You must submit these tasks within the class or immediately following the class to receive credit.

Vocabulary List:

Creating your own vocabulary list throughout the course is greatly encouraged. Sharing your list with classmates is also helpful. The course website provides a great environment to share your list. You will be tested on the vocabulary chosen by the teacher and your peers.

A good vocabulary list includes more than the definition in Japanese or in English. A good vocabulary list includes your definition of the word (using your own words not the dictionary's) and a sample sentence of how the word is used. Many words have different meanings. Only introduce the meaning that you found in the text (not all possible meanings). When creating meanings and sentences, think about your classmates who will read it. Will they understand how to use the word without looking it up themselves?

Online Course Website:

Regular access to the online course website will be required in and outside of class. In-class activities should be submitted on the course website.

You will have to share your project materials and review the project materials of other groups on the course website.

試験の受験資格

Any English level is welcome.

教科書

Main textbook:

Essentials of Medical Language 3rd Ed. by Locker and Allan (2015)

****Note:** Purchase of this textbook is NOT required. Chapters used in class will be available by the instructor. However, this textbook is a very good reference for medical professionals and I recommend buying it!

Link for Amazon JP: http://www.amazon.co.jp/Essentials-Medical-Language-Karen-Lockyer-ebook/dp/B00WZ0SUFA/ref=sr_1_1?ie=UTF8&qid=1455503929&sr=8-1&keywords=essentials+of+medical+language

Link for Amazon USA (rent): http://www.amazon.com/Essentials-Medical-Language-Karen-Lockyer-ebook/dp/B00WZ0SUFA/ref=mt_kindle?_encoding=UTF8&me=

参考書

Supplemental materials will be provided on the course website.

履修上の注意事項

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs. Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

The online course website is: www.eliademy.com

You will need to sign up with a new account using your TMDU email address, if you have not created an account already for another course. All/most of the teaching materials and assignments will be available on this website. You should check this website before and after each lesson.

You will receive an invitation join the online course in your email box at the beginning of the semester. Please join the class immediately after creating an account. You will be responsible for the content and activities provided on this website.

連絡先

dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水・木曜日 PM.12:30-13:00 管理研究棟3階

時間割番号	000854				
科目名	S・実用統計学(β)				
担当教員	徳永 伸一				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間:木曜4限(ただし、同日の他科目のスケジュールを勘案し、一部変更の可能性あり)					
対象学科:保健衛生学科、口腔保健学科					
授業の目的、概要等					
保健衛生学科・口腔保健学科の皆さんが学ぶ「統計学」を補完する形で、講義と演習を交えながら、より実践的な統計学を学習します。					
保健衛生学科や口腔保健学科の卒業研究では統計処理が多用されますが、これに対処するためには、必修科目の「統計学」だけでは充分とはいえません。この授業では、「統計学」の学習内容をより確かなものとすると共に、将来卒業研究等で必要になると思われるレベルの統計学や、Excel を用いた簡単な統計処理の技術を習得することを目指します。担当者は皆さんの先輩から相談を受け、指導を行った経験がありますので、その内容も反映させていく予定です。					
授業の到達目標(SB0s)					
・必修科目「統計学」の理解をより確実なものとし、実際の統計処理に応用できるようにする。					
・クロス表の検定や初歩的なノンパラメトリック検定など、実用上重要となる統計手法の原理を理解し、実際の問題に応用できるようにする。					
・本格的な統計処理ソフトを使う前段階として、Excel を用いた簡単な統計処理を実行できるようにする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/29	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一	
2	10/6	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一	
3	10/13	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一	
4	10/20	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一	
5	10/27	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一	
6	11/10	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一	
7	11/17	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一	
8	11/24	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一	
9	12/1	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一	
10	12/8	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一	
11	12/15	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一	
12	12/22	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一	
13	1/12	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一	
14	1/19	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一	

15	1/26	14:50-16:20	計算機実 習室	徳永 伸一	
授業内容 (以下は仮のスケジュールです。履修者のレベルや希望に応じて調整予定) 第1～3回 :序論および前期の復習 第4回 :Excel 入門 第5～8回 :演習1 (Excel 演習) 第9～12回 :実用統計学講義(カイニ乗検定、ノンパラメトリック検定 他) 第13・14回 :演習2 第15回 (予備)					
成績評価の方法 原則として出席および授業中に行う演習課題により評価しますが、それらの評価が一定基準に達しない履修者を対象に、評価の不足を補うためのレポート課題や試験を課す可能性があります。					
準備学習などについての具体的な指示 必修科目「統計学」の授業内容をよく把握しておくこと。また自宅のパソコンに Excel をインストールし、使えるようにしておくこと。					
参考書 数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山舘周恒, 熊坂一成 著, :医歯薬出版, 2005 やさしい医療系の統計学／佐藤敏雄, 村松宰 著, :医歯薬出版, 2002 入門統計解析／松原望 著, :東京図書, 2007 バイオサイエンスの統計学 : 正しく活用するための実践理論／市原清志 著, :南江堂, 1990					
他科目との関連 「統計学」の進行に合わせ、内容を確認しながら進めます。					
備考 水曜日に開講する「S・実用統計学(Ⅱ)」と同内容です。 主として水曜日に履修できない人が履修することを想定しています。					
連絡先 tokunaga.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 月曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) * 計算機実習室で授業がある日は、そちらにすることが多いです。					

時間割番号	000337				
科目名	S・生体分子分光光学演習				
担当教員	奈良 雅之				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
・曜日・時間: 木曜5, 6限(開講日指定) ・対象学科: 全学科 ・募集人数: 5名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1、2、3) 科学的思考方法を知る 4-3) 自然現象を探究するための基本的手法を身につける					
授業の目的、概要等 担当教員の専門分野(生体分子分光光学)に関連した研究テーマに実際に参加することにより、研究の取り組み方を学ぶことを目的としています。研究計画から実験報告まで、将来研究者として欠かすことのできない重要事項を一通り体系的に学べるでしょう。					
授業の到達目標(SBOs) 少し高度な学生実験レベルから研究レベルまで、学生が希望したレベルの演習を体験できる。					
授業方法 実験ならびに研究ミーティング形式による					
授業内容 タンパク質や脂質などの生体高分子や生体材料そのものを研究対象として、分光学的手法(主として赤外分光法もしくはラマン分光法)によるアプローチにより、対象となる分子の構造と機能の相関を解析する。 1. 分光光学に関する基本操作を習得する。 2. 実験テーマ、研究テーマを決める。 3. 各自の目標設定を定めた上で、達成するための計画を立てる。 4. 研究を行う。(実験ならびに結果解析) 5. 研究結果についてのディスカッションを行う。一対一指導 6. 実験経過、研究成果を発表する。 7. 実験レポート(報告書)として報告する。					
成績評価の方法 評価: 報告・レポート: 80% その他20%(授業中の取り組み方、参加度) 再評価 無					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 予習: 配付資料で分光光学の原理について勉強する 復習: 実験結果を整理して、報告できるようにまとめる					
試験の受験資格 定期試験の受験資格: 原則3分の2以上出席 (報告・レポートをもって定期試験とする)					
連絡先 nara.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階					

時間割番号	000816																																																						
科目名	S・Discussions on Human Behavior																																																						
担当教員	フォス パトリック																																																						
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																		
・曜日・時間: 金曜1限 ・対象: 医学科・歯学科・検査技術学・口腔保健工学・口腔保健衛生学・看護学 ・募集人数: 12名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表3－5) 別表4－5)																																																							
授業の目的、概要等 Why do students usually wait until the last minute to do an assignment? Why is dieting so difficult? Why do some people drink Aquarius and others drink Pocari Sweat? How much would you pay for a piece of great chocolate? Would you be happy or unhappy if your grandparents gave you 5000 yen on New Year's Day? What if you won the same 5000 yen in a contest? This course will look at some of the ways people behave in their daily lives and what influences their behavior, using the popular book “Predictably Irrational” by Dan Ariely as a base. The course goals are to deepen students’ understanding of the behavior of others and their own behavior while at the same time improving their overall English abilities and critical thinking skills.																																																							
授業の到達目標(SBOs) By the end of this course, students will be able to: 1. Better understand why people make certain types of decisions 2. Make better personal decisions 3. Reflect and discuss (in English) on their own behavior and the behavior of others																																																							
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/30</td><td>09:10-10:40</td><td>12 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>2</td><td>10/7</td><td>09:10-10:40</td><td>12 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>3</td><td>10/14</td><td>09:10-10:40</td><td>12 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>4</td><td>10/21</td><td>09:10-10:40</td><td>12 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>5</td><td>10/28</td><td>09:10-10:40</td><td>12 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>6</td><td>11/4</td><td>09:10-10:40</td><td>12 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>7</td><td>11/11</td><td>09:10-10:40</td><td>12 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>8</td><td>11/18</td><td>09:10-10:40</td><td>12 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr><tr><td>9</td><td>11/25</td><td>09:10-10:40</td><td>12 番教室</td><td>フォス パトリック</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/30	09:10-10:40	12 番教室	フォス パトリック	2	10/7	09:10-10:40	12 番教室	フォス パトリック	3	10/14	09:10-10:40	12 番教室	フォス パトリック	4	10/21	09:10-10:40	12 番教室	フォス パトリック	5	10/28	09:10-10:40	12 番教室	フォス パトリック	6	11/4	09:10-10:40	12 番教室	フォス パトリック	7	11/11	09:10-10:40	12 番教室	フォス パトリック	8	11/18	09:10-10:40	12 番教室	フォス パトリック	9	11/25	09:10-10:40	12 番教室	フォス パトリック
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																			
1	9/30	09:10-10:40	12 番教室	フォス パトリック																																																			
2	10/7	09:10-10:40	12 番教室	フォス パトリック																																																			
3	10/14	09:10-10:40	12 番教室	フォス パトリック																																																			
4	10/21	09:10-10:40	12 番教室	フォス パトリック																																																			
5	10/28	09:10-10:40	12 番教室	フォス パトリック																																																			
6	11/4	09:10-10:40	12 番教室	フォス パトリック																																																			
7	11/11	09:10-10:40	12 番教室	フォス パトリック																																																			
8	11/18	09:10-10:40	12 番教室	フォス パトリック																																																			
9	11/25	09:10-10:40	12 番教室	フォス パトリック																																																			

10	12/2	09:10-10:40	12 番教 室	フォス パトリ ック
11	12/9	09:10-10:40	12 番教 室	フォス パトリ ック
12	12/16	09:10-10:40	12 番教 室	フォス パトリ ック
13	1/13	09:10-10:40	12 番教 室	フォス パトリ ック
14	1/20	09:10-10:40	12 番教 室	フォス パトリ ック
15	1/27	09:10-10:40	12 番教 室	フォス パトリ ック

授業方法

Discussion
Presentation
Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation
Weeks 2-14: Individual reports and group discussions
Week 15: Final assignment

Each week, the instructor and/or one or more students will report on a short section of the course textbook and lead a discussion based on it. Once every three classes, students will write short response papers on topics that have been discussed. The final assignment will be an in-class writing task concerning one or more of the course themes. There will be no quizzes or tests.

成績評価の方法

評価: class presentations 30% attendance/participation 30% response papers 20% final assignment 20%
再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

There is no official final examination for this course.

教科書

Predictably Irrational／Ariely, Dan: Harper, 2010

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10
毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10
管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	000323																																																																																				
科目名	S・一般化学演習																																																																																				
担当教員	奈良 雅之																																																																																				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
・曜日・時間: 金曜1時限 ・対象学科: 医学科、歯学科、保健衛生学科検査技術学専攻 ・募集人数 40名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2ー1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る 4ー2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける																																																																																					
授業の目的、概要等 化学の講義だけではなかなか理解ができない方、演習を通して一般化学(主にPart1 とPart2 の分野)の理解を深めたい方を対象に「マグロウヒル大学演習 一般化学」の補充問題や市販の問題集を主な題材として演習を行います。受講者は単に問題を解くだけでなく、その解説をみんなの前で行いますので、プレゼンテーションの練習になるでしょう。受講する側は、その説明を通して理解できたかどうかを評価したり、議論したりしますので、履修者全員が参加しなければいけません。予習にかなりの時間が費やさなければならぬことを覚悟の上で授業に臨んで下さい。																																																																																					
授業の到達目標(SBOs) 「マグロウヒル大学演習 一般化学」の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。 演習形式の授業に参加することを通して、能動的に学習態度を身につける。																																																																																					
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/30</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>10/7</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>10/14</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>10/21</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>10/28</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>11/4</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>7</td><td>11/11</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>8</td><td>11/18</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>9</td><td>11/25</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>10</td><td>12/2</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>11</td><td>12/9</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>12</td><td>12/16</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>13</td><td>1/13</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>14</td><td>1/20</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>15</td><td>1/27</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/30	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	2	10/7	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	3	10/14	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	4	10/21	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	5	10/28	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	6	11/4	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	7	11/11	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	8	11/18	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	9	11/25	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	10	12/2	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	11	12/9	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	12	12/16	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	13	1/13	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	14	1/20	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	15	1/27	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	9/30	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
2	10/7	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
3	10/14	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
4	10/21	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
5	10/28	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
6	11/4	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
7	11/11	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
8	11/18	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
9	11/25	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
10	12/2	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
11	12/9	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
12	12/16	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
13	1/13	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
14	1/20	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
15	1/27	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
授業方法 学生参加型の発表形式で授業が進行します。																																																																																					
授業内容 第1・2回 序論:単位、気体の測定、気体の分子量 第3・4回 化学熱力学分野 その1 第5・6回 化学熱力学分野 その2 第7・8回 電離平衡(酸・塩基) 第9・10 回 電離平衡 (錯体と沈殿) 第11・12 回 原子の構造 第13・14 回 分子の構造 第15 回 総合演習																																																																																					
成績評価の方法																																																																																					

評価:試験(期末考査)30%・レポート20% その他50%(授業中の発表、貢献度) 再評価:無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習:指定された問題をノートに解いておく。 復習:授業中の解説を聞いて、自分で理解できるまでの過程を学習実践記録として記す
試験の受験資格 定期試験の受験資格:原則3分の2以上の出席
教科書 一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一國雅巳 訳:オーム社, 1995
参考書 フレンドリー基礎物理化学演習／田中潔, 荒井貞夫 共著.:三共出版, 2013
他科目との関連 一般化学 M・D Part1, part2 の理解ができなかった方にもお勧めします。
連絡先 nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000338				
科目名	R・符号理論				
担当教員	清田 正夫				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時限: 金曜日 1 時限 対象学科: 受講資格: 募集人数: 10人以下 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 2-4)					
授業の目的、概要等 講義またはゼミ形式で符号理論を初歩から学ぶ。 符号理論は、数字に変換された情報の信頼できる伝達という実用上の問題から発生した。 ここでは代数的符号理論の基礎を代数系(群、環、体)の応用として学ぶ。					
授業の到達目標(SB0s) 誤り訂正符号の原理、および各種の有名な符号の構成法を理解することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/30	09:10-10:40	5 番教室	清田 正夫	
2	10/7	09:10-10:40	5 番教室	清田 正夫	
3	10/14	09:10-10:40	5 番教室	清田 正夫	
4	10/21	09:10-10:40	5 番教室	清田 正夫	
5	10/28	09:10-10:40	5 番教室	清田 正夫	
6	11/4	09:10-10:40	5 番教室	清田 正夫	
7	11/11	09:10-10:40	5 番教室	清田 正夫	
8	11/18	09:10-10:40	5 番教室	清田 正夫	
9	11/25	09:10-10:40	5 番教室	清田 正夫	
10	12/2	09:10-10:40	5 番教室	清田 正夫	
11	12/9	09:10-10:40	5 番教室	清田 正夫	
12	12/16	09:10-10:40	5 番教室	清田 正夫	
13	1/13	09:10-10:40	5 番教室	清田 正夫	
14	1/20	09:10-10:40	5 番教室	清田 正夫	
15	1/27	09:10-10:40	5 番教室	清田 正夫	
授業方法 講義またはゼミ形式で行なう。 発表する学生は、前もってレジュメを作成する。					
授業内容 第1－2回 符号化概論と代数学からの準備 第3－4回 誤り訂正符号と線形符号 第5－6回 双対符号と MacWilliams の定理 第7－8回 完全符号と Hamming 符号 第9－10回 巡回符号と有限体 第11－12回 QR符号とBCH符号 第13－15回 Golay 符号と有限群					
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他 100% 出席と発表の回数および、発表のやり方、内容の理解度等により評価する。 再評価: 無					

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示 レジュメ作成の際は、テキストを時間をかけてじっくり読み込み、その数学的内容を簡潔にまとめること。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。
備考 受講に際し、数学的予備知識は不要である。
連絡先 kiyota.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日、木曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階数学研究室(清田)

時間割番号	000833				
科目名	S・Basic Concepts in Physics				
担当教員	檜枝 光憲				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 金曜1限					
対象学科: 医学科、歯学科、検査技術学					
(英語で物理を学ぶ意欲のある人)					
募集人数: 15人					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2－1)別表3－1)別表4－2)					
授業の目的、概要等					
English is the common language on an international scene in not only natural science but also medicine and dentistry. Many Japanese researchers including me have the experience that had trouble with English. Thus, for your future preparations, it is meaningful to take a class of the natural science in English early at the stage of the freshman. In this lecture, you will learn various topics of physics by using English: classical mechanics, thermodynamics, sound wave, and introductory electrodynamics. It is also aim at obtaining not only the knowledge of the physics but also a communicative competence in English.					
授業の到達目標(SBOs)					
As for the purpose of this lecture, you will acquire the ability to adsorb useful information in physics from English lecture and text.					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/30	09:10-10:40	4 番教室	檜枝 光憲	
2	10/7	09:10-10:40	4 番教室	檜枝 光憲	
3	10/14	09:10-10:40	4 番教室	檜枝 光憲	
4	10/21	09:10-10:40	4 番教室	檜枝 光憲	
5	10/28	09:10-10:40	4 番教室	檜枝 光憲	
6	11/4	09:10-10:40	4 番教室	檜枝 光憲	
7	11/11	09:10-10:40	4 番教室	檜枝 光憲	
8	11/18	09:10-10:40	4 番教室	檜枝 光憲	
9	11/25	09:10-10:40	4 番教室	檜枝 光憲	
10	12/2	09:10-10:40	4 番教室	檜枝 光憲	
11	12/9	09:10-10:40	4 番教室	檜枝 光憲	
12	12/16	09:10-10:40	4 番教室	檜枝 光憲	
13	1/13	09:10-10:40	4 番教室	檜枝 光憲	
14	1/20	09:10-10:40	4 番教室	檜枝 光憲	
15	1/27	09:10-10:40	4 番教室	檜枝 光憲	
授業方法					
Lecture					
Presentation					
Practice					
授業内容					
Classical mechanics					
Introductory thermodynamics					
Sound and hearing					
Introductory electrodynamics					
成績評価の方法					
attendance/participation 30%					
class assignments/quizzes 40%					
presentation 30%					

再評価: 無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential. Check all unknown English words and read through the text book before the class.
参考書 University Physics with Modern Physics Technology Update / Hugh D. Young and Roger A. Freedman: Pearson Education Limited, 2013
履修上の注意事項 出欠管理システムより、教員自身が取れる出欠を優先させます。
連絡先 hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜 11:00～13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000341				
科目名	S・現代中国論				
担当教員	家永 真幸				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 金曜2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2, 1-5, 1-9, 3-2, 3-5					
授業の目的、概要等					
近年の中国は、目覚ましい経済発展を遂げる一方、国内には多くの問題を抱え、軍事や外交面での強硬姿勢がメディアで取りざたされることもしばしばです。こうした中、皆さんの中には中国に興味を覚えつつも、これまでの勉強では現代中国について知る機会が少なかった、という人が多いのではないのでしょうか。					
この授業では皆さんが現代中国を理解するための糸口をつかむお手伝いをしたいと考えています。ネット世論やテレビ番組に影響されて感情論を振り回したりせず、自分の言葉で冷静に中国を語れるようになりたいと思っているような方の参加を歓迎します。予備知識は問いません。					
授業の到達目標(SB0s)					
皆さんが日本の各種メディアから受け取る中国情報というと、「好き／嫌い」や「楽観／悲観」などの感情論を煽るものが多いのではないかと思います。しかし、そのような「評価」は本来一人ひとりが下すべきものです。					
この授業では、中国で何が起きているのかという「事実」を明らかにしようとするテキストに多く触れることで、皆さんが中国にまつわる諸問題を自分なりに評価できるようになることが期待されます。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/30	10:50-12:20	3 番教室	家永 真幸	
2	10/7	10:50-12:20	3 番教室	家永 真幸	
3	10/14	10:50-12:20	3 番教室	家永 真幸	
4	10/21	10:50-12:20	3 番教室	家永 真幸	
5	10/28	10:50-12:20	3 番教室	家永 真幸	
6	11/4	10:50-12:20	3 番教室	家永 真幸	
7	11/11	10:50-12:20	3 番教室	家永 真幸	
8	11/18	10:50-12:20	3 番教室	家永 真幸	
9	11/25	10:50-12:20	3 番教室	家永 真幸	
10	12/2	10:50-12:20	3 番教室	家永 真幸	
11	12/9	10:50-12:20	3 番教室	家永 真幸	
12	12/16	10:50-12:20	3 番教室	家永 真幸	
13	1/13	10:50-12:20	3 番教室	家永 真幸	
14	1/20	10:50-12:20	3 番教室	家永 真幸	
15	1/27	10:50-12:20	3 番教室	家永 真幸	
授業方法					
今日の中国では一体何が起きているのか、日本語で書かれた論文やルポタージュを読みながら考える授業です。参加者でテーマを分担し、担当者に毎回の課題テキストの内容を紹介していただいた上で、こちらから解説を加える形式で進めます。					
初回はガイダンスを行います。受講者が募集人数を超えた場合はその場で抽選を行います。もし定員に余裕がある場合は、初回授業時の後半(2限の 11:35～)から二次募集を行います。さらに空きがある場合はウェブクラスにて追加募集の告知を出します。					
教科書は、初回の抽選で本教科を履修できることが内定した後、2回目の授業までに購入し毎回必ず持参してください。					
授業内容					
中国はどのような国なのか、その社会ではいったい何が起きているのか、政治、経済、文化など様々な側面から読み解く訓練をしていただきます。					

成績評価の方法 評価:授業内での報告30%・期末試験40%・その他(平常点)30% 再評価:有(期末試験不合格者にはレポートの提出を求め、上記評価との合算で採点し可否を判定する)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 課題テキストを読むこと。中国に関するニュースにアンテナを張っておくこと。
試験の受験資格 ①授業内での報告を最低1回担当、かつ②原則3分の2以上出席。
教科書 はじめて出会う中国 = Understanding China／園田茂人 編:有斐閣, 2013
参考書 中国情報ハンドブック／21世紀中国総研:蒼蒼社, 2015 中国のインターネット史:ワールドワイドウェブからの独立／山谷剛史 著:星海社, 2015
連絡先 ienaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜日 PM.12:20-PM13:10 管理研究棟3階309室

時間割番号	000319																																																																																																				
科目名	S・情報																																																																																																				
担当教員	中口 悦史																																																																																																				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																																
曜日・時限: 金曜日2時限 募集人数: 10名以内 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1), 1-3), 1-5), 1-7), 2-5)																																																																																																					
授業の目的、概要等 情報化社会と呼ばれる現代において人々は、さまざまな情報に曝され、慣れない情報機器の扱いに戸惑いながら、それらをなんとか受け止め、あるいは遠ざけ、あるいは利用しながら、日々の暮らしを営んでいる。では現代を生きる人々は、溢れる情報からどのような影響を受け、その心理や行動、人格をどのように変異させて、順応しようとしているのか。現代の情報科学技術、携帯情報端末や人工知能ロボットなどは、現代の人間社会やコミュニケーションにどのように貢献し、変容させているのか。現代の情報化社会ではどのような情報がどのように流通するのか。そもそも情報やコミュニケーションの本質は何か。ヒト、生物、機械それぞれの間のコミュニケーション、あるいはその中で扱われる情報の、決定的な違いは何なのか。 この授業では、人文学、社会科学、自然科学、工学、医歯学など幅広い観点から、「情報」というひとつの単語で表されるものに対して、様々な視点から考察し、情報に対する理解を深める。																																																																																																					
授業の到達目標(SB0s) 情報に対する自分なりの視点や立場を持ち、それを他人に説明し、互いに議論することができる。																																																																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9/30</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>ガイダンス、情報の基礎に関する講義</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/7</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>情報の基礎に関する講義</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/14</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>情報の基礎に関する講義</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/21</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>基本文献輪読等</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/28</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>基本文献輪読等</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/4</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>基本文献輪読等</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/11</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>基本文献輪読等</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/18</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>基本文献輪読等</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/25</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>基本文献輪読等</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/2</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>基本文献輪読等</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/9</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>基本文献輪読等</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/16</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>基本文献輪読等</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/13</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>レポート執筆指導等</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/20</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>レポート執筆指導等</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/27</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>レポート執筆指導等</td><td>中口 悦史</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	1	9/30	10:50-12:20	5 番教室	ガイダンス、情報の基礎に関する講義	中口 悦史	2	10/7	10:50-12:20	5 番教室	情報の基礎に関する講義	中口 悦史	3	10/14	10:50-12:20	5 番教室	情報の基礎に関する講義	中口 悦史	4	10/21	10:50-12:20	5 番教室	基本文献輪読等	中口 悦史	5	10/28	10:50-12:20	5 番教室	基本文献輪読等	中口 悦史	6	11/4	10:50-12:20	5 番教室	基本文献輪読等	中口 悦史	7	11/11	10:50-12:20	5 番教室	基本文献輪読等	中口 悦史	8	11/18	10:50-12:20	5 番教室	基本文献輪読等	中口 悦史	9	11/25	10:50-12:20	5 番教室	基本文献輪読等	中口 悦史	10	12/2	10:50-12:20	5 番教室	基本文献輪読等	中口 悦史	11	12/9	10:50-12:20	5 番教室	基本文献輪読等	中口 悦史	12	12/16	10:50-12:20	5 番教室	基本文献輪読等	中口 悦史	13	1/13	10:50-12:20	5 番教室	レポート執筆指導等	中口 悦史	14	1/20	10:50-12:20	5 番教室	レポート執筆指導等	中口 悦史	15	1/27	10:50-12:20	5 番教室	レポート執筆指導等	中口 悦史
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員																																																																																																
1	9/30	10:50-12:20	5 番教室	ガイダンス、情報の基礎に関する講義	中口 悦史																																																																																																
2	10/7	10:50-12:20	5 番教室	情報の基礎に関する講義	中口 悦史																																																																																																
3	10/14	10:50-12:20	5 番教室	情報の基礎に関する講義	中口 悦史																																																																																																
4	10/21	10:50-12:20	5 番教室	基本文献輪読等	中口 悦史																																																																																																
5	10/28	10:50-12:20	5 番教室	基本文献輪読等	中口 悦史																																																																																																
6	11/4	10:50-12:20	5 番教室	基本文献輪読等	中口 悦史																																																																																																
7	11/11	10:50-12:20	5 番教室	基本文献輪読等	中口 悦史																																																																																																
8	11/18	10:50-12:20	5 番教室	基本文献輪読等	中口 悦史																																																																																																
9	11/25	10:50-12:20	5 番教室	基本文献輪読等	中口 悦史																																																																																																
10	12/2	10:50-12:20	5 番教室	基本文献輪読等	中口 悦史																																																																																																
11	12/9	10:50-12:20	5 番教室	基本文献輪読等	中口 悦史																																																																																																
12	12/16	10:50-12:20	5 番教室	基本文献輪読等	中口 悦史																																																																																																
13	1/13	10:50-12:20	5 番教室	レポート執筆指導等	中口 悦史																																																																																																
14	1/20	10:50-12:20	5 番教室	レポート執筆指導等	中口 悦史																																																																																																
15	1/27	10:50-12:20	5 番教室	レポート執筆指導等	中口 悦史																																																																																																
授業方法 文献の輪読を含めて、セミナー形式で進める。																																																																																																					
授業内容 基本文献や配付資料等を元に、あるいは受講者からの問いについて考察を加えながら、参加者全員で議論を進める。今年度の基本文献は次の2冊を予定している。 ・ 松田美佐『うわさとは何か』中公新書 ・ 鈴木謙介『ウェブ社会のゆくえ』NHK ブックス なお、序盤の数回では、文献輪読や議論のための知識を補うために、情報の基礎に関する講義を行う。また、終盤の数回は、課題レポート提出に向けて、個別のレポート執筆指導に充てる。																																																																																																					
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 50% ・ その他(授業への取り組み方) 50% 再評価: 無																																																																																																					

期末試験に代えてレポートを課す。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 基本文献や事前に配付された資料等があれば必ず予習し、不明な点をよく整理して臨むこと。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに、出席回のコメントシートの提出。
教科書 うわさとは何か：ネットで変容する「最も古いメディア」／松田美佐 著、中央公論新社、2014 ウェブ社会のゆくえ：〈多孔化〉した現実のなかで／鈴木謙介 著、NHK 出版、2013 他に必要な資料は授業中に指示、あるいはプリント等で適宜配付する。
参考書 情報理論／甘利俊一 著、筑摩書房、2011 通信の数学的理論／クロード・E.シャノン、ワレン・ウィーバー 著、植松友彦 訳、筑摩書房、2009 計算機と脳／J. フォン・ノイマン 著、柴田裕之 訳、筑摩書房、2011 サイバネティックス：動物と機械における制御と通信／ウィーナー [著]、池原止戈夫、彌永昌吉、室賀三郎、戸田巖 訳、岩波書店、2011 オートポイエーシス／河本英夫著、青土社、1995-07 基礎情報学：生命から社会へ／西垣通 著、NTT 出版、2004 心と認知の情報学：ロボットをつくる・人間を知る／石川幹人 著、勁草書房、2006 ケータイのある風景：テクノロジーの日常化を考える／松田美佐、岡部大介、伊藤瑞子 編、北大路書房、2006 ケータイ社会論 = Understanding Keitai Society／岡田朋之、松田美佐 編、有斐閣、2012 カーニヴァル化する社会／鈴木謙介 著、講談社、2005 絶版・在庫切れの参考書 ・川合慧 監修、駒谷昇一 編著『IT Text 情報と社会』オーム社、2004 年。 ・西垣通『こころの情報学』ちくま新書、1999 年。 ・西垣通『ネットとリアルのあいだ』ちくまプリマー新書、1999 年。 ・吉田民人『情報と自己組織性の理論』東京大学出版会、1990 年。 ・吉田民人『自己組織性の情報科学』新曜社、1990 年。 ・中村桂子『自己創出する生命—普遍と個の物語』ちくま学芸文庫、2006 年。
履修上の注意事項 ・電子辞書等を持参することが望ましい。 ・出欠確認は出欠管理システムと、各回のコメントシート提出を併用する。
連絡先 nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水・金 12:00～13:00、いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000815				
科目名	S・アメリカ文学を読む				
担当教員	畔柳 和代				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
・曜日・時間: 金曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－1) 別表3－4)					
主な講義場所 図書館、プレゼンテーションルーム					
授業の目的、概要等 目的: 英語で書かれた作品を読み、英語に対する理解を深める。授業でふれる作品と作家を手がかりとして、ほかの作家や作品に目を向ける。 概要: 講義と学生による発表の両方を合わせます。短編小説を読む一方、長い作品を1編紹介する予定です。					
授業の到達目標(SB0s) 物語を読み通すこと。 精読を試みること。 作品に関するコメントを英文でまとめること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/30	10:50-12:20		畔柳 和代	
2	10/7	10:50-12:20		畔柳 和代	
3	10/14	10:50-12:20		畔柳 和代	
4	10/21	10:50-12:20		畔柳 和代	
5	10/28	10:50-12:20		畔柳 和代	
6	11/4	10:50-12:20		畔柳 和代	
7	11/11	10:50-12:20		畔柳 和代	
8	11/18	10:50-12:20		畔柳 和代	
9	11/25	10:50-12:20		畔柳 和代	
10	12/2	10:50-12:20		畔柳 和代	
11	12/9	10:50-12:20		畔柳 和代	
12	12/16	10:50-12:20		畔柳 和代	
13	1/13	10:50-12:20		畔柳 和代	
14	1/20	10:50-12:20		畔柳 和代	
15	1/27	10:50-12:20		畔柳 和代	
授業方法 短編小説については担当者が発表をしたのち、ディスカッションを行なう。 ・インターネット上で読むことのできる作品を含める予定である。 ・作品によってはコピーを配布する。 長編小説 To Kill a Mockingbird に関しては、毎週ひとつのエピソードを選び、ミニ講義を行なう。					
授業内容 第1回 イン트로ダクション と 割り当て と課題の説明 第2回～第14回 発表、ディスカッション、講義 最終回 まとめ					

成績評価の方法 評価：発表 30%、課題 30%、出席および参加度 40%、 再評価：有(再評価方法 レポートと面接とテスト)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 インターネット上で読むことのできる作品を読む予定ですが、作品によってはコピーを配布します。 参加者は、自分が担当する作品であってもなくても、英語が多少難しくても、予習として次回の範囲に一度は目を通してください。 なお、授業中の課題または宿題として、毎回小さな課題が出ます。
試験の受験資格 再評価の対象となるのは、原則として3分の2以上出席した者です。
参考書 To Kill a Mockingbird／Harper Lee：Arrow Books, 2010
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000324				
科目名	S・BASIC 言語				
担当教員	清田 正夫				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時限: 金曜日 5 時限 対象学科: 保健衛生学科、口腔保健学科 募集人数: 10人以下 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4-4)					
授業の目的、概要等					
情報科学で学んだ BASIC 言語の基礎知識を前提として、やや複雑なプログラムに挑戦する。					
授業の到達目標(SBOs)					
プログラミング言語の仕組みを理解し、目的に応じたプログラムを自作することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/30	16:30-18:00	計算機実習室 5 番教室	清田 正夫	
2	10/7	16:30-18:00	計算機実習室 5 番教室	清田 正夫	
3	10/14	16:30-18:00	計算機実習室 5 番教室	清田 正夫	
4	10/21	16:30-18:00	計算機実習室 5 番教室	清田 正夫	
5	10/28	16:30-18:00	計算機実習室 5 番教室	清田 正夫	
6	11/4	16:30-18:00	計算機実習室 5 番教室	清田 正夫	
7	11/11	16:30-18:00	計算機実習室 5 番教室	清田 正夫	
8	11/18	16:30-18:00	計算機実習室 5 番教室	清田 正夫	
9	11/25	16:30-18:00	計算機実習室 5 番教室	清田 正夫	
10	12/2	16:30-18:00	計算機実習室 5 番教室	清田 正夫	
11	12/9	16:30-18:00	計算機実習室 5 番教室	清田 正夫	
12	12/16	16:30-18:00	計算機実習室 5 番教室	清田 正夫	

			習室 5 番教室		
13	1/13	16:30-18:00	計算機実 習室 5 番教室	清田 正夫	
14	1/20	16:30-18:00	計算機実 習室 5 番教室	清田 正夫	
15	1/27	16:30-18:00	計算機実 習室 5 番教室	清田 正夫	
授業方法 各テーマごとに、前半講義、後半実習を行なう。 毎回課題を提出させる。					
授業内容 第1回—第2回 BASIC で統計処理 第3回—第4回 円周率を求めよう 第5回—第6回 あなたの生まれた日は何曜日？ 第7回—第8回 カレンダーを作ろう 第9回—第10回 コンピュータとジャンケン勝負 第11回—第12回 グラフィックスで遊ぼう 第13回—第14回 関数のグラフを描こう 第15回 自作プログラムに挑戦					
成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 0% ・ その他 100% 出席と毎回の課題提出、および自作プログラムにより評価する。 再評価：無					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による					
準備学習などについての具体的な指示 BASIC 言語の基本的命令を復習しておくこと。 毎回の講義内容を理解した上で、実習と課題に取り組むこと。					
教科書 プリントを配布する。					
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。					
連絡先 kiyota.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 毎週月曜日、木曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階数学研究室(清田)					

時間割番号	000819				
科目名	S・英語による解析力学				
担当教員	越野 和樹				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2－1) 別表4－2)					
授業の目的、概要等 ニュートンの運動方程式にもとづく古典力学を基礎として、最小作用の原理・ラグランジュの運動方程式・正準方程式など量子力学と密接に関連する力学体系へと発展させる。					
授業の到達目標(SB0s) 下記トピックについて英文教材に基づいて理解し、演習問題を解けることを目標とする: Principle of least action/Galileo's relativity principle/Lagrangian for a free particle/Lagrangian for a system of particles/Energy/Momentum/Centre of mass/Angular momentum/Mechanical similarity					
授業方法 講義および演習による					
授業内容 Principle of least action/Galileo's relativity principle/Lagrangian for a free particle/Lagrangian for a system of particles/Energy/Momentum/Centre of mass/Angular momentum/Mechanical similarity					
成績評価の方法 評価: 試験(期末考査) 50%・レポート 50% 再評価: 無					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 前期「力学」を更に発展させた内容を学ぶため、前期「力学」の内容に関する極めて深い理解および演習能力を前提条件とする。					
参考書 Mechanics, Third Edition: Volume 1 (Course of Theoretical Physics) authors: L.D.Landau and E.M.Lifshitz					
履修上の注意事項 前期「力学」において優秀な成績をおさめている者、あるいは同等以上の学力を有することを受講資格とする。 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。					
連絡先 ikuzak.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階					

時間割番号	000352				
科目名	S・野外運動実習				
担当教員	水野 哲也, 林 久仁則, 麓 正樹				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 後期集中(春季休業中を含む) 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1-8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3-3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける					
授業の目的、概要等 人が充実した一生を全うするためには、その心身の健康が基盤であり、その維持増進には自然の摂理を理解した健康的なライフスタイルの実践とより良い人間関係を築き上げるコミュニケーション力が必要です。そして、そうした能力の基礎には「人間の理解」、つまり自分自身の心身さらには人格的相互関係への理解が不可欠です。 そこで本授業は、セルフケアについては事前授業で基礎理論を学び、転地での温泉入浴、自然体験が身心にどういった変化をもたらすかを体験し、コミュニケーションについては事前授業と転地での集団による雪上スポーツを用いた野外運動を通じて問題を発見・整理し、調整・解決するための基本を身につけることを目的とします。また、短期合宿研修では、規律ある集団生活を通して社会性を養います。なお、本年度の短期合宿研修は長野県長野市にある戸隠スキー場で実施する予定です。					
授業の到達目標(SB0s) 短期合宿研修では、自身のフィジカルとメンタルについて自己評価を行い、野外運動プログラムとしては雪上スポーツ(スキー等)を用います。雪上スポーツは大自然の中で行う爽快感とともに、年齢や性別、体力の違いにかかわらずに誰でも実践できるといった運動特性があり、技術的要素の強いスポーツであることから生涯スポーツとして世界中で愛好されている種目です。よって授業では、温泉療養、自然との触れあいを含む短期合宿実習を体験することで、フィットネスの多様性並びに日常の生活環境の構成要素と適応について理解し、自分自身の生活や人間関係能力を振り返り、新たに自分らしい探究が行えることを到達目標とします。とはいえ、授業は短期間のため、具体的な目標は自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)と雪上スポーツ技能の基礎を確実に身につけることにあります。					
授業方法 本授業は国府台キャンパスでの講義授業(2 月初旬)と春季休業中(2 月下旬の予定)に転地で実施される短期合宿研修(スノー・キャンプ)形式で構成されています。					
授業内容 国府台キャンパスでの事前授業では、セルフケア、コミュニケーション、野外運動の特性、リスクマネジメントについて学び、後半は学外での短期合宿研修(3泊4日)で、気候療法の基礎、雪上実習(スキー等)を中心に行います。					
成績評価の方法 評価: 参加度 40%、理解度(レポートによる)60% 再評価: 無					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 本授業では単に授業に参加するだけでなく、仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかについて主体性をもって考えるとともに、自らのより良いライフスタイル構築に向けた積極的な態度や姿勢が求められます。よって、他の授業でも使用するフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。					
試験の受験資格 本授業は体験型授業科目のため、原則事前授業を含む全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。					
参考書 温泉療法: 温泉と自然が生み出す健康づくり/大塚吉則 著, クルーズ, 2012 気候療法入門: 山歩きにはちょっと冷たい冷刺激/アンゲラ・シュウ 著, 西川力 訳, 阿岸祐幸 医学監修, パレード, 2009 自律訓練法の実践 心身の健康のために/佐々木雄二 著, 静岡市立清水中央図書館, 2003					
他科目との関連 必修科目であるスポーツ・健康科学並びにフィットネスマネジメントとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計され					

ています。

参照ホームページ

<http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html>

連絡先

水野 哲也 mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也 毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2階

時間割番号	000279				
科目名	教養総合講座				
担当教員	服部 淳彦, 家永 真幸, フォス パトリック, 土佐 朋子, 中口 悦史				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
・曜日・時間: 主に火曜日4・5限(詳細は配布するカレンダー参照) ・対象学科・専攻: 全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1ー10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる。 2ー4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。 3ー3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける。					
授業の目的、概要等					
(1)人文社会科学から自然科学までの学問領域を横断して、共通のテーマを深く考察する機会を与えることによって、自発的な学びの態度と幅広い視野を身につけさせる。 (2)すべての学生が共に学ぶ教養部の特性を活かし、学科の枠を超えた相互理解を育むことを通じて、将来のチーム医療の基盤となるグループ学習、グループディスカッションを初年次より体験する。 (3)学問を身につける上で基礎的な技能となる、コミュニケーション、文章表現、情報活用、プレゼンテーションの能力の向上を図る。					
授業の到達目標(SB0s)					
大学での学習に必要な討論、文章表現および情報活用に関する基本的なスキルを身に付ける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	備考	
1	5/17	14:00-18:00	1 番教室		
2	5/24	14:50-16:20	鈴木章夫 記念講 堂 計算 機実習室		
3	5/24	16:30-18:00	鈴木章夫 記念講 堂 計算 機実習室		
4	5/31	14:50-16:20	1 番教室 計算機実 習室	別途指定された 教室にて受講す ること。	
5	5/31	16:30-18:00	1 番教室 計算機実 習室	別途指定された 教室にて受講す ること。	
6	6/7	14:50-16:20	1 番教室 計算機実 習室	別途指定された 教室にて受講す ること。	
7	6/7	16:30-18:00	1 番教室 計算機実 習室	別途指定された 教室にて受講す ること。	
8	6/14	14:50-16:20	1 番教室 計算機実 習室	別途指定された 教室にて受講す ること。	
9	6/14	16:30-18:00	1 番教室 計算機実 習室	別途指定された 教室にて受講す ること。	
10	6/21	14:50-16:20	1 番教室	別途指定された	

			計算機実習室	教室にて受講すること。
11	6/21	16:30-18:00	1 番教室 計算機実習室	別途指定された教室にて受講すること。
12-13	6/28	13:10-16:20	1 番教室 計算機実習室	別途指定された教室にて受講すること。
14-15	6/28	14:50-18:00	1 番教室 計算機実習室	別途指定された教室にて受講すること。
16	6/28	16:30-18:00	1 番教室 計算機実習室	別途指定された教室にて受講すること。
17	7/5	14:50-16:20	1 番教室 計算機実習室	別途指定された教室にて受講すること。
18	7/5	16:30-18:00	1 番教室 計算機実習室	別途指定された教室にて受講すること。
19	7/12	14:50-16:20	1 番教室 計算機実習室	別途指定された教室にて受講すること。
20	7/12	16:30-18:00	1 番教室 計算機実習室	別途指定された教室にて受講すること。
21	7/19	14:50-16:20	1 番教室 計算機実習室	別途指定された教室にて受講すること。
22	7/19	16:30-18:00	1 番教室 計算機実習室	別途指定された教室にて受講すること。
23	7/26	14:50-16:20	1 番教室 計算機実習室	別途指定された教室にて受講すること。
24	7/26	16:30-18:00	1 番教室 計算機実習室	別途指定された教室にて受講すること。
25	9/16	13:10-14:40		別途指定された教室にて受講すること。
26	9/16	14:50-16:20		別途指定された教室にて受講すること。
27	9/23	14:50-16:20		別途指定された教室にて受講すること。
28	9/23	16:30-18:00		別途指定された

				教室にて受講すること。	
授業方法 講義とセミナー形式を基本とし、添削・演習や発表も課す。 教養部ガイダンスや第1回目(5月17日14時開始)の日に、詳細な説明を行う。					
授業内容 本授業は(1)基礎ゼミ、(2)文章表現リテラシー、(3)情報活用リテラシーの3つの内容から構成される。これらは、対象学生全員を15名程度の班に分けて、並行して進められる。 (1)基礎ゼミでは、指定された課題図書と、初回の基調講演を参考にして、班ごとに、大きなテーマに沿って課題を見つけ、問題を抽出し、情報収集と討論を行い、最終回(発表会)で班の考えを述べる。各班には教養部教員が1名ずつ、チュータとして参加する。 (2)文章表現リテラシーでは、講義と添削により、論理的文章の書き方を実践的に学ぶ。 (3)情報活用リテラシーでは、情報の収集・分析・提示について、演習を交えながら学ぶ。					
成績評価の方法 評価:その他 100% 基礎ゼミ(50%)、文章表現リテラシー(25%)、情報活用リテラシー(25%) 出席状況や課題への取り組み方、授業への参加態度などをもとに総合的に評価する。 なお、指定した期日までにレポートの提出が無い場合は、不可とする。 再評価: 無					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習などについての具体的な指示 「文章表現リテラシーの課題図書」は第1回の授業時までに手元に準備し、必ず読んでおくこと。					
教科書 アンドロイドは人間になれるか／石黒浩 著、文藝春秋、2015 (注意) 上記、石黒浩『アンドロイドは人間になれるか』(文芸春秋、2015年)は「文章表現リテラシー」が必携を求める指定教科書です。					
参考書 レポートの作り方：情報収集からプレゼンテーションまで／江下雅之 著、中央公論新社、2003 ロボットとは何か：人の心を映す鏡／石黒浩 著、講談社、2009 どうすれば「人」を創れるか：アンドロイドになった私／石黒浩 著、新潮社、2014 ロボットの心：7つの哲学物語／柴田正良 著、講談社、2001 ロボットという思想：脳と知能の謎に挑む／浅田稔 著、日本放送出版協会、2010 心と認知の情報学：ロボットをつくる・人間を知る／石川幹人 著、勁草書房、2006 シリーズ＊ヒトの科学：岩波書店、2007 科学の限界／池内了 著、筑摩書房、2012 科学者は戦争で何をしたか／益川敏英 著、集英社、2015 (注意) 上記、江下雅之『レポートの作り方：情報収集からプレゼンテーションまで』(中央公論新社、2003年)は「文章表現リテラシー」および「情報活用リテラシー」で参照を求める指定参考書です。					
連絡先 服部 淳彦 ahattori.las@tmd.ac.jp 土佐 朋子 tosa.las@tmd.ac.jp フォス パトリック foss.las@tmd.ac.jp 家永 真幸 ienaga.las@tmd.ac.jp 中口 悦史 nakaguti.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 服部 淳彦 毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2) 土佐 朋子 毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50					

管理研究棟 2 階文学研究室

フォス パトリック:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

家永 真幸:毎週月・水曜日 PM.12:20-PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室

中口 悦史:水・金 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒボ4階研究室にて対応／D2・OE2 には湯島にて担当授業(木)終了後に対応する／
電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000280				
科目名	医療人間学概論(倫理学)				
担当教員	藤井 達夫				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 火曜 1 限 対象学科: 保健衛生学科看護学専攻 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2) 1-9)					
授業の目的、概要等 この授業では、倫理学の基本的な理解の習得から出発します。その上で、自己決定という概念とインフォームドコンセントという実践を基盤にした生命倫理の歴史を概観し、その現代的な課題について検討します。そのために、19 世紀に誕生した優生思想と、医療テクノロジーの発展によって普及しはじめた 21 世紀の新しい優生思想について焦点を当てます。また、今年度は、ケアの倫理について、看護学ではなく、倫理学の視点から議論する予定です。					
授業の到達目標(SB0s) 到達目標は次の 3 点です。第 1 に、西洋の倫理学説の基礎的な理解を習得すること。第 2 に、日常的な倫理観を相対化する視点を獲得すること。第 3 に、生命倫理についての基礎的な知識を習得した上で、現代の生命倫理が抱える課題に対する理解を深めること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/4	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室 1	藤井 達夫	
2	10/11	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室 1	藤井 達夫	
3	10/18	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室 1	藤井 達夫	
4	10/25	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室 1	藤井 達夫	
5	11/1	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室 1	藤井 達夫	
6	11/8	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室 1	藤井 達夫	
7	11/15	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室 1	藤井 達夫	
8	11/22	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室 1	藤井 達夫	
授業方法 この授業は、講義形式で行われます。					
授業内容 第 1 回 倫理学の基礎について 第 2 回 生命倫理とは何か? ……インフォームド・コンセントとその限界 第 3 回 優生思想と医療① ……西洋のケース					

第4回 優生思想と医療②……日本のケース

第5回 新しい優生思想の登場とその倫理的問題

第6回 現代社会における死の問題

第7回 ケアリングとケアの倫理

第8回 まとめ

成績評価の方法

評価：試験 0%・レポート 90%・その他(授業での取り組み)10%

再評価：有(再評価方法) レポートの再提出

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

必要があれば、授業内で指示をします。

教科書

教科書は使用しません。スライドを使って授業を行います。

参考書

授業内で随時、紹介していきます。

履修上の注意事項

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000281				
科目名	医療人間学概論(法学)				
担当教員	一家 綱邦				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間:火曜2限 受講資格:保健衛生学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2, 1-9)					
主な講義場所 3号館18階保健衛生学講義室1					
授業の目的、概要等 現代医療と医学研究において生じる問題を法的な視点から考えるために必要な基礎的な知識と思考方法を習得する。					
授業の到達目標(SB0s) 憲法・民法・刑法を中心とした法の基本的な考え方を基礎にして、医療の問題を考えるための基礎的な知識と思考方法を身に着ける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/4	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	一家 綱邦	
2	10/11	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	一家 綱邦	
3	10/18	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	一家 綱邦	
4	10/25	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	一家 綱邦	
5	11/1	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	一家 綱邦	
6	11/8	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	一家 綱邦	
7	11/15	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	一家 綱邦	
8	11/22	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	一家 綱邦	
授業方法 講義形式					
授業内容 第一回 法とはなにか1 第二回 法は何か2 第三回 医療と法 第四回 医療法、医師法 第五回 インフォームド・コンセント 第六回 医療過誤訴訟					

第七回 終末期医療と法
第八回 生殖補助医療と法
成績評価の方法 評価：定期末の試験又はレポートで評価する。出席点は加算する。 再評価：有(再評価方法 再試)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業ノートを中心に復習し、必要に応じて参考書を参照すること。時事問題については日々の報道を新聞等によって知っておくこと。
試験の受験資格 講義に3分の2以上の出席をした者。
参考書 手嶋豊「医事法入門(第4版)」、久々湊晴夫/旗手俊彦編著「はじめての医事法(第2版)」
履修上の注意事項 公休・忌引などの届出は不要。これらを含めてやむをえない事情で欠席した者は自分でキャッチアップすること。その他、講義中に指示する内容に従うこと。

時間割番号	000274			
科目名	医療人間学セミナー I（法学）			
担当教員	中田 はる佳			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間:火曜 1－2限 対象学科:保健衛生学科看護学専攻 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－9)市民としての倫理観を養う、1－2)社会制度や仕組みについての基本を理解する				
授業の目的、概要等 医療技術が発展していく中で、それに合わせて法律や倫理など社会の基盤となるものも発展していかなければなりません。この授業では、医療と法律の接点について様々な事例を見ながら考えていきます。基本的な事項を解説した上で、様々な資料から自分の考えをまとめてもらいます。				
授業の到達目標(SBOs) 医療と法律の関連を知る				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	11/29	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室 1	中田 はる佳
2	11/29	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室 1	中田 はる佳
3	12/6	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室 1	中田 はる佳
4	12/6	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室 1	中田 はる佳
5	12/13	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室 1	中田 はる佳
6	12/13	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室 1	中田 はる佳
7	12/20	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室 1	中田 はる佳
8	12/20	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室 1	中田 はる佳
授業方法 基本的にはセミナー形式で行います。				
授業内容 第1回:子どもの権利、親の権利 第2－3回:親子に関連する医療と法(臓器移植と医療機器) 第4回:親子に関連する医療と法(遺伝子治療、遺伝子検査)				
成績評価の方法 評価：試験 % ・ レポート80 % ・ その他(出席) 20 %				

再評価: 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習は基本的に不要です。復習は、講義内容に関連する新聞記事などを見つけて読み、自分の考えをまとめるなどしてください。
教科書 資料は講義中に配布します。
履修上の注意事項 出欠は基本的に出席管理システムによりますが、授業中に小レポートを実施する場合があります。

時間割番号	000275			
科目名	医療人間学セミナー I（倫理学）			
担当教員	藤井 達夫			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間： 火曜 1・2 限 対象学科：保健衛生学科看護学専攻 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2) 1-9)				
授業の目的、概要等 このセミナーでは、死の問題を現代社会の文脈に据えて検討します。このために、山崎章郎『病院で死ぬということ』を受講生の皆さん全員と輪読をします。この輪読をとおして、看護の専門家としてのみならず、現代社会を生きる人間として、死の問題やケアについて考えることを目指します。受講生の皆さんは、今後、看護について専門的に学ぶことになります。このセミナーでは、専門的な学習の前提となるような、あるいはもしかしたら、専門的な学習では取り扱われないような、現代社会における死の問題を倫理的な視点から検討したいと思います。				
授業の到達目標(SBOs) 倫理的な視点から現代社会における死の問題について考え、自分の意見を表明できること。一冊のテキストをしっかりと読みこなすことができ、またその内容についてプレゼンテーションができること。 他の学生の意見や問いかけに対して、しっかり応答ができるようになること。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	11/29	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室 2	藤井 達夫
2	11/29	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室 2	藤井 達夫
3	12/6	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室 2	藤井 達夫
4	12/6	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室 2	藤井 達夫
5	12/13	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室 2	藤井 達夫
6	12/13	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室 2	藤井 達夫
7	12/20	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室 2	藤井 達夫
8	12/20	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室 2	藤井 達夫
授業方法 この授業は、セミナー形式で行われます。受講生には、担当箇所のレジュメの作成とそれに基づくプレゼンテーションをしてもらいます。				
授業内容 第1回・・・死生学について(西洋のケース)				

第2回・・・死生学について(日本のケース)
第3回～第8回・・・テキストについてのプレゼンテーションとディスカッション
成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(課題(レジュメ)の提出とプレゼンテーション、授業内での取り組み) 100% 再評価: 有(再評価方法)レポートの提出
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 テキストの熟読、レジュメの作成、プレゼンテーションの準備
教科書 山崎章郎『病院で死ぬということ』(文春文庫、1996年)
参考書 授業内で随時、紹介していきます。
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000276			
科目名	医療人間学セミナーⅡ（法学）			
担当教員	中田 はる佳			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間:火曜 1－2限 対象学科:保健衛生学科看護学専攻 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－9)市民としての倫理観を養う、1－2)社会制度や仕組みについての基本を理解する				
授業の目的、概要等 医療技術が発展していく中で、それに合わせて法律や倫理など社会の基盤となるものも発展していかなければなりません。この授業では、医療と法律の接点について様々な事例を見ながら考えていきます。基本的な事項を解説した上で、様々な資料から自分の考えをまとめてもらいます。				
授業の到達目標(SB0s) 医療と法律の関連を知る				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	1/10	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
2	1/10	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
3	1/17	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
4	1/17	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
5	1/24	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
6	1/24	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
7	1/31	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
8	1/31	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
授業方法 基本的にはセミナー形式で行います。				
授業内容 第1回:尊厳死・安楽死とは 第2-3回:人の死が問題となる医療と法(脳死と関連医療) 第4回:人の死が問題となる医療と法(尊厳死・安楽死の事例)				
成績評価の方法 評価：試験 % ・ レポート80 % ・ その他(出席) 20 %				

再評価: 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習は基本的に不要です。復習は、講義内容に関連する新聞記事などを見つけて読み、自分の考えをまとめるなどしてください。
教科書 資料は講義中に配布します。
履修上の注意事項 出欠は基本的に出欠管理システムによりますが、授業中に小レポートを実施する場合があります。

時間割番号	000277			
科目名	医療人間学セミナーⅡ（倫理学）			
担当教員	藤井 達夫			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間： 火曜 1・2 限 対象学科：保健衛生学科看護学専攻 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2) 1-9)				
授業の目的、概要等				
このセミナーでは、ケアの問題を現代社会の文脈に据えて検討します。このために、渡辺一史『こんな夜更けにバナナかよ』を受講生の皆さん全員と輪読をします。この輪読をとおして、看護の専門家としてのみならず、現代社会を生きる人間として、ケアについて考えることを目指します。受講生の皆さんは、今後、看護について専門的に学ぶことになります。このセミナーでは、専門的な学習の前提となるような、あるいはもしかしたら、専門的な学習では取り扱われないような、現代社会におけるケアの問題を倫理的な視点から検討したいと思います。				
授業の到達目標(SBOs)				
倫理的な視点から現代社会におけるケアの問題について考え、自分の意見を表明できること。一冊のテキストをしっかりと読みこなすことができ、またその内容についてプレゼンテーションができること。 他の学生の意見や問いかけに対して、しっかり応答ができるようになること。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	1/10	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
2	1/10	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
3	1/17	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
4	1/17	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
5	1/24	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
6	1/24	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
7	1/31	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
8	1/31	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
授業方法				
この授業は、セミナー形式で行われます。受講生には、担当箇所のレジュメの作成とそれに基づくプレゼンテーションをしてもらいます。				
授業内容				
第1回～第2回……ケアについて				

第3回～第8回……テキストについてのプレゼンテーションとディスカッション
成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(課題(レジュメ)の提出とプレゼンテーション、授業内での取り組み) 100% 再評価： 有(再評価方法)レポートの提出
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 テキストの熟読、レジュメの作成、プレゼンテーションの準備
教科書 渡辺一史『こんな夜更けにバナナかよ』(文春文庫、2013年)
参考書 授業内で随時、紹介していきます。
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。